



MODEL X

2015-2020

オーナーズマニュアル



ソフトウェア バージョン: 2024.44.25.3

North America

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリランチャーにタッチして、マニュアルアプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のもので、これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアルアプリで「リリースノート」タブを選択するか、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることがTeslaの目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけれられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様のModel Xのオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様のModel Xに関する詳細情報を確認するには、お客様の地域のTeslaウェブサイトアクセスして、Teslaアカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

Model Xに関して質問や疑問がある場合は、Teslaまでお電話でご連絡ください。

© 2012-2025 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc.およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3

MODEL S

TESLA

TESLA ROADSTER



MODEL Y

MODEL X

TESLA MOTORS

T E S L A

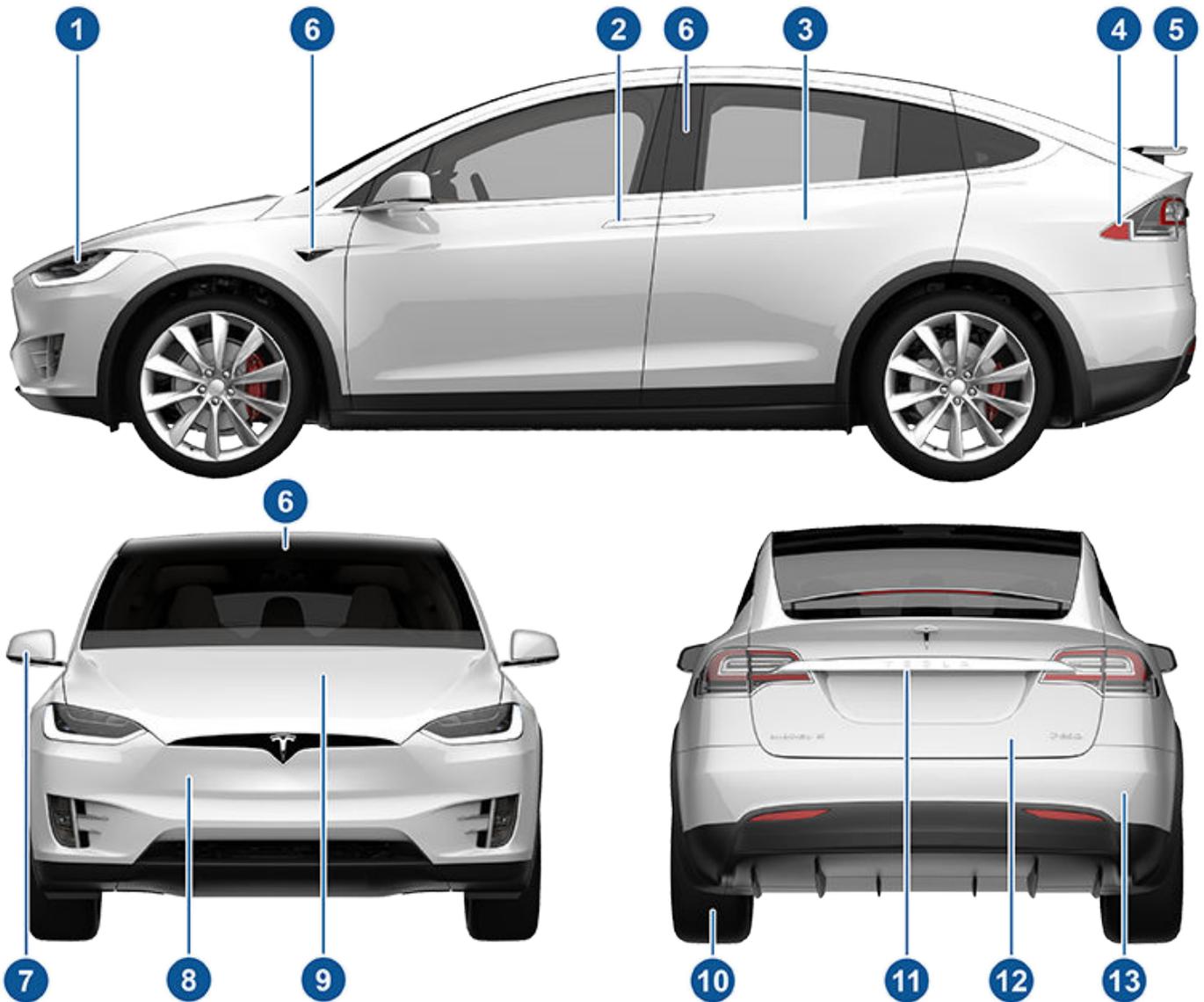


概要.....	3	オートパイロット.....	105
外装.....	3	オートパイロットについて.....	105
インテリア.....	4	オートパイロット機能.....	108
タッチスクリーン.....	6	トラフィックアウェア クルーズコントロール.....	115
車内の電子装備品.....	10	オートステアリング.....	120
インストゥルメントパネル.....	11	オートパイロット ナビ走行.....	125
音声コマンド.....	17	信号機と一時停止のコントロール.....	128
カメラ.....	19	フルセルフドライビング（監視付き）.....	135
開閉.....	20	オートパーキング.....	139
キーおよびドア.....	20	サモン.....	141
ウィンドウ.....	27	スマート サモン.....	144
サンバイザー.....	28	制限と警告.....	147
収納エリア.....	29	アクティブセーフティ 機能.....	152
リアトランク.....	29	レーンアシスト.....	152
フロントトランク.....	31	衝突回避アシスト.....	155
車内の収納.....	33	スピードアシスト.....	158
座席と安全拘束具.....	35	ダッシュカム、セントリー、セキュリティ.....	160
フロントおよびリアシート.....	35	安全とセキュリティ設定.....	160
シートベルト.....	40	ダッシュカム.....	162
チャイルドシート.....	43	セントリーモード.....	164
エアバッグ.....	51	ビデオ録画のための USB ドライブの要件.....	166
接続性.....	56	空調.....	168
モバイルアプリ.....	56	空調を操作する.....	168
Wi-Fi.....	59	ベント.....	173
Bluetooth.....	60	寒冷環境におけるベストプラクティス.....	174
電話、カレンダー、ウェブ会議.....	62	暑熱環境におけるベストプラクティス.....	176
スマート ガレージ.....	64	ナビゲーションとエンターテイメント.....	177
運転モード.....	67	マップとナビゲーション.....	177
始動と電源オフ.....	67	メディア.....	183
ハンドル.....	68	シアター、アーケード、おもちゃ箱.....	185
ミラー.....	70	充電とエネルギー消費.....	188
ギアシフト.....	72	電気自動車のコンポーネント.....	188
ライト.....	73	高電圧バッテリーに関する情報.....	190
ワイパーとウォッシャー.....	76	充電方法.....	192
ブレーキと停車.....	77	プレコンディショニングと充電の予約.....	198
エア サスペンション.....	81	航続距離を最大限に伸ばす.....	199
パーキングアシスト.....	83	メンテナンス.....	201
オートブレーキ ホールド.....	85	ソフトウェアアップデート.....	201
トラクションコントロール.....	86	メンテナンスサービスの間隔.....	203
加速モード.....	87	タイヤのお手入れとメンテナンス.....	205
ドライバープロフィール.....	89	洗車.....	211
アクティブボンネット.....	91	フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液.....	215
走行情報.....	92	ジャッキ アップと引き上げ.....	217
リアビュー カメラ.....	93	部品とアクセサリー.....	218
歩行者警告システム.....	94	応急タイヤ修理キット.....	219
アクティブ スポイラー.....	95	自主メンテナンス.....	221
牽引とアクセサリー.....	96		



目次

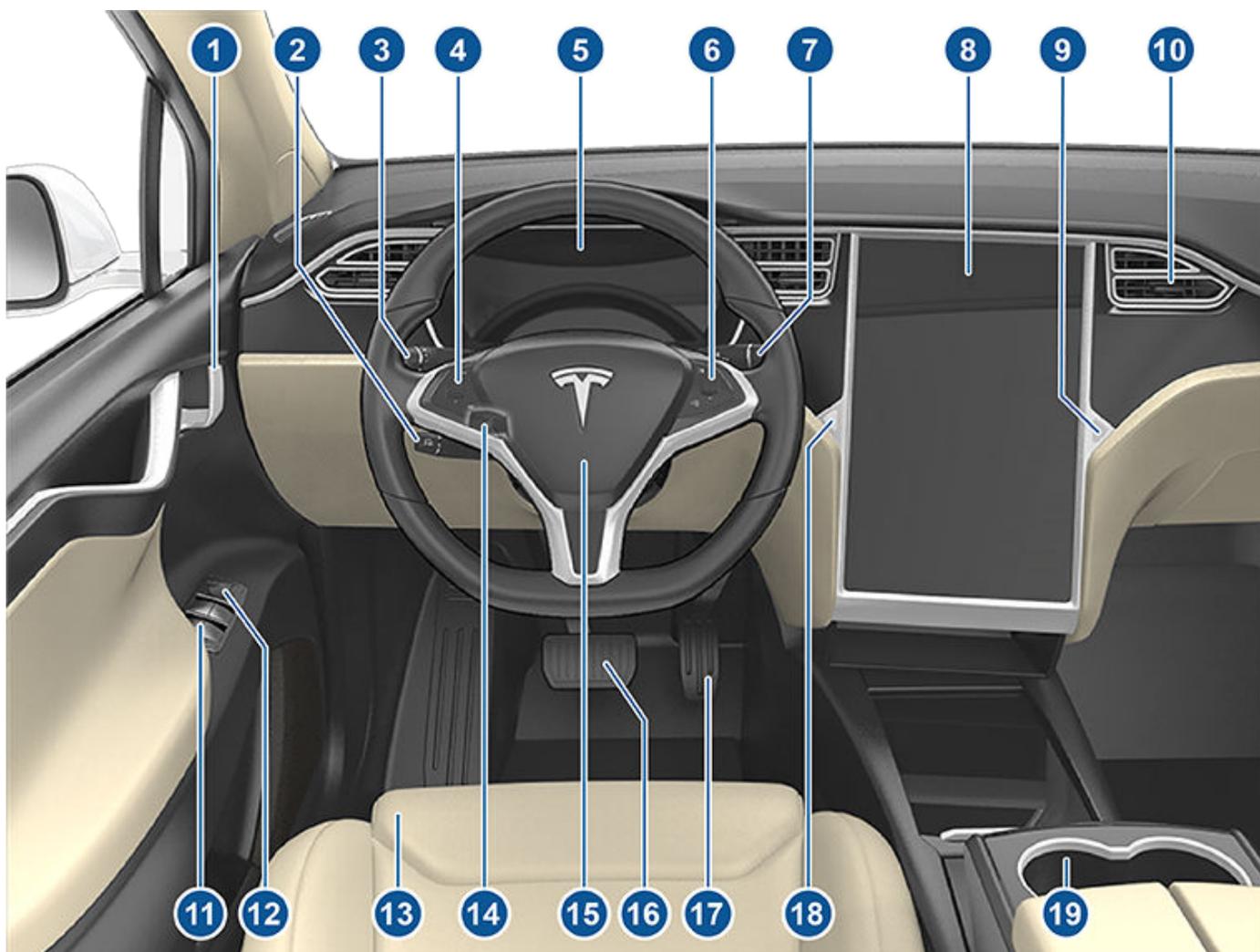
仕様.....	222
識別ラベル.....	222
車両総重量.....	223
寸法.....	225
サブシステム.....	227
ホイールとタイヤ.....	229
車両輸送者向け注意事項.....	235
車両輸送者向け注意事項.....	235
非常時.....	238
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....	238
電力切れ.....	239
電源がない状態でフードを開ける.....	240
ジャンプスタート.....	241
電力がない状態でドアを開く.....	242
水没車両に関するガイダンス.....	243
トラブルシューティング.....	244
トラブルシューティングのアラート.....	244
消費者情報.....	291
オーナー情報について.....	291
機能の使用可否に関する声明.....	293
免責事項.....	294
安全上の不具合を報告する.....	296
認証適合性.....	297
索引.....	300



1. エクステリア ライト (ライト ページ 73)
2. フロントドア (キーおよびドア ページ 20)
3. ファルコンウィングドア (キーおよびドア ページ 20)
4. 充電ポート (充電方法 ページ 192)
5. アクティブ スポイラー (オプション) (アクティブ スポイラー ページ 95)
6. オートパイロットカメラ (オートパイロットについて ページ 105)。
7. 外部ミラー (ミラー ページ 70)
8. レーダーセンサー (バンパー内) (オートパイロットについて ページ 105)
9. フード/フロントトランク (フロントトランク ページ 31)
10. ホイールおよびタイヤ (ホイールとタイヤ ページ 229)
11. リアビューカメラ (リアビューカメラ ページ 93 および オートパイロットについて ページ 105)
12. リアトランク/リフトゲート (リアトランク ページ 29)
13. 超音波センサー (パーキングアシスト ページ 83 および オートパイロットについて ページ 105)



インテリア



1. インテリアドアハンドル (#unique_17 ページ)
2. オートパイロットレバー (トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 115 およびオートステアリング ページ 120)
3. ウィンカーレバー (ハイビームヘッドライト ページ 73、ウィンカー ページ 74、ワイパーとウォッシャー ページ 76)
4. ステアリングホイールボタン - 左 (ハンドルの左ボタンを使用する ページ 68)
5. インストゥルメントパネル (インストゥルメントパネル ページ 11)
6. ステアリングホイールボタン - 右 (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68)
7. ドライブストーク (シフト方法 ページ 72)
8. タッチスクリーン (タッチスクリーン ページ 6)
9. グローブボックス ボタン (グローブボックス ページ 33)
10. キャビン空調通気口 (空調を操作する ページ 168)
11. パワーウィンドウスイッチ (開閉 ページ 27)
12. サイドミラー調整スイッチ (ミラー ページ 70)
13. シート (フロントおよびリアシート ページ 35)
14. ステアリングコラムアジャスター (上図には非表示) (ハンドル ページ 68)
15. クラクション (クラクション ページ 69)
16. ブレーキペダル (ブレーキと停車 ページ 77)
17. アクセルペダル (加速モード ページ 87)
18. ハザードランプ (ハザードランプの点滅 ページ 74)

19. カップホルダー (カップホルダー ページ 34)

タッチスクリーン

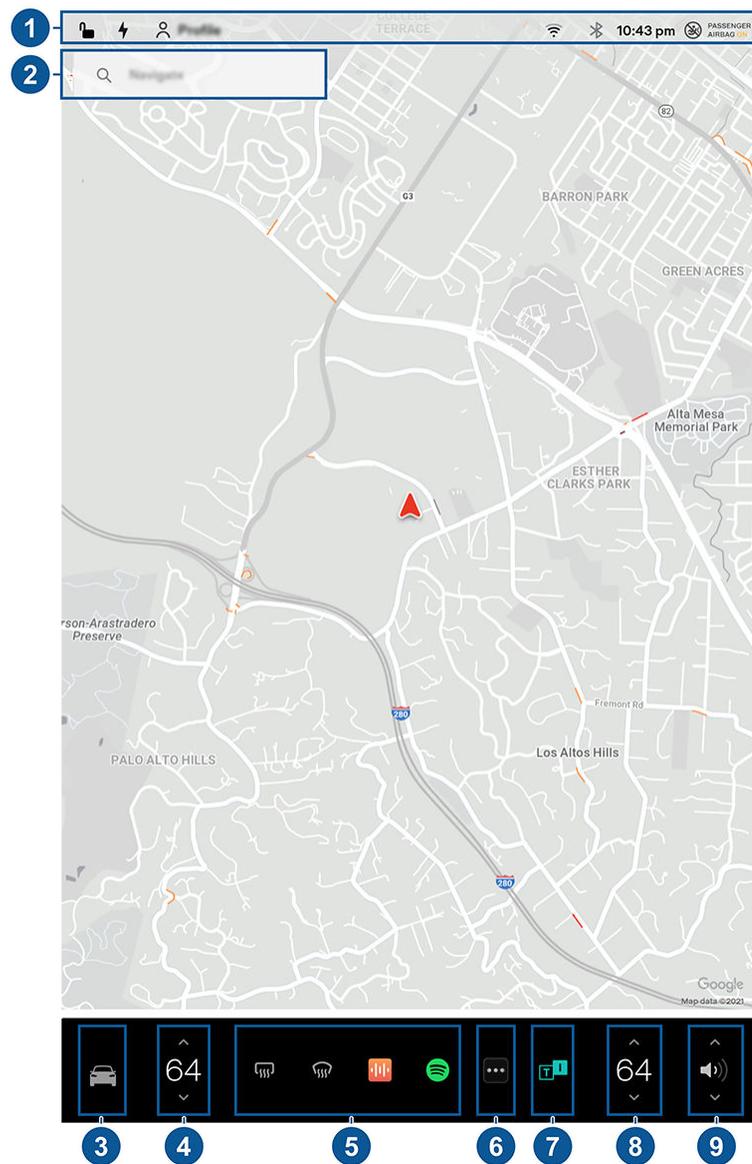
警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来の車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテインメント機能の使用、選択設定による Model X のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します（[音声コマンド ページ 17](#) 参照）

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください（[タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動 ページ 8](#) を参照）。

注意: タッチスクリーンに画面保護フィルムを貼らないでください。そうした場合、タッチスクリーンに意図しない入力（偽の入力）、応答遅延、タッチに対する無反応、静電放電によるタッチスクリーンへの損傷などが生じるおそれがあります。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。



1. **ステータスバー:** トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します（[トップステータスバーアイコン ページ 7](#) を参照）。
2. **ナビゲーション:** 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。（[マップとナビゲーション ページ 177](#) 参照）。

3. **コントロール:** さまざまな機能を制御し、Model X をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある**検索**にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを Tesla に送信することができます。

4. **空調（運転席）:** 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの「**スプリット**」にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（[空調を操作する ページ 168](#) 参照）。
5. **マイ アプリ:** よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。マイ アプリをカスタマイズ [ページ 7](#) を参照してください。
6. **アプリ ランチャー:** アプリ ランチャーにタッチするとアプリトレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
7. **最近使用したアプリ:** 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、マイ アプリに追加したアプリの数によって変わります。マイ アプリに最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されません。
8. **空調（助手席）:** 温度コントロールが「**スプリット**」のときは、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
9. **音量調節:** メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（[音量調節 ページ 183](#) 参照）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（[マップとナビゲーション ページ 177](#) 参照）。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにある**マイ アプリ**エリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. **マイ アプリ**エリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入ります。このエリアが空白の場合、アプリ ランチャーにタッチします。
2. アプリまたはコントロールをアプリトレイから下部バーの**マイ アプリ**エリアにドラッグします。

注: アプリトレイで選択したシートヒーターが、マイ アプリエリアではなく温度の隣に表示されます。

注: **マイ アプリ**に最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチして**マイ アプリ**エリアから削除します。

トップステータスバー アイコン



タッチしてすべてのドアやトランクをロック/アンロックします。

4:20 pm

車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび GPS への接続性を持っていることを確認します。



ソフトウェアアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になったときに表示されます。（[ソフトウェアアップデート ページ 201](#) を参照）。



ドライバープロフィール（バレーモードおよびイージーエントリーなど）の追加、設定、簡単な切り替えを行います。[ドライバープロフィール ページ 89](#) を参照してください。

T タッチスクリーン



HomeLink デバイス (装備されている場合) をコントロール/プログラムします (スマートガレージ ページ 64 参照)。



通知があるときに表示されます。タッチすると、通知に関する情報が表示されます。「サービス」 > 「通知」をタッチすると、最新の通知のリストを新しい順に表示することもできます。



Wi-Fi ネットワークに接続した際に表示されます



携帯電話通信ネットワークに接続した際に表示されます。タッチして Wi-Fi に接続します (Wi-Fi ページ 59 参照)。



Model X の携帯電話接続が使用不能である場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。



Bluetooth デバイスに接続します (Bluetooth ページ 60 参照)。



助手席エアバッグのステータス (エアバッグ ページ 51 を参照)。

タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動

タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。

注: 乗員やその他の道路利用者の安全を確保するため、タッチスクリーンの再起動は車両をパーキングに入れてから行ってください。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ハンドルの両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキペダルを踏み動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。



3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、(可能であれば) パワーサイクリングを試みます。車両でパワーサイクリングを行う ページ 67 を参照してください。

インストゥルメントパネルをリセットするには、パーキングにシフトしてからハンドルの上部の 2 つのボタン (「音声コマンド」および「次へ」) を 15~30 秒押すか、画面が暗転するまで待ちます。数秒後、Tesla ロゴが表示されます。インストゥルメントパネルが再起動するまで約 30 秒待ちます。

注: スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することではなく、Model X の電源のオンオフも行いません。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、「コントロール」 > 「表示」の順にタッチします。

- **表示モード:** 表示として、「暗い」と「明るい」のいずれかでカスタマイズします。「オート」に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- **明るさ:** スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルを制御します。「表示モード」を「オート」に設定すると、周囲の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行いません。Model X 選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- **省エネモード:** オンに切り替えると、Model X は使用されていないときの消費電力量を減らします (新しい車両では、自動で対応しています)。航続距離を最大限に伸ばす ページ 199 を参照してください。
- **画面クリーニングモード:** 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- **タッチスクリーン言語:** タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

注: Model X 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model X がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- **音声認識言語:** 音声コマンドに使用する言語を選びます。
- **音声ナビ言語:** ナビゲーションシステムが使用する音声ガイドの言語を使用します。
注: 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウンリストで言語を選択してダウンロードを開始します (Wi-Fi 接続が必要です)。
- **時間:** 時間の表示フォーマットを 12 時間と 24 時間のいずれかから選択します。
- **エネルギー表示:** 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。
注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。電力消費量に影響する要因 ページ 199 を参照してください。
- **距離:** 測定値をメートル単位 (キロメートル、センチメートルなど) またはインチ単位 (マイル、インチなど) で表示するかを選択します。
- **温度:** 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧:** タイヤ空気圧表示として、BAR か PSI のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、Joe Mode を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの音量を低くすることができます。「コントロール」>「安全」>「Joe Mode」の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある Model X の画像の下の「コントロール」>「ソフトウェア」>「車に名前を付ける」をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「保存」をタッチします。Tesla モバイルアプリにも、Model X の名前が表示されます。

工場リセットによる個人データの消去

Model X の所有権を譲渡する場合は、セキュリティ上の理由から、お客様のアカウントから車両を削除する前に、「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」の順にタッチして工場リセットを実行してください。データの消去を実行する前に、Model X がドライバーの認証情報を確認するため、Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

注: 工場リセットの実行は、車両がお客様のアカウントに登録されている場合のみ可能です。車両がお客様のアカウントから削除されると、カスタマイズした設定を工場出荷時のデフォルトにリセットし、すべての個人データを消去するためのアクセス権が失われます。

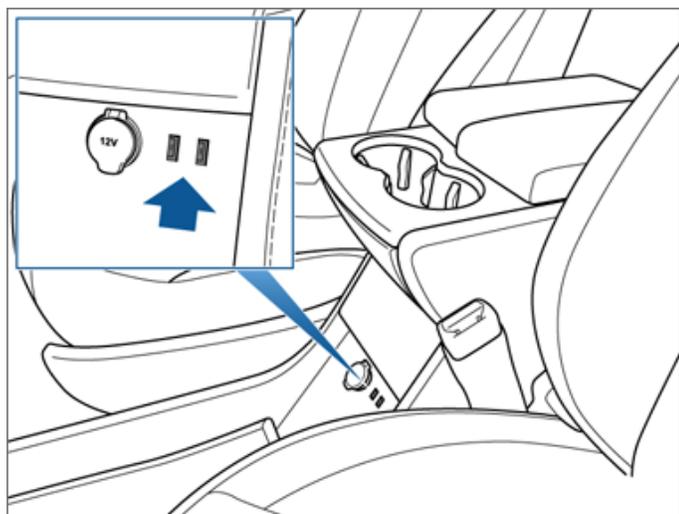


車内の電子装備品

収納コンパートメントやカップホルダー（[車内の収納 ページ 33](#)を参照）に加えて、Model X の車内には USB ポート、および低電圧電源ソケットといったさまざまな電子装備品があります。

USB ポート

Model X にはセンター コンソールの前面に 2 つの USB ポートがあります。これらのポートに接続された USB ドライブに保存されているオーディオ ファイルを再生する方法については、[デバイスからメディアを再生 ページ 184](#)を参照してください。これらのポートを使用して USB 機器を充電することもできます。



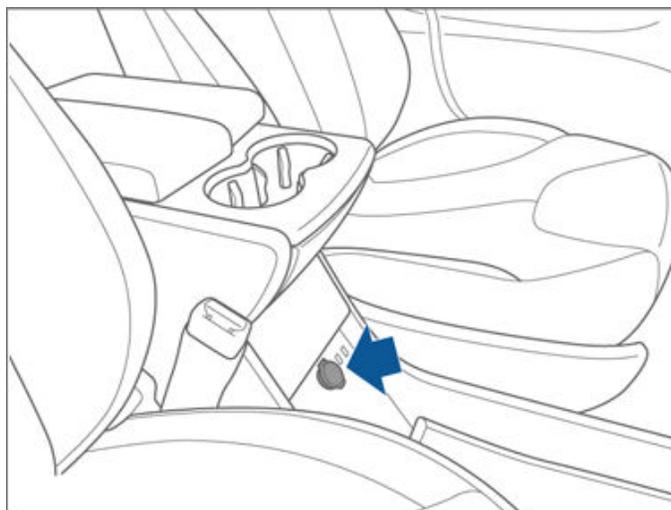
さらに、Model X にはセンターコンソールのリア側に充電専用の USB ポートが 2 つあり、さらにもう一つの充電専用接続が 3 列目シートの間にあります（装備されている場合）。

注: センターコンソール前方の 2 ポートとコンソールリア側の 2 箇所を同時に使って 4 台の機器を充電できます。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できませんが、車両は様々な理由により起動状態になります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「プレコンディショニング」、「キャビン過熱保護」、「エアコンを ON のままにする」、「ドッグモード」、「セントリーモード」などの機能が有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、HV 充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

低電圧 電源ソケット

Model X のセンター コンソールの前面に電源ソケットがあります。追加の低電圧電源ソケットはリアトランク内にあります。インストゥルメントパネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、電源を利用できます。



低電圧電源ソケットは、11A までの連続通電（最大 15A）または最大 150 持続 W（最大 180 W）までのアクセサリが適合します。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できませんが、車両は様々な理由により起動状態になります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「プレコンディショニング」、「キャビン過熱保護」、「エアコンを ON のままにする」、「ドッグモード」、「セントリーモード」などの機能が有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、HV 充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

注: Model X が（バッテリー電圧低下、電波干渉などのために）キーオフを認識できない場合は、Model X が最もキーを検出しやすいセンターコンソール内の低電圧電源ソケットの真下にキーオフを置いてください。



警告: 電源ソケットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。



インストゥルメントパネルについて

インストゥルメントパネルは以下のように Model X の状況によって変わります。

- オフ（以下参照）。
- 運転中（インストゥルメントパネルについて - 運転中 ページ 15 を参照）。
- 充電中（充電ステータス ページ 193 を参照）。

Model X がオフの場合、インストゥルメントパネルには残りの後続距離、ドアの状態、外気温が表示されます。ブレーキを踏むと、上部のインジケータールイトが短く点灯します。現状に該当するインジケータがない限り、その後インジケータは消灯します。インジケータが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



インストゥルメントパネルに点灯する次のインジケータは、特定の状況を伝え、警告するものです。

米国およびメキシコ： Model X を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。

BRAKE

カナダ：

Model X を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。



米国およびメキシコ： ブレーキブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキインジケータが表示されます。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（#unique_64 ページ を参照）。

BRAKE

🚗 インストゥルメントパネル

カナダ:



ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します (#unique_64 ページ を参照)。

米国およびメキシ



Model X を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケーターが短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

コ:

カナダ:



Model X を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケーターが短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

米国およびメキシコ:

タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。



タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。

カナダ:

米国およびメキシコ:

パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のお知らせが表示されます。



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のお知らせが表示されます。

カナダ:

ロービーム ヘッドライトがオンになっています。



ハイビーム ヘッドライトがオンになっています。ハイビームが点灯しているけれども「オートハイビーム」(装備されていれば) 設定がオフになっているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。ハイビーム ヘッドライト ページ 73 を参照してください。



ハイビーム ヘッドライトが現在点灯していて、Model X の前方にライトを検知した場合は、オートハイビーム (装備されていれば) をオフにする準備ができています。ハイビーム ヘッドライト ページ 73 を参照してください。





オートハイビーム（装備されていれば）がオンで Model X の前方にライトが検出されているので、ハイビームヘッドライトが一時的にオフになっています。ライトが検出されていないので、ハイビームが自動的にオンに戻ります。ハイビームヘッドライト ページ 73 を参照してください。



パーキングライト（サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレートライト）が点灯しています。ライト ページ 73 を参照してください。



フロントフォグランプ（装備の場合）。ライト ページ 73 を参照してください。



対応フロントライト（装備の場合）。#unique_65 ページ を参照してください。



横滑り防止装置（ESC）システムは、ブレーキ圧とモーター出力を制御し、ホイールスピンを最小限に抑えます（インジケータが点滅します）。トラクションコントロール ページ 86 を参照してください。このインジケータが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので直ちに Tesla へ問い合わせる必要があります。



エアサスペンションシステムのパフォーマンスを低下させる不具合が検出された場合、この黄色のインジケータライトが表示されます（エアサスペンション ページ 81 を参照）。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します（エアサスペンション ページ 81 を参照）。Tesla にご連絡ください。



エアバッグの安全性。すぐに Model X を運転できる状態の際にこの赤いインジケータが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、直ちに Tesla に連絡してください。エアバッグ ページ 51 を参照してください。



車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。オートブレーキホールド ページ 85 を参照してください。



タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の不具合が検出されると、インジケータが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205 を参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。キーおよびドア ページ 20、リアトランク ページ 29、またはフロントトランク ページ 31 を参照してください。

インストゥルメントパネル

乗員のいる席のシートベルトが締められていません。シートベルト ページ 40 を参照してください。



横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。後輪駆動車両でトラクションコントロールシステムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。トラクションコントロール ページ 86 を参照してください。



Model X 輸送モードで勝手に車両が動く状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。車両輸送者向け注意事項 ページ 235 を参照してください。



けん引モード（搭載されている場合）が有効になっています。牽引とアクセサリ ページ 96 を参照してください。



寒冷な気候条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに表示されます。このような寒冷な気候条件下では、充電速度が低下することがあります。Model X が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにしてバッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶のアイコンが消えます。



バッテリーの電力残量が少ないか、または車両システムが加熱/冷却されているため、車両電源の利用が現在制限されています。



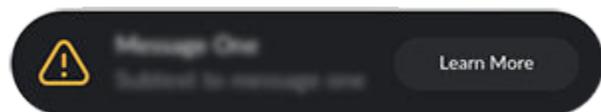
左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

インストゥルメントパネルにポップアップメッセージが表示されます。例えば、シートベルトリマインダ（人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合）、アラート通知（電話着信があった場合）、テキストメッセージ（該当する場合）、音声コマンド（使用している場合）が表示されます。



タッチスクリーンの通知アイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

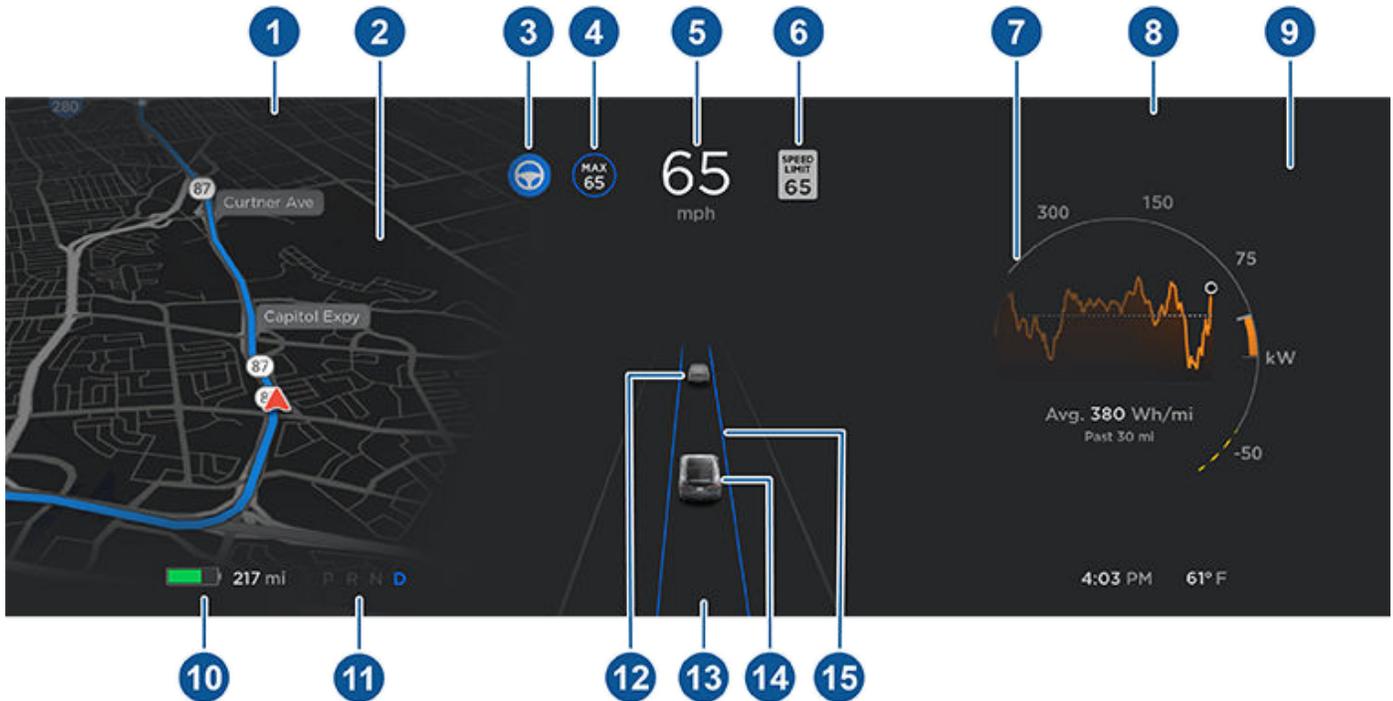
注: 現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。



インストゥルメントパネルについて - 運転中

Model X の運転中（または運転可能なとき）は、インストゥルメントパネルに現在の運転状況とオートパイロットコンポーネント（オートパイロットについて [ページ 105](#) を参照）が検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます。視覚化された画像は、ブラインドスポットに車両が検出された時にそれをドライバーに知らせるよう、自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



注: 「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「フルセルフドライビングの表示プレビュー」（装備車の場合）の順にタッチして、路面標示、一時停止標識灯、物体（ゴミ箱、柱ほか）など、車道やその周辺の詳細情報を表示します。

- インジケーターが上部に状況を提供します（[インストゥルメントパネルについて ページ 11](#) を参照）。
- 目的地へのナビゲーションを使っているときには、ナビゲーション指示がここに表示されます。インストゥルメントパネルの左側に表示される内容を変更するには、ナビゲーション指示が表示されていないときに、ステアリング ホイール左側のボタンを使用してください（[ハンドルの左ボタンを使用する ページ 68](#) を参照）。
- オートステアリングが Model X のハンドル操作をしている。オートステアリングは利用可能だが、有効化はしていない場合、アイコンは灰色です（[オートステアリング ページ 120](#) を参照）。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度で走行中です。トラフィックアウェア クルーズ コントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、アイコンはグレーになり速度は表示されません（[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 115](#) を参照）。
- 巡航速度。
- スピードアシストが検出している速度制限（設定されている場合）（[スピードアシスト ページ 158](#) を参照）。
注: 速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、あなたが速度制限を超えていることを知らせています。
- Model X が電力を制限している場合は、エネルギー グラフのパワー メーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、上部（エネルギー使用中）に破線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、下部（エネルギー獲得中）に破線が表示されます。Model X は、多くの理由により電力を制限します。以下にいくつかの例を挙げます。
 - バッテリーの残量低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
 - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
 - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。

インストゥルメントパネル

注: インストゥルメントパネルの右側に表示される内容は、ステアリング ホイール右側のボタンで変更します（[ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68](#) を参照）。

- ここに表示される重要なメッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンのステータスバー（タッチスクリーンの最上部）の警告アイコン（! マーク）にタッチして警告の詳細を表示することができます。
- 電話をしていないときにインストゥルメントパネルの右側に表示される内容を変更するには、ステアリング ホイール右側のボタンを使用します（[ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68](#) を参照）。
- 推定航続可能距離（エネルギー）。航続距離の代わりに、バッテリー残量（%）を表示することもできます。これを行うには、「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「エネルギー表示」の順にタッチします。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

- 現在選択しているドライブ モード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
- 前方の車（該当する場合）。
- インストゥルメントパネルの下部中央に表示される運転に関連した警告メッセージに注意してください。
- お客様の Model X。
- オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、青色にハイライト表示されます（[オートステアリング ページ 120](#) を参照。）現在のドライビング シナリオに応じて周囲の走行車線を表示することができます。

注: 「オートパイロットナビ走行」がオンになっていると、Model X の前方に走行車線が青色のラインで表示されます（[オートパイロットナビ走行 ページ 125](#) を参照）。

 **警告:** インストゥルメントパネルは周囲のある車両を表示しますが、すべての車両を表示している訳ではありません。自分の周囲に他の車両があるかどうかを確認するためにインストゥルメントパネルのみに頼らないでください（例、ブラインドスポット）。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。

注: お客様の利便性を図るため、Tesla では音声コマンドに使用する言語をさまざまな言語からお客様が選択できるようにしています。別の言語を選択するには、「コントロール」 > 「表示」 > 「音声認識の言語」の順にタッチします。

音声コマンドを使用することで、タッチスクリーンを使用せずに設定や好みを簡単に操作することができます。音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。以下に音声コマンドで実行可能なアクションの例を挙げます（これらに限定されません）。

- 空調の好みを調整する
- フロントガラスワイパーの速さおよび作動間隔を調整する
- 車両の各種機能を制御する
- 目的地までナビを実行する
- 連絡先に電話をかける
- アプリや設定とやりとりする

音声コマンドを開始するには、ハンドルの右側の音声ボタンをタッチします。チャイムが鳴ったら、要望を言ってください。



音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグモードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

空調

空調の好みを調整します。

- 「温度を下げて」
- 「温度を上げて」

- 「運転席のシートヒーターを入れて/切って」
- 「助手席を涼しくして」
- 「顔に気流を直接当てて」
- 「空調を同期して」
- 「ファン速度を上げて/下げて」
- 「リア デフロスターをつけて/消して」
- 「温度/ファンを設定して...」
- 「循環をオンにして」

フロント ガラス ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- 「ワイパーを速く」
- 「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- 「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

車両の各種コントロールを修正します。

- 「セントリーモードオン/オフ」
- 「車を安全に保って」
- 「ドアをロックして/ロック解除して」
- 「ドッグモードをオンにして」
- 「ミラーを閉じて/開いて」
- 「充電ポートを開いて/閉じて」
- 「充電を始めて/止めて」
- 「サービス設定を開いて」
- 「グローブボックスを開いて」

ナビゲーション

場所を検索してその場所まで誘導します。

- 「[場所] ってどこ？」
- 「[場所] までドライブ」
- 「[場所] まで行って」
- 「近くのスーパーチャージャーを表示」
- 「おなががすいた/楽しいな」（マップとナビゲーション ページ 177 参照）。
- 「ナビを止めて」
- 「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 62 を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- 「[連絡先名/電話番号] に電話して」
- 「[連絡先名/電話番号] にテキスト送信」

メディア

メディアを聞き、再生の設定を調整します。

- 「[曲名] が聴きたい」
- 「音量を下げて/上げて」
- 「スキップして次へ」
- 「曲を止めて/再生して」
- 「ソースを [メディアソース] に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーティストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

アプリや設定により簡単にナビゲーションができます。

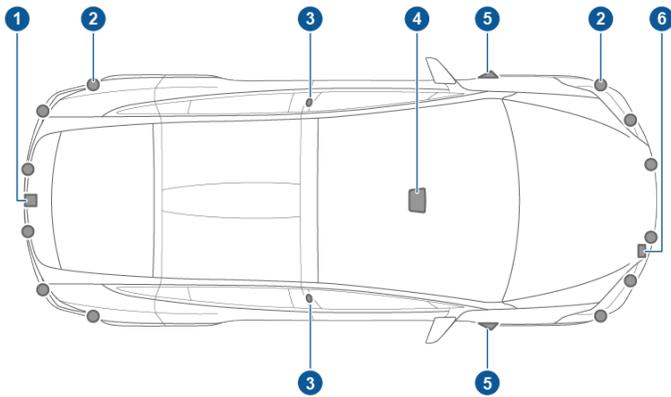
- 「[おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機] を開いて」
- 「...を検索」
- 「画面が明るすぎる」
- 「オーナーズ マニュアルを見せて」

「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、 <https://www.tesla.com/support/voice-commands> を参照してください。

注: 品質を引き続き向上できるように、Tesla では、音声コマンドのトランスクリプション（「温度を設定して...」など）を取得して処理します。音声の録音は収集されず、トランスクリプションはお客様の Tesla アカウントや車両 ID に関連付けられることはありません。お客様のプライバシー保護をより強力に保護できるように、個人データを含む音声コマンド（「...に移動して」や「...に電話をかけて」など）は取得しません。

お使いの Model X には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。



1. カメラは、リアナンバープレートの上方に搭載されています。
2. 超音波センサー（装備されていれば）は、フロント/リアバンパー内にあります。
3. 各ドアピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスにはバックミラーの上方にカメラが3台取り付けられています。
5. 各フロントフェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダー（装備されていれば）は、フロントバンパーの裏側に取り付けられています。

Model X には、高精度電動アシストブレーキおよびステアリングシステムも装備されています。

走行中のカメラキャリブレーション

Model X オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、車線逸脱防止および自動緊急ブレーキなどの一部の機能を初めて使用する前、または一部の種類のサービス修理後に、カメラはセルフキャリブレーションプロセスを完了する必要があります。わかりやすくするために、インストゥルメントパネルに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、アクティブセーフティ機能だけでなく、オートパイロット機能も利用可能になります。キャリブレーションは通常、20~25 マイルの距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件において Model X を 100 マイル (160 km) で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロントガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、「コントロール」 > 「サービス」 > 「カメラキャリブレーション」 > 「キャリブレーションをクリア」の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、Model X はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合

カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、「**キャリブレーションをクリア**」はすべてのカメラやセンサーの問題を解決しない場合があります。

注: セルフキャリブレーションドライブは、2016 年 10 月 12 日以降に製造された Model X 車両にのみ該当します。

注: キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の 2 車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には 5 車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を走行します。

注: キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、インストゥルメントパネルにはメッセージが表示されます。

注: Model X は、Tesla がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニングページ 211](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。インストゥルメントクラスターには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物を取り払われるまでオートパイロットの機能の一部/全体が一時的に制限されているというアラートが表示されます。積極的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウィンドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します（[モバイルアプリ ページ 56](#) 参照）。

キーレスロックとロック解除

Model X のロックやロック解除は簡単に行うことができます。有効なキーフォブを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model X 約 3 フィート (1 m) の範囲内にキーフォブが存在することを認識できるセンサーが運転席のドア周辺に装備されています。キーフォブをポケットやバッグに入れておけば、Model X に近づくと検出されます。

パッシブエントリー (「コントロール」 > 「安全」 > 「パッシブエントリー」) をオンにしている場合、キーフォブを携帯して Model X に近づくと、ドアが自動でロック解除されます。リアトランクを開けるには、電動リフトゲート外側のハンドル奥にあるスイッチを押します。

注: Model X ドアや電動リフトゲートがロック解除する前に、運転席ドア付近でキーフォブが検出されなければなりません。

注: パッシブエントリーがオフになっている場合は、キーフォブを使用して Model X のロックを解除する必要があります。キーフォブの使用 ページ 20 を参照してください。

プレミアム パッケージが装備され、自動ドア設定がオンとなっている場合は、キーフォブを持って Model X に近づくとドアが自動でアンロックされ、ドライバー側のドアが少し開きます。装備されていない場合、または設定がオフになっている場合、ドアは自動でロック解除され、ハンドルを押すとドアが開きます。「自宅で自動ドアを開くを除外する」を選択すると、ドアは自動で閉まりますが自動で開くことを無効にします (自宅住所を設定するには「ナビの実行」 > 「自宅を設定」の順にタッチします)。

注: キーフォブを携帯して Model X に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席のドアのみを解除するかを選択できます (運転席ドアロック解除モード ページ 25 を参照)。

キーフォブを携帯しているときは、リアトランクもキーフォブを使わずに開くことができます。電動リフトゲート外側のハンドルの下のスイッチを押すだけです。運転席のドアロック解除モード (運転席ドアロック解除モード ページ 25 を参照) をオフに設定し、車両のドア付近でキーフォブを検出してからでないとリアトランクは開きません。

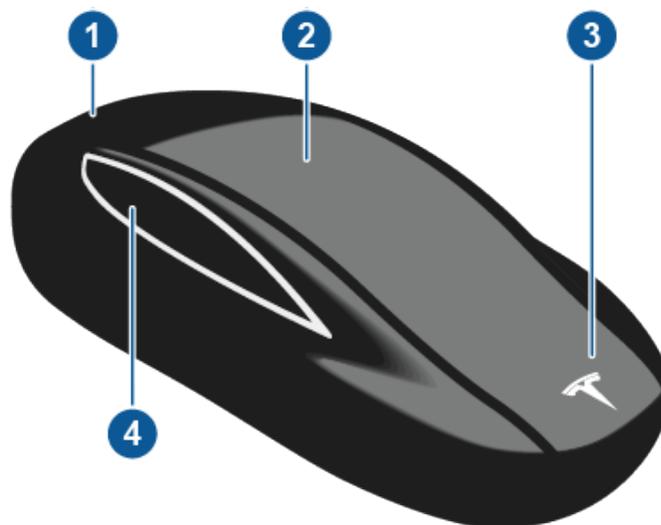
Model X ロックも自動的に行われます。「降車後オートロック」を有効に設定している場合、Model X はキーフォブを携帯して遠ざかるとロックされます (降車後オートロック機能 ページ 26 を参照)。

さらに、車両をロック/ロック解除したときにクラクションを小さく鳴らすように Model X を設定できます。「コントロール」 > 「車両」 > 「ロック確認音」の順にタッチして設定します。

Model X の車内にいる間に、タッチスクリーンのステータスバーにあるアイコンをタッチして、車両をロックまたはアンロックすることもできます。

キーフォブの使用

キーフォブのご使用に慣れるために、キーフォブを Model X のミニチュア版と考えてください (Tesla のエンブレムのある側が前方です)。キーフォブの上面はフロント、リア、その中間で 3 つのボタンに分かれており、両サイドにはファルコンウィングドアに対応する金属ボタンがあります。



1. トランク
 - アンロックするにはダブルクリックします。
 - パワーリフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを閉めます。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。
 - 充電ポート ドアを開くには、ボタンを 1~2 秒間押し続けます。
2. すべてロック/ロック解除
 - シングルクリックすることで、すべてのドアとリアトランクがロックされます。ハザードライトが 1 回点滅します。
注: ドアまたはリアトランクが開いている場合は、ハザードランプが 3 回点滅してドアはロックされません。ただし、「キーフォブで全て閉じる」設定をオンにすると (「コントロール」 > 「車両」 > 「キーフォブで全て閉じる」の順にタッチします)、すべてのドア (およびリアトランク) を閉じることとロックすることをシングルクリックで行えるようになります。デフォルトでは、この設定はオフとなり、すべてのドアを閉じてロックするにはトリプルクリックする必要があります。
 - アンロックするにはダブルクリックします。ハザードライトが 2 回点滅します。
注: プレミアム アップグレード パッケージが装備されている Model X で自動ドアが有効になっている場合 (「コントロール」 > 「車両」 > 「自動ドア」の順にタッチします)、Model X に近づいただけでドアがアンロックされ運転席のドアが開きます。次にダブルクリックすると、助手席側のフロントドアが開きます。
3. フロントトランク
 - ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。
4. ファルコンウィングドア
 - ダブルクリックすると、対応するファルコンウィングドアが開閉されます。

- シングルクリックすると、対応するファルコンウィングドアの動きが止まります。続いてダブルクリックすると、ファルコンウィングドアの動きが逆になります。たとえば、ドアを開いていたときは閉じ、閉じていたときは開きます。

注: ファルコンウィングドアは、事前に障害物を検出し、障害物が検出されたときはドアが動かないように設計されています。

⚠ 警告: Model X ファルコンウィングドアには、ドアの動線にある物体の存在を検出するセンサーが複数取り付けられています。大半の場合、物体が検出されるとドアの動きは止まります。ただし、センサーはどんな場合でも、特にドアが閉まりかけている場合に、あらゆるエリアで何でも検出できるわけではありません。そのため、ドライバーは常に、ドアの動線に障害物がないようファルコンウィングドアを見守り、いかなるときもドアが何か（人を含む）に接触することを事前に防止できるようにそばにいてください。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

この場合、キーフォブを Model X に向ける必要はありませんが、キーフォブの作動範囲内にいる必要があります（作動範囲はキーフォブのバッテリーの強さによって異なります）。

Model X がキーフォブを検出できない場合は、キーフォブが車内がないことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。キーフォブを、Model X が最も検出しやすい位置である低電圧電源ソケットの下に置きます（[キーフォブが車内がないページ 67](#) を参照）。

周波数の近い無線機器がキーフォブに影響を与える場合があります。その場合は、キーフォブを他の電子機器（携帯電話、ノートパソコンなど）から 1 フィート 30 cm) 以上離してください。キーフォブが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。キーフォブのバッテリーが切れている場合は、以下のアンロックの手順に従って Model X を開けることができます。（[キーフォブが動作しないときのアンロック ページ 26](#) を参照）。

⚠ 注意: 運転する際は、必ずキーフォブを携帯してください。キーフォブを携帯していない場合でも Model X を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

⚠ 注意: キーフォブを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

キーフォブのバッテリーを交換する

キーフォブのバッテリー寿命は通常使用で約 1 年です。バッテリー残量が低下すると、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

注: テスラではすべてのキーフォブのバッテリーを同時に交換することを推奨しています。

1. ボタン面を下にしてキーフォブを柔らかい面に置き、小さなマイナスドライバーか爪を使って底面のカバーを開きます。



注: キーフォブにストラップが付いているときは、底面のカバーの「X」の文字のところを指で押してストラップを引く（つまり、キーフォブを押してカバーから外す）と、底面のカバーを外すことができます。また、キーとカバーの間に小さなマイナスドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを差し込んでもカバーをこじ開けることができます。

2. 注意しながらバッテリーを斜めにスライドさせて取り外します。

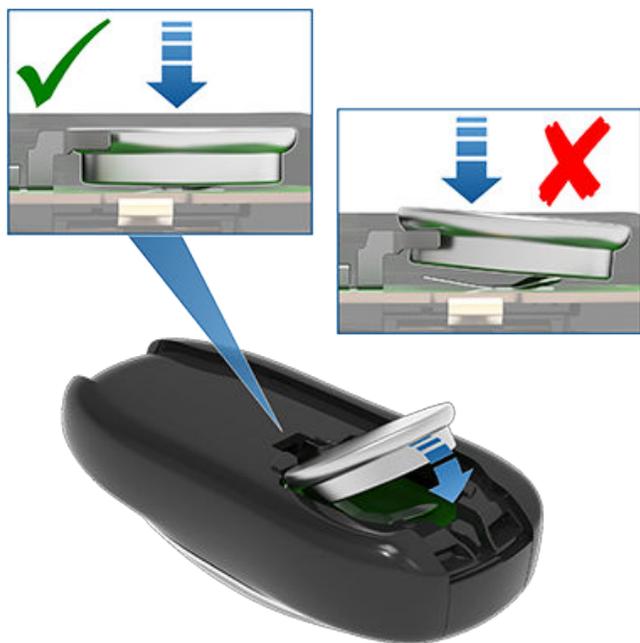


3. プラス (+) 面を上にして新しいバッテリー (CR2354) を挿入します。バッテリーが所定の位置にぴったりとはまるような程度角度を付けて+面（接触面はキーフォブのほぼ中央にあります）に向けてスライドさせ、その後反対側にしっかりと押し込んで所定の位置にしっかりとまっていることを確認してください。

注: Tesla では、Panasonic CR2354 電池を使用することを推奨します。これらの電池は、オンライン販売店、地域のスーパーマーケット、ドラッグストアで購入することができます。

⚠ 注意: バッテリーは+の接触面に対してスプリングで押さえられていなければなりません。バッテリーを接触面の上に置いて無理に押さえつけることはしないでください。接触面を損傷する恐れがあります。

キーおよびドア

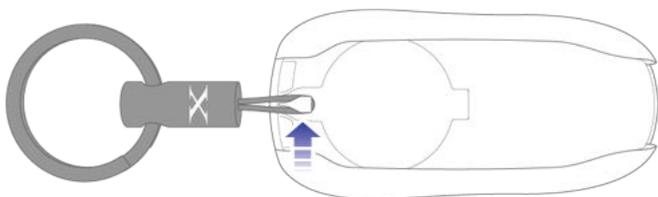


注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

- カバーは、フロント側をキー本体に付け、横に付いているタブとキーフォブ本体側のスロットの位置を合わせて、パチンという音がするまで押し込んで固定します。
- 車両のロック解除およびロックを行い、キーフォブが動作するかテストします。

ストラップを取り付ける

Model X のキーには小さなストラップを付けられるようになっていました。ストラップを付けるときは、上記の要領で底面のカバーを外します。キーフォブの裏側のピンにストラップをかけます。カバーを合わせて、パチンと押し込みます。



キーフォブを追加する

キーフォブを紛失した場合または追加のキーフォブが必要な場合は、テスラにご連絡ください。Model X 最大 8 個のキーフォブを認識することができます。

Model X の新しいキーフォブを注文したときは、お手持ちのキーフォブすべてをプログラミングし直してください。

フロント ドアを車内から開閉する

フロント ドアを開けるときは、インテリア ドア ハンドルを手前に引きます。



Model X の車内からタッチスクリーンを利用してドアの開閉を行うこともできます。「コントロール」にタッチし、開閉したいドアを選びます。

運転席ドアに座ってブレーキペダルを踏むと、運転席ドアが自動で閉まります。また、ハンドルを手前に引くことでもドアを閉めることができます。

警告: ブレーキペダルを踏んで運転席のドアが自動で閉まる前に、手や足などの体の一部が閉まるドアを塞いでいないことを確認してください。

フロント ドアを車外から開閉する

Model X のドアは電動です。キーを携帯して Model X に近づくと、すべてのドアが自動的にロック解除されます。ドアハンドルを押すとフロント ドアが開きます。

また、運転席のドアは、車両に近づくと自動的に開き、車両から離れると自動的に閉じるように設定することもできます（装備されている場合）。検出された障害物に応じて、ドアが 20°～45°（半開き）の間で部分的に開きます。

「コントロール」 > 「車両」 > 「自動ドア」の順にタッチします。この設定がオンの場合、キーフォブのロック/ロック解除ボタンをダブルクリックして運転席側のドアを開くこともできます。その後ダブルクリックすることによってフロントの助手席ドアが開きます。「自宅に自動ドアを開くを除外する」を選択すると、ドアは自動で閉まりますが自動で開くことを無効にします（自宅住所を設定するには「ナビの実行」 > 「自宅を設定」の順にタッチします）。

注: 製造日と、購入時に選択したオプションによっては、Model X に自動ドアが搭載されていない場合があります。

「コントロール」 > 「車両」 > 「運転席ドア アンロックモード」の順にタッチすると、運転席ドアだけをロック解除するように指定することもできます。運転席ドアロック解除モード ページ 25 を参照してください。



注: 寒冷時にドアを開ける際の情報は寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 174 を参照してください。

注意: 急な坂道に駐車している場合は、フロントドアが自動で完全に開かない、または閉じない場合があります。急な坂道に駐車している場合は、ドアの開閉を Model X に完全に頼らないでください。

注: 製造日と、購入時に選択したオプションによっては、Model X に自動ドアが搭載されていない場合があります。



ドアが開いていると、インストゥルメントパネルに「ドアが開いています」インジケータが表示されます。また、タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウの Model X 画像も、開いているドアやトランクを視覚的に表現します。

次の方法で、車両の外側からドアを閉めることができます。

- 手でドアを押して閉めます。
- キーフォブのロック/ロック解除ボタンをシングルクリックまたはトリプルクリックします（「キーフォブで全て閉じる」設定がオンの場合は、シングルクリックのみですべてのドアとトランクを閉めることができます。トリプルクリックする必要があるのは、この設定がオフの場合です）。

注: 電動式のドアは、障害物が検出されると動作を停止します。

警告: フロントドアを自動で開閉する（手で開閉する代わりに）ときは、まずドアの周囲に障害物（人や物など）がないか確認してください。人や物と接触しないようにドアの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

フロントドアのリセット

Model X には外側から引っ張ることのできる従来のドアハンドルが装備されていないため、車両にはポップアクチュエーター（アイスブレーカーとも呼ばれます）が装備され、寒冷時にハンドルが凍結した場合などにフロントドアを開けるのをアシストします。ポップアクチュエーターはフロントドアラッチの上にあります。必要に応じて引き出してフロントドアを開きます。フロントドアがわずかに開くと、ポップアクチュエーターはゆっくりとドアに格納されます。



ポップアクチュエーターが何かに引っかかり格納できなくなった場合、以下の手順でポップアクチュエーターを手動で引き出して引っかかったものを取り除くことができます。

1. ペン、スクリュードライバー、または同等のツールなど（指や体の一部などは入れない）を使って、塗装を傷めないようにドアラッチを慎重に閉じると、Model X はドアが閉じられたものと検知します。



2. Model X がロックされていることを確認したら、エクステリアハンドルを押す、またはインテリアハンドルを引いてラッチをリセットしポップアクチュエーターを引き出します。
3. ドアからポップアクチュエーターが引き出されたら、素早く引っ掛かっている物体を取り除きます。

警告: ポップアクチュエーターは、ドアハンドルが押される、または引かれるとすぐに元に戻ろうとしますが、何かが挟まっていたりすると自動ではリリースされません。

警告: 車両の機械的な可動部分には体の一部が触れないよう十分に注意してください。ドアの開閉を行うときは、お子さまが挟まれないようご注意ください。ポップアクチュエーターを含み、可動部分での作業する際は、大怪我をする恐れがあります。

ファルコンウィングドアの開閉

Model X にはファルコンウィングドアがあり、ボタンを押す、キーフォブを使用する、またはタッチスクリーンで該当するアイコンにタッチすることで簡単に開閉します。ファルコンウィングドアには、人や物を検知するセンサーが複数装備されており、何かを検知した場合はドアの動きが止まります。検知した物体に応じて、ドアはそれに接触しないように外側および上方の動きを調整します。たとえば、物体が Model X の上方に検知された場合、ドアはさらに外側には動くものの低めになり、一方、物体（または人物）がドアのそばに検知された場合には、ドアが外に出る動きはずっと少なくなります。

警告: いかなる時でも、ファルコンウィングドア フレームには手を置かないでください。ドアを閉じる前はドアフレーム周辺を確認し、閉じ始めたらドアの動きを注視し人や物が挟まらないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。



キーおよびドア

警告: ファルコンウィングドアの開け閉めをする前に、ドア周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。ドアには多くのセンサーがついていますが、いつでもすべての物体を検知できるとは限らず、特にドアが動いているときにはその傾向が高まります。ある時点において、ドア近くに検出できないゾーンが生じる場合があります。そのため、ファルコンウィングドアを開閉する場合、ドライバーおよびその他のパセンジャーは、ドアの動きを意識し、いつでも対応できるようにしながら、動いているドアから離れてください。ドアを動かさないようにするには、キーフォブにあるファルコンウィングドア ボタンをシングルクリックするか、ドアまたはドアピラーにあるスイッチを押すか、またはタッチスクリーンにあるボタンをタッチしてください。

ファルコンウィングドアを Model X の外から開けるには、ドアハンドルを押すかまたはキーフォブのファルコンウィングドア ボタンを 2 回押します（[キーフォブの使用 ページ 20](#) を参照）。

Model X の車内からファルコンウィングドアを開くには、運転席側のドアピラーにあるスイッチを押すか、タッチスクリーンで該当するドアアイコンをタッチします（[「コントロール」](#)）。

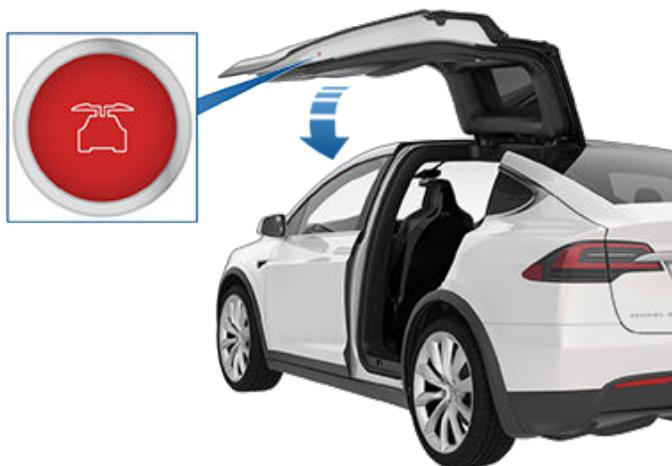
注: ファルコンウィングドアは、Model X が停止しているときにしか開きません。



注: Model X がロックされている場合は、一度スイッチ（上図参照）を使用して対応するドアのロックを解除します。これをもう一度行なうとドアが開きます。

注意: ドアに積雪や氷がある場合は、ファルコンウィングドアを開ける前に取り払ってください。雪が Model X 内部に入り、ドアが開かなくなる恐れがあります。ファルコンウィングドアの上部のガラスに水または雪がたまる状況では、Tesla はタッチスクリーンまたは（外部ドアハンドルまたはキーフォブではなく）ドアピラーのスイッチを使用してファルコンウィングドアをゆっくりと数 cm 開くことが推奨されます。ファルコンウィングドアを最初の数センチをゆっくり開くことで、水や雪が車内に入ることを減らします。

ファルコンウィングドアを閉じるには、ドアの内側にあるボタンを押してください。キーフォブを利用することもできますが（[キーフォブの使用 ページ 20](#) を参照）、ドアピラーにあるスイッチ（上図参照）を使用するか、タッチスクリーンで対応するドアアイコンをタッチすることもできます（[「コントロール」](#)）。



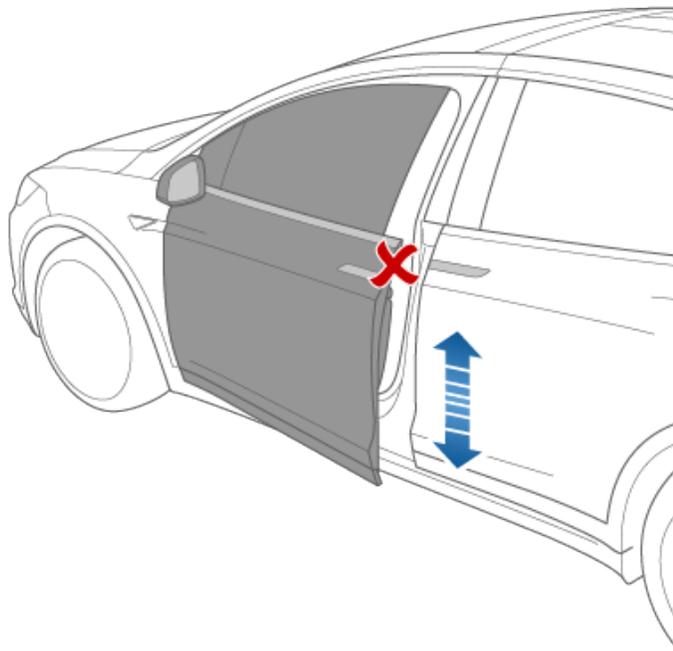
ファルコンウィングドアが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、またはタッチスクリーン上に運転する意図を確認する通知が表示されます。走行速度が 10 mph (16 km/h) に達するとファルコンウィングドアは自動で閉じます。運転する前にドアとトランクが確実に閉じられていることを確認するのはお客様の責任です。

注: お子さまが車内のスイッチを押してファルコンウィングドアを開けてしまわないようにするには、タッチスクリーンでチャイルドロックをオンにします（[「コントロール」](#) > [「車両」](#) > [「チャイルドロック」](#)）。[チャイルドロック ページ 25](#) を参照してください。

注: タッチスクリーンを使用して、Model X のファルコンウィングドアを低い高さ設定で開くように設定することができます（[「コントロール」](#) > [「車両」](#) > [「ファルコンドアの高さ」](#)）。

注: ファルコンウィングドアが閉じる時に障害物を検出すると、数センチ戻って動きを止めます。

警告: 対応するファルコンウィングドアを開閉しようとしているときにフロントドアが開いている場合は常に、フロントドアの開口部から手（あるいは物）を離してください。ファルコンウィングドアが開きかけているフロントドアを通過する際、両ドアの間隔は非常に狭くなります。その部分に置いた手や指などはセンサーに検出されず、ドアとドアの間に挟まれることがあります。ファルコンウィングドアの開閉時には、負傷事故の発生を防止するために、手はフロントドアから常に離しておく習慣をつけてください。



⚠ 警告: ファルコンウィングドアの外側にラップやステッカー、ラバーコーティングなどの粘着性物質を付けると、センサーが物体を認識する性能に悪影響を与えることがあります。

キャリブレーション

ファルコンウィングドアが正しくキャリブレーションされていない場合、タッチスクリーン上に警告が表示されます。ドアのキャリブレーションを行うには、まず両方のドアの周囲に十分な空間があり乗員や物がないことを確認してから、**Calibrate** ボタンをキャリブレーションが終了するまで長押しします。キャリブレーション中、下のドアが完全に開き（Model X の側面に十分な空間が必要です）、上のドアが完全に下がり、下のドアが閉まります。

内部からのロックとアンロック

Model X の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/ロック解除することができます。タッチスクリーンのステータスバーの **ロックアイコン** にタッチします。

停車して Model X パーキングにシフトした時に、ドアをロック解除するか、ロックしたままにするかを選択できます。これを行うには、「**コントロール**」 > 「**車両**」 > 「**パーキング時のロック解除**」の順にタッチします。有効になっていると、パーキングにシフトした時にドアが自動的にロック解除されます。

また、シフトレバー端にあるパーキング ボタンを（パーキングにシフトするために一度を押した後などに）もう一度押して、ドアをロック解除してこともできます。

注: Model X をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、それを閉じたときにロックがかかります。

運転席ドアロック解除モード

キー FOB を携帯して車両に近づく場合、運転席側のドアだけをロック解除するように選択することができます。これを行うには、「**コントロール**」 > 「**車両**」 > 「**運転席のドアロック解除モード**」の順にタッチします。残りのドアのロックを解除するには、タッチスクリーンを使用するか、キー FOB をもう一度押します。

チャイルドロック

Model X お子さまが内部ハンドルを使用してファルコンウィングドアやリフトゲートを開けることがないように、リアドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックをオンまたはオフにします。「**コントロール**」 > 「**車両**」 > 「**チャイルドロック**」の順にタッチします。

注: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

⚠ 注意: 雨天時には、リフトゲートを開く際にファルコンウィングドアを開けたままにしていると、雨水がリフトゲートからリアシート部に侵入します。

⚠ 警告: ファルコンウィングドアの開閉時には、ドアが人や物に触れることがないようにドアの動きを意識することが重要です。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

注: 万が一、Model X に低電圧電力がない場合、タッチスクリーンを使用したり、運転席側のドアピラーにあるスイッチを押したりしても、ファルコンウィングドアを開くことはできません。詳細情報については、**電力がない状態でドアを開く ページ 242** を参照してください。

障害物検出

ファルコンウィングドアは、それがもつ多くのセンサーが物体を検知したとき、あるいはドアが何かに接触したことにより抵抗を感じたときに動きを止めます。タッチスクリーンに警告が表示されます。このような場合は、ファルコンウィングドアの開閉を続行することが適切であれば、ドアピラーにあるスイッチを押したままにしたり、タッチパネル上のドアアイコンをタッチしたままにして、障害検出を無効にすることができます。

Model X が天井の低さを検知すると（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもファルコンウィングドア（およびトランク）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンで対応するドアアイコンにタッチすれば、この高さを無視してドアが開く高さを上げることができます（「**コントロール**」）。タッチスクリーンが、開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ねるメッセージを表示し、その設定を保存します。次回この位置でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

⚠ 警告: デフォルト設定されているファルコンウィングドアの開く高さを変更する前に、ドアの開閉範囲でドアと障害物との間に十分なクリアランスがあることを目視で確認してください。

走行後オートロック

Model X 走行速度が時速 8 km (5 マイル) を超える場合は、必ずすべてのドア (トランクを含む) を自動的にロックします。

降車後オートロック機能

ドアやトランクは、降車後キーフォブを持って車から離れるか、車がキーフォブを検出しなくなると (キーフォブがない、バッテリー切れなど)、自動的にロックされます。

この機能をオンオフするには、「コントロール」 > 「車両」 > 「降車後オートロック」の順にタッチします。

注: 「おもちゃ箱」 > 「ブームボックス」 > 「施錠音」の順にタッチして、車両を外部からロックするときの施錠音をカスタマイズします (歩行者警告システムが必要です)。

自宅として設定した場所に Model X を駐車する際、キーフォブを持って車から離れたときにドアがロックされないようにするには、**自宅を除く**チェックボックスにチェックを入れます。場所を自宅として設定する方法の詳細については、**自宅、勤務先、お気に入りの目的地** ページ 179 を参照してください。

モバイル アプリで Model X をアンロックした場合、すべてのドアを閉じたままであれば短時間の後に自動的にロックされます。屋内駐車場など携帯電話サービス圏外で駐車するときは、接続済みのキーフォブをお持ちください Model X。

降車して、すべてのドアを閉めてから 5 分間、Model X が認証済みのキーフォブを検出すると、降車後オートロック機能は無効になり、キーフォブを持って車両を離れてもロックされません。次に運転するまでは、手動で Model X をロックする必要があります。

さらに、すべてのドアが閉まっているときにキーフォブを使用して Model X のロックを解除すると、「降車後オートロック」機能は 1 分間無効になります。この 1 分以内にドアを開けた場合は、その後すべてのドアが閉まってからキーフォブを持って車から離れるまで、ドアは再びロックされません。

注: 降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

キーフォブが動作しないときのアンロック

Model X に近づいたり、キーフォブのアンロックボタンを押したりしてもロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、キーフォブを使用してアンロックし、Model X を運転することができます。

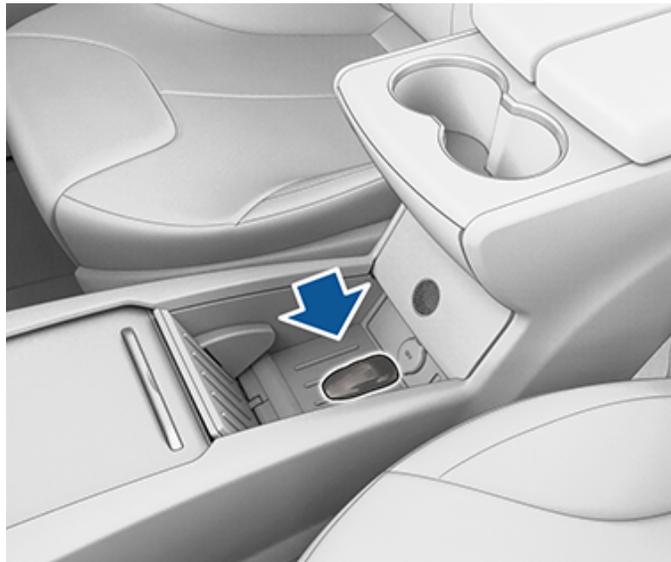
注: キーフォブをまだ使用できても、モバイルアプリを使用して遠隔でアンロックして車両を始動することを考える必要があります。その後都合のよいときに、キーフォブのバッテリーを交換してください。

キーフォブを使用して Model X をアンロックする (同時にセキュリティアラームを無効にする) には、まずキーフォブを車両の運転席側のフロントドアとファルコンウィングドアの間のドアピラー下に置きます。次に、運転席側のドアハンドルを押します。Model X がアンロックされない場合は、キーフォブの位置を調整して再度試してください。車両のロックを解除するには、キーフォブを正しい位置に置く必要があります。まだ Model X をアンロックできない場合は、キーフォブのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。[キーフォブのバッテリーを交換する](#) ページ 21 を参照してください。

注: 以下の図は左ハンドル (LHD) 車両の例です。右ハンドル (RHD) 車両では、反対側の位置になります。



乗車後に Model X を運転するには、キーフォブをセンターコンソールの低電圧電源ソケットの真下に置いてから、ブレーキを踏み込んで Model X を始動させます。



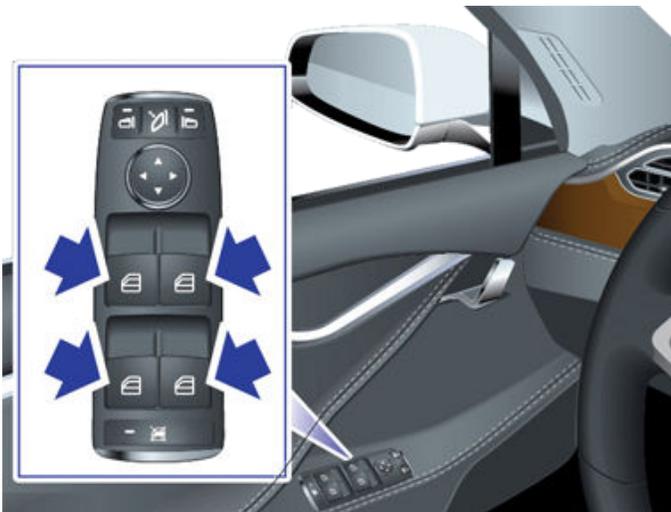
注: 上記の方法で Model X のロックを解除すると、降車後オートロック機能は無効になります。この場合、キーフォブのバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手動で再び有効にする必要があります。

開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には2段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押し、すぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押し、希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押し、すぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、Model X がモバイル アプリに通知を送信できるように設定できます (「コントロール」 > 「車両」 > 「開放ドア放置通知」の順にタッチして、「ドアとウィンドウ」を選択します)。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 174](#) を参照してください。

-  **注意:** ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。
-  **警告:** ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロックスイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。



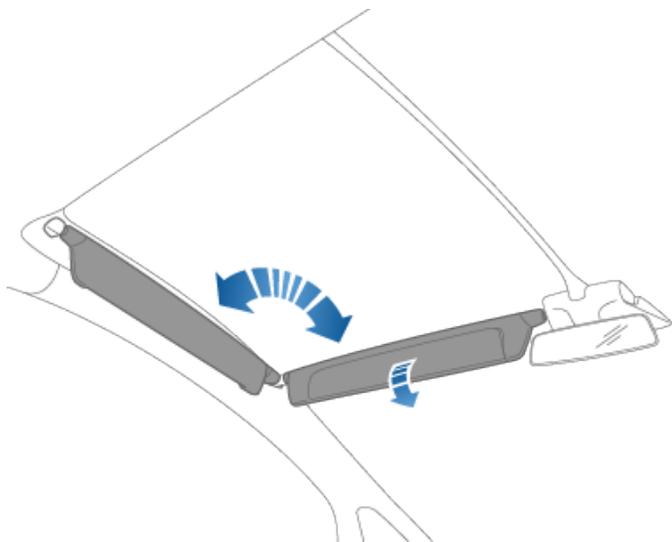
-  **警告:** 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをお勧めします。
-  **警告:** お子さまを付き添いなしで Model X 内に放置しないでください。

UV インデックス評価

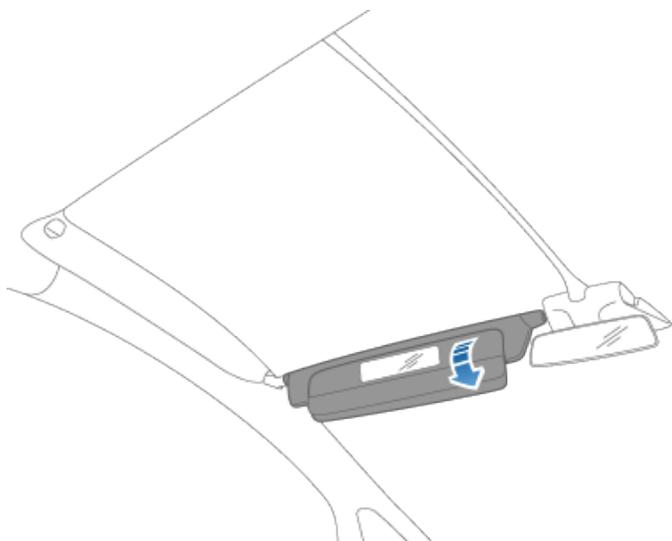
Model X のルーフ、フロントガラスおよび窓は、人を UV 光線 (紫外線) から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は 2 未満の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。

サンバイザー

Model Xのサンバイザーはマグネットで固定されています。フロントガラスから入り込む日差しを遮るには、ピラーからサンバイザーを外しマグネットで固定される位置までバックミラーに向けて回転させます。マグネットで所定の位置に固定されたら、サンバイザー下側のエクステンダーを張り出し日よけを最大にします。



バニティ ミラーを使用するには、バイザー エクステンダーを下げてミラーカバーを下げます。カバーを下げると、ミラーが現れライトが点灯します。



前席にいる人が横の窓から入り込む日差しを遮りたい場合は、ピラーからサンバイザーを下げてバイザー エクステンダーを下げます。

開く

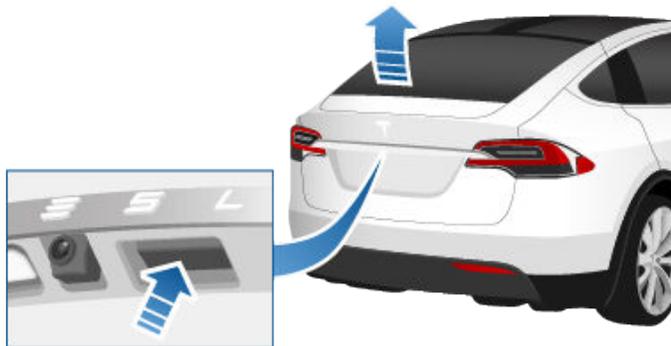
リアトランクを開くには、Model X がパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「トランク」の順にタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのリアトランクボタンをタッチします。
- リフトゲートのエクステリアハンドルの下にあるスイッチを押します（有効なキーが検出されている必要があります）。

注: 「パッシブエントリー」がオフの場合、スイッチを使用してリフトゲートを手動で開けるには、キーフォブで Model X のロックを解除する必要があります。キーフォブの使用ページ 20 を参照してください。

注意: 閉鎖されたエリア（ガレージなど）でリフトゲートを開く前にリフトゲートを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかることがないことを確認してください（リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 29 を参照）。

Model X このスイッチを使用してリフトゲートを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。



ドア、トランクまたはリフトゲートが開いているとき、インストゥルメントパネルには「ドアが開いています」のインジケータライトが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model X の画像でトランクが開いた状態を示します。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーフォブのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、再び動作しますが方向は逆になります（止めた時にほぼ全開または全閉でない場合）。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

注: 緊急時には、リフトゲートを手でつかんでその場で停止させることで、「開く」または「閉じる」コマンドを無効にすることができます。

Model X の電源が全くない状態で、内側からリフトゲートを開ける方法については、トランク内にある緊急トランク リリース ページ 30 を参照してください。

Model X が天井の低さを検知した場合（例:ガレージ内）、他に障害物が無くてリフトゲート（およびファルコンウィングドア）を低めの高さで開きます。この高さは無視して、手動で持ち上げることができます。このときに、この場所で常にこの高さまでトランクを開けたいか選択して、保存するようにタッチスクリーンが求めてきます。保存を選択すると、次回以降はこの場所でリフトゲートを開ける際には、保存された高さまで Model X が開きます。

警告: リフトゲートを開閉する前に、（人や物がないか）周囲を確認してください。リフトゲートで障害物を検知することができますが、必ずすべてのものを検出することができますわけではないため、リフトゲートを開閉するときは、障害物の確認をセンサーだけに頼らないでください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

リフトゲートを開いたときの高さを調節

リフトゲートの開いたときの高さを調節して、楽に手が届くようにしたり、低い天井や物（ガレージドアやライトなど）に当たらないようにすることができます。

1. トランクを開いてから、手動でリフトゲートを任意の高さまで上下させてください。
2. 確認のチャイム音が聞こえるまで、リフトゲートの底面にあるボタンを 3 秒間長押しします。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さが好みの高さであることを確認します。

注意: 構成（車高またはホイール選択）に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 8 フィート（2.5 m）まで開くことができます。リフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

リアトランク

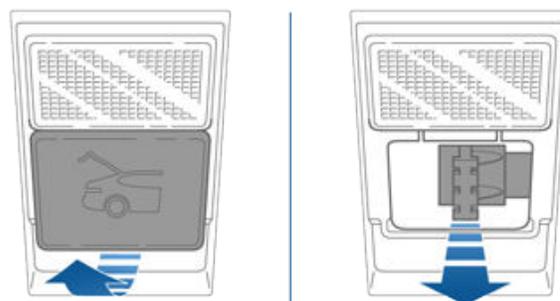
- ・「コントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- ・キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- ・下側にあるスイッチを押します リフトゲート

リフトゲートを閉じているときに障害物が検出されると、動作が止まり、チャイムが2回鳴ります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。

貨物エリアへのアクセス

Model X を走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの下部に置くようにしてください。

リアトランク内の貨物エリアにアクセスするには、カーゴカバーハンドルの膨らんだ部分を押し下げてから引き上げてください。これで、カーゴカバーの位置を調整したり、カーゴカバーを完全に取り外したりすることが可能になります。



1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リアトランクを押して開きます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。

警告: お子さまをトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子さまにシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動していない場合、お子さまが車両に閉じ込められると熱中症にかかり、または死亡に至るおそれがあります。

リアトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

注意: リアトランクの上部コンパートメントに 176 ポンド (80 kg) を超える積載をしたり、下部コンパートメントに 285 ポンド (130 kg) を超える積載をしないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の車両総重量 (GVWR) を考慮してください (仕様 ページ 222 を参照)。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

トランク内にある緊急トランク リリース

Model X の電力が失われた場合、リアトランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。

開く

フロントトランクを開くには、Model X を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「フロントトランク」の順にタッチします。
- キーフォブのフロントトランク ボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのフロントトランク ボタンにタッチします。



ドアまたはトランク/リフトゲートが開いているとき、インストゥルメントパネルに「ドアが開いています」のインジケータライトが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model X の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。

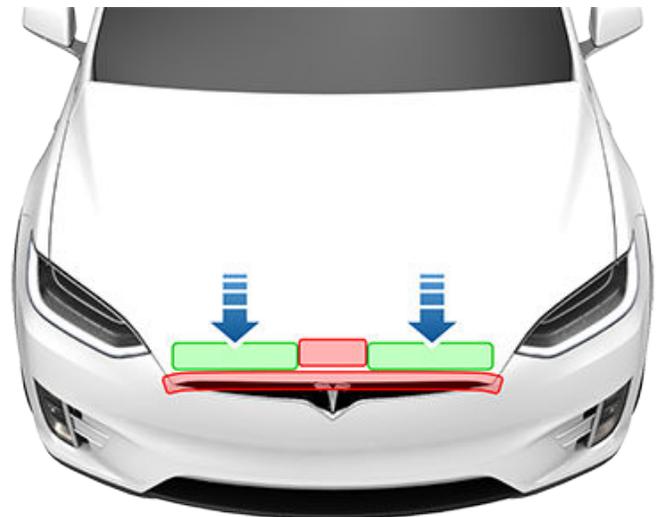
警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物(人や物)がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model X ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
2. ここで示すように(緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください(キー)。宝飾品もスクラッチの原因になります。

警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。

ファルコンウィング ドアまたはフロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、タッチスクリーン上に運転する意思を確認する通知が表示されません。加速を開始すると、ファルコンウィング ドアのドアが自動的に閉じる場合があります。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイルアプリを使用して Model X をロックした場合。
- キーを携帯して Model X から離れた場合(降車後オートロック機能 ページ 26 はオン状態)。
- バレーモードが有効な場合(バレーモード ページ 90 を参照)。

フロントトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

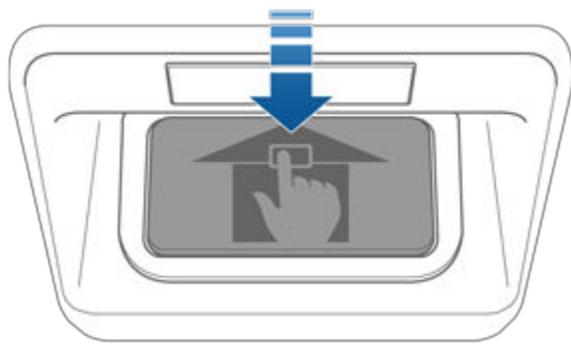
フロントトランク

⚠ 注意: フロントトランクには絶対に 300 ポンド (136 kg) を超える荷物を積まないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

⚠ 警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の車両総重量 (GVWR) を考慮してください (仕様 ページ 222 を参照)。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。



内部解除ボタンを押して、フロントトランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリース ボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

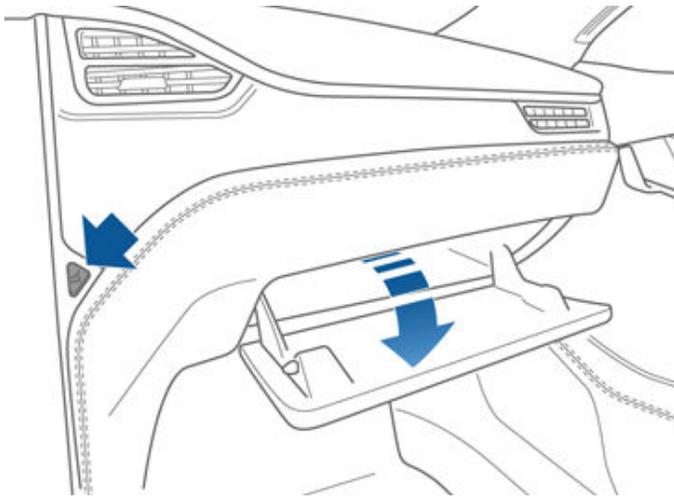
⚠ 警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。

⚠ 警告: フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。キーまたは降車後オートロック機能で Model X を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model X がバレーモードにある時もロックされます (バレーモード ページ 90 を参照)。タッチスクリーンのステータスバーにあるロックアイコンを使用して Model X をロックしたときには、ロックされません。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、「コントロール」 > 「安全」 > 「グローブボックス PIN」にタッチして4桁のPINを設定します (グローブボックス PIN ページ 160 参照)。

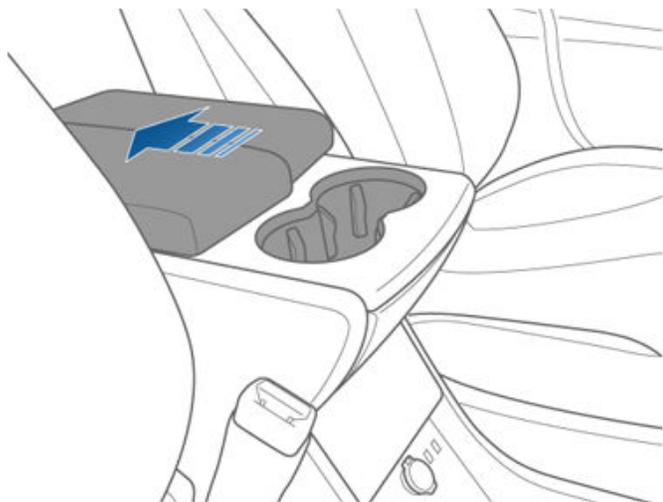


注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

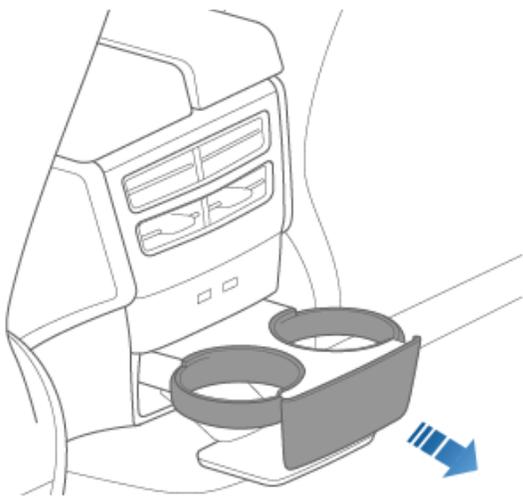
警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

カップホルダー

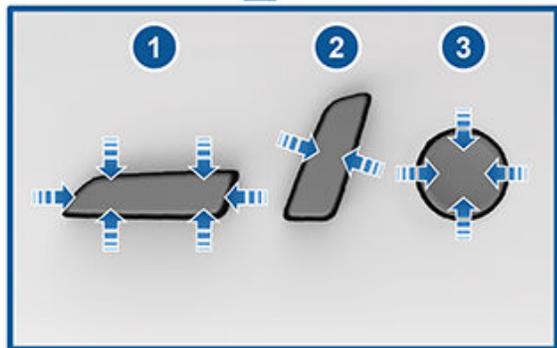
フロント カップホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。



リアカップホルダーを出すには（装備されている場合）、センターコンソール後部にあるカップホルダーのフェイスプレートを押し離します。



フロントシートの調整



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバーサポートを調整します。

-  **警告:** フロントシートを調整する前に、シートの周りに何も無いことを確認してください（人や荷物など）。
-  **警告:** 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

-  **警告:** 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30°未満にしてください。

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。



シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 10 インチ（25cm）以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model X シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しができません。

2 列目シートのモノポスト調整

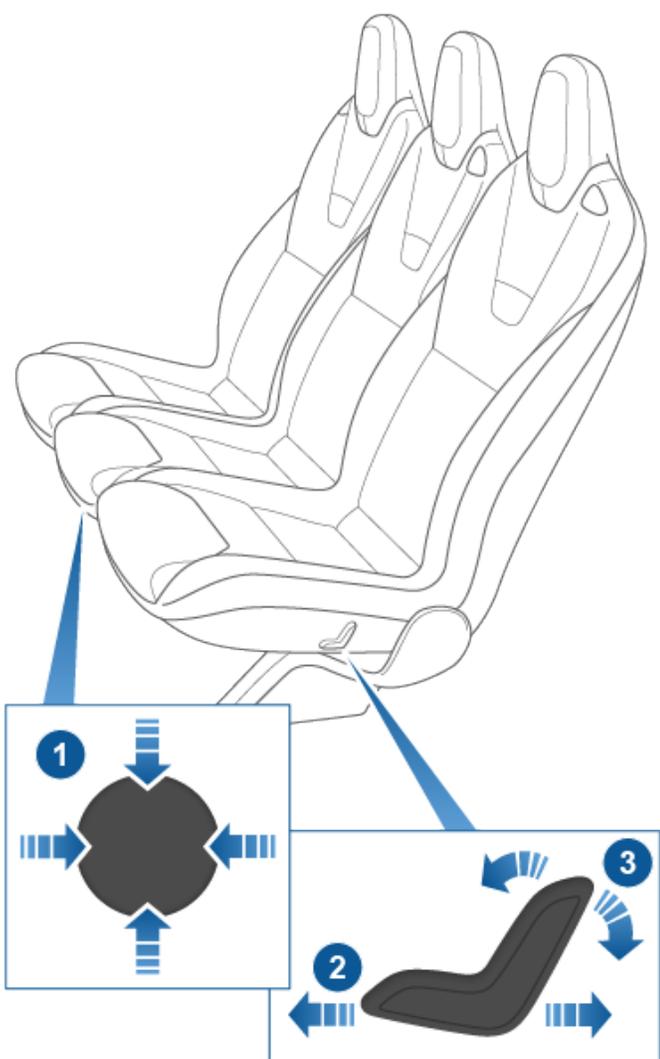
購入時に選択されたオプションにより、モノポストシートが装備された Model X なら 2 列目に 2 人または 3 人の人が座ることができます。これらのシートの位置の調整には 2 つの方法があります。

T フロントおよびリアシート

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「シート」の順にタッチします。調整したいシートに対応するアイコンを長押しします。白いアイコンはシートを動かせる方向を示し、グレーのアイコンはその方向にはそれ以上シートを動かさないことを示します。

注: 2列目シートを前方に動かせるように、フロントシートを少し前に移動することができます。

- 以下のイラストにあるように手動調整を使用します。シートを前後に移動させるだけでなく、手動のシート位置調整では背もたれの調整も可能です。外側シートのコントロールボタンはL字型をしており、中央のシートのコントロールボタンは円形ですが、両方とも同じ機能を提供します。



1. シートを前後に動かし（コントロールを上下に操作）、背もたれの位置を調整（コントロールを左右に操作）します。
2. シートを前後に移動させる。
3. バックレストを調整する。

注: バックレストは、レバーを離れたときの位置にロックされません。走行用ギアにシフトしたときにバックレストがロックされていないと、インストールメントパネルが警報を表示します。バックレストを調整し直して、ロックされていることを確認します。

警告: 運転前に、座席が正しい位置にロックされていることを確認してください。座席を前/後ろに引いて、しっかりカチッと留める必要があります。

2列目シートバックの調整（ベンチシート）

Model Xが2列の座席仕様の場合、2列目のベンチシートは最大3名を乗せることができます。各シート外側にある機械式調整レバーを使用して、シートバックを調整します。ベンチシートは6対4に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げている間に背もたれを任意の位置に動かしたらレバーを離します。シートを直立の状態に戻した時は、シートを前方または後方に動かしてラッチがかかっていることを確認します。



警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを30°未満にしてください。

2列目シートバックを折りたたむ（ベンチシート）

2列目シートのベンチシートのシートバックを前方に完全に折りたたんでフラットにすれば積載スペースを最大にすることができます。各シート外側にある機械式調整レバー（シートをリクライニングする時と同じ上記のレバー）を引き上げ、シートを前方に引き出します。ベンチシートは6対4に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートバックをたたみます。右側のレバーは右側のシートバックのみをたたみます。



注: シートを完全に折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。シートバックを前に折りたたんでフラットにするには、フロントシートの前方への移動が必要になる場合があります。

注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

2 列目ベンチシートを動かす

注: 7 シーター仕様車に使用されるベンチシートのみ前後に動かすことができます。5 シーター仕様車のベンチシートは動かすことはできません。

各シート外側にある機械式調整レバーを使用して 2 列目シートを前後に動かします。ベンチシートは 6 対 4 に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げたまま、シートを前後させます。シートが任意の位置に来たらレバーを離します。



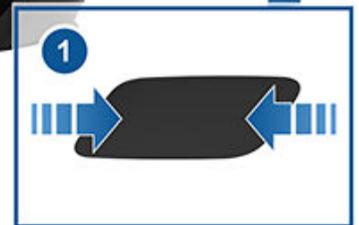
注: ベンチシートの位置は機械式レバーのみで調整することができます。タッチスクリーンでベンチシートを調整することはできません。

3 列目シートに乗車する（装備の場合） - モノポストシート

2 列目窓側モノポスト シートのバックレストにあるボタンです。このボタンで、3 列目シートの乗り降りがしやすくなっています。「コントロール」 > 「シート」 > 「イージーエントリー」をタッチして、このボタンの機能を選択することができます。

- **ON** - イージーエントリー ボタンを一回押して、窓側シートを完全に前傾、中央シートは部分的に前傾させます。
- **OFF** - オフになっているときにチャイルドシートを 2 列目に取り付けている場合、2 列目シートを動かすときにイージーエントリーボタンを押し続ける必要があります。

3 列目のイージーエントリーボタンを使用して 3 列目に乗車したら、ボタンをもう一度押してシートを元の位置に戻します。



警告: 3 列目のある車両では、お子さまが 2 列目に座っているときに、2 列目の窓側シートのバックレストにある 3 列目エントリーボタンを使用しないでください。ボタンを使用すると、シートが前方に動いて傾き、乗員が圧迫されてしまう可能性があります。このボタンを使用するときは、空席の確認を Model X に任せきりにしないでください。このボタンは、2 列目シートに乗員がいないときのみ使用してください。

3 列目のイージーエントリーボタン用ガイドライン:

- イージーエントリーの作動中、2 列目シートにぶつかる位置にフロントシートがある場合、2 列目シートを前方に移動させるのに十分なだけフロントシートが自動的に前方に移動します。
- 2 列目シートが前方へ移動中に、乗員が調整しようとするとき、その動きが止まります。
- 窓側のシートをイージーエントリーのために前に傾けたとき、そのバックレストは中立位置にリセットされますので、快適な位置まで再度調整する必要があります。

警告: 2 列目に乗員がいないときに限り、3 列目のイージーエントリーボタンを使用して 3 列目に乗車してください。このボタンを使用するときは、空席の確認を Model X に任せきりにしないでください。

警告: 走行前に、必ずシートが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

T フロントおよびリアシート

3列目シートに乗車する（装備の場合） - ベンチシート

2列目窓側ベンチシートのバックレストにあるボタンです。このボタンで、3列目シートの乗り降りがしやすくなっています。左外側シートのイージーエントリーボタンを押して離すと、左側シートと中央のシートが前方に傾き移動します。右外側シートのイージーエントリーボタンを押して離すと、右側シートが前方に傾き移動します。



1. ヘッド拘束装置を前にたたみます。
2. シートバックを前方にたたみます。

シートの位置を高くするには、シートの外側上隅にあるボタンを押したまま、シートが固定される位置までシートを後ろ上方へ引きます。シートバックを前側に引っ張り、直立位置でロックされていることを確認します。

注: 3列目シートを折りたたむ前に、シートや足元スペースから物を取り除いてください。シートバックをフラットにするには、2列目シートを前方へ移動させる必要がある場合があります。

注: 3列目シートを前に折りたたんで走行すると、雑音が出たり、車両後部（トランク、サスペンションなど）から振動が発生したりする場合があります。

注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

警告: 走行前に、必ずシートバックが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

警告: 3列目のある車両では、お子さまを2列目に乗せているときに、2列目の窓際のベンチシートのバックレストにあるイージーエントリーボタンを使用しないでください。ボタンを使用すると、左側/中央一体型シートが前方に動いて傾き、乗員が圧迫されてしまう可能性があります。このボタンは、2列目シートに乗員がいないときのみ使用してください。運転前に、シートやシート背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。

傾斜地に駐車したときや、シートトリムがベンチシートの動きに影響を与えるときなど、イージーエントリーボタンを押してもベンチシートが完全に前まで動かないことがあります。その場合は、トラックの端に達するまでゆっくりとシートを押ししてください。

警告: 3列目エントリーボタンを使用して3列目シートに乗車した後、ベンチシートを座席位置に戻したら、シートを前後にゆずってラッチがしっかりかかっていることを確認します。これを怠ると怪我をする危険が増します。

警告: 運転前に、所定の位置で座席を完全に留めてください。「カチッ」と所定の位置に座席が留まるまで、座席を押し引きしてください。

3列目シートのシートバックを折りたたんで引き上げる（装備されている場合）

3列目シートを折りたたむには、シートの外側上部のかどにあるボタンを押します。ボタンには2つの戻り止めがついていません。

シートヒーター

フロントシートは、3（強）から1（弱）の3つのレベルで動作します。シートヒーターの操作方法については、[空調を操作するページ 168](#)を参照してください。

Model Xに寒冷地用パッケージが搭載されている場合、タッチスクリーン上の空調コントロールをタッチして、全てのリアシートのシートヒーター、ならびにワイパーデフロスターおよびウォッシャーノズルを操作することもできます。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。



シートカバー

⚠ 警告: シート搭載エアバッグを装備した座席（エアバッグの位置 ページ 51 を参照）にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席用フロントエアバッグの状態を判断するために使用される乗員感知システムが装備されている場合、シートカバーがこのシステムの妨げになることがあります。

シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、3点式イナーシャリールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるように自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを安全に固定するために、すべての乗員シート位置には自動ロック式リトラクター（ALR）機能が装備されており、一般的な成人の乗員に必要な長さを超えてシートベルトをすべて引き出すと、バックルが解除されるまでベルトを所定の位置で固定します（シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 44 を参照）。

シートベルトリールは、Model X が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的に締め付けられてロックします。

シートベルト リマインダー



インストゥルメントパネル上のシートベルトリマインダーは、運転席または助手席に座る人のシートベルトが外された場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダー ライトが点灯したままになっている場合は、サービスを予約し、問題が解決するまでシートの使用を控えてください。

警告: シートベルトは、座席にいるすべての大人の乗員が着用する必要があります。

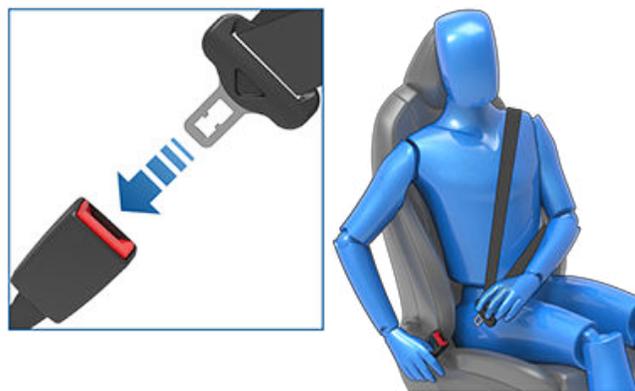
注: 法令で後部座席にシートベルトリマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。運転席シートの正しい位置の詳細については、（正しい運転位置 ページ 35 を参照）を参照してください。
2. シートベルトをスムーズに引き出して、シートベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。シートベルトが正しく取り回され、ねじれていないことを確認します。シートベルトまたはシートベルトコンポーネントの上には絶対に座らないでください。

警告: シートベルトがねじれていたり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

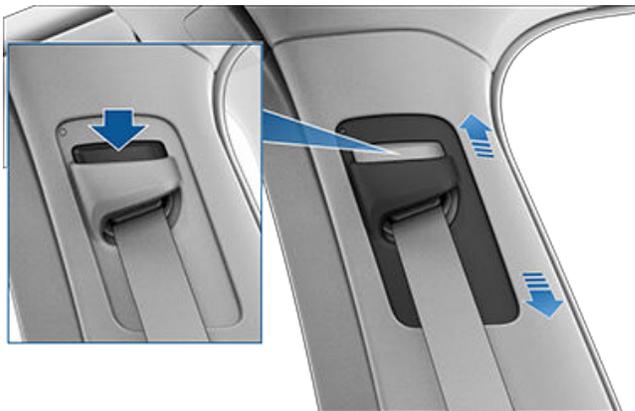


4. シートベルトを引いて、安全に固定されたことを確認します。
5. シートベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model X には各フロントシートに調節可能なショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（正しい運転位置 ページ 35 参照）にあるときは鎖骨の中間点を横切って平らになるように作られています。シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダー アンカーの高さを調整します。

1. ショルダー アンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押したまま、必要に応じてショルダー アンカーを上下に動かして、シートベルトを正しく配置します。



3. ショルダー アンカーのボタンを放して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトのベルト部分を引っ張り、ショルダー アンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

⚠ 警告: 運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダーアンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダーアンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを外すには

シートベルトが急に巻き込まれないようにバックル近くのシートベルトを持ち、バックルのボタンを押すとシートベルトが自動的に巻き込まれます。シートベルトが完全に巻き込まれるのを妨げる障害物がないことを確認します。シートベルトが緩んでぶら下がった状態にならないようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



⚠ 警告: シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。

⚠ 警告: 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロントシートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアッパーショルダーウェビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方向への移動を減少させます。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったことを意味します。

2列目の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダープリテンショナーが装備されています。

⚠ 警告: プリテンショナーアセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルトシステムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで以下の点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きます。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
3. シートベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗や損傷がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。

シートベルト

4. ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きまわります。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルト ページ 213](#) を参照してください。

シートベルトに関する警告

-  **警告:** シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付けの際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
-  **警告:** すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。
-  **警告:** シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。
-  **警告:** ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
-  **警告:** ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
-  **警告:** シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
-  **警告:** 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla または認定修理施設に点検または交換を依頼してください。
-  **警告:** シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。
-  **警告:** シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗剤等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。
-  **警告:** シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。
-  **警告:** シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
-  **警告:** シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。

 **警告:** シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

 **警告:** シートベルト システムにはユーザーが整備することができる部品はなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。



お子様を乗せるときのガイドライン

Model X シートベルトは大人や大柄なお子様向けに設計されています。乳幼児または小さなお子さまを固定するのは後列シートだけにしてください。また、お子さまの年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートを使用してください。

チャイルドシートは絶対に助手席で使用しないでください。

- 警告:** チャイルドシートを使用した場合であっても、お子さまを助手席には座らせないでください。
- 警告:** 「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートでチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。
- 警告:** 3列目シートのある車両で、お子さまが2列目のモノポストシートに座っているときには、3列目に楽に乗り降りするために2列目の窓際シートを前に動かすボタンの設定を「オフ」にする必要があります（「コントロール」 > 「シート」 > 「イージーエントリー」の順にタッチ）。このため、2列目の座席に座っているお子さまがその前の座席に押されるのを防ぎながら、必ず手でボタンを長押ししてシートを動かす必要があります。

サンバイザーにある次のラベルをお読みください。

注: 以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。



Model X は、助手席に乗員センサーを備え、助手席フロントエアバッグをコントロールしています（エアバッグ ページ 51 参照）。

PASSENGER AIRBAG OFF 助手席フロントエアバッグが OFF の場合、助手席エアバッグ OFF インジケータがタッチスクリーンに表示されます。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケータは、座席に乗員がいないときでも表示されます。お子さまを助手席に乗せて運転する前に、助手席フロントエアバッグの状態がオフになっていることを必ずチェックしてください。

注: 2019 年 12 月ごろより前に製造された車では、助手席に人が座っていない場合、助手席エアバッグ OFF インジケータは表示されません。

PASSENGER AIRBAG ON 助手席に乗る大人を安全に守るために、忘れずにフロント助手席のエアバッグをオンに戻してください。

- 警告:** 走行前に、必ずすべての Model X シートが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。タッチスクリーンに表示されているすべての警告に注意を払ってください。
- 警告:** 2列目シートにお子さまが座っているときに、ドライバーズプロフィールでイージーエントリーを設定しないでください。特に、お子さまが前向きのチャイルドシートやブースターシートに座っているときにその設定になっていると、運転席シートがお子さまを圧迫してしまう恐れがあります。この設定を使用しているときに、Model X に頼って2列目シートに着座しているお子さまの確認および適応を行わないでください（ドライバープロフィール ページ 89 を参照）。

チャイルドシートを選ぶ

12 歳以下のお子さまは、2 列目、3 列目座席をご利用ください。常に、小さなお子さまの年齢と体重に合ったチャイルドシートをご利用ください。以下の表は、米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）が判断したチャイルドシートの推奨に基づいたものです（詳細情報については、www.nhtsa.gov/equipment/car-seats-and-booster-seats を参照してください）。

	乳幼児	幼児	小さなお子さま
年齢	1 歳未満*	1 歳以上*	4 歳以上で身長 145 cm 未満

チャイルドシート

	乳幼児	幼児	小さなお子さま
重量	20 ポンド (9 kg) 未満**	20 ポンド(9 kg)以上、40 ポンド(18 kg) 未満*	40 ポンド (18 kg) 以上
チャイルドシートの種類	後ろ向き (または前後回転式)	前向き (または前後回転式)*	シートベルト保持式ブースターシート
座席位置	後ろ向きのみ*	前向き*	前向き
推奨取り付け方法	お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)までであれば、LATCH**(下側のアンカーのみ)、またはシートベルトだけを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)を超えるようであれば、シートベルトだけを使用して取り付けてください。***	お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)までであれば、LATCH** (下側アンカーとトップテザー用アンカー)、またはシートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が 65 ポンド(29.5 kg)を超えるようであれば、シートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***	ロア ラッチ アンカー (利用可能な場合) を使用してブースターシートを固定し、お子さまをシートベルトで固定します。ブースターシートにラッチアンカーが装備されていない場合は、お子さまの座っている状態のブースターシートをシートベルトで固定してください。ただし、お子さまとブースターシートの合計重量が 65 lb (29 kg) を超える場合は、お子さまの座っている状態のブースターシートをシートベルトだけで固定してください。

* 最近のチャイルドシートの多くは、それに装着されている 5 点式ハーネスを使って長期間後ろ向きで利用できますが、指定の身長と体重制限の範囲内であることが条件です。お子さまはできる限り、後ろ向きにお乗せください。チャイルドシートメーカーの指示書をよく読み、慎重に、指示にもれなく従ってください。

** LATCH (「Lower Anchors and Tethers for Children、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの国際規格」) および ISOFIX は、乗用車両にチャイルドシートを取り付ける方法に関する国際標準規格です。対応するチャイルドシートを迅速にかつ安全に固定することができるようにするものです。システムには、カナダの LUAS (「Lower Universal Anchorage System、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの規格」) や Canfix など、他の地域名が入っています。「ユニバーサルチャイルドシート」または UCSSS とも呼ばれています。

*** チャイルドシートメーカーの指示によります。

注: チャイルドシートを取り付けている場合も、シートベルト警告チャイムを鳴らさないようにするにはシートベルトをバックルに挿入する必要があります。

警告: 子供を車両に乗せて移動する際の方法と乗車位置を規制する法律は変更される場合があります。* Model X を運転する地域における最新の規則を把握し、それに従うことは運転者の責任です。米国各州における子供を同乗させるときの安全に関する法律については、http://www.ghsa.org/html/stateinfo/laws/childsafety_laws.html を参照してください。

警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 65 ポンド (29.5 kg) を超える場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースターシートに、LATCH アンカーを使用しないでください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。ブースターシートを固定する際は必ず、メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します (シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 44 を参照)。
- LATCH で取り付ける - これらのシートは、装備されていれば車両の 3 列目シート窓側に組み込まれたアンカーバーに取り付けます (LATCH チャイルドシートの取り付け (3 列目) ページ 47 を参照)。

チャイルドシートを取り付ける

2 列目シート

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します (シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 44 を参照)。
- LATCH で取り付ける - これらのシートは車両の 2 列目シート窓側に組み込まれたアンカーバーに取り付けます (LATCH チャイルドシートの取り付け (2 列目) ページ 45 を参照)。

3 列目シート

チャイルドシート製造元の取扱説明書およびこのオーナーズマニュアルの表を確認して、取り付け方法を判断してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地の服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトが一般的な成人に必要な長さ以上に引っ張られて完全に引き出されると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されストラップが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。拘束機能付きのチャイルドシートを取り付ける際は、ストラップが完全に伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

年長のお子さまを車両のシートベルトでブースターシートに直接拘束する場合、自動ロック式巻き取り装置（ALR）機能は使用しません。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

1. チャイルドシートを Model X の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model X の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
3. すべてのたるみが取り除かれたら、シートベルト ウェビングを強く引っ張って、オートロックキングリトラクター（ALR）が作動することを確認します。

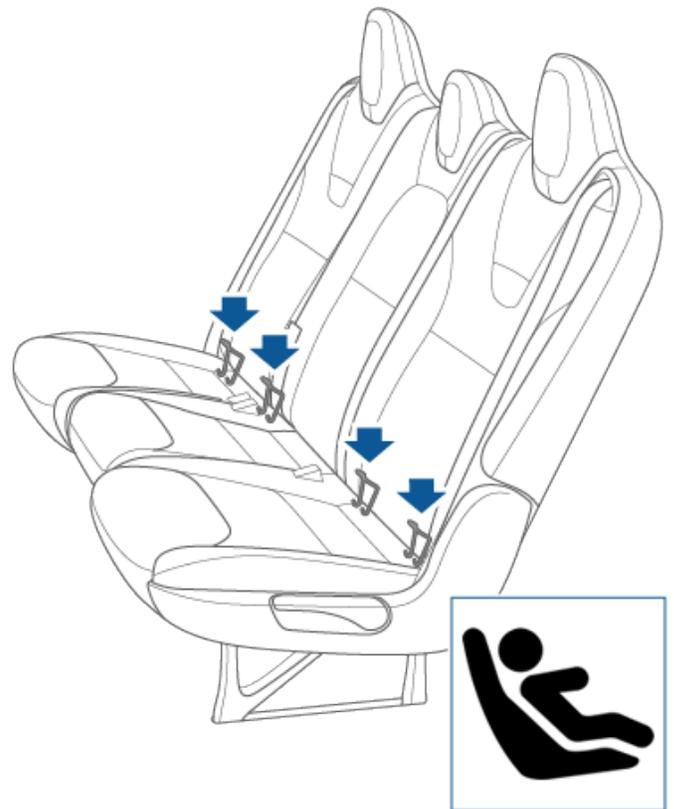
注: ALR は、バックルを解除し、シートベルト ウェビングを完全に引き込んでいない限り、解除されません。解除後は、ベルトを完全に伸ばして、ロック機構を再度噛み合わせるようにする必要があります。

4. シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます（トップテザーストラップを取り付けるページ 48 を参照）。

LATCH チャイルドシートの取り付け（2列目）

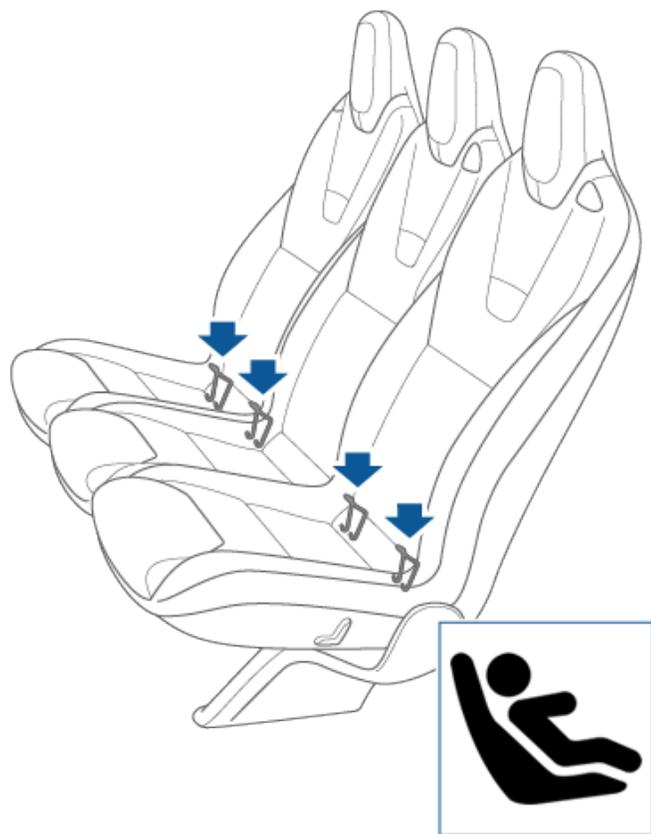
2列目シート（および装備されている場合、3列目シート）にはロア LATCH アンカーがあります。アンカーはシートのリアバックレストと下側クッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

ベンチシート



モノポストシート

T チャイルドシート



注: 大型の後ろ向き LATCH チャイルドシートを取り付けるには、シートを最後部位置に動かして、その前のフロントシートをシートレールの中間位置（最後部位置から 13cm 前側）に移動させ、シートの高さを上げます（最も低い位置から 3cm）。シート背もたれを 15 度（または最も前方の位置から後方に 10 度）に角度を付けます。

⚠ 警告: 2 列目にお子さまが座っているときに、ドライバープロフィールで **イージーエントリー** を設定しないでください。特に、お子さまが前向きのチャイルドシートやブースターシートに座っているときにその設定になっていると、運転席シートがお子さまを圧迫してしまう恐れがあります。この設定を使用するとき、お子さまを 2 列目に座らせる認識を Model X のみに頼らないでください。（ドライバープロフィール ページ 89 を参照）。

2 列目は窓際座席の位置にだけ LATCH チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

注: Model X の 2 列目が 2 座席の場合、いずれのシートも LATCH チャイルドシートに対応しています。

注: 2 列目の窓際座席は、トップテザーストラップの使用に対応しています（トップテザーストラップを取り付ける ページ 48 参照）。

⚠ 警告: 2 列目にチャイルドシートを取り付けて運転する前には、タッチスクリーンやインストゥルメントパネル上に「シートロック解除」の警告が表示されないことを確認してください。この警告は、シートが安全にロックされる位置まで戻っていないため、シートに安全に乗車できない状態であることを示しています。タッチスクリーンやインストゥルメントパネルに警告メッセージが表示される場合、しっかりとシートがロックされ、メッセージが表示されなくなるまで、シートやバックレストをわずかに前方/後方へ動かします。

モノポストシート



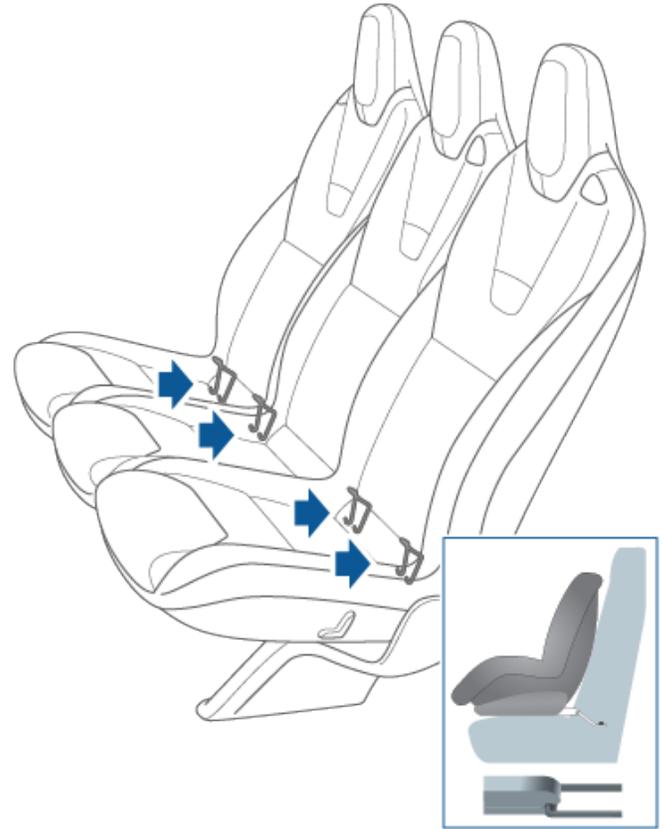
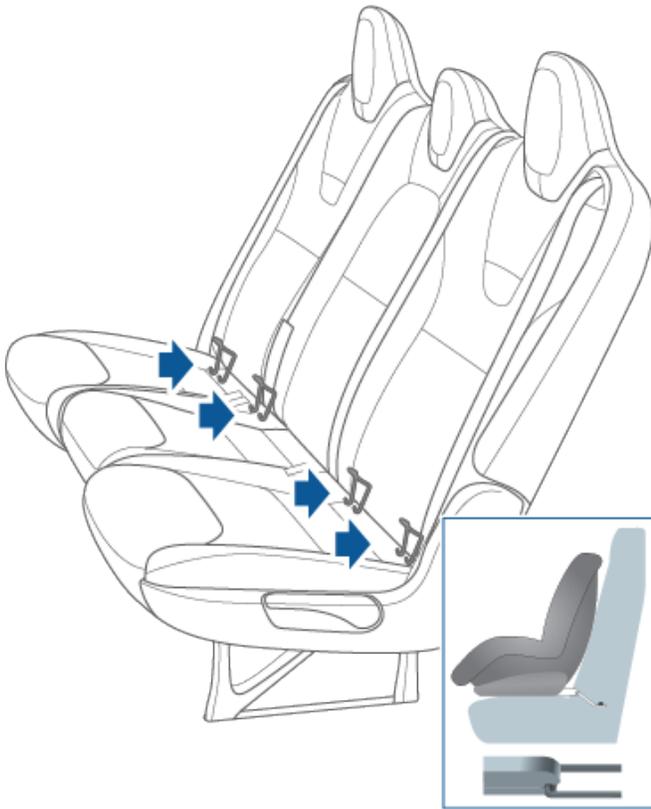
注: 大型の後ろ向き LATCH チャイルドシートを取り付けるには、シートを最後部位置に動かして、その前のフロントシートをシートレールの中間位置（最後部位置から 13cm 前側）に移動させ、シートの高さを上げます（最も低い位置から 3cm）。シート背もたれを 15 度（または最も前方の位置から後方に 10 度）に角度を付けます。

ベンチシート

警告: 3列目シートのある車両で、お子さまが2列目のモノポストシートに座っているときには、3列目に楽に乗り降りするために2列目の窓際シートを前に動かすボタンの設定を「オフ」にする必要があります（「コントロール」>「シート」>「イーゼーエントリー」の順にタッチ）。このため、2列目の座席に座っているお子さまがその前の座席に押されるのを防ぎながら、必ず手動でボタンを長押ししてシートを動かす必要があります。

LATCH チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバーの上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

ベンチシート



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。

注: お子さまの体重とチャイルドシートの重さの合計が65ポンド（29.5 kg）を超える状況では、下側のLATCHアンカーをチャイルドシートまたはシートベルト一体型のブースターシートに使用しないでください。この場合は、代わりに安全ベルトを使用してください。

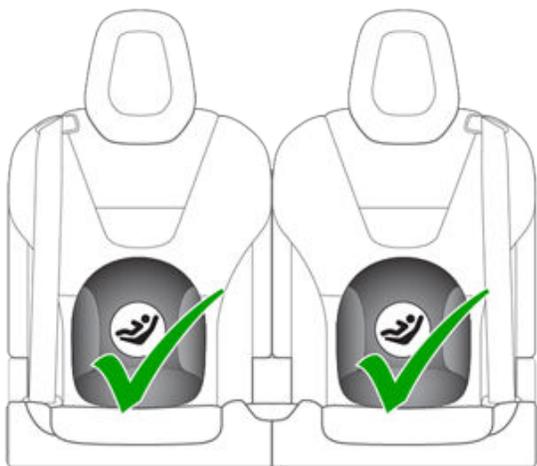
LATCH チャイルドシートの取り付け（3列目）

チャイルドシート識別ボタン付きのシートはLATCHと互換性があります。

モノポストシート



チャイルドシート



3列目シートにはロア LATCH アンカーがあります。アンカーはシートのリアバックレストと下側クッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、チャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

取り付ける際は、チャイルドシートの製造元が提供する取扱説明書を注意深く読んでその指示に従ってください。取扱説明書には、所定位置で「カチッ」とはまる音と感触がするまでチャイルドシートを座席アンカーバーにスライドさせる方法が記載されています。チャイルドシートをシートの背もたれにしっかりと押し付け、適切に調整した、ぴったりと収まるようにする必要があります。



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。チャイルドシートが座席から動いて離れるようだと、両方のラッチがシートのアンカーバーにしっかりと取り付けられていません。再度取り付けて、もう一度やり直してください。チャイルドシートのあるラッチの両方が完全に取り付けられていることを必ず確認してください。

注: お子さまの体重とチャイルドシートの重さの合計が 65 ポンド (29.5 kg) を超える状況では、下側の LATCH アンカーをチャイルドシートまたはシートベルト一体型のブースターシートに使用しないでください。この場合は、代わりに安全ベルトを使用してください。

トップテザーストラップを取り付ける

トップテザーストラップがある場合は、そのフックを 2 列目、3 列目座席の背面にあるアンカーポイントに取り付けます。

注: アンカーの位置はすぐに目の付くところがないため、シート布地の切れ目を探してください。

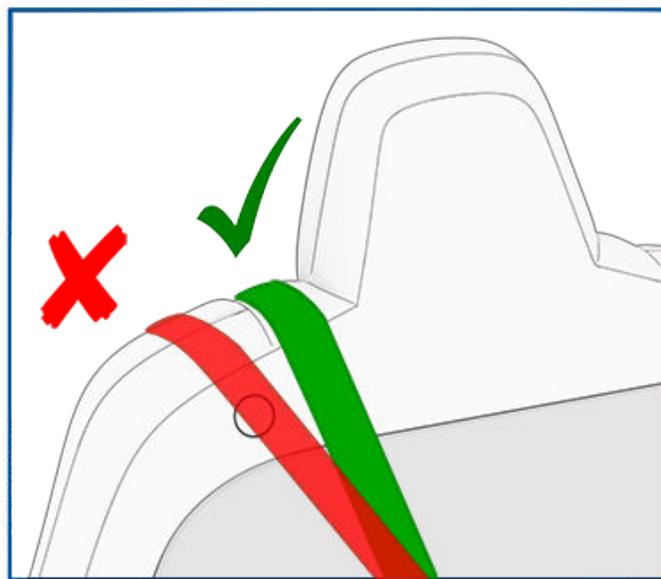
⚠ 警告: チャイルドシートの製造元の説明書に従い、トップテザーストラップを締め付けてください。

⚠ 警告: シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

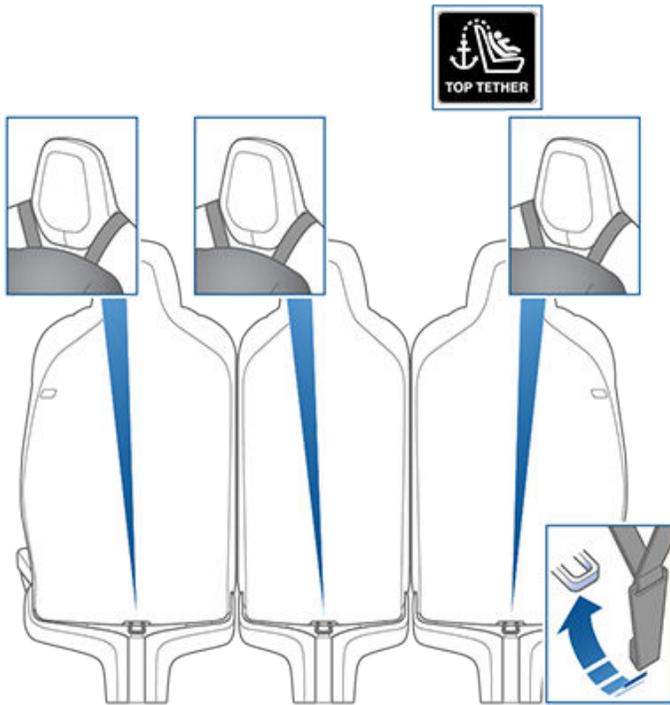
デュアルストラップテザーでは、ヘッド拘束装置の両脇にストラップを通します。

注: Model X に 6 シート インテリアがオプションで搭載されている場合、2 列目の中央シート位置は利用できません。

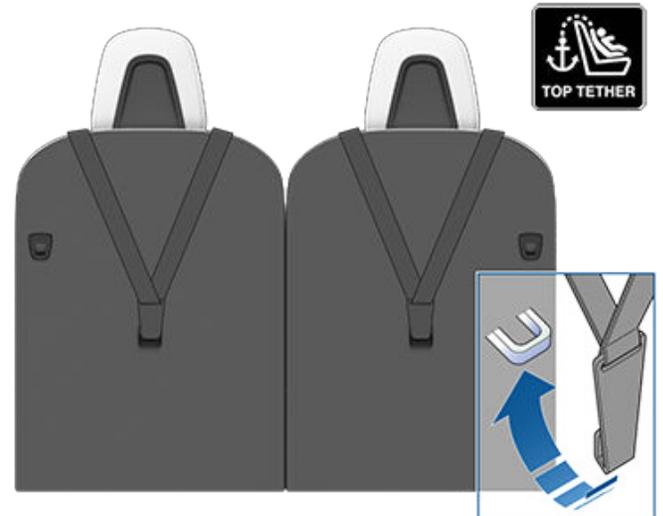
⚠ 警告: テザーストラップを巻き付けるとき、以下の図のようにヘッドレストにストラップをきつく巻き付けてください。3 列目シートのある Model X では、テザーストラップでシートの後方肩部にある 3 列目用イーゼントリボタンが隠れないようにしてください。



デュアルストラップ-2列目モノポストシート

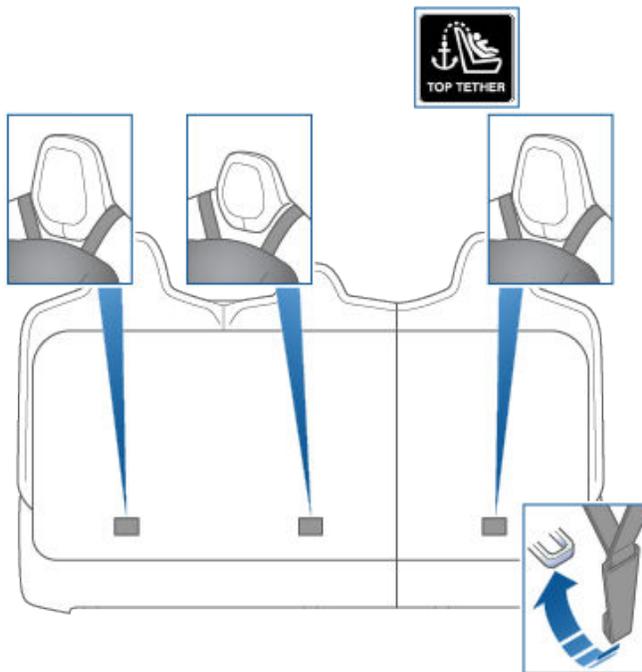


デュアルストラップ-2列目ベンチシート

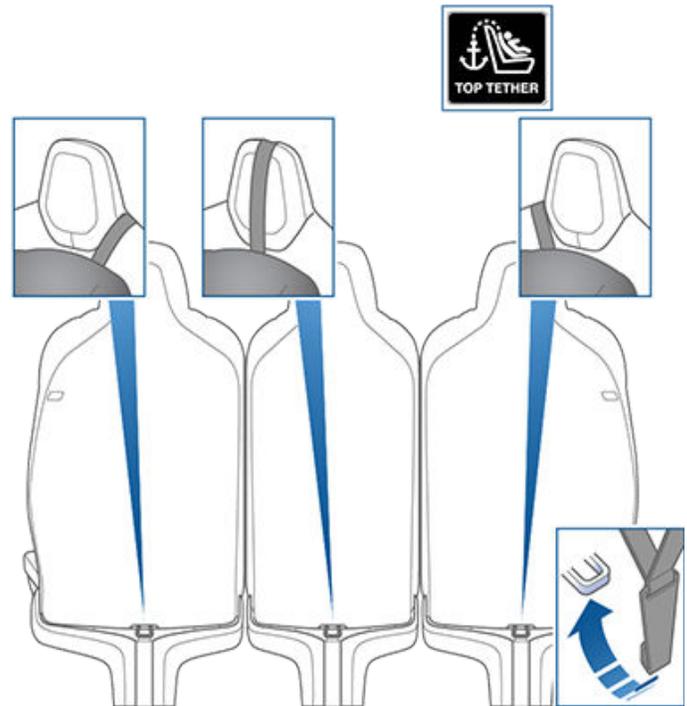


シングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドレストの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）から着座位置の外側に通します。中央の着座位置で（装着されている場合）、ストラップはヘッドレスト上部の上から中央に置きます。

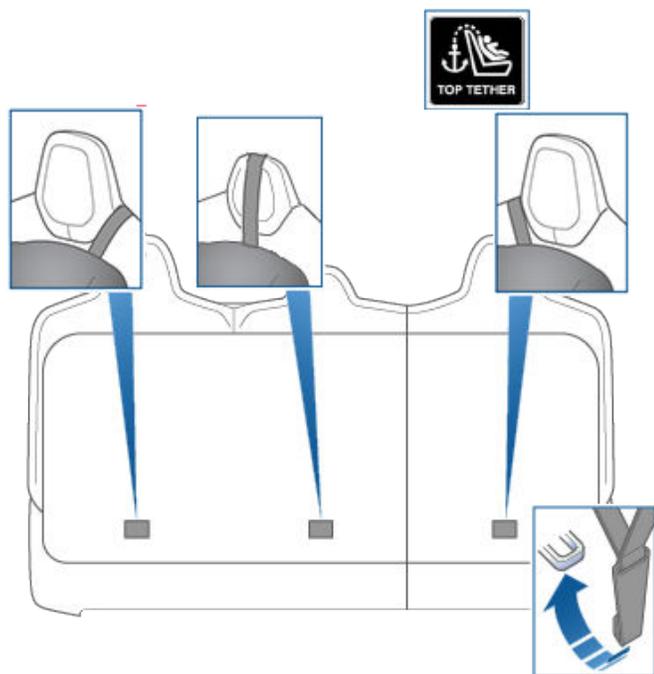
シングルストラップ-2列目モノポストシート



デュアルストラップ-3列目シート:



シングルストラップ-2列目ベンチシート



シングルストラップ - 3列目シート



チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが one inch (2.5 cm) 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトを締め付けるか、LATCH で取り付けるチャイルドシートを再接続します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

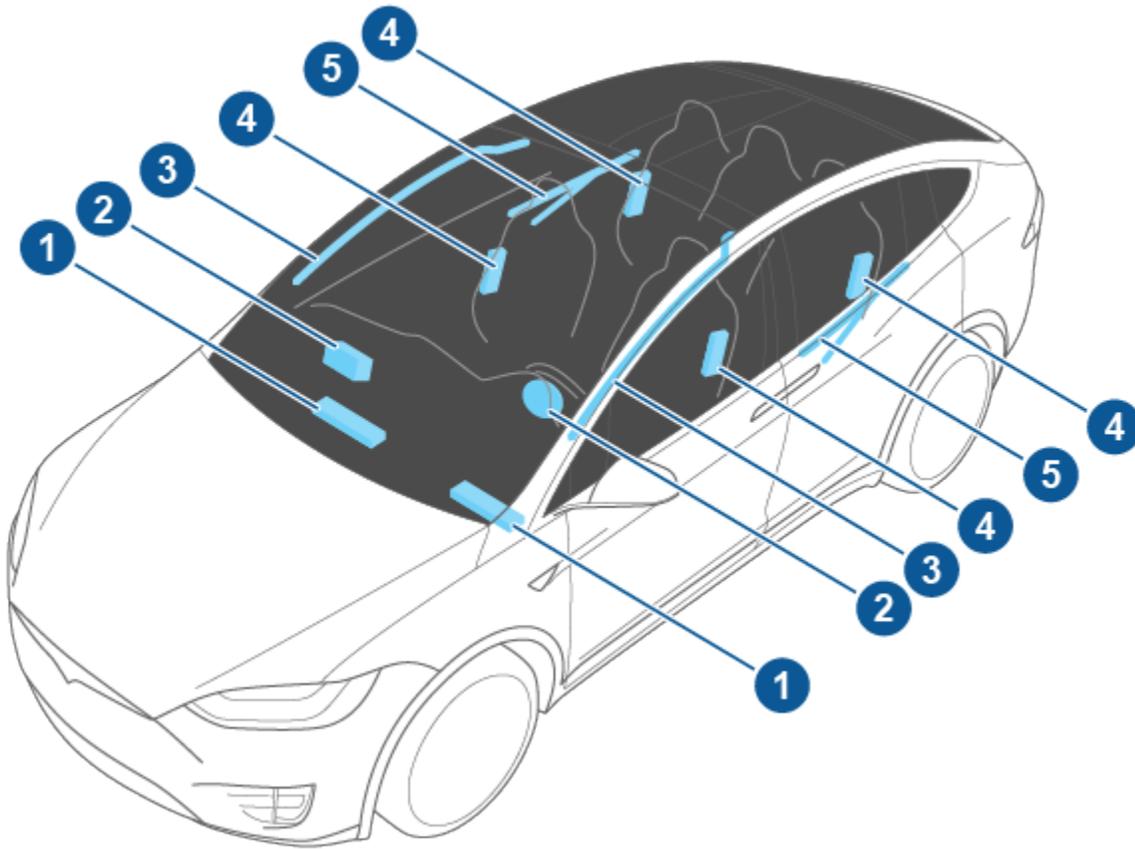
チャイルドシート警告

- ⚠ 警告:** 非常に高い危険なとえチャイルドシートを使用するかどうかにかかわらず、お子さまを助手席には乗車させないでください。このシートの方にはエアバッグがあります。乗員の体重が軽いことを Model X が感知してエアバッグを無効にするとしても、お子さまの保護をテクノロジーに任せきりにするのは賢明ではありません。
- ⚠ 警告:** チャイルドシートは、膝ベルト、あるいは3点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険にさらされる恐れがあります。
- ⚠ 警告:** 衝突事故に関する統計によると、お子さまは前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- ⚠ 警告:** お子さまが体重 20 lbs (9 kg) 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- ⚠ 警告:** 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- ⚠ 警告:** お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- ⚠ 警告:** お子さまはできるだけ長い間、5点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- ⚠ 警告:** チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。
- ⚠ 警告:** より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- ⚠ 警告:** 2つのチャイルドシートを1つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1つのアンカーポイントでは2つのシートを支えきれない可能性があります。
- ⚠ 警告:** チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- ⚠ 警告:** ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- ⚠ 警告:** お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
- ⚠ 警告:** 衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対に再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model X は、両方の指定された前席位置に、エアバッグと肩および腰ベルト（シートベルト アセンブリとも呼ばれます）を装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。



1. ニー エアバッグ
2. フロント エアバッグ
3. カーテンエアバッグ
4. シート搭載サイドエアバッグ
5. ドア搭載エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

エアバッグ

警告: 障害者に対応するために、エアバッグシステムに影響が及ぶ可能性があるように Model X を改造する場合、事前にモバイル アプリを使用してサービス予約してください。



助手席に大人が座る場合は、必ず助手席フロントエアバッグを有効にしてください。助手席側のエアバッグが ON の場合、衝突が起きますとエアバッグが展開します。

エアバッグの種類

Model X は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- **フロントエアバッグ:** フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。
- **ニー エアバッグ** ニー エアバッグおよびヘッド エアバッグは同時に動作します。ニー エアバッグは足の動きを規制して、前席乗員の前方への動きを制限することで、ヘッドエアバッグがより効果的に働くように乗員の姿勢を整えます。衝突時にニーエアバッグが展開するかどうかは、関連する座席の検知位置により部分的に異なります。
- **シート搭載エアバッグ:** 前席に取り付けられたサイドエアバッグは、骨盤と胴の胸部を守るのに役立ちます。運転席の内側にあるシート搭載式エアバッグは、頭部と胴体を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方のシート搭載式エアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- **カーテン エアバッグ:** Model X のフロント ルーフレールのそれぞれの側に搭載されるカーテン エアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテン エアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、重大なオフセット正面衝突を受けた場合、または横転した場合のみに膨らみます。
- **ドア搭載エアバッグ:** Model X のファルコンウィングドア両方のトリムにエアバッグが設置されています。これらはカーテンエアバッグと同じで頭部を保護し、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときに展開します。ドア搭載エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。



エアバッグシステムが故障している際は、計器クラスターのエアバッグ インジケーターが点灯したままになります。このインジケーターが点灯するのは本来 Model X を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままになる場合、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をし、運転をしないでください。

助手席乗員感知

Model X は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグの状態をコントロールしています。

注: 人感センサーシステムは、規制要件 FMVSS208 を満たすもので、必要のない、または危険となり得る助手席のエアバッグ展開を自動的に検出します。

フロントの助手席にある重量	助手席用エアバッグの状態	インジケーターステータス
表示しない	OFF	助手席エアバッグ OFF**
20 ポンド (9 kg) まで	OFF	助手席エアバッグ OFF
20~100 ポンド (9~45 kg) *	OFF または ON	OFF - 助手席エアバッグ「オフ」 ON - 助手席エアバッグ「オン」
100 ポンド (45 kg) 以上	ON	助手席エアバッグ ON

*値は概算値です。しきい値に近い重さが検出されると、座る位置や体型によって、エアバッグのステータスがオンまたはオフになる場合があります。

**2019 年 10 月ごろより後に製造された車では、助手席に人が座っていないときに、助手席エアバッグ OFF インジケータが表示されます

注: Model X の電源を入れてから乗員センサーが助手席エアバッグの正確な状態を報告するのに約 6 秒かかります。そのため、Model X を最初に起動させたとき、エアバッグが OFF になっていたとしても（乗員の重量が 20 ポンド(9 kg)以下の場合）、タッチスクリーンが「助手席エアバッグ OFF」の状態を表示するまでに約 6 秒かかります。そうならない場合はモバイル アプリを使用してただちにサービス予約をとり、お子さまを助手席に乗せないようにしてください。

感知システムが乗員の状態を正しく検出できるよう、次のことは行わないでください。

エアバッグ ステータス インジケーター

助手席フロント エアバッグの状態は、タッチスクリーンに表示されます。



助手席フロント エアバッグが OFF の場合、助手席エアバッグ OFF インジケータがタッチスクリーンに表示されます。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケーターは、座席に乗員がいないときでも表示されます。チャイルドシートを助手席に取り付けて運転する場合（地域で許可があれば）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。

注: 2019 年 10 月ごろより前に製造された車では、助手席に人が座っていない場合、助手席エアバッグ OFF インジケータは表示されません。

- シート下に物を置くこと。
- シートに重い物（書類鞆や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- シート背もたれとシートクッションの間に物をはさむこと。
- 積み荷がシートに干渉すること。
- カバー、マット、毛布等に問わず、シートと乗員の間に市販品を取り付ける、または置くこと。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイルアプリを使用してサービス予約をしてください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

⚠ 警告: 助手席側エアバッグが前述の重量しきい値に基づいて予測される通りに ON/OFF 動作しない場合は、モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

⚠ 警告: お子さまを助手席に座らせることが地域で法的に許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが OFF になっていることを確認してください。エアバッグを有効にしているときに、決して後ろ向きのチャイルドシートを使用してお子さまを助手席に座らせないでください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。米運輸省高速道路交通安全局による推奨では、12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せなければなりません。

⚠ 警告: Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。

正確な乗員感知を確認する

正確に助手席の乗員を識別するために、乗員は次のことを行う必要があります:

- シートベルトを着用する。
- シートクッション中央に真っすぐに座り、背もたれに肩を付け、正面のフロアに足を快適に伸ばします。[適切な座位置と不適切な座位置の例](#) ページ 53 を参照してください。
- シートクッションの座位置を維持し、体重をシートから浮かせるようなことはしません（例:フロアを足で押したり、センターコンソールやアームレストを押して持ち上げたりすること）。
- 厚く湿った衣類やかさばる衣類（スキーウエアやパッド入りの衣類）を着用しないでください。

上記事項に加えて、以下のような状況では乗員識別システムの精度に悪影響を及ぼす可能性があります:

- 助手席にラジオ送信器（例:狩猟用ラジオまたはトランシーバー）を置くこと。

- 助手席のクッションに AC/DC インバータまたはインバータから電源を取るデバイス（例:携帯電話、タブレット、パソコン）を置くこと。
- チャイルドシートを取り付けているときに座席に液体（ペットボトル飲料など）や食品の容器を置くこと。
- 不適切にチャイルドシートを取り付け、チャイルドシートの下の部分全体がシートクッションにきちんと乗っていない状態になること。
- シート下に格納されている物、または背もたれとクッションの間に挟まっている物。
- シートに重い物（書類鞆や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- 積み荷がシートに干渉すること。
- カバー、マット、毛布など、シートと乗員の間に取り付けられている、または置かれている市販品。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイルアプリを使用してサービス予約をしてください。

注: Tesla では 12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せるべきであるという、NHTSA（米運輸省高速道路交通安全局）の推奨に従っています。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

⚠ 警告: 上記の指示に従わないと、乗員識別システム（OCS）に悪影響を及ぼし、重傷や死亡を招く恐れがあります。

⚠ 警告: 助手席のエアバッグが思うようにオン/オフに変わらない場合、助手席に人を乗せないでください。モバイルアプリを使用してサービス予約をする。

⚠ 警告: 乗員感知システムの精度を確保するために、前列助手席を改造しないでください。

⚠ 警告: Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、乗員識別システムの精度が低下する可能性もあります。

適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置:



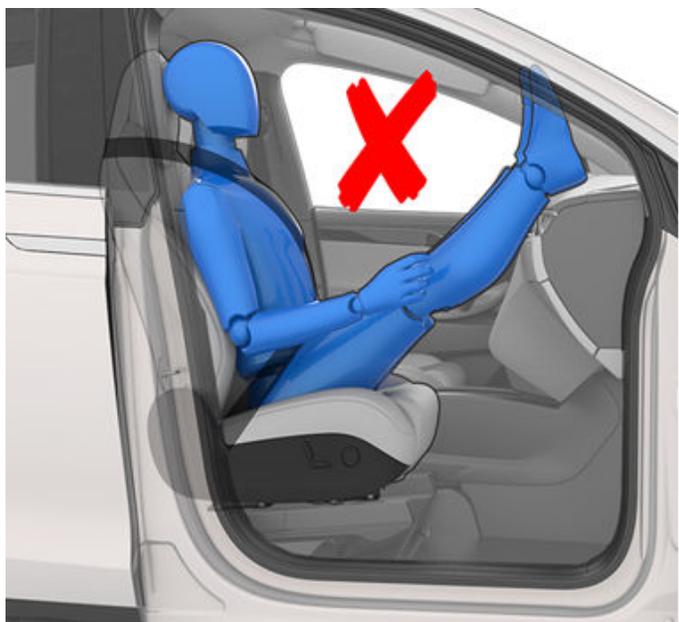
エアバッグ



不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに着いていなければならない:



不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない:



エアバッグ展開の影響

⚠ 警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されま
す。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるた
め、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に
洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が衝突したときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナー、その他関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- 米国のみ: 「コントロール」 > 「安全」 > 「自動警察通報」を有効にしている場合、車両は自動的に警察に緊急通報します。キャンセル指示とカウントダウン タイマーがタッチスクリーンに表示されます。
- ドアとリフトゲートのロックが解除されます。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧が無効化されています（高電圧電力を回復させるために、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください）
- 窓が換気位置になります。
- 車両はブレーキがかかって停止します。

注: かかった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法（他のドアから脱出する、窓を破るなど）を用いる必要があります。

エアバッグについてのご注意

-  **警告:** 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。
-  **警告:** フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。
-  **警告:** Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。
-  **警告:** エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。国家道路交通安全局（NHTSA）は、乗員の胸とエアバッグの間の推奨最小間隔を 10 in（25 cm）としています。
-  **警告:** お子さまは助手席には座らせないようにしてください。地域のすべての法令に従い、お子さまの体重、身長、年齢に適した方法でお子さまを座らせてください。後列座席に乳幼児や小さなお子さまを安全に座らせてください。フロントエアバッグが作動するシートに乳幼児を乗せないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

-  **警告:** 前方でエアバッグが作動するシートでは後ろ向きのチャイルドシートの使用を控えてください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。
-  **警告:** サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model X の側面の間のすきまをふさがないでください。
-  **警告:** 助手席に座る人はドアに頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。
-  **警告:** 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。
-  **警告:** ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。これらには、ハンドルカバー、デカール、シートクッション、枕などが含まれます。車両がエアバッグが展開する原因となるほど激しく衝突をした場合、物体が重傷の原因となる可能性があります。
-  **警告:** 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。

Tesla モバイル アプリにより、Model X iPhone®または Android™携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで Model X との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」の順にタッチして、Model X へのモバイル アクセスを有効にします。

モバイルアプリが車両と通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスまたは Wi-Fi に接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

注: Tesla は、Model X との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

Apple Watch 用モバイル アプリ

お持ちの Apple Watch でモバイル アプリを使用することもできます。

Apple Watch 用の Tesla モバイル アプリの使用条件:

- Apple Watch Series 6、Apple Watch SE 2、Apple Watch Ultra 1、またはこれ以降の Apple Watch で watchOS 11.0 以降を有するもの。
- 車両ファームウェア バージョン 2024.44.25 以降。
- Tesla モバイル アプリ バージョン 4.39.5 以降。

お持ちの Apple Watch で Tesla モバイル アプリを使用する前に、お持ちの iPhone および Apple Watch が利用可能な最新のソフトウェアバージョンに更新されていることをご確認ください。Tesla モバイル アプリをお持ちの Apple Watch に追加するには、お持ちの iPhone で Watch アプリを使用してください。

Tesla Apple Watch アプリを使用すると、Model X のロック/ロック解除、トランク、およびフロント トランクを開くことができます。

さらには、携帯電話をキーとして使用する場合と同様に、お持ちの Apple Watch をキーとして使うことができます。詳細な情報は、[#unique_175 ページ](#) を参照してください。

概要

電話機と車両の両方でインターネット サービスが使用できる場合、Tesla モバイル アプリのホーム画面で以下のことができます。

- 車両をロック/ロック解除する。
- 暖房または空調を有効または無効にし、キャビンの空調を監視します。
- 車両の充電情報を確認します。充電ケーブルを差し込んでも、充電の詳細情報が表示されます。
- 充電ポートの開閉。

注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します (充電中や充電準備中を含む)。

- 車両の位置を確認します。
- 車両の推計航続距離を表示。
- フロントトランクを開きます。
- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。「オーディオ設定」 > 「オプション」 > 「モバイル制御を許可」の順にタッチしてメディア設定を有効にする必要がある場合があります。

サポート対象の動画ソースは、モバイルアプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、Model X が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

プロフィール

最上部の角部にある「プロフィール」タブでは以下のことが可能です。

- Tesla アカウントを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。
- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

コントロール

「コントロール」タブでは次のことが行えます。



- フロントまたはリアのトランクを開く。
- 遠隔からの Model X のロック、アンロック。
注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。
- 充電ポートの開閉。
- Model X の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
- キーレスドライブを有効にする。
注: キーを忘れてしまったり、ドライブ用 PIN を忘れ PIN をバイパスする必要がある場合や、タッチスクリーンが反応しなくなった場合などに、キーレスドライブを使用することができます(ドライブ用 PIN ページ 160 参照)。
- 車両に HomeLink 接続がプログラムされていてご利用いただける場合、ガレージのドアを開閉する(スマートガレージ ページ 64 参照)。
- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に(車庫にある場合でも)キャビンを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロントガラスの霜取りを行なうことができます。

- デフロストを有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。
- 窓を開けます。
- キャビンを希望の温度に予め調節し、ハンドルおよびシートヒーター(装備されている場合)をオンまたはオフにします。

モバイル アプリで Model X の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。充電ケーブルの抜き差しができない場合、または留め金が凍結しているため車両の高速充電が行えない場合、Tesla モバイル アプリを使用し、約 30~45 分間、事前に車両の温度設定を「HI」にしてください(車両の事前調整のためにはモバイル アプリの使用が必要です。タッチスクリーンからは温度を「HI」に設定できません)。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

場所

マップ上で Model X の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

サモン

を使用して Model X を駐車したり、呼び出すことができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照してください。予約充電または出発予定時刻は設定した場所に基づいて保存することができます。

将来のためにライトショーを計画することもできます。ライトショーの詳細については、[シアター、アーケード、おもちゃ箱 ページ 185](#) を参照してください。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- セントリーモードを有効/無効に設定する(セントリーモードの使い方(USB フラッシュドライブあり) ページ 164 を参照)。
- バレーモードを有効/無効に設定する(バレーモード ページ 90 を参照)。
- 速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 3 mph (5 km/h) に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します(速度制限モード ページ 161 を参照)。

アップグレード

完全なセルフドライブなど、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイル アプリでサービスを予約する方法については、[整備の予約 ページ 203](#) を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、(該当すれば)ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 238](#) を参照してください。

2 人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイル アプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイル アプリ バージョン 4.3.1 以降が必要です。追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイル アプリで車両のホーム画面から「セントリー」>「ドライバーの追加」に進み、画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべてのアプリ機能にアクセスできます。



モバイルアプリ

アクセスを削除するには、モバイル アプリを使用して「センター」 > 「ドライバーの管理」の順に進み、画面の指示に従います。

データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実にを行うには、可能な限り Model X を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば自宅で駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. 「コントロール」 > 「Wi-Fi」の順にタッチします。Model X 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

注: リストに、既知の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合、アクセスポイントに Model X を近づけるか、レンジエクステンダーで感度を上げてください。

注: (使用可能な場合に) 5GHz ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

サポートされている 5GHz ネットワークチャンネル

36~48	52~64	100~140	149~165
✓	✓	✓	✓

2. 「Wi-Fi ネットワークを検索中」で使用する Wi-Fi ネットワークを検索してタップするか、「Wi-Fi ネットワークを追加」で手入力により追加し、パスワードを入力（必要な場合）してから「確定」にタッチします。接続すると、その Wi-Fi ネットワークには「既知の Wi-Fi ネットワーク」と緑色のチェックマークが表示されます。ネットワークの圏内にいるときは、Model X を自動的に接続します。

注: Model X は現在、キャプティブ Wi-Fi ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ Wi-Fi は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

注: 過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model X は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: Tesla サービスセンターでは、Model X は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。

診断

診断は、Wi-Fi 接続に関するより詳しい情報や、接続改善のヒントを提供します。アクセスするには、「Wi-Fi」 > 「診断」に移動するか、ソフトウェアアップデートのダウンロードまたはインストール中に、プログレスバーの下に表示されます。

ホットスポット

Wi-Fi ネットワークを使用する代わりに、モバイルホットスポットを使用することもできます（料金がかかり、通信会社の制限があります）。運転中も接続を有効なままにしたい場合は、ホットスポットに接続した後に「**運転中に接続を維持**」を選択します。

トラブルシューティングのヒント

車両の Wi-Fi 接続が遅い、または接続に失敗する場合は、以下のヒントを試してください。

- タッチスクリーンで、Wi-Fi アイコンバーの本数（信号強度）を確認します。信号強度が低い場合は、Wi-Fi アクセスポイントを車両の近くに追加して信号を改善することを検討してください。
- タッチスクリーンを再起動します（タッチスクリーンまたはインストールメントパネルの再起動 ページ 8 を参照）。
- Wi-Fi 接続を一旦削除してから、再び接続します。「コントロール」 > 「Wi-Fi」の順にタッチし、お使いのネットワークを選択して「ネットワークを登録解除」を実行し、それから「既知のネットワーク」でネットワークを再び選択します。
- 別の Wi-Fi ネットワークを試します。



Bluetooth® 互換性



Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、Model X でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで 사용할 ことができます。Model X は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを Model X で使用する 場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、Model X はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を**優先デバイス**に指定していない場合、または**優先デバイス**に指定されている電話機が通信範囲内にない場合、Model X は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合は**ペアリングされたデバイス間の切り替え ページ 61**を参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 30 フィート（9 メートル）までの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

注: Model X は一度に最大 20 台の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、同時に接続できるのは 2 台のデバイス（電話機 1 台とコントローラ 1 台、またはコントローラ 2 台）のみで、それぞれフロント タッチスクリーンとリア タッチスクリーン（装備されていれば）に接続できます。

注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話機または Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内であれば、Model X はその電話機にいつでも接続できます。

1. 電話または Bluetooth デバイスをペアリングするには、Model X の車内に座り、タッチスクリーンがオンになっていることを確認します。
2. 電話機のロックを解除し、Bluetooth を有効にします（通常は電話機の [設定] で行います）。

注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定に進み残りの手順を行う必要があります。

3. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「Bluetooth」の順にタッチすると、新しいデバイスの Bluetooth スキャンが自動的に開始されます。
4. 電話機が表示されるのを待ってから「接続」にタッチします。
5. 電話に表示される数字がタッチスクリーンの数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングすることを確定します。
6. 電話にプロンプトが表示されたら、Model X がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報にアクセスすることを許可するかどうかを指定します（**連絡先と通話履歴のインポート ページ 60**を参照）。ペアリングされると、Model X によって「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」の下に電話機が表示されます。

ペアリングされたデバイスの設定を変更するには、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」と進み、デバイス名の横にあるドロップダウンを開きます。

インポートまたは Bluetooth への接続に問題がある場合、詳細について **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 61**を参照してください。

2018 年 4 月頃以前に製造された車両の場合、Bluetooth のペアリングに極めて長い時間がかかる場合、「コントロール」 > 「サービス」 > 「Bluetooth のリセット」の順にタッチして Bluetooth 機能をリセットします。数分待つ必要がある場合があります。リセットが完了したら Model X へのペアリングを再試行します。Bluetooth をリセットすると、Model X は以前ペアリングしたデバイスを記憶していない場合があります。

連絡先と通話履歴のインポート

電話がペアリングされたら、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」に移動し、デバイス名の横にあるドロップダウンを開いて、電話機の連絡先、最近の通話、テキストメッセージへのアクセスを許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（**電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 62**参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に回答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

連絡先のインポートまたは Bluetooth を使用したペアリングに問題がある場合、詳細については **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 61**を参照してください。

Bluetooth デバイスの切断またはペアリング解除

電話または Bluetooth デバイスを切断してもペアリングしたままにする場合は、タッチスクリーンの Bluetooth 設定ドロップダウンで「切断」にタッチします（「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」 > 「あなたの電話機」）。デバイスを Model X で再び使うことがない場合は、「デバイスの消去」をタッチし、その後の指示に従います。登録を

解除したデバイスを Model X で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 60](#) を参照）。

注: Model X から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

ペアリングされたデバイス間の切り替え

Model X は、「優先デバイス」に指定した電話機に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、Model X は、前回接続した電話につながります（ただし、その電話が作動範囲にあり、Bluetooth がオンである必要があります）。最後の電話が動作範囲内でない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」の順にタッチします。接続したい電話を選択し、「接続」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 60](#) を参照してください。

接続している場合、Bluetooth 設定画面では電話機名の隣に Bluetooth のロゴが表示され、Model X がその電話機に接続していることを示します。

Bluetooth のトラブルシューティング

車両は Bluetooth および BLE (Bluetooth Low Energy) を使用してスマートフォンを Model X にシームレスに接続します。いくつかの可能性のある要因により、ペアリング プロセスにおいて Bluetooth または BLE が切断され、問題が生じることがしばしばあります。Bluetooth に接続することで、車両は、オーディオ、通話、カレンダーなどの電話機能を使用することが可能になります。

BLE は電話キーなど受動的機能に使用されます。

注: 近くに有効なキーカードがない時に車両と電話機のペアリングを解除したり、電話キーとしての電話機を取り外したりしないでください。

Bluetooth のトラブルシューティングをするには、まずスマートホンを使用して、以下を試してみてください。

スマートホンのトラブルシューティング

スマートホンの設定およびアップデートのせいで、Bluetooth が接続できない。

- 電話機で Bluetooth を有効にします。既に有効になっている場合は、Bluetooth を一旦無効にしてから再び有効にします。
- 機内モードがオフになっていることを確認します。
- 電話機を充電します。電話機のバッテリー レベルが低すぎると、Bluetooth 機能をサポートできない場合があります。
- デバイスを適切にペアリングします。既にペアリングしている場合は、いったんペアリングを解除して再びペアリングを試みます。

- 電話機をメーカーが提供している最新のソフトウェアにアップデートします。
- デバイスの音声システムが、オーディオ出力ソースとして選択されていることを確認します。
- 電話機の設定で Bluetooth が許可されていることを確認します（例: データをオンにするか、Wi-Fi に接続している）。
- 電話機の電源をオフにしてから再びオンにします。
- モバイル アプリで位置の許可が「常にオン」に設定されていることを確認します。

Tesla モバイル アプリのトラブルシューティング

Tesla モバイル アプリを以下のとおり点検します。

- Tesla モバイル アプリのソフトウェアが最新であることを確認します。
- 電話キーを使用しているときに Tesla モバイル アプリにロケインしていることを確認します。
- バックグラウンドで Tesla アプリが実行中であることを確認します。
- モバイル アプリでプロフィールを最後まで設定済みであり、設定を適切に構成していることをダブルチェックします。

車両のトラブルシューティング

車両の設定が、スマートホンとのペアリング機能に影響を与える可能性があります。

- Model X を充電します。車両のバッテリー レベルが低すぎる場合、Bluetooth 機能が使用不可になる可能性があります。
- 車両ソフトウェアをアップデートし、ソフトウェアが常に最新のものであることを確認します。「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順に移動して、新しいソフトウェアのアップデートがないか確認します。
- タッチスクリーンを再起動します。[タッチスクリーン ページ 6](#) を参照してください。
- 車両を再起動します。

依然 Bluetooth が機能していない場合、車両とスマートホンのペアリングを解除します。次に両者を再びペアリングします。

BLE の電話キーに問題がある場合、車両の中で、「コントロール」 > 「ロック」の順に移動して、「キーとしての電話機」として設定されている電話機を削除します。次に再度、設定を戻します。ただしこれは車内にいて、信頼できるバックアップキー（キーカードなど）を持っている場合に限り行ってください。

電話アプリを使用する



Bluetooth を使用して電話機が Model X に接続され (Bluetooth ページ 60 を参照)、電話の連絡先にアクセスが許可されると (連絡先と通話履歴のインポート ページ 60 を参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話:** 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ:** メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ハンドルの右側にあるマイク ボタンにタッチして音声入力します。
 - ⚠ **警告:** ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。
- **「連絡先」:** 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り:** お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー:** 電話からのカレンダー エントリーを表示します (カレンダー ページ 62 参照)。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンド ページ 17 を参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 右側のスクロールボタンのメニューから連絡先または最近の通話履歴を選択 (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68 を参照)。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで Model X のオンスクリーン ダイアラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、インストールメントパネルとタッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model X がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に「応答」するか、または「無視」するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。

- ⚠ **警告:** 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。
- ⚠ **警告:** テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによってインストールメントパネルに通話メニューを表示することができます。右スクロール ボタンを上下に回してオプションを選択します (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68 を参照)。通話音量を調節するには、通話中にハンドルの左側にあるスクロール ボタンを上下に回します。

カレンダー



カレンダーには、スマートフォン (iPhone® または Android™) のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダーの予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーションシステムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話が Model X とペアリングされていることを確認します。
2. Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. Tesla モバイル アプリで、「プロフィール」 > 「設定」 > 「カレンダー同期」の順にタッチします。

注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。

4. 電話機かで、「設定」に移動し、Tesla モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model X へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。



カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。

イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから2時間以内にイベントが始まる場合、Model X は自動でイベントの住所に経路を指定します ([オート ナビゲーション ページ 179](#) 参照)。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに1つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには1番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます (これは特に電話会議の通話に便利です)。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブブラウザで開くことができます。

HomeLink ユニバーサル トランシーバ



HomeLink® ユニバーサル トランシーバが装備されている場合、ガレージドア、ゲート、ライト、セキュリティ システムなどの無線周波 (RF) 装置を最大 3 台まで操作することができます。

注: 製造日、販売地域および購入時に選んだオプションによって、HomeLink ユニバーサル トランシーバが装備されていない車両もあります。

警告: HomeLink ユニバーサル トランシーバは、安全停止とリバース機能の無い機器には使用しないでください。上記の安全機能を装備していない機器の開閉装置を使用すると、けがや死亡事故を引き起こす危険性が大きくなります。

対応しているモード

HomeLink は、車両と RF 機器との通信方法に応じて 3 種類の送信モードに対応します。送信モードの選択は対応する RF 機器により異なります。

- **標準モード:** RF 機器にリモコンが装備されている場合は標準モードを使用します。この場合、必ずリモコンを使用して機器を操作する必要があります (例、ガレージドアの遠隔操作など)。このモードはホームリンク デバイスに対して最も一般的に使用される送信モードです。
- **D モードまたは UR モード:** RF 機器にリモコンが装備されていない場合は、D モードまたは UR モードを使用します。この場合、受信機には「Learn」ボタンがあります (「Program」または「Smart」となっている場合もあります)。Model X がリモート コントロールとは対照的にデバイスの受信機と直接通信する点においては、D モードと UR モードは同様に機能します。

注: D モードは主に北米で使用されているもので、欧州、中東、アジア地域では UR モードが一般的に使用されています。デバイスが互換性を持っているモードを確認するには、www.homelink.com にアクセスするか [1-800-355-3515](tel:1-800-355-3515) に電話して HomeLink に連絡してください。

機器はそれぞれ異なるモードで設定できます。たとえば、ガレージのドアを標準モードに設定したり、正面玄関を D モードに設定したりできます。送信モードを変更するには、タッチスクリーンの上部にある HomeLink アイコンをタッチして変更したい機器を選択します。機器を選択したら、**プログラム**を選択して機器で使いたいモードを選択します。**設定モード**をタッチして設定を確認し、画面に表示される指示に従います。

年式の古い車両の場合、ある 1 つの機器のモードを変更するとその他すべての機器のモードが変更されるため送信モードを変更する場合はご注意ください。選択したモードに対応していない機器は動作しない場合があります。タッチスクリーンの上部にある HomeLink アイコンにタッチしてから、**送信モードの変更** にタッチします。

注: HomeLink デバイスの製品情報を確認して、どのモードがデバイスに対応しているか確認します。

HomeLink のプログラミング

HomeLink®をプログラムする:

1. フロントのバンパーがプログラム対象のデバイスの正面にくるように Model X を駐車します。
 - 注意:** プログラミング中は、デバイスが開いたり閉じたりします。そのため、プログラミングをする前に、デバイスの周辺に人や物がいないことを確認してください。
2. デバイスのリモコンに良好な状態の電池が入っていることを確認します。Tesla では、HomeLink のプログラミングを実施する前に、デバイスのリモートコントロールのバッテリーを交換することを推奨しています。
3. タッチスクリーンの上部にある HomeLink アイコンをタップします。
4. **「Homelink を作成」** にタッチします。
5. HomeLink 画面でデバイスの名称を入力し **「Enter」** または **「新しい HomeLink を追加」** をタッチします。
6. 使用するモード (標準、D モードまたは UR モード) を選択し、**「設定モード」** をタッチします。
7. **「開始」** にタッチしてから、スクリーン上の指示に従います。

注: デバイスのプログラミング中に「受信機を記憶させる」という画面になったら、これが時間的制約のある場面であることを意識してください。デバイスのリモコンの Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、**「続行」** を押し、次に記憶させたホームリンク デバイスの名前を 2 回押してください。この作業を 30 秒以内に確実に完了できるようにするために、アシスタントを用意することを検討してください。
8. デバイスがプログラムされたら、**「保存」** をタッチしてプログラミングを完了します。
9. ホームリンクが正しく動作することを確認してください。場合によっては、次に進む前にプログラミング処理を複数回繰り返す必要があります。

プログラムすると、タッチスクリーンの該当する HomeLink アイコンにタッチすることでデバイスを操作することができます。HomeLink はプログラムしたデバイスの場所を記憶します。既知の場所に近づくと、タッチスクリーン上に HomeLink のコントロールが自動的に表示されます。走行して離れていくと、消えます。

注: ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または [1-800-355-3515](tel:1-800-355-3515) までお電話してください)。

自動開閉

タッチスクリーンを使用せずにホームリンク機器を動作させるために、近づいたら開く、離れると閉じるように機器を設定できます。

1. タッチスクリーンの上部にある HomeLink アイコンにタッチしてから、**「Homelink 設定」** にタッチして自動に設定したい機器を選択します。

2. 必要に応じ、次のようにしてデバイスの Homelink 設定を調整します

- 近づいた時にデバイスが開くようにしたい場合、「**到着時に自動的に開く**」チェックボックスを選択します。
- 矢印にタッチして、機器が自動的に開く際の Model X までの距離を指定します。
- 車が離れたら機器が閉じるように設定したい場合は、「**出発時に自動的に閉じる**」チェックボックスを選択します。
- Homelink の位置に到着したときにミラーをたたみたい場合は、「**自動格納式ミラー**」チェックボックスを選択します。これは狭い車庫で有効です。
- デバイスを自動的に開閉する信号が送信されると、Model X がチャイムを鳴らすようにしたい場合、「**自動開閉時のチャイムを有効にする**」チェックボックスを選択します。

HomeLink は、ペアリング時の車両の GPS 位置を記憶しており、これに基づいて HomeLink デバイスと車両の位置関係を確認します。HomeLink は、ドアの開閉状態の検知および区別を行ってならず（例：オートオープンがトリガーされたとき、ドアがすでに開いている場合、ドアは閉じます）、通常、以下に基づいてオートオープンかオートクローズかを判断します。

オートオープン：Model X が、ガレージドア（または他の HomeLink デバイス）の指定距離内に近づくと検出します。オートオープンは、接近する車両のギアがドライブに入っていて、HomeLink が有効になっている場合に限り開始されます。HomeLink は、車両がすでにそのエリアにいる場合は作動しません。

オートクローズ：HomeLink は、Model X がパーキングからリバースにシフトし、リバースで 23 フィート（7 メートル）以上移動すると作動します。

注：指定距離内で何度もギアチェンジを行うと、オートクローズが正常に機能しない場合があります。

機器に自動的に開閉を行わせたくない場合は、カウントダウンが終了する前に「**自動開閉をしない (Skip Auto-Open)**」または「**自動開閉をしない (Skip Auto-Close)**」を押してください。

注：デバイスが完全に閉じられていることを確認する際はホームリンクを信用しないでください。

HomeLink 機器の場所をリセットする

ホームリンク機器に近づいた時に機器が開かない場合や、プログラミングされた機器に近づいてもタッチスクリーンに告知が表示されない場合は、機器の場所をリセットする必要があります。リセットするには、HomeLink 機器（ガレージドアやゲートなど）のできるだけ近くに車を止め、タッチスクリーン上部にある Homelink アイコンにタッチして HomeLink 設定ページを表示します。リセットしたい機器の名前にタッチしてから、「**ロケーションをリセットする**」にタッチします。

デバイスの削除

HomeLink 機器を削除するには、タッチスクリーン上部にある Homelink アイコンをタッチしてから「**HomeLink 設定**」をタッチします。削除したい機器の名前をタッチして、「**削除する**」をタッチします。

注：工場出荷時のリセットを実行して、他のすべての個人データ（保存されたアドレス、音楽のお気に入り、インポートされた連絡先など）と一緒に、ホームリンクの設定を消去することもできます。工場リセットによる個人データの消去 ページ 9 を参照してください。

注：万が一ご自身の Model X を売却する場合には、安全上の理由により、お使いの HomeLink デバイスを削除してください。

HomeLink のトラブルシューティング

標準モード

標準モードでは、Model X はホームリンク デバイスのリモコンが発信する RF 信号を記録します。タッチスクリーンの指示に従って車の前に立ち、デバイスのリモコンをフロントバンパーに向け、ヘッドライトが点滅するまでボタンを押したままにします。ヘッドライトが点滅したら Model X はリモコンを記憶していますので、タッチスクリーンの「**続行**」にタッチすることができます。ヘッドライトが点滅しない場合は次のようにしてください。

- リモコンの電池を点検します。プログラミングを開始する前にバッテリーを交換することをお勧めします。
- Model X の前面に立ち、デバイスのリモコンをテスラ エンブレムからの 2 インチ（5 cm）以内に配置します。
- ヘッドライトが点滅するまで、デバイスのリモコンのボタンを長押しします。場合によっては、リモコンのボタンを最長 3 分押し続ける必要があります。

注：一部のホームリンクのリモコンでは、1 回長押しする代わりに、短く複数回（1 秒に 1 回程度）リモコンを押すことが必要となる場合があります。長押しを数回試みてうまくいかない場合は、毎秒 1 回程度で繰り返し押ししてみてください。

D モードおよび UR モード

D モードおよび UR モードにすると、機器の受信機が Model X を記憶します。タッチスクリーンで、機器の受信機にある「Learn」ボタンを押すよう指示があります（「Program」または「Smart」となっている場合もあります）。動作しない場合は、以下のガイドラインを参照してください。

- プログラムを試みるガレージドア、ゲートなどのできるだけバンパーを近づけて Model X を駐車します。
- 受信機の「Learn/Program/Smart」ボタンを確実に押します。受信機を記憶モードにする方法については、プログラムしたい RF 機器に付属される製品説明書を参照してください。

スマート ガレージ

- デバイスのプログラミング中に「受信機を訓練」という画面になった場合、その操作には時間制限があることにご注意ください。デバイスのリモコンまたは受信機の Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、「**続行**」を押し、次に訓練したホームリンク デバイスの名前を 2 回押してください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。
- 多くの受信機の記憶モードは、3 分~5 分間持続します。デバイスの「Learn/Program/Smart」ボタンを押した直後に、車両のタッチスクリーンに表示される指示に従ってください。

ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または、1-800-355-3515 までお電話してください)。



運転を開始

Model X に乗車するためにドアを開くと、インストゥルメントパネルおよびタッチスクリーンの電源がオンになり、すべてのコントロールを操作できます。Model X を運転する：

1. **ブレーキペダルを踏む** - Model X の電源が入り、運転できるようになります。
2. **ギアを選択する** - シフトレバーをドライブまたはリバースにします ([ギアシフト ページ 72](#) 参照)。

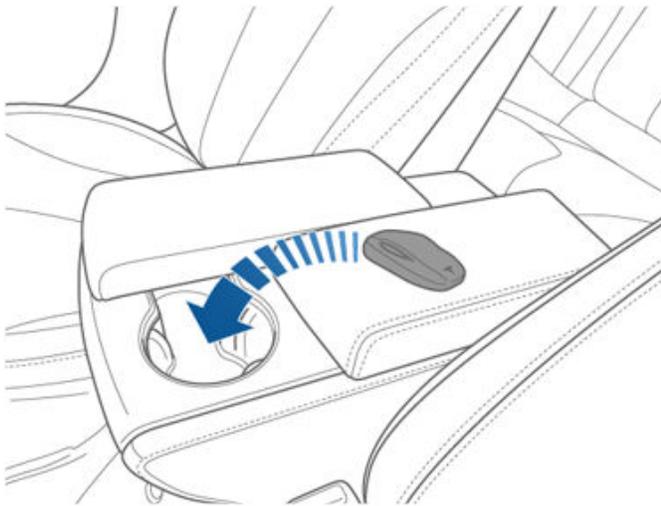
注: 「**ドライブ用 PIN**」の機能が有効になっている場合 ([ドライブ用 PIN ページ 160](#) を参照)、Model X を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model X の運転に必要な事項はすべてインストゥルメントパネルに表示されます。

キーフォブが車内にない

ブレーキを踏んだときに Model X がキーフォブを検出しない場合、キーフォブが車内にないことを知らせるメッセージがインストゥルメントパネルに表示されます。

このメッセージが表示された場合、ブレーキを踏み、Model X が最も検出しやすいセンターコンソールのカップホルダーにキーフォブを入れてください。



それでも Model X がキーフォブを検出しない場合は、キーフォブをセンターコンソールの低電圧電源ソケット ([低電圧電源ソケット ページ 10](#) を参照) の真下に置いて試してください。まだキーフォブが検出されない場合は、キーフォブのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。[キーフォブのバッテリーを交換する ページ 21](#) を参照してください。または別のキーフォブを試します。キーフォブを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model X がキーフォブを検出できるかどうかには、いくつかの要因が影響する可能性があります。これには、キーフォブのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーフォブと受信機の間には障害物があるなどです。

キーフォブは常に携帯してください。運転終了後も、Model X を停止してから再始動するときにはキーフォブが必要です。また、Model X から降車後、Model X を手動または自動でロックするときにもキーフォブが必要です。

停止

目的地に着いたら、ドライブストーク端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。キーフォブを持って Model X から離れると、その時点で自動的に電源がオフになり、インストゥルメントパネルおよびタッチスクリーンもオフになります。

Model X また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手で Model X の電源をオフにすることもできます。「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**電源オフ**」の順にタッチします。Model X ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオンになります。

注: Model X 乗客が車両から降りたこと (例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している) を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りると Model X はパーキングにシフトします。Model X をニュートラルにしておく方法については、[車両輸送者向け注意事項 ページ 235](#) を参照してください。

車両でパワーサイクリングを行う

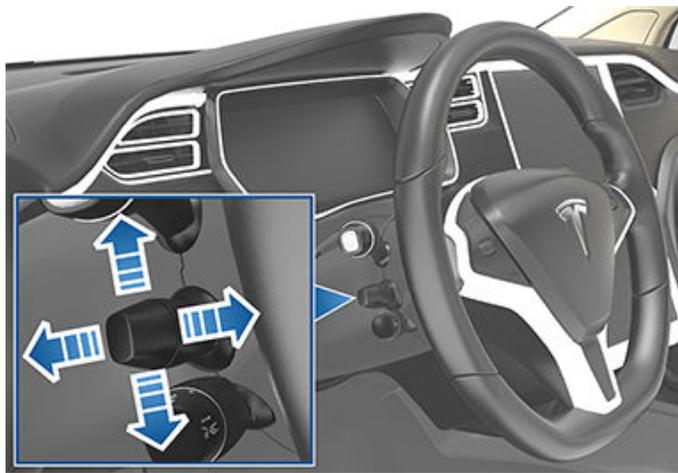
異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、Model X の電源を入れ直すことができます。

注: タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください ([タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動 ページ 8](#) を参照)。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンで、「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**電源オフ**」の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低 2 分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. 2 分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けて車両を起動します。

ステアリングホイールの位置を調整する

シフトレバーの左側にあるノブを動かしてハンドルを好みの運転位置に調整します。このノブで、ステアリングホイールを前後上下に動かすことができます。



警告: 運転中には調整しないでください。

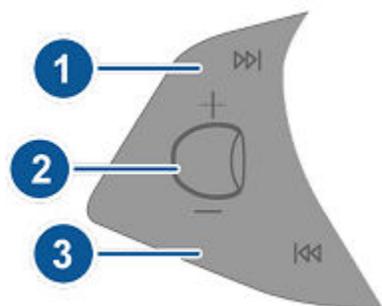
ハンドルの重みの調整

ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「ハンドルの重み」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - 「軽い」: ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model X の運転と駐車が容易になります。
 - 「標準」: ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla が推奨する設定です。
 - 「重い」: ハンドルを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model X の応答性がよくなります。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディア プレーヤーの音量を調整したり、インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます (ナビゲーション アプリに指示が表示されていない場合)。



1. 次へ

地上波ラジオまたは衛星ラジオを聞いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

インターネット ラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオ ファイルを聞いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。

複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

2. スクロール ボタン

- 上または下に回してメディアの音量を調整します。

注: スクロール ボタンは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、および電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整すると、インストゥルメントパネルに音量レベルが表示されます。

- メディアの音量をミュートしたり、オーディオ ファイルを一時停止/再生したりするには、スクロール ボタンをタップします。

- インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンを回転して「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」、「サスペンション」などを選択します。希望するオプションがハイライト表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注: オプションで選択した左スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。

注: 車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ空気圧などの情報が表示されます。

3. 戻る

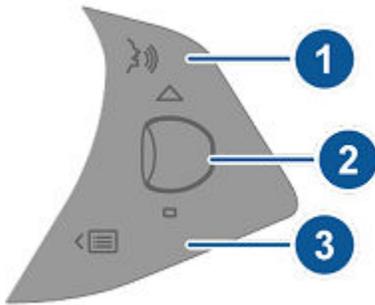
前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

注: インストゥルメントパネル左側がどのようにカスタマイズされても、ナビゲーションの指示 (該当する場合) や、Model X がドライブまたはリバースに入っているときにドアやトランクが開いていることを知らせるメッセージは、インストゥルメントパネルの左側に自動的に表示されます。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側にあるボタンを使用して、通話中に通話オプションにアクセスしたり、インストゥルメントパネルの右側に表示されるものを選択したり、Model X 機能の調整や、音声コマンドの利用ができます。

注: 電話を受信中または発信中は、インストゥルメントパネルの右側に自動的に通話オプションが表示され、Bluetooth 接続されている電話の通話を簡単に操作できます。



1. 押すことで音声コマンドを使用して連絡先にある番号に電話をかけたり、インターネットで音楽を聞くことができます。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。詳細は[音声コマンド ページ 17](#)を参照してください。

2. スクロール ボタン

- 通話中に、スクロール ボタンをタッチして通話オプションを表示させ、通話中に利用できるアクションを使用することができます。
- スクロール ボタンを回転させると、機能リストの中から最近選択した機能を並べ替えることができます (「メニュー」ボタンを参照)。
- インストゥルメントパネルの右側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンを回転して「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」、「サスペンション」などを選択します。希望するオプションがハイライト表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注: 車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ空気圧などの情報が表示されません。

注: オプションで選択した右スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。

- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロール ボタンを約 5 秒長押ししてください。タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動 [ページ 8](#) を参照してください。
- サスペンション。** 変化する路面状況に合わせて、サスペンションシステムで各ホイールのダンピングが動的に調整されている状態をリアルタイムで視覚化できるようになりました。スクロール ボタンを回転して、「サスペンション」を選択し、スクロール ボタンを押します。 [エアサスペンション ページ 81](#) を参照してください。

3. メニューボタン

ボタンを押すと表示されるメニューから、Model X の以下を操作することができます。

- 温度。** ホイールを回して運転席側の温度を変更するか、スクロール ボタンを押して空調システムを ON/OFF します。

- 「ファン速度」:** スクロール ボタンを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
- 「画面の明るさ」:** スクロール ボタンを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
- 通話履歴。** 携帯電話が Model X とペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して通話履歴が表示できます。スクロール ボタンを押して表示されている連絡先に電話をかけます。携帯電話をペアリングするには、[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 60](#) を参照してください。
- 連絡先。** 携帯電話が Model X にペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して携帯電話の連絡先を参照してください。連絡先は、姓がアルファベット順にリスト表示されます。Model X が確実にあなたの連絡先にアクセスできるようにするには、[連絡先と通話履歴のインポート ページ 60](#) を参照してください。

機能リストを閉じるには、もう一度メニュー ボタンを押します。

暖房装備 ハンドル

Model X にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンから空調をタッチしてハンドルを暖めることができます ([空調を操作する ページ 168](#) 参照)。オンにすると、輻射熱でハンドルを快適な温度に保ちます。

クラクション

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押し続けます。



外側ミラーの調整

左または右のサイドミラーボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルを押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。入力を求められた時点で、タッチスクリーンにある「保存」をタッチしてミラー調整をドライバープロフィールに保存します。



オートチルトでは後進時にミラーが自動的に下向きになります。オートチルトをオンまたはオフにするには、「コントロール」>「車両」>「ミラー角度の自動調整」の順にタッチします。オートチルト位置を調整するには、Model X をリバースにシフトしてミラー調整をします。ギアをリバース以外に戻すと、ミラーの角度はまた通常的位置（上方）へ戻ります。しかし、ミラーの角度を後進用に調整したことで、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した下向きの位置に自動的に傾きます。

運転席側のサイドミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります（リバースにシフトされている場合を除く）。また、左右どちらのサイドミラーも、リアウィンドウデフロスターとともにオン/オフするヒーターを備えています。

注: 寒冷時にミラーを正しく作動させるには、[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 174](#) を参照してください。

格納式ミラー

(狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに) ドアミラーを操作して格納および展開するにはセンター ボタンを押します。また、「コントロール」>「格納」/「展開」にタッチすることでもミラーの格納および展開を操作できます。



ミラーを操作して格納した場合、走行速度が 31 mph (50 km/h) に達するまでミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が 31 mph (50 km/h) を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して Model X をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、「コントロール」>「車両」>「ミラー自動格納」の順にタッチします。Model X をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所でその都度操作して格納する必要がなくなります。設定するには、Model X が低速 (3 mph (5 km/h) 未満) で走行しているか、車両に記憶させたい場所で停止していなければいけません。次に、「コントロール」>「この場所ではいつもミラーを自動格納する」の順にタッチします。次に保存した場所に来た時には、指定した場所の 25 フィート (7.5 メートル) 以内でミラーの格納および展開が行われます。保存した場所においてミラーの格納を停止するには、保存した場所まで走行してから、「この場所で自動格納を設定」の隣にある X にタッチします。

注: 保存済みの場所から離れる場合、走行速度が 3 mph (5 km/h) に達するか、または、「コントロール」>「ミラーを展開」の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

注: 保存した場所に戻り、31 mph (50 km/h) 未満で走行している場合、ミラーを自動的に格納することができます。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも (例えば Model X に電力がない場合でも) ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

自動格納ミラーを HomeLink にリンクさせることができます ([スマートガレージ ページ 64](#) を参照)。オンにするには、「HomeLink」>「近くに来たらミラーを自動格納する」の順にタッチします。

インテリア ミラー

バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります（夜間の走行時など）。

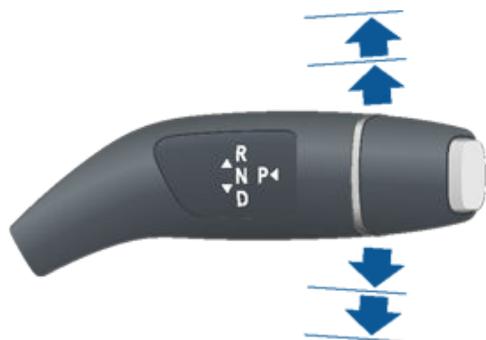
バニティ ミラー

バニティ ミラーを出す方法や点灯させる方法ついて詳しくは、[サンバイザー ページ 28](#) を参照してください。

シフト方法

Model X がパーキングにシフトしている場合、シフト変更するにはブレーキペダルを踏む必要があります。

シフトレバーを上下に動かすと、違うドライブモードにシフトします。ギアシフトのたびにチャイムが鳴ります。



現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、チャイムが鳴り、ドライブモードは変更されません。

ギアシフト時のチャイム音を無効にしたい場合は、「コントロール」>「安全」>「ギアチャイム」の順にタッチします。

リバース

レバーを一番上まで押し上げて、離します。リバースへのシフトは Model X が停止状態かまたは走行速度が時速 5 mph (8 km/h) 未満の場合にのみ行うことができます。

ニュートラル

ブレーキを踏んでいないときにニュートラルにシフトすると、Model X は自由に動ける状態になります。

- パーキングにシフトしている場合、ドライブレバーを上または下に短く押し、最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。
- ドライブにシフトしている場合、ドライブレバーを上、または下に短く押し、最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロール（装備されている場合）が起動している場合、シフトレバーを上、または下に押し、最初のポジションにシフトして、そこで 1 秒以上保持します。これで、オートステアリングまたはトラフィックアウェアクルーズコントロールが無効になります。
- リバースにシフトしている場合、ドライブレバーを下に短く押し、最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。

注: 5 mph (8 km/h) 前後より低速で走行中にニュートラルポジションからシフトするには、ブレーキペダルを踏みます。

Model X がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンでパーキングブレーキを解除すると（「コントロール」>「安全」>「パーキングブレーキ」）、Model X はニュートラルにシフトします（パーキングブレーキ ページ 79 を参照）。

ドライブ

レバーを一番下まで押して、離します。ドライブへのシフトは Model X が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 5 mph (8 km/h) 未満の場合にのみ行うことができます。

パーキング

Model X の停車中にドライブレバー先端を押します。



Model X 低速走行中に移動しないように自動的にパーキングにシフトします。これは、充電ケーブルを接続した場合、シートベルトを外した場合、またはドライブまたはニュートラルにシフトしているときにドアを開いた場合に発生します。充電ケーブルが取り外されていること、シートベルトを着用していること、ドアが閉まっていることを確認したうえで、パーキングからシフトしてください。

車両に乗車しやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れてから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除することもできます。

注: パーキングブレーキを解除するにはブレーキペダルを踏みます。

注: 上記の条件は、Model X が自動的にパーキングに切り替わる、または切り替わらない原因をすべて網羅したものではありません。特定の想定状況においては、上記条件 1 つにでも該当する場合、車両がパーキングに切り替わる可能性があります。



注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライブレバーのパーキングボタンを長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。



警告: ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。ドライバーの代わりに Model X が自動的にパーキングに切り替えるといってもそれに任せきりにしないでください。すべての状況に対応するものではありません（例：徐行や傾斜が原因で、車両が約時速 1.5 マイル（時速 2 km）以上で走行する場合があります）。

ライトの調整



ライトを操作するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ライト」にタッチします。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、Model X には運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビニエンスライトがあります。例えば、Model X をロック解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに、ルームライト、標識灯、テールランプ、パドルランプが点灯します。これらは Model X をシフトまたはロックしてから 1~2 分後、自動的に消灯します。

エクステリアライト

エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、Model X の起動時に「自動」に設定されます。「自動」に設定すると、暗い場所で走行しているとき、またはワイパーが作動しているときにエクステリアライトが自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に「自動」設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

- **オフ:** エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイトタイム ランニングライトが点灯したままになる場合があります。
- **パーキング:** パーキング ランプ、側面標識灯、テールランプ、ナンバープレート ランプが点灯します。
- **オン:** ロービーム ヘッドライト、側面標識灯、パーキング ライト、ライセンス プレートナンバーが点灯します。



注意: 視認性が良好でない条件下(例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど)では、ヘッドライトおよびリアライトを必ずオンにしてください。デイトタイム ランニングライトがオンになっている間は、後部テールライトがオフになります。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

注: 左側通行地域から右側通行地域へ、および逆に移動した場合、現地交通規則に従って、ヘッドライトは調節が必要です。ヘッドライトを調節する必要がある地域を走行する場合は、モバイル アプリを使用してサービスを予約します。

フォグランプ

これをタッチしてリア フォグランプ（装備されている場合）をオンまたはオフにします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。



リア フォグ ランプ（装備されていれば）が点灯していると、必ずインストゥルメントパネルにリア フォグ インジケーターが表示されます。



オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロント フォグインジケーターが表示されます。

注: 使用する地域や車両オプションにより、フロントフォグランプまたはリアフォグランプが搭載されていないことがあります。

注: いくつかの地域では、フロント フォグランプをコントロールすることはできません。これらはヘッドライトと連動し、ヘッドライトがロービームの時のみ点灯します。

ドームライト

ルームライト（マップ）をオンまたはオフにします。「自動」に設定すると、応援される Model X のロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、すべてのルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズをタッチすると、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。ルームライトをオンにすると、Model X の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに Model X の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 分後に消灯します。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model X を停めて駐車すると、エクステリアライトは一時的に点灯し続けます。1 分後または Model X をロックした時点のどちらか早い時点で、ヘッドライトは自動的に消灯します。

注: Tesla モバイル アプリまたはキーフォブを使用して Model X をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（降車後オートロック機能 ページ 26 を参照）、ヘッドライトは 1 分後に自動的に消灯します。

この機能のオンオフを切り替えるには、「コントロール」>「ライト」>「降車後ヘッドライト」にタッチします。「降車後のヘッドライト」がオフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けるとヘッドライトがすぐに消灯します。

ハイビーム ヘッドライト

ウィンカー レバーを前方に押しとハイビーム ヘッドライトがオンのままになります。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。

ハイビーム ヘッドライトをパッシングさせるには、レバーを手前に引いて離します。

ライト



ヘッドライトがハイビームの時、Model Xの前方にライトが検知されると（例えば対向車など）自動的にロービームに切り替えます。この機能のオン/オフを切り替えるには、「コントロール」>「オートハイビーム」または「コントロール」>「ライト」>「オートハイビーム」の順にタッチします。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

注: オートハイビームはオートパイロット コンポーネントが装備されている車両で利用可能です。

注: オートハイビームはオートステアリングが有効になると自動的に有効になります。

「オートハイビーム」がオンのときに、Model X 前方の光を検知してハイビームが消灯した場合は、レバーを手前一杯に引くと一時的にハイビームをオンにできます。

ヘッドライトの状態を示すために、インストゥルメントパネルに以下のインジケータライトが表示されます。

ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。「オートハイビーム」設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。



ハイビームが現在オンになっており、Model Xの前方に光を検知した場合には、「オートハイビーム」はハイビームをオフにする準備ができています。



「オートハイビーム」が作動していて、Model Xの前方に光が検知されたため、一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなるとハイビーム ヘッドライトは自動的にオンに戻ります。



警告: オートハイビームは利便性のためのもに過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

ウィンカー

左側のウィンカー レバーを上げるか（右折時）、下げます（左折時）。レバー上げ下げの程度に応じて、ウィンカーの点滅は、3回点滅か連続点滅になります。ウィンカー レバーを軽く押し上げると3回点滅します。連続して点灯させるには、レバーを一杯まで上か下に押しします。



ハンドルを使用してキャンセルするか、レバーを中央に戻すと、ウィンカーが停止します。



ウィンカー作動中は、インストゥルメントパネルの該当するウィンカー インジケータ ライトが点滅し、カチカチという音が鳴ります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロール（装備されている場合）を能動的に使用しているときに、ウィンカーを操作すると、状況によっては Model X が加速する原因となることがあります（[追い越し加速 ページ 118](#) 参照）。

警告: オートステアリング（装備されている場合）を能動的に使用している場合、ウィンカーを作動させると Model X が車線変更する可能性があります（[自動車線変更 ページ 122](#) を参照）。

ハザードランプの点滅

ハザード ランプを点滅させるには、タッチスクリーン脇のハンドルに近い側にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

車両が深刻な衝突を検出した場合、ハザードランプが自動的にオンになり、自動的に高速点滅して、視認性を高めます。ハザードランプスイッチを1回押すと、ライトは通常の点滅に戻ります。2回押すとすべてのハザードランプが消灯します。

注: ハザードランプはキーが近くになくとも動作します。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入（洗車など）により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまることがあります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリアレンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。

ワイパーとウォッシャー

ワイパー

フロントガラスのワイパーを動作させるには、方向指示器レバー先端を前方へ回します。レバーには次の5つの回転（調整）ポジションがあります。

- 1st: オフ。
- 2nd: 低レインセンサー感度* で自動
- 3rd: 高レインセンサー感度* で自動
- 4th: 連続、低速。
- 5th: 連続、高速。



ワイパーを1回だけ作動させるには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが自動に設定されていて、Model Xがフロントガラスに液体を検出しない場合、ワイパーは動作しません。

*「自動」設定を有効にするには、「コントロール」>「車両」>「自動ワイパー（ベータ）」の順にタッチします。ワイパーを自動に設定すると、Model Xは雨が降っているかどうかを検出します。間欠ワイパーの間隔はフロントガラスに検出される雨の量で変わります。ワイパーが雨滴高感度に設定されていると、Model Xは霧雨程度でワイパーを作動させます。

注: オートステアリングが作動している場合、ワイパーは「自動」に設定されます。オートステアリング作動時にワイパー設定を「自動」から変更することは可能ですが、次にオートステアリングを作動させるとワイパーは再び「自動」に初期設定されます。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注: 音声コマンドを使用してもフロントガラスワイパーの速度と作動間隔を調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

注意: ワイパーの損傷を避けるために、Model Xを洗車する前に必ずワイパーがオフ位置あることを確認してください。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーを動かす前にフロントガラスの氷を取り除いてください。氷の角が尖っていてワイパーブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードの先端を定期的にチェックし、クリーニングしてください。損傷している場合は、直ちにワイパーブレードを交換してください。ワイパーブレードの点検と交換についての詳細は、フロントガラスのワイパーブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 215 を参照してください。

注意: 厳しい寒冷下では、ワイパーブレードが凍結している、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。

ワイパーの霜取り

氷や雪を除去するため、ワイパーブレードに手が届きやすくなるよう、Model Xをパーキングにシフトし、ワイパーをオフにしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「コントロール」>「サービス」>「ワイパーサービスモード」の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model Xのワイパーをサービスポジションにしておくとう便利です。このポジションではワイパーが除霜通気口により近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けてことによって氷を溶かすことができます。

Model Xにオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンの「空調」にタッチしてワイパーの霜取りを行なうことができます（空調を操作する ページ 168 を参照）。ワイパーデフロスターは15分後に自動的にオフになります。

注: Model Xをパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ウォッシャー

方向指示器レバー先端のボタンを押すと、フロントガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには2段階あります。軽く押すとワイパーが1回作動し、ウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方をしっかり押します。フロントガラスを洗っている間、ワイパーが作動します。ボタンから手を離れた後、ワイパーはさらに2回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから3回目の動作を行います。



秒

ウォッシャー液は定期的に補充してください（フロントガラスのワイパーブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 215 を参照）。



ブレーキシステム

警告: ブレーキシステムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。Model X ブレーキシステムはブレーキペダル、ブレーキキャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model X 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。

注: メキシコで販売の車両は、製造場所によって、ブレーキ、ABS、パーキングの各インジケータランプの文字またはアイコンが表示される場合があります。

ABS

(米国) Model X を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケータがインストゥルメントパネルで短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



(カナダ) Model X を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケータがインストゥルメントパネルで短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

BRAKE

(米国) Model X を最初に始動したときに短く表示される以外で、インストゥルメントパネルにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。



(カナダ) Model X を最初に始動したときに短く表示される以外で、インストゥルメントパネルにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。

す。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。

BRAKE

(米国) ブレーキ ブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、インストゥルメントパネルに黄色のブレーキインジケータが表示されます (回生ブレーキ ページ 78 を参照)。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が作動する場合があります (油圧ブースト補正 ページ 78 を参照)。



(カナダ) ブレーキ ブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、インストゥルメントパネルに黄色のブレーキインジケータが表示されます (回生ブレーキ ページ 78 を参照)。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が作動する場合があります (油圧ブースト補正 ページ 78 を参照)。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。



警告: ブレーキペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。



警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロブレーキング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。



注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ (衝突回避アシスト ページ 155 参照) は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。



注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ブレーキと停車

ダイナミック ブレーキ ライト (装備されている場合)

時速時速 30 マイル (時速 50 km) 以上で走行している時に急ブレーキをかけた場合 (または、自動緊急ブレーキが作動した場合)、ブレーキライトが短い間隔で点滅し、他のドライバーに Model X が急に減速していることを警告します。Model X が完全に停止すると、ハザードランプが点滅します。アクセルを踏むか、ハザードライトのボタンを押すまで、ライトが点滅し続けます (参照)。

注: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、独立したブレーキ装置がトレーラーになくても、トレーラーのブレーキライトも前述のように動作します。

警告: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、必ず車間距離を十分にあげてください。急ブレーキを踏むと、横滑り、ジャックナイフ、およびコントロールの損失につながる場合があります。

ブレーキディスク ワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、Model X にはブレーキ ディスク ワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキ ディスク表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model X 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と ABS 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると (ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など)、異音が聞こえたり、ブレーキペダルが足から離れるような感触があったり、ブレーキ圧力が大幅に上昇したと感ずることがあります。ブレーキは通常どおりに使用します。ブレーキペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライバーのパーキング ボタンを長押しして Model X を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキ ディスク ワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

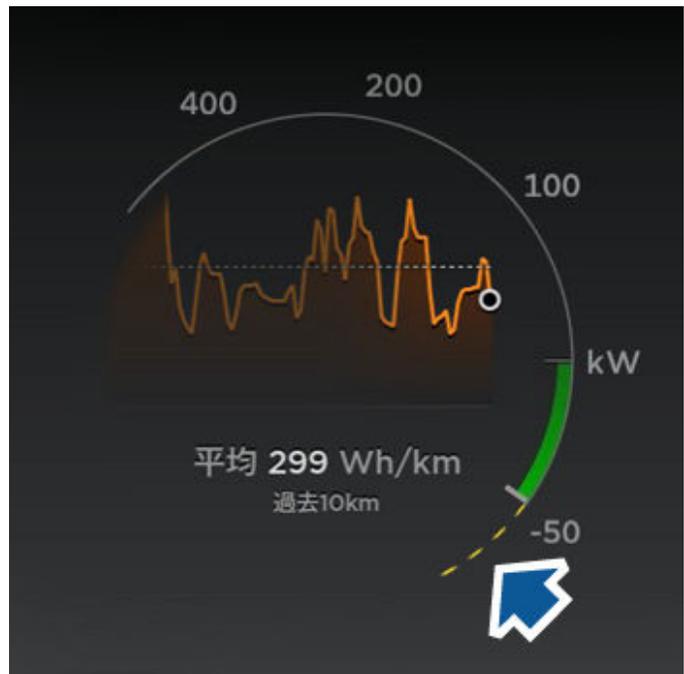
Model X ブレーキペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキブースターの故障が検出されると、ブレーキペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキペダルを踏んだときにノイズが聞こえます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキペダルの反応性の劣化があり得ます。ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。

回生ブレーキ

Model X の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

エネルギー アプリのパワーメーターには使用中の電力量がリアルタイムで表示されます。ハンドルのスクロール ボタンで「電力」を選択すれば、インストゥルメントパネルの両側にパワーメーターを表示させることもできます (ハンドル ページ 68 を参照)。回生ブレーキによってエネルギーが取得されると、パワーメーターには、バッテリーに戻される電力量が緑色のエリアで表示されます。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻される電力量は、バッテリーの現在の状態によって異なる可能性があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。回生ブレーキが制限されている場合、パワーメーターには、バッテリーに戻されていない減速電力量が点線で表示されます。



注: Model X が回生ブレーキで減速されると (高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど)、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: Model X は回生ブレーキを使用しているので、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、標準設定時や、冬用タイヤを使用していない場合は特に、回生ブレーキの動作中に Model X のトラクションが失われる場合があります。Tesla では、積雪時や凍結路面で車両の安定性を維持するために、低設定を使用することを推奨しています。、低設定を使用することを推奨しています。



回生ブレーキ レベルを設定するには

注: 回生ブレーキ設定は、すべての車両で利用できるわけではありません。

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2つのレベルのどちらかを選択します。
 - **標準:** 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルペダルをゆるめると、Model X は減速します。
 - **低:** 回生ブレーキを制限します。アクセルペダルをゆるめると、「標準」に設定した場合に比べて、Model X が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。

ストップモード

走行中アクセルを踏まずに、回生ブレーキにより Model X を減速させます。アクセルペダルもブレーキペダルも踏まずに走行速度が非常に遅くなったら（ほぼ停車する程度）、好みの Model X の動作を選択することができます。駐車中、「コントロール」 > 「ドライブ」 > 「ストップモード」の順にタッチして以下のオプションから選択します。

- **クリープ:** 完全に停車しそうなとき、または完全に停車しているときには、従来のオートマチックトランスミッションの車両同様に、Model X を（ドライブで）ゆっくりと前進させたり（リバースで）後退させたりしてモーターがトルクをかけ続けます。坂道や車道などの一部の状況では、アクセルペダルを踏んで移動させ続けたり、Model X が反対方向に移動しないようにする必要があります。

警告: 坂道では、車両が下がらないようにするために、クリープ機能のみに頼らないでください。坂道では車両を制動するためにブレーキを必ず踏むか、アクセルペダルを踏んで坂道を登ってください。そうしない場合は 物損事故や衝突事故を起こす恐れがあります。

- **ホールド:** 「クリープ」または「ロール」の設定時よりも低速で回生ブレーキを利用することで、航続距離を最大限に伸ばしブレーキ摩耗を低減させます。Model X が停車すると、ブレーキペダルを足で踏まなくても自動的にブレーキがかかります。平らな道路で停車しても坂道で停車しても、「車両ホールド」ではアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいない状態でブレーキをかけ続けます。[オートブレーキホールド ページ 85](#) を参照してください。

警告: 車両を十分に減速するか完全に停車させるのを「ホールド」機能に任せきりにしないでください。下り坂、低い設定の回生ブレーキ、回生ブレーキの低減化など、様々な要因で停車距離が伸びることがあります（[回生ブレーキ ページ 78](#) 参照）。必ず、ブレーキペダルを踏んで十分に減速したり停止させたりできるように準備をしておいてください。

- **ロール:** 完全に停車しそうなときや完全に停車しているとき、Model X は車両のニュートラルのように勝手にタイヤが回転する状態になります。そのため、坂道で停車すると Model X が坂道の下に向かって動きます。ブレーキがかからず、（アクセルペダルを踏むまで）モーターはトルクをかけません。

注: 「クリープ」または「ロール」を選択する場合でも、「車両ホールド」を利用してブレーキをかけることができます。ただし、車両が停車しているときには、ブレーキペダルを軽く踏む必要があります。[オートブレーキホールド ページ 85](#) を参照してください。

注: 希望されたストップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。

警告: 安全でないときに Model X が動く場合、ブレーキペダルを踏んでください。常に路上に注意を払い、車両を制御することはドライバーの責任です。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 回生ブレーキや選択したストップモードに任せきりにせず、ドライバーや車両を安全に保ってください。重い荷重がある場合の走行、急な坂道の走行、濡れた道路や凍った道路の走行などの様々な要因が、減速の程度や Model X が停車するまでの距離に影響します。十分に注意を払って運転し、必ず、交通状況や道路状況に合わせて適切にブレーキペダルを踏んで停車させられるよう準備をしておいてください。

警告: 非常に遅い速度で走行しているときには、正面衝突警告および自動緊急ブレーキは作動しません（[衝突回避アシスト ページ 155](#) 参照）。これらの機能が常に警告してくれるあるいは衝突の衝撃を回避または低減してくれるわけではないことをご認識ください。

パーキング ブレーキ

パーキングブレーキをかけるには、「コントロール」 > 「安全」の順にタッチし、ブレーキペダルを踏んでから「パーキングブレーキ」にタッチします。

（米国）パーキングブレーキをかけると、インストゥルメントパネルに赤色のパーキングブレーキインジケータが表示されます。

PARK

（カナダ）パーキングブレーキをかけると、インストゥルメントパネルに赤色のパーキングブレーキインジケータが表示されます。



パーキングブレーキは、他のギアにシフトすると解除されます。

パーキングブレーキは、パーキングにシフトした状態で、シフトレバーの頭のボタンを長押ししてもかけることができます。

ブレーキと停車



PARK

(米国) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、インストゥルメントパネルに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生メッセージが表示されます。



(カナダ) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、インストゥルメントパネルに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生メッセージが表示されます。

注: パーキング ブレーキは後輪のみに作用し、ペダル ブレーキシステムからは独立しています。

⚠ 注意: 万一、Model X の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと([ジャンプスタート ページ 241](#) を参照)、パーキングブレーキを解除することはできません。

⚠ 警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model X がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

⚠ 警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキングブレーキが適切に作動していない場合、Model X にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model X ブレーキ パッドはウェア インジケーターを備えています。ウェア インジケーターは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキパッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキパッドの詳細な仕様と整備期限については、[サブシステム ページ 227](#) を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 12,500 マイル (20,000 km) 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

⚠ 警告: 摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

注: Model X の電源を入れると、エアサスペンションのリザーバーに空気を注入するためにコンプレッサーの音が聞こえる場合があります。

Model X は、快適な乗り心地を提供し、好みに合わせてサスペンションを軟らかめまたは硬めに設定することができるアダプティブエアサスペンションを装備しています。荷物を積載する場合、エアサスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。状況に合わせて手動で車高を調整することができます（たとえば、急な車道や傾斜路、積雪のある場所、減速バンク、駐車場などを走行するときにさらに地上高が必要な場合に Model X の車高を上げることができます）



車の性能に関わるアダプティブエアサスペンションシステムの不具合が検知されると、インストゥルメントパネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりアダプティブエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します。Tesla にご連絡ください。

車高調整

注意: サスペンションの高さを調整する際は、Model X の上下に障害物が一切ないことを確認してください。

ブレーキペダルを踏んでタッチスクリーンの「コントロール」>「サスペンション」をタッチすれば、手動で車高を調整できます。利用できる車高設定は、走行速度とその他条件（ドア開放時はサスペンションは下がらないなど）によって異なります。タッチスクリーンには、各設定の概算最低地上高が表示されます。以下のオプションからはスライダをドラッグして選択します：

- **Very High** - 「Very High」に設定しておく、約 100 フィート (30 m) 走行後、または走行速度が 15 mph (24 km/h) に達するとサスペンションは自動的にデフォルト車高*（「Standard」、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく「Very High」設定を維持するには、「15 mph まで維持」にタッチします。
- **High** - 「High」に設定しておく、約 100 フィート (30 m) 走行後、または走行速度が 35 mph (56 km/h) に達するとサスペンションは自動的にデフォルト車高*（「Standard」、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく High 設定を維持するには、「35 mph まで維持」にタッチします。
- **Standard** - 「Standard」に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。
- **Low** - 車高を下げると、空力性能が向上し、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になり、ハンドリングが向上します。
- **Very Low** - この設定は、手動で選択した場合に、有効になります。サスペンションは次回運転するとき自動的にデフォルト設定に戻りますが、車両の速度によって適切な時に有効になります。

* 「デフォルト車高は低」設定がオフのとき、車高は、乗り心地、ハンドリング、航続距離のバランスを取るよう「Standard」および「Low」の間で調整されます。ハンドリングと航続距離を最適化するには、「デフォルト車高は低」設定をオンにします。

注意: エアサスペンションが、「高」または「最高」に設定されている時は、アグレッシブな運転（急加速、急カーブ、など）は避けてください。車高が高い時にアグレッシブな運転を行うと、振動が発生し、車両を損傷する恐れがあります。

注意: サスペンションが、「高」または「最高」に設定されているときは加速が制限される場合があります。

アダプティブサスペンションダンピング

「アダプティブサスペンションダンピング」に関連する設定では、サスペンションシステムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化できます。オプション：

- **コンフォート** - 柔らかい乗り心地でゆったりと運転することができます。
- **オート** - さまざまな道路や運転スタイルに合わせて調整を行ない、滑らかな走行ながらもきちんとコントロールされた乗り心地を提供します。
- **スポーツ** - 確実にコントロールされた乗り心地を提供し、ドライバーの意思がより反映され、道路と連動しているような感覚になります。
- **Advanced** - 「乗り心地」および「ハンドリング」を調節する個々のスライダを動かして、サスペンションを微調整することができます。

「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

注: アダプティブサスペンションダンピングが「コンフォート」または「自動」に設定されている場合、荒れた路面での乗り心地を向上させるためにサスペンションが上昇することがあります（米国のみ）この機能は、荒れた路面部を示すデータを含む最新のマップデータを使用できるかどうかによって依存します。

「コンフォートダンピングをオートパイロットで使用」（装備されている場合）- デフォルトでは、オートパイロットを使用するとダンピングは自動的にコンフォートに設定され、オートパイロットを使用をやめると選択していた設定に戻ります。この設定をオフにするとこの機能は無効になります。

リアルタイムの視覚化

サスペンション画面の Model X の画像では、エアサスペンションシステムのリアルタイムのステータスを知ることができます。ここでは、視覚的に車高の変化が表示されるだけでなく、設定した設定と変化する道路条件に応じて、サスペンションシステムで各ホイールのダンパーが制御される様子を反映した圧縮ラインとリバウンドラインが表示されます。いずれも同時制御されます。「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

エアサスペンション

注: インストゥルメントパネルでは、サスペンションシステムによって、変化する路面状況に合わせて各ホイールのダンピングが動的に調整されている様子をリアルタイムで確認できるようになりました。表示するには、利用できるオプションが表示されるまで、各ハンドルスクロール ボタンを長押しします。スクロール ホイールを回して**サスペンション**をハイライト表示したら、スクロール ボタンをもう一度タップします。

自動車高調整位置

サスペンションを「**High**」または「**Very High**」に上げると、その場所が自動的に保存されます。場所を保存することで、以前車高を上げたことがある場所で頻繁に車高を上げる必要がある場合に、その都度手動で車高を上げる必要がなくなります。保存した場所に戻ると、Model X はサスペンションを上げて、インストゥルメント パネルには、サスペンションが上げられていることを示すメッセージが表示されます。

場所を保存するとき、Model X は「**XX mph まで維持**」設定も保存します（指定された場合）。

注: 保存された場所に戻って「**High**」および「**Very High**」サスペンション設定で走行可能な速度以上の速度で走行した場合、Model X の速度が下がるまでサスペンションは上がりません。

注: 保存した場所を離れると、サスペンションは自動的に下がります。ただし、Model X の速度と距離がしきい値に達するまで、サスペンションが低下しない場合があります。

注: 保存された場所に Model X が着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、車高は調節されません。

車高自動上昇場所を取り消す

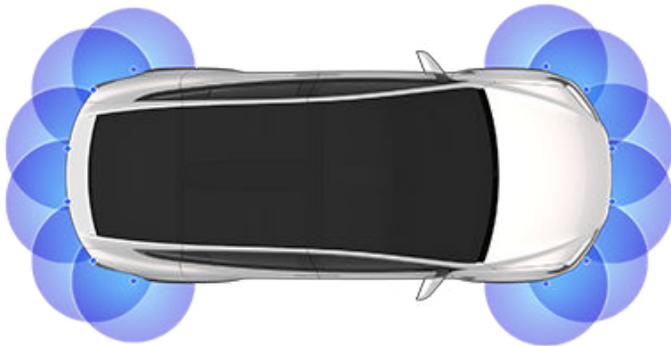
ある場所でサスペンションを自動で上昇させたくない場合は、保存場所まで上昇したときに表示されるポップアップでタッチして、「**この場所ではいつでも車高オート調整を有効にする**」の選択を解除します。

セルフレベルング

Model X エアサスペンション装備の場合、電源がオフでも自動的にセルフレベルングが働きます。ジャッキアップやリフトアップの際に破損するのを防ぐため、「**ジャッキ モード**」を起動して、セルフレベルングを無効にする必要があります。（ブレーキペダルを踏み、「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**ジャッキ モード**」の順にタッチします）。詳細については、[ジャッキモード ページ 217](#) を参照してください。

Model Xには、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ゆっくり走行しているときに（駐車時など）、Model Xの近くに物体が検出されると、車両が警告を発します。ドライブ時に Model X の前方で、リバース時に Model X の後方で物体が検出されると、車両が警告を発します。

警告: 反対方向に Model X が勝手に動き出した場合に警告されることがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。



注: 車両が検出された場合、Model X がけん引モードの場合、パーキングアシストが無効になります。

警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります（[制約と誤警告 ページ 84](#)を参照）。したがって、Model X が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、カメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、カメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、インストゥルメントパネルの左側にパーキングアシストビューが表示され、Model X の前後の直近位置に存在する物体を表示します。このビューは、Model X の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトしたときに閉じます。この場合、パーキングアシストビューは、パーキングアシストの作動する速度より高速な速度で運転を開始すると自動的に閉じます。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます（[リアビューカメラ ページ 93](#)参照）。X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、低速で運転している場合、カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチすることで、パーキングアシストビューに切り替えることができます。縦列駐車への援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整 ページ 83](#)を参照）、物体に近づいたときにピープ音が鳴ります。パーキングアシストビューの下隅にあるスピーカーアイコンにタッチすると、チャイムを一時的にミュートすることができます。

注: パーキングアシストがフィードバックを提供できない場合は、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されません。

注意: カメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でカメラをクリーニングしないでください。

注意: カメラの近くにアクセサリやステッカーを取り付けしないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「パーキングアシストチャイム」の順にタッチします。

パーキングアシスト

チャイムの音を一時的に鳴らさないようにするには、パーキングアシストビューの隅にあるスピーカーアイコンにタッチします。パーキングアシストの作動する速度より高速にシフトするか運転するまでチャイムは鳴りません。

制約と誤警告

以下の場合、パーキングアシストが正常に機能していない可能性があります。

- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 物体がおよそ 8 インチ（20 cm）下方にある場合（縁石や低い柵など）。



注意: 高さが低い物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。Model X 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。

- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
- 物体が薄い場合（道路標識など）。
- パーキングアシストの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合（粉雪など）。
- 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
- Model X 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がパーキングアシストを妨害または遮蔽している場合。
- Model X が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。

その他のパーキング補助装置

パーキングアシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップカメラに Model X の周囲の映像が表示されます（リアビューカメラ ページ 93 を参照）。



Model X が停止したときに、ブレーキペダルから足を離れたあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。

オートブレーキ ホールドが有効になります。

- **ホールド:** 車両が完全に停止すると、常に車両ホールドが自動的に有効になります。
- **クリープまたはロール:** 車両が停止していてブレーキを目一杯踏んでいるときは、常に車両のホールドが自動的に有効になります。



このインジケータは、Model X のオートブレーキホールドが作動しているときは常にインストゥルメントパネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを踏むか、ブレーキペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注: 走行用のギアに入れたまま、Model X のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model X はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model X また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。



トラクションコントロール

説明

トラクションコントロールシステムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model X のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクションコントロールシステムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクションコントロールシステムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「インストゥルメントパネル」上のこの黄色いインジケータが常に点滅しています。トラクションコントロールシステムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

警告: トラクションコントロールシステムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは、Model X が 30 mph (48 km/h) 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。スリップスタートは、速度が 50 mph (80 km/h) を超えると自動的に無効になります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- 積雪路面や砂利道での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを空転させるには、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「スリップスタート」の順にタッチします。



インストゥルメントパネルにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model X を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注: クルーズコントロールを使用しているときは、スリップスタートを有効にすることはできません。

お客様の Model X で利用できる加速設定は、購入時に装備したオプションにより異なります。

- **コンフォート**：滑らかで乗り心地を優先するよう加速を制限します（オートパイロットハードウェアを搭載したすべての車両で利用可能）。
- **標準**：通常レベルの加速を提供します（非パフォーマンス四輪駆動仕様車）。
- **スポーツ**：通常レベルの加速を提供します（パフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **インセイン**：ピークトルクを約 30% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備していないパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **Ludicrous**：ピークトルクを約 60% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備しているパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- 理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、**インセイン+** がおよそ 30 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のないパフォーマンス全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する ページ 87** に関してお読みください。
- **Ludicrous+**：理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、およそ 60 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のパフォーマンス全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する ページ 87** に関してお読みください。

注：コンフォートは航続距離を向上させることはありませんが、インセインまたは Ludicrous モードでトルクとパワーを増加させると、航続距離と効率が低下します。

注：コンフォートが選択されると、インストゥルメントパネルに表示される運転速度の上に「コンフォート」が表示されます。

これに加え、パフォーマンス四輪駆動仕様の Model X にはローンチモードが装備され、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。ローンチモードを使用する際の具体的な運転説明は、**ローンチモード ページ 87** をご参照ください。

加速モードを選択するには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「加速」の順にタッチします。

インセイン+または Ludicrous+を使用する

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。ただし、絶対的な最大電力（短時間利用設計）を発揮するために、**インセイン+または Ludicrous+** を選択でき、バッテリーをその理想的な動作温度まで温めます。これにより、確実に 100% の電力を利用できるようになります。

バッテリーを温めている最中、タッチスクリーンにはおよその待ち時間、いつ追加の電力を利用できるかを知らせるメッセージが表示されます。バッテリーを加熱することに加えて、**インセイン+** および **Ludicrous+** モードは、バッテリーを最適な温度範囲内に維持するよう努めます。このため、ハードな走行を

したときは、温度が下がるまで「冷却中」ステータスが数分間表示される場合があります。Model X で選択したモードは、車両を離れても 3 時間維持されます。この機能は、3 時間後にタイムアウトします。

注：インセイン+および Ludicrous+は、短時間の加速を最大限に発揮するよう設計されています。これらの設定は、日常運転での利用を想定したものではありません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセイン+または Ludicrous+設定を選択していない時でも、インセインまたは Ludicrous の加速設定では、著しくパフォーマンスが上昇し、バッテリー出力最大化を達成します。実際に、通常の運転状況下では、インセイン+または Ludicrous+を利用してさらにパワーを発揮することができますが、ほとんど気づきません。

注：インセイン+または Ludicrous+を対応させるには、充電レベルが 20% 以上でなければいけません。充電レベルが 20% 以下の場合、本設定を初期化することはできません。さらに、使用中に充電レベルが 20% 以下になった場合、本設定は直ちにキャンセルされます。

インセイン+または Ludicrous+の使用時、バッテリーを最適な温度範囲内に保つために Model X はより多くの電力を消費します。

インセイン+または Ludicrous+をキャンセルする時には、加速レベルを他の設定に変更します。過剰な電力消費や不必要なエネルギー消費（例えば、車両を放置してインセイン+または Ludicrous+のキャンセルを忘れるなど）を防ぐために、運転中か車両降車後かに関わらず、本設定は自動的に 3 時間でキャンセルされます。

注：インセイン+または Ludicrous+では、バッテリーを最適な温度範囲内に保ちます。バッテリーを温めるだけでなく、本設定では必要に応じてバッテリーを冷却します（例：高速運転時、急速な加速の間、長時間の運転時など）。

ローンチモード

パフォーマンス四輪駆動仕様車のみで利用できるローンチモードは、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。

注：ローンチモードの使用などで急激な加速を行うと、車両のパワートレインへの負荷が増すため、コンポーネント各部の摩損および疲労が進みます。Model X パワートレインの疲労具合や損傷などがなければ継続的に監視し、整備が必要なコンポーネントがあればお知らせします。

警告：ローンチモードは交通の妨げにならず、歩行者のいない適切な状況下に限り使用してください。ローンチモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバーは、他の道路利用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。

ローンチモードを作動させる

1. 数分間運転をし、さらにブレーキを数回使用して、ブレーキを少し温めておきます。
2. エアサスペンションを「Low」または「Very Low」に設定します（**エアサスペンション ページ 81** 参照）。



加速モード

3. 加速レベルを**インセイン+**または**Ludicrous+**（備わっている場合）に設定します。
注: **Ludicrous+**設定が備わっている場合、この設定を3秒間長押しして最適なパフォーマンスを実現することができます。
4. Model X のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態でハンドルをまっすぐにし、ブレーキペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。1秒以内に、計器パネルに、ローンチモードが有効になったことを示すメッセージが表示されます。
5. ローンチモードを有効にしてから12秒以内に、ブレーキペダルから足を離し車両を始動します。

ブレーキを離すと、Model X が前進します。

注: でスリップスタートがオン（ホイールのスピンを許す）場合、ローンチモードは利用できません。[トラクションコントロール ページ 86](#) を参照してください。

注: ローンチモードは、周囲温度が 37°F 以上の場合にのみ利用できます。

運転席シート、ハンドルポジション、またはドアミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバープロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、Model X をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。



新しいドライバープロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンをタッチします。「**ドライバープロフィールの設定**」 > 「**ドライバーを追加**」をタッチして、ドライバーの名前を入力し、「**プロフィールを作成**」をタッチします。画面の指示に従い。

ドライバーに合わせて運転席とハンドルを自動的に調整して Model X への出入りをより便利にする**イージー エントリー**設定を保存（または既存のものを使用）する場合は、「**イージーエントリーを使用**」チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバープロフィールの保存または選択後、運転席シート、ハンドル、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を**保存**するか、または前回保存した位置へと**元に戻す**ことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバープロフィールのアイコンをタッチし、「**ドライバーのプロフィール設定**」をタッチして、削除するドライバープロフィールを選択します。選択したら、そのドライバープロフィールを「**削除**」します。

注: バレーモードは、速度制限および Model X の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです（**バレーモード ページ 90** を参照）。

注: ドライバープロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある「**停止**」をタッチします。手動でシート、ミラー、ハンドルを調整すると、自動調整も停止します。

ドライバープロフィールの選択



ドライバープロフィールに従って Model X を調整するには、タッチスクリーンの最上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバープロフィールで保存されている設定に合わせて Model X が調整されます。

保存されている設定

Model X をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバープロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバープロフィールアイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバープロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。

- オートパイロットおよびドライブの好み。

ドライバーのプロフィールとキーフォブのリンク

ドライバーのプロフィールを特定のキーフォブにリンクさせ、そのキーフォブを持って車両に近づくと運転席側ドアを開き、Model X が正しいドライバーのプロフィールを自動的に選択できるようにします。ドライバープロフィールをキーフォブにリンクさせるには、キーフォブを持って Model X に乗車し、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。キーフォブにリンクさせたいドライバープロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」をタッチします。

注: Model X 一度に検出するキーフォブは 1 つだけです。ドライバーのプロフィールはその時点で車両が検出したキーフォブにリンクされます。そのため、ドライバープロフィールを複数のキーフォブにリンクさせたい場合は、リンク確立手順を行っている間、ドライバープロフィールをリンクさせたいキーフォブだけが検出範囲内にあるようにしてください。その他のすべてのキーフォブを検出範囲外（Model X から少なくとも 3 フィート（1 メートル）離れた場所）に移動します。

注: Model X 一度に 8 個までのキーフォブをリンクさせることができます。ただし、1 つのドライバープロフィールは 1 つのキーフォブにしかリンクさせることができません。

ドライバーのプロフィールとキーフォブとの間のリンクを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバープロフィールをタッチします。ドライバープロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」の横にある X をタッチします。

イージーエントリー

イージーエントリー設定を定義すると、Model X への出入りを容易にするようにハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージーエントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シートベルトが外されたときに、ハンドルと運転席が自動的に調整され、Model X からの降車（および次回の乗り込み）が楽にできるようになります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。

ドライバーのプロフィールで**イージーエントリー**を使用するには、「**イージーエントリーを使用**」ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model X がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- 速度は 70 mph (113 km/h) 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーションシステムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- テキストメッセージは非表示になります。
- オートパイロットの便利な機能が無効になります。
- 「モバイルアクセスを許可」設定は変更できません。
- HomeLink (地域で使用可能であれば) にアクセスできません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- Toybox や Theater などの一部のアプリは利用できません。
- Wi-Fi と Bluetooth が無効になります。Model X がバレーモードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に Bluetooth でペアリングした機器または既知の Wi-Fi ネットワークがある場合は、Model X は接続を行いません。

バレーモードの開始

Model X をパーキングにシフトして、「コントロール」 > 「コントロール」 > 「安全」 > 「バレーモード」にタッチするか、タッチスクリーンの最上部にあるドライバーのプロフィールアイコンにタッチしてから、**バレーモード**にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 桁の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、インストゥルメントパネル上に「バレー」の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが「**バレーモード**」に変わります。

また、モバイルアプリを使って、バレーモードを開始またはキャンセルすることもできます (Model X のギアがパーキングに入っている必要があります)。モバイルアプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定が有効になっている場合 (**ドライブ用 PIN ページ 160** を参照)、バレー PIN を定義または入力するには、ドライブ PIN を入力する必要があります。バレーモードになると、Model X は、ドライブ用 PIN の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model X 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます (バレーモードもキャンセルされます)。モバイルアプリを使って PIN をリセットすることもできます。



警告: トレーラーをけん引しているときにはバレーモードを使用できません。バレーモードのトルクの限界により、Model X ではトレーラーを引きながら坂道を登ることが困難になることがあります。

バレーモードのキャンセル

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンの最上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチしてから、「**バレーモード**」にタッチして 4 桁の PIN を入力します。

バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバープロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

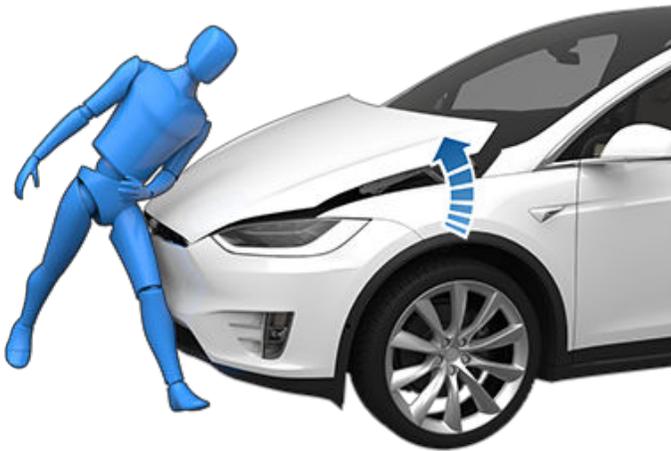
注: バレーモードをキャンセルするにはモバイルアプリから PIN を入力する必要はありません。



アクティブボンネットの仕組み

(装備されている場合) Model X (販売地域および製造日により異なります) 正面衝突した歩行者や自転車走行者の頭部の負傷を軽減するアクティブボンネットを使用した歩行者保護システムを備えています。車両の前部にある複数のセンサーは、Model X が 25~50 km/h で走行しているときに、歩行者との衝突を検出すると、ボンネット後部を 80 mm 持ち上げるように設計されています。これにより、ボンネットとその下にあるコンポーネントとの間のスペースが広がり、負傷の可能性を減らします。

注: 歩行者保護システムは、アクティブボンネットの作動タイミングを決めるよう設計および調整された一連のセンサーとアルゴリズムを使用していますが、歩行者との衝突事故で必ず作動するとは限りません。同様に、アクティブボンネットは Model X が動物や車両あるいは物体に衝突したときに展開する場合もあります。



アクティブボンネットが作動したときは、インストゥルメントパネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。直ちに最寄りの Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定ボディショップまで Model X を持ち込んでください。アクティブボンネットが作動した場合は、その都度アクティブボンネットの関連センサーおよびアクチュエーターを整備する必要があります。

⚠ 警告: アクティブボンネットが作動すると、アクティブボンネットが上昇し、ドライバーの視界を遮るため衝突を起こす原因となる恐れがあります。安全に走行できる場合は、Model X を最寄りの Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定ボディショップまで車を持ち込んでください。安全に走行できない (持ち上がったボンネットで視界が遮られたり、ボンネットのハッチが損傷していたりなど) 場合、車両を輸送する必要があります。

⚠ 警告: アクティブボンネットが作動していないときに作動したことを示す警告がインストゥルメントパネルに表示されるときは、ただちに Model X を最寄りの Tesla サービスセンターへ運んでください。

注: フロントバンパーに損傷を被った場合は、Tesla 認定ボディショップでセンサーに損傷がないか点検を受けてください。



走行情報を表示する

走行情報は、タッチスクリーンの「コントロール」>「走行データ」の順にタッチしたときに、表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

最大3つまでのトリップの情報をインストゥルメントパネルに表示できます。チェックボックスを使って表示させたいトリップを指定します。次にハンドルの右側にあるスクロールホイールを使用して、選択したトリップを表示します（[ハンドルの右ボタンを使用する ページ 68](#)を参照）。

オドメーター

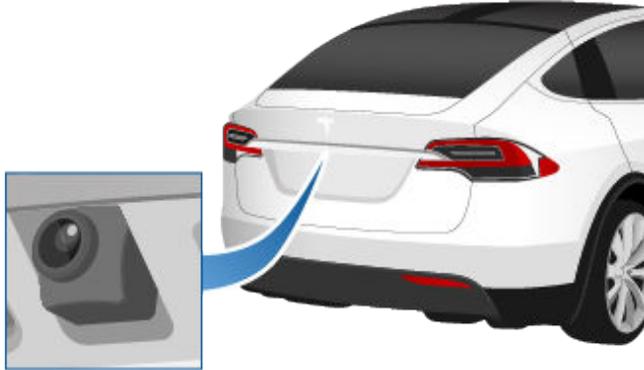
オドメーターを表示して走行距離を確認するには、以下のいずれかの操作を行います。

- ・「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ・「コントロール」>「トリップ」の順にタッチします。
- ・モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロールダウンします。



カメラ位置

Model X 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



ギアをリバースに入ると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ハンドルの位置に応じてラインが運転方向を示します。ハンドルが動いても、これらのラインは調整されます。

Model X が車両の後ろを横切ろうとする物体（他の車両や歩行者など）を検出すると、リアビューカメラの画像に重なって赤い縦棒が表示されます。詳細な情報は、[リアクロスストラフィックアラート ページ 156](#) を参照してください。

Model X は、サイドカメラの画像も表示します（装備されている場合）。上または下にスワイプするだけで、サイドカメラビューを表示または非表示にできます。

注: サイドカメラの画像を表示するには、カメラウィンドウを拡大する必要がある場合があります（装備されている場合）。

注: インストゥルメントパネルにパーキングアシストからの視覚的フィードバックも表示されます（[パーキングアシスト ページ 83](#) を参照）。



リアビューカメラのビューを表示するには、常にアプリランチャーを開いて、カメラアプリにタッチします。

リバースにシフトしているときに、リアビューカメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リアビューカメラが使用できない状態が継続する場合、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

警告: 車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model X が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。[洗車 ページ 211](#) を参照してください。



歩行者警告システム

(装備している場合) 歩行者警告システムは、19 mph (32 km/h) より低速で走行している場合、または後進している場合に、Model X を鳴動させます。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、Model X がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

注: およそ 2020 年 9 月 1 日より前に製造された車両には、歩行者警告システムが搭載されていないことがあります。

⚠ 警告: 音が聞こえないと、歩行者は近づく車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者に車両を確実に気付かせるために、歩行者警告システムを頼ることはしないでください。歩行者警告システムが作動していない場合、サービス予約をしてください。



注: 製造日および車両構成によっては、Model X にアクティブ スпойラーが装備されていない場合があります。

Model X は、空力抵抗を低減するためのリア スпойラーを装備しています。Model X にアクティブスポイラーが装備されている場合は、Model X の状態と速度によってスポイラーの位置が変わります。

- Model X のギアがリバースに入っているかまたは走行速度が 10 mph (時速 16 km) 未満の場合は、Model X の背後の視界を最大限確保します。
- 運転速度が 72 km/h を超えると、スポイラーが最も効果的なエアロダイナミクスを実現する位置まで下がります。
- Model X の電源を切り、ロックすると、スポイラーは格納されます。

上述のようにスポイラーを自動的に動かすには、「コントロール」 > 「サービス」 > 「スポイラーモード」 > 「自動」の順にタッチします。スポイラーの自動的な動作を止め、延長位置で保持するには、「延長」設定を選択します。

注: スポイラーを自動昇降できない場合は、インストゥルメントパネルに警報が出ます。Tesla サービスにお問い合わせください。



牽引とアクセサリー

けん引パッケージを使用すると、Model Xでトレーラーをけん引できるようになります。また、アクセサリー キャリアをヒッチに取り付けると、スキーやスノーボードなどの運搬ができます。

アクセサリーの積載

Model Xのけん引パッケージには、アクセサリー キャリアを支持できる2インチ ヒッチ レシーバーが含まれています。

ヒッチ レシーバーは、アクセサリー ラックに搭載した自転車など、ヒッチ レシーバーから24インチ (63 cm) 以内で後方に片持ちされている120ポンド(54 kg) までの垂直荷重を支持するように設計されています。

Model Xのヒッチで自転車その他の物を運搬するときは、最大重量を超えていないことを必ず確認してください。重量計算では、必ずアクセサリー キャリア自体の重量も含めてください。例えば、キャリアの重量が40ポンドだとすると、それぞれ約40ポンドの自転車2台、またはそれぞれ約20ポンドの自転車4台を積載できると判断できます。

注意: Model Xのヒッチは、最大120ポンド (54 kg) を支持できるように設計されています。この最大重量を超えると、重大な損傷を引き起こす危険があります。

注意: けん引パッケージを装備していない Model Xにキャリアを取り付けようとししないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。

アクセサリー キャリアを取り付けるには、けん引ヒッチを接続する必要があります(けん引ヒッチの接続 ページ 101 参照)。作業はアクセサリー キャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリーの積載に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model Xのけん引パッケージには、ライト付きアクセサリー キャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています(電気系の接続 ページ 103 を参照)。また、パッケージには、けん引モード ソフトウェア(けん引モード ページ 98 を参照) も含まれています。



アクセサリー キャリアのワイヤー ハーネスを接続すると、Model Xはトレーラー ライトの接続を検出し、対応のインジケータがインストゥルメントパネル上で点灯します。けん引モードは無効になります。

アクセサリーを運搬するときは、アクセサリー キャリアと積載物の取り付け状態が安定していること、および可能ならば、アクセサリー キャリアのライトが正常に動作していることを定期的に確認してください。

注: Model X用アクセサリーを購入するには、www.tesla.comにアクセスしてください。サード パーティの製品もありますが、TeslaはTesla認定品を推奨し、またTesla認定品のみをサポートします(部品とアクセサリー ページ 218 を参照)。入手可能なModel X用アクセサリー製品は販売地域によって異なります。Teslaブランド以外のキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て互換性を確認してください。

注: 使用しない時は、ヒッチ レシーバーを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチのハウジングにダストカバーをかけ、ほこりやごみが入らないようにしてください(けん引ヒッチの取り外し ページ 102 参照)。



注意: キャリアを取り付けると、リアビュー ミラーやリアカメラからの視界が見えなくなることがあります。さらに、一部のオートパイロット機能が期待どおりに働かなくなることがあります。



警告: Teslaは、アクセサリー キャリアの取り付けおよび使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリー キャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリー キャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

けん引能力

総けん引重量 (積み荷や付加機器を含めたトレーラー重量) およびトレーラー タングの重量は以下の上限を超えないようにしてください。

ホイール/リムサイズ	最大けん引能力*	最大ヒッチ荷重**
245/45R19 110 V / Y	SAE Class III - 4960 lb (2250 kg)	SAE Class III - 500 lb (225 kg)
275/45R20 110 V / Y	SAE Class III - 5000 lb (2300 kg)	SAE Class III - 500 lb (230 kg)
285/35R22 106 W	SAE Class II - 3500 lb (1588 kg)	SAE Class II - 350 lb (158 kg)

*Tesla は、積載重量が 450 kg (1000 lbs) を超えるトレーラーには個別のブレーキ系を推奨しています。このブレーキ系はトレーラーの重量に適合していなければなりません。トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラー ブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。

**タンク荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことであり、トレーラー荷重の 10%以下にする必要があります。けん引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタンク荷重が減少することがあり、その場合は最大けん引能力も減少します。最大けん引能力は、GVWR (Gross Vehicle Weight Rating、車両総重量定格) を超えない前提で計算します。GVWR は、車両識別ラベル上に印刷されています ([車両識別ラベル ページ 223](#) を参照)。

注: ヒッチ ラベルのけん引能力がこのオーナーズマニュアルに記載されている情報と矛盾する場合は、このオーナーズマニュアルが優先されます。

 **警告:** 車両やトレーラーを過積載しないでください。お守りいただけない、パフォーマンスの低下、車両の損傷や車両コントロールの損失を招く恐れがあります。

 **警告:** トレーラーヒッチを使って Model X をけん引したり輸送しないでください。

 **注意:** Tesla は、けん引機器の指示書のミスや抜け、あるいは指示に適切に従わないという過失に対し、トレーラーをけん引したことによって生じる損傷や怪我に対する責任を負いません。トレーラーけん引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

けん引時のタイヤ空気圧

トレーラーをけん引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください(この数値はタイヤと荷重載情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します)。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
245/45R19	245/45R19	45 psi (310 kPa)
255/45R20	275/45R20	46 psi (320 kPa)
265/45R20		
265/35ZR22	285/35ZR22	50 psi (345 kPa)

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1 mi (1.6 km) 走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

警告: Model X のタイヤに異常があるかまたはタイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーをけん引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによるけん引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーをけん引する前に

トレーラーをけん引する前に、以下を実行する必要があります。

- 「けん引時タイヤ空気圧」で指定された冷間時タイヤ空気圧になるまでタイヤに空気を入れる。
- 車高を「Low」に設定します(「コントロール」 > 「サスペンション」 > 「Low」の順にタッチ)。
- お客さまの地域でトレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きくなるように、リアの視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- 「けん引モード」に設定します(けん引モード ページ 98 参照)。

以下を確認します。

- Model X が、取り付けられたトレーラーと水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、運搬能力に記載の最大けん引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。

- トレーラー ヒッチの部品や取付部品、安全チェーン、および電気コネクターすべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください(ブレーキ灯、方向指示灯、標識灯)。
- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- 安全チェーンがトレーラーとけん引車両間で適切につながれている。トレーラー タングの下に安全チェーンを通し、タングがヒッチから離れてもタングが路面に接触しないようにする。安全チェーンにはカーブを曲がる時の余裕をもたせ、同時にチェーンが地面をひきずらないようにします。
- 積み荷がすべて固定されている。
- 車輪輪止めを使用できます。
- トレーラー タング荷重が総けん引重量の約 10% で、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにトレーラー荷重が均等に分散されている。
- トレーラーに個別のブレーキ系が備わっている場合は、そのブレーキの動作をチェックし、適切に調整する。安全な制動力が発揮されるよう、トレーラーのブレーキと車両のブレーキのバランスをとる。

注: トレーラーの安全に関する一般的な情報を国家道路交通安全局が出力しています：<http://www.nhtsa.gov/cars/problems/Equipment/towing/Towing.pdf>。

警告: トレーラー タング荷重は、総けん引重量の約 10% にし、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにしなければなりません。荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

警告: トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我や死亡につながる場合があります。

けん引モード

トレーラーをけん引している時は、常にけん引モードを有効にしてください。トレーラーの電氣的接続を繋げると、Model X は自動的にけん引モードを有効にします。トレーラーの電氣的接続を切断すると、けん引モードは無効になります。手動で「けん引モード」を有効または無効にするには、タッチスクリーンで「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「けん引モード」の順にタッチしてください。以下のいずれかがインストールメントパネルに表示されます。

けん引モードが有効です。





Model X はトレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリが接続されている可能性があります。



Model X は、トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、けん引モードを一度オフにして再度オンにしてください。

注: Model X が過大な負荷を検出した場合は、トレーラーが接続されたと認識し、自動的にけん引モードになります。けん引モードになったことを知らせるため、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。重荷重を検出してけん引モードが起動したとき、けん引モード設定は、Model X を停車させ、パーキングまたはニュートラルにシフトし、タッチスクリーンでパーキングブレーキを手動でかけると変更できます(「コントロール」 > 「安全」 > 「パーキングブレーキ」)。

けん引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能およびパーキングアシストセンサー機能が使用できない場合があります。さらに、機能によっては異なる動作をすることがあります。例:

- オートステアリングは使用できません。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールは、前方にある車との車間距離を増やします。
- エアサスペンションシステムでは、「標準」から「低」へ速度に応じて調整されることはありません。
- エアサスペンションシステムは、保存済みの場所に基づいて、車高を自動的に上げることはありません。
- 側面衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ (衝突回避アシスト ページ 155 を参照) による制動力は大幅に制限されます。

警告: Model X がトレーラーを検出して自動的にけん引モードに入るとはいえ、それに任せっきりにしてはしないでください。トレーラーを引く前に必ず、けん引モードになっていることを常に確認してください。

警告: トレーラーをけん引している時には、いかなる状況でもけん引モードを終了してはなりません。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

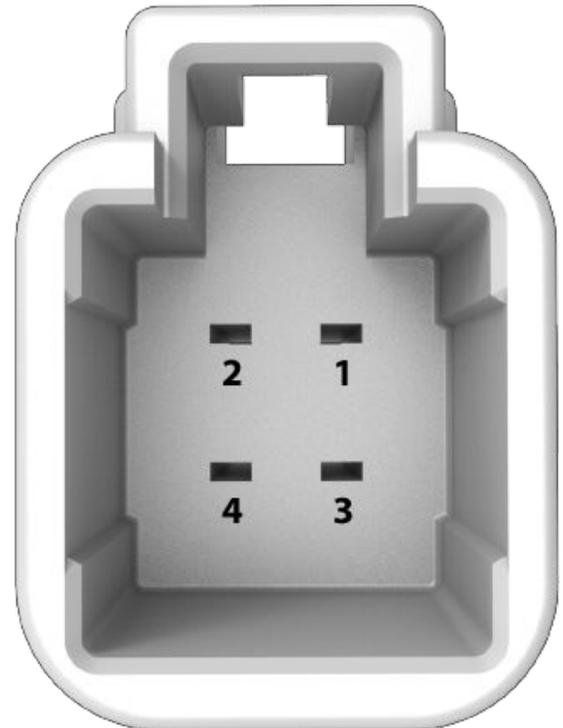
警告: ヒッチの高さとトレーラーの高さを適切に合わせるために、サスペンション設定を使用しないでください。適切な軸荷重とトレーラーバランスに適切な高さをもつトレーラーヒッチとトレーラーを選んでください。

トレーラーブレーキ

積載重量が 450 kg (1000 lbs) を超えるトレーラーをけん引する場合には、トレーラーにその重量に適した個別のブレーキ系を備えることを Tesla は推奨しています。必ず現地の法規制を順守してください。ブレーキコントローラーは別途購入する必要があります。必須の 4 ピンピグテイルコネクタは Tesla サービスに発注します。

ブレーキコントローラーを接続するには次の手順に従ってください。

1. ブレーキコントローラーの配線を、4 ピンピグテイルコネクタの該当する場所に接続します。



1- トレーラーへのブレーキコントロール出力

2- アース

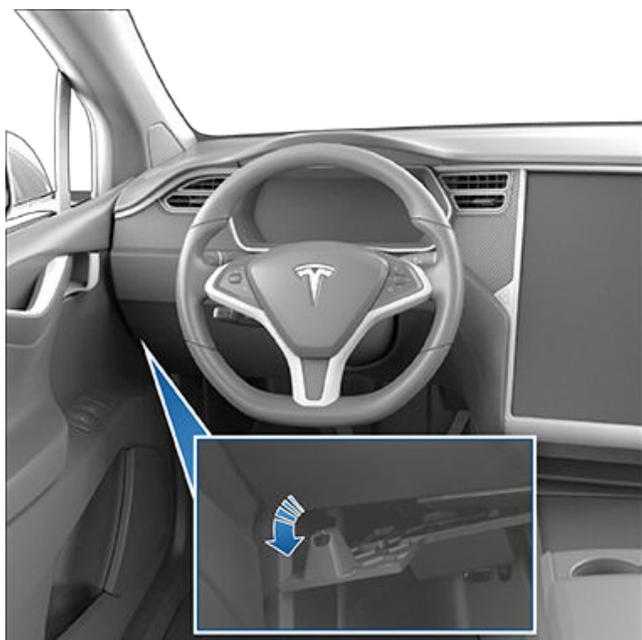
3- ブレーキオン信号

4- 低電圧電源 (20A)

2. 運転席側足元のダッシュボード下にあるカバーを外してください。



牽引とアクセサリー



3. カーペットをめくって Model X のワイヤー ハーネスにある 4 ピン コネクターを露出させます。



4. ピッグテイル コネクターを車両の配線コネクターに接続します。

警告: けん引時には、トレーラー自信にブレーキ系が備わっていたとしても制動距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないように留意してください。事故につながる危険があります。

警告: トレーラーのけん引およびブレーキの必要条件に関して地域または国で定められているすべての規制、法的義務を遵守してください。多くの地域で、トレーラーが車両から離れた場合にトレーラーのブレーキを作動させる、ブレーキアウエイスイッチをトレーラーのヒッチ部に装着することが求められています。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

警告: トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。Tesla はトレーラーのブレーキ系の取り付け不良による損害には責任を負いません。

警告: トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に直結しようとししないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがまたは死亡につながる可能性があります。

けん引ガイドライン

Model X は基本的には乗員を運ぶ車両として設計されています。トレーラーをけん引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーをけん引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラーけん引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- 前方車両から最低 2 倍の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類、方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーをけん引する場合、トレーラーの電球が切れていても、車両の計器クラスター上のウィンカーは正常に点滅します。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- トレーラーブレーキが作動していることを定期的に確認してください。
- 勾配のある場所に駐車しないでください ([トレーラーをつけた状態での駐車 ページ 100](#) を参照)。
- けん引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。



- 一人がブレーキペダルを踏んだ状態を維持します。
- もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪止めを置きます。
- 車輪止めが配置されたら、ブレーキペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

注: 車輪止めをテストするときは、ホールド機構(オートブレーキホールド ページ 85 参照)が車両を支えていないようにします。ホールドが Model X にブレーキをかけているときは、インストゥルメントパネルにホールドインジケータが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

- 車両をパーキングにシフトします。

警告: 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。これを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

トレーラーのふらつき軽減

トレーラーがふらついていることが検出されると、Model X の電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキを加えてトレーラーのふらつきを最小化しようとします。インストゥルメントパネルには、トラクションコントロールシステムのインジケータが短時間表示されます。このシステムが作動してトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキングは解除されません。

けん引ヒッチの接続

Model X のけん引パッケージには、2" x 2" の取り外し可能なヒッチレシーバーが付いている重量物運搬ヒッチが付属します。ヒッチレシーバーを使用しない時は、ヒッチレシーバーを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止ししてください。

トレーラーヒッチアセンブリは、車両本体にナット 8 個で取り付けます。



注: 連結ポイントの最大許容リアオーバーハングは 1186 mm です。

注: けん引する場合は必ず安全チェーンを取り付けてください。トレーラータンクの下でチェーンを交差させ、トレーラーの積載物がしっかり固定されるようトレーラーのアイレットを取り付けます。

注意: ヒッチレシーバーを車両へ取り付け、取り外しするときは、事前に必ずボールマウントを取り外してください(ボールマウントの取り付けと取り外し ページ 102 を参照)。

警告: トレーラーをけん引する際には必ず Model X 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けないでください。

トレーラーヒッチレシーバーは次のように取り付けます。

1. ダストカバーをヒッチハウジングから取り外します。



2. ヒッチのロックシリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「アンロック」位置に合わせます。
3. アダプターからロックシリンダーを約 1/8" (0.5 cm) ほど引き出し、時計方向に回してシリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。



牽引とアクセサリ



⚠ 警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

4. ヒッチを底からしっかりとつかみ、ヒッチ側面の三角形のガイドをヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注: ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないでください。

5. ロッキング シリンダーが約 120 度反時計方向に回転し、「閉位置」で自動的にロックされるまで、ヒッチをヒッチハウジングに押し入れます。ロッキング シリンダーの緑色部分(白い矢印の上)はヒッチの白いドットに合わせます。
6. ヒッチが完全にヒッチハウジングに差し込まれていることを目視で確認してください。ヒッチを引き下げてください。ヒッチは引いても落ちないはずですが。
- 注:** ヒッチがハウジング内でロックされていない場合は、引いた時に落ちてしまいます。
7. キーを回して矢印をロッキング シリンダーの「ロック」マークに合わせます。
8. キーを外し、安全な場所に保管します(車両内部が望ましい)。

注: キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注: Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このコードが必要になります。



9. ダストカバーを閉じ、汚れやごみがロック内に入らないようにします。プッシュクリップが使用されている後期型の場合、ダストカバーを取り付けクリップをはめたら、それを押す前にプッシュクリップを開きます。

注: ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

けん引ヒッチの取り外し

けん引後は、ヒッチを取り外します。

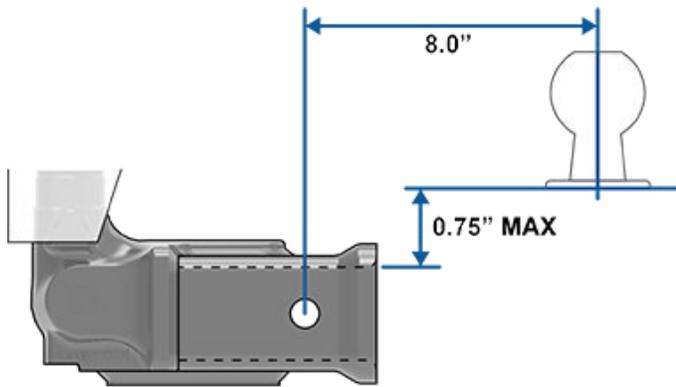
1. キーを挿入し、「アンロック」位置にキー上部を合わせます。
2. ヒッチを(床に落とさないように)その底をしっかりと支えながら、ロッキング シリンダーを約 1/8" (0.5 cm) ほど引き出し、時計方向に回してロッキング シリンダーの赤いマークを白いドットに合わせます。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でロックされ、ヒッチがヒッチハウジングから外れます。

⚠ 警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

3. ハウジング内にゴミがたまらないように、ヒッチハウジングにダストカバーを再取り付けします。
4. ヒッチのロッキング シリンダー上のダストカバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

ボールマウントの取り付けと取り外し

Model X のけん引パッケージにはボールマウントは含まれていません。けん引するトレーラーのタイプに適合したボールマウントを別途購入してください。Model X のヒッチレシーバーは、最大 0.75" 高の 8" までのボールマウントをサポートします。ドロップ式ボールマウントは使用しないでください。



ボールマウントは次のようにして取り付けます。

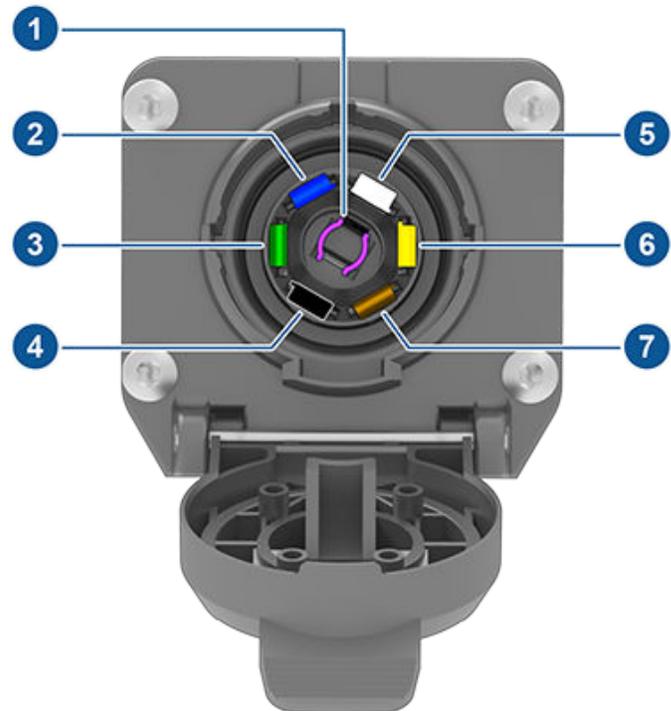
1. 必要であれば、ロックング ボルトからコッターピンを外し、ロックングボルトをヒッチ アセンブリから引き出します。
2. ボール ホルダーをヒッチ アセンブリに差し込みます。
3. ボール ホルダーの穴をヒッチ アセンブリの穴と合わせます。
4. ロックング ボルトをヒッチ アセンブリ/ボール ホルダーに通します。
5. コッターピンをロックング ボルトの端にある穴に差し込みます。

ボールマウントは次のようにして取り外します。

1. ロックング ボルトからコッターピンを外し、ロックングボルトをボール ホルダー/ヒッチ アセンブリから引き出します。
2. ボール ホルダーをヒッチ アセンブリから引き出します。

電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示器灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給には、7 通りのワイヤー接続内蔵コネクタ (SAE J560) をけん引ヒッチの近くに取り付けます。大半のトレーラーの配線プラグにはこのコネクタが取り付けられています。



1. 後進ライト (紫)
2. ブレーキ コントローラー出力 (青)
3. 右折灯とブレーキ灯 (緑)
4. 低電圧 電源 (赤または黒)
5. アース (白)
6. 左折灯とブレーキ灯 (黄)
7. テールランプと走行灯 (茶)

注: 運転者の責任として、電気的接続がすべて作動すること、およびトレーラーのすべてのライトがけん引前およびけん引中に作動することを確認する必要があります。Model X は、トレーラーの燈火類の故障を検知しません。実際に点検してください。

注: けん引中にトレーラーのライトが消えたら、トレーラーの配線不良やトレーラーの電気出力部に接続されたライトの電力過剰消費が原因である場合があります。このような場合、タッチスクリーンに赤い「牽引モード」アイコンが表示されます。配線の問題を解決するか、トレーラーの電力出力部に接続するライトの数を減らして、「けん引モード」をオフにしてからもう一度オンに切り替えます。

トレーラーのワイヤーを Model X の電気的コネクタに接続すると、けん引モードが自動的に有効になります ([けん引モード ページ 98](#) を参照)。

警告: ブレーキ コントローラー出力はブレーキ コントローラーが取り付けられている場合のみ動作します ([トレーラーブレーキ ページ 99](#) 参照)。

警告: 電気コネクタは Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線を継ぎ合わせたり、他の方法で直接接続しようとししないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。



牽引とアクセサリー

⚠ 注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

航続距離への影響

トレーラーをけん引してアクセサリーを運搬すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリッププランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとしても、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。



オートパイロットは、運転をより安全でストレスの少ないものにするを目的とした高度なドライバーアシスタンス機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、Model X を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取って代わることもありません。オートパイロット機能は、すべての新型 Tesla 車両に標準装備されています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロットには、トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングが含まれています。

- **トラフィックアウェアクルーズコントロール:** 車速を維持し、先行車両がある場合、先行車両との車間距離を調整して維持します。(トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 115 を参照)。
- **オートステアリング:** 車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに Model X が車線を維持するようにします (オートステアリング ページ 120 を参照)。

⚠ 警告: オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

強化型オートパイロットには追加機能が含まれています。強化型オートパイロット機能は、ドライバーの作業負担をさらに軽減し、車線変更や駐車などの一般的なアクションをより簡単にするように設計されています。

- **自動車線変更:** オートステアリングが有効なときにウィンカーを操作すると、Model X は隣接する車線に移動します (自動車線変更 ページ 122 を参照)。
- **ナビゲートオンオートパイロット:** 車線変更、インターチェンジのナビゲーション、ウィンカーの自動操作、正しい出口の選択といった、高速道路への進入から退出まで、Model X を能動的にガイドします (オートパイロットナビ走行 ページ 125 を参照)。
- **オートパーキング:** Model X の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します (オートパーキング ページ 139 を参照)。
- **サモン:** ドライバーが車外にいるときでも、Model X を前方または後方に移動します。これは、狭い駐車場での駐車に役立ちます (サモン ページ 141 を参照)。
- **スマートサモン:** Model X を駐車スペースから出し、より複雑な周囲環境を通過し、障害物や他の車両を避けて移動して、ドライバーのいるところまたは事前設定した目的地に到達させます (スマートサモン ページ 144 を参照)。

⚠ 警告: 強化型オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

フルセルフドライビングに含まれる機能:

- **信号機/一時停止標識コントロール:** 車速を維持し、車間距離を保ち、車線をはみ出すことなく Model X を走行させながら、信号機や停止標識に合わせて減速や停止を行います (信号機と一時停止のコントロール ページ 128 を参照)。
- **市街地でのオートステアリング (フルセルフドライビング (監視付き)):** 道路の曲りに沿って目的地までドライブを行います。交差点、停止標識、ロータリーで停止し、通り抜けます。左右に曲がります。高速道路への進入/退出を行います (#unique_317 ページ を参照)。

⚠ 警告: フルセルフドライビング機能は、ハンズフリー機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

動作の仕組み

オートパイロットは、Model X のカメラを使用して、周囲を監視し、他の車両、歩行者、道路標識、障害物（障壁や縁石など）を検知します。Model X の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています (「カメラ」 ページ 19 を参照)。

Model X には、ドライバーの注意力を監視するキャビンカメラがリアビューミラーに搭載されている場合があります。ご自身の責任において、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

オートパイロットが作動している場合、Model X には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

⚠ 警告: オートパイロットは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model X を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。

オートパイロットの使用条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後には、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、[走行中のカメラキャリブレーション ページ 19](#) を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロット機能	使用可能な条件
トラフィックアウェアクルーズコントロール	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中 <p>注: Model X の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェアクルーズコントロールを作動させることができます。</p>
オートステアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中 <p>注: Model X の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。</p> <p>注: 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h (5 マイル) プラスした値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると、オートステアリングは中止されるか、使用できません。オートステアリングが作動すると、「オートハイビーム」が自動的に有効になり（ハイビームヘッドライト ページ 73 を参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。
ナビゲートオンオートパイロット	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中。 <p>注: Model X の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲートオンオートパイロットを作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス管理された高速道路を離れると、ナビゲートオンオートパイロットはオートステアリングに戻ります。



オートパイロット機能	使用可能な条件
フルセルフドライビング (監視付き)	<ul style="list-style-type: none"> • 85 mph (150 km/h) 未満でドライブしている。 <p>注: フルセルフドライビング (監視付き) は、Model X の前方に車両が検出されたかどうかに関わりなく、Model X の停止時を含む、より低速で作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。フルセルフドライビング (監視付き) は昼間でも暗い場所 (夕暮れ時や夜間) でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると停止するか、使用できません。フルセルフドライビング (監視付き) が作動すると、「オートハイビーム」が自動的に有効になり (ハイビーム ヘッドライト ページ 73 を参照)、ワイパーが「自動」に設定されます。

T オートパイロット機能

このトピックでは、以下のドライバーアシスタンス機能を有効にして使用方法について説明します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

- **トラフィックアウェアクルーズコントロール**従来のクルーズコントロールと同様に、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定された走行速度を維持します。ただし、トラフィックアウェアクルーズコントロールは、先行車両からの距離を維持するために、必要に応じて Model X を減速または加速します。トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動している間であっても、Model X の操縦運転はドライバーの責任です（[トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 108](#) を参照）。
- **オートステアリング:** オートステアリングは、トラフィックアウェアクルーズコントロールと同様に、設定速度（目の前に車両がない場合）または設定された車間距離（目の前に車両がある場合）を維持します。さらに、オートステアリングは、車線マーキング、路肩および車両や物体の存在を検出して、インテリジェントに Model X の走行車線を維持します（[オートステアリング ページ 109](#) を参照）。

注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

- **自動車線変更:** オートステアリングが作動しているときにウィンカーを作動させると、自動車線変更によって Model X は、ウィンカーが示している方向に隣接する車線に移動します（[自動車線変更 ページ 109](#) を参照）。
- **ナビゲート オン オートパイロット:** ナビゲート オン オートパイロットは、トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングの機能の上に構築されています。オートステアリングが作動している場合、ナビゲート オン オートパイロットを使用すると、Model X が車線を提案し、設定されている場合、車線を自動的に変更して他の車両を追い越し、ナビゲーションルートをたどることができます（[ナビゲート オン オートパイロット ページ 110](#) を参照）。

注: ナビゲート オン オートパイロットはベータ版機能です。

これらの機能は、Model X のカメラからの情報を使用して車線マーキング、路肩、ならびに Model X の周囲の他の車両および道路の使用者を検出します。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかけた車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

注意: オートパイロットの制限事項およびドライバーの介入が必要となる状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 147](#) を参照してください。

オートパイロット設定

オートパイロット機能を使用する前に、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして機能をカスタマイズします。

- **設定速度:** 現在検出している速度制限と現在の走行速度のどちらでオートパイロットを作動させるかを選択します。「コントロール」>「オートパイロット」>「設定速度」の順にタッチし、「速度制限」または「現在の速度」を選択します。
- **オフセット:** 「速度制限」を選択した場合、「速度オフセットの設定」にタッチしてオフセット量を指定できます。「固定」（すべての道路で特定量だけ巡航速度が調整されます）または「パーセント」（巡航速度は、その道路に対して検出された速度制限のパーセンテージとして調整されます）を選択できます。
- **青信号チャイム:** カナダおよび米国: オンにしておくと、赤信号で待っていて青信号になるとチャイムが鳴ります。トラフィックアウェアクルーズコントロールを積極的に使用せず、前方に車両がある状態で赤信号待ちをしているときには、先行車両が発進するとチャイムが鳴ります。

トラフィックアウェアクルーズコントロール

トラフィックアウェアクルーズコントロールは常に有効になっています。

トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用するには:

1. 設定速度を変更するには、右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回します。いつでもアクセルペダルを踏んで、設定された巡航速度を一時的に無効にすることができます。詳細な情報は、[オートパイロット使用時 ページ 111](#) を参照してください。
2. トラフィックアウェアクルーズコントロールを解除するには、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、[オートパイロットのキャンセル ページ 111](#) を参照してください。

40
MAX

40
MAX

トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、インストールメントクラスターに灰色で巡航速度が表示されます。表示されている数値は、トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にしたときに設定される速度を表しています。

トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にして、設定速度で巡航している場合、速度は青色の文字で強調表示されます。



⚠ 警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 147](#) を参照してください。

オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングを有効にするには:

1. 「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「オートパイロット機能」 > 「オートステアリング (ベータ版)」の順にタッチします。
2. ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、「はい」をタッチします。

オートステアリングを使用するには:

1. 。
2. 設定速度を変更するには、右のスクロールホイールを上 (加速) または下 (減速) に回します。詳細な情報は、[オートパイロット使用時 ページ 111](#) を参照してください。
3. オートステアリングを解除するには、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、[オートパイロットのキャンセル ページ 111](#) を参照してください。

オートステアリングを作動させると、Model X では、作動していることを確認するためにチャイムが鳴り、道路に注意を払い、いつでも運転を引き継ぐ準備をしておくように注意喚起するメッセージが、インストゥルメントクラスターに短い間表示されます。

オートステアリングが利用可能である (ただし、Model X を自動的に操舵してはいない) ことを示すため、インストゥルメントパネルに灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリングアイコンが消えます。(この例としては、運転速度がオートステアリングの作動に必要な速度内がない場合などがあります。)

オートステアリングが有効であることを示すために、インストゥルメントクラスターにオートステアリングアイコンが青色で表示されます。

オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、走行車線の端がインストゥルメントクラスター上に青色で表示されます。

オートステアリングが作動しているときは常に、トラフィックアウェアクルーズコントロールも作動します。

オートステアリングが起動して制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって 45 mph (70 km/h) に制限されます。手動で加速して制限速度を超えることはできませんが、アクセルペダルを踏んでいる間は、障害物を検知しても Model X はブレーキをかけません。アクセルペダルから足を離すと、オートステアリングはこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。

⚠ 警告: オートステアリングはハンズオンのアシスタンス機能です。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。オートステアリングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 147](#) を参照してください。

自動車線変更

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリング作動中にウィンカーを作動させると、次の条件が満たされている場合、Model X はウィンカーが示す方向にある隣の車線に移動します。

- ウィンカーを作動させている。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- 車線変更の途中で、Model X は目標車線の外側車線マーカールを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model X は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。
- Model X 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。車両またはその他の障害物が目標の車線に検知された場合、その障害物はインストゥルメントクラスターの視覚化において赤色で表示され、車線変更が安全になるまで、Model X は車線変更を完了しません。

⚠ 警告: オートパイロットは、隣接する車線の車両や障害物を検知するように設計されていますが、常に目視点検を実施して、目標の車線に安全かつ適切に移動できることを確認する責任がドライバーにはあります。データが不十分なためにオートパイロットが車線変更できない場合、インストゥルメントクラスターに一連の警告が表示されます。そのため、自動車線変更機能の使用中は、常にインストゥルメントクラスターに注意を払い、Model X のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

オートパイロットが車線変更を実行する最小速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します ([追い越し加速 ページ 113](#) を参照)。

T オートパイロット機能

ウィンカーを作動させると、オートパイロットによって Model X は一度に 1 車線ずつ移動します。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

Model X で車線変更を行う際は、前方の運転経路と周囲の状況を注視することで、自動車線変更機能の動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、Model X が進入した車線の場所がインストゥルメントクラスターに表示されます。

ナビゲート オン オートパイロット

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「ナビゲート オン オートパイロット (ベータ版)」の順にタッチします。次に、ナビゲート オン オートパイロットの操作をカスタマイズするため、「ナビゲート オン オートパイロットのカスタマイズ」にタッチします。

- **毎回運転開始時に有効にする:** ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうかを選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、設定した巡航速度を達成するために、ナビゲート オン オートパイロットでの車線変更をどの程度積極的に行うか（「マイルド」、「平均値」、または「マッドマックス」）を指定することができます。
- **追い越し車線から離脱:** 目的地へのナビゲーション時に、ナビゲート オン オートパイロットで追い越し車線からの離脱を誘導するかどうかを選択します。ルートに基づいた車線変更や速度に基づいた車線変更に加えて、ナビゲート オン オートパイロットでは、他の車両を追い越していない時、低速の車線に留まるように追い越し車線からの車線変更を求めるリマインダーが流れます。これを無効にするには「いいえ」を選択し、Model X の追い越し車線での走行を維持します（ナビゲーション ルートに従う必要がある場合を除く）。
- **車線変更の確認が必要です:** (装備している場合) デフォルトでは、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更を進める前に、による確認が必要になります。3 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確認が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。
- **車線変更通知:** 車線変更の通知の有無または通知方法について指定することができます（「オフ」、「チャイム」、「バイブレーション」、または「両方」）。

「運転開始時に有効にする」がオンになっているとき、次の場合にナビゲート オン オートパイロットは自動的に作動します。

- オートステアリングが作動している。

- ドライバーが目的地に向かって移動しています。
- アクセスが管理された高速道路を走行しています。

有効になると、ナビゲーション ルートが有効になっていて、ルートに少なくとも 1 つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。

「運転開始時に有効にする」がオフになっている場合、経路案内の上にある「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチすると、有効になります。「ナビゲート オン オートパイロット」を選択すると、オートステアリングが作動するたびに作動します。

目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。

「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「運転開始時に有効にする」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンにタッチすると、「ナビゲート オン オートパイロット」がキャンセルされ、「オートステアリング」に戻ります。

「ナビゲート オン オートパイロット」が作動しているとき、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、走行車線は、Model X の前にある 1 本の青い線として、インストゥルメントクラスターに表示されます。

経路案内には、オートパイロットナビ走行によって誘導される地点（高速道路出口など）の隣に、オートステアリングアイコンが表示されます。

ナビゲート オン オートパイロットが作動すると、Model X は速度に応じた車線変更と経路に応じた車線変更の両方を自動的に行います。

- **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットでは車線を変更することで、目的地までの走行時間を短縮します。例えば、Model X が設定した巡航速度よりも低い速度で走行する車両の後ろを走行している場合、ナビゲート オン オートパイロットによって、追い越し車線に移動して追い越します。速度に応じた車線変更はオプションです。
- **経路に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは車線を変更して目的地までドライバーを誘導します。たとえば、Model X がナビゲーション ルートで指定している出口に近づくとき、ナビゲート オン オートパイロットによって出口車線に移動します。

ルートベースの車線変更推奨を無視する（高速道路の右側の出口車線に向かって左車線を運転している場合など）と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。



注: 経路案内および高速道路のインターチェンジでの進行方向を決定する場合、ナビゲート オン オートパイロットでは高乗車率 (HOV) 車線を使用するかしないかを検討します。このため、現在の環境に「**HOV 車線の使用**」設定が適していることを確認します (マップとナビゲーション ページ 177 を参照)。この設定がオフの場合、時間帯がいつであっても、ナビゲート オン オートパイロットは HOV 車線を利用しません。この設定がオンの場合、ナビゲート オン オートパイロットは、該当する場合に、HOV 車線を利用します。

注意: ナビゲート オン オートパイロットでは、ナビゲーション ルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

ナビゲート オン オートパイロットは、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づく、該当するウィンカーが作動して、オートステアリングにより Model X がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

アクセス管理されている高速道路から降りると、ナビゲート オン オートパイロットがオートステアリングに戻ります。チャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターに、走行車線が (Model X の前にある青色の線に代わって) 青色の複数の線で表示されます。ナビゲート オン オートパイロットが無効になった時でも、オートステアリングは有効なままです。常に適切に対応できるように準備してください。

注: ナビゲート オン オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。ナビゲート オン オートパイロットの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 147](#) を参照してください。

オートパイロットのキャンセル

トラフィックアウェア クルーズコントロールは以下の場合にキャンセルされます。

- ブレーキ ペダルを踏んだ場合。
- 走行速度が 85 mph (140 km/h) を超えた場合。
- リバース、パーキング、ニュートラルにシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき ([衝突回避アシスト ページ 155](#) 参照)。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。

トラフィックアウェア クルーズコントロールがキャンセルされると、インストゥルメントクラスター上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることを知らせます。

上記のいずれかの操作が実行されると、オートステアリングはキャンセルされます。さらに、オートステアリングは次の場合にキャンセルされます。

- 85 mph (140 km/h) を超えている。
- あなたが手動でステアリングを引き継ぎます。
- ドライバーがインストゥルメントクラスターに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージに回答しません ([ドライバーの注意力 ページ 113](#) を参照)。

オートステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、アイコンが灰色になって、オートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて、オートステアリングが現在利用できないことを示します。

前述のように、オートステアリングをキャンセルすると、ナビゲート オン オートパイロットもキャンセルされます。さらに、以下の場合、ナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされます。

- 地図の経路案内リストで、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチします。この場合、オートステアリングはまだアクティブです。
- アクセス管理されている高速道路から離れます。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

オートパイロットでナビゲーションがキャンセルされてもオートステアリングがアクティブのままの場合、チャイムが鳴り、運転レーンの 1 本の青色の線が、車線の両側にある 2 本の青い線に視覚化されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリングをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセル ペダルから足を離れた場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します ([回生ブレーキ ページ 78](#) を参照)。

オートパイロット使用時

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動していて、オートパイロットが設定速度を維持している場合、インストゥルメントクラスターに青色のテキストで速度が強調表示されます。

オートステアリングが有効な場合、ハンドルアイコンは青色で表示され、車線マーキングはその視覚化において青色で強調表示されます。

路面標示、赤信号、障害物 (ゴミ箱、柱など) といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには「**コントロール**」>「**オートパイロット**」>「**フルセルフドライビングの表示プレビュー**」の順にタッチします。

オートステアリングが車線マーカーを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとしています。ただし、オートステアリングが車線の中心から外れた走行経路に従う場合があります (たとえばガードレールが検出された場合)。

T オートパイロット機能

設定速度の変更

オートパイロットが有効な場合、前方に他の車両が検出されていないのであれば、Model X は設定巡航速度を維持します。車両の後ろで巡航する場合、Model X は必要に応じて加速および減速して、選択した車間距離を維持します（「[車間距離の調整](#)」[ページ 112](#) を参照）。

アクセルペダルを踏み込むことで、いつでも手動で加速することができますが、ペダルをゆるめると、Model X は設定速度での巡航を再開します。

Model X カーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。

先行車両からの選択した距離を維持するため、Model X が積極的に減速すると、ブレーキランプが点灯します。ブレーキペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、Model X が加速をしているときは、アクセルペダルは動きません。

設定速度の変更

右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。

Model X が新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

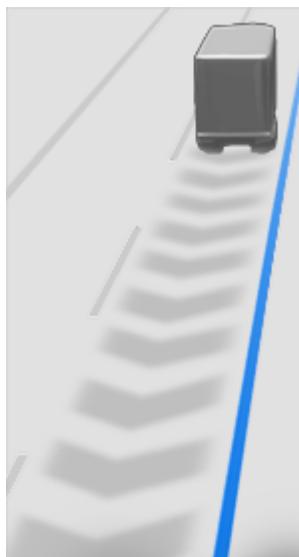
車間距離の調整

最も短い追従距離は 2 です。

各設定は、Model X が現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。オートパイロットは、再度変更するまで設定を保持します。

停止とスローダウン

隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model X は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。Model X が他の車両が非常に低速であることを検知すると、インストゥルメントクラスターには隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示されて、Model X は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセルペダルを踏み込みます。



前方に他の車両がある場合、Model X が完全停車したとしても、オートパイロットは低速において有効となったままとなります。たとえば、高速道路での著しい渋滞時に、Model X が完全またはほぼ完全な停止まで減速しても、オートパイロットは有効なままです。交通の流れがより速くなりだすと、オートパイロットによって再び設定速度まで加速します。

Model X が完全に停止している場合、オートパイロットがホールド状態になります。その場合、アクセルペダルを短い間踏み込むと、巡航を再開します。



ホールド状態が有効な場合、インストゥルメントクラスターにはホールドアイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要がありますを示します。

Model X は、以下の状況でオートパイロットがアクティブな場合、ホールド状態になります。

- Model X が 5 分間停車していた場合。
- Model X が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model X の前方にいた車両が突然視界からなくなった場合。
- Model X の前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

アクセス管理された道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航しているときに、オフランプに向かってウィンカーを入れると、オートパイロットはドライバーが出口から退出しようとしているものとみなして Model X を減速させます。オフランプに向かって走行していない場合、オートパイロットは設定速度での巡航を再開します。

右側通行の地域の場合は、最も右側の車線を走行している時に出口の 164 ft (50 m) 手前で右ウィンカーを出したときに限ってこれが行われます。同様に左側通行の地域の場合は、最も左側の車線を走行している時に出口の 164 ft (50 m) 手前で右ウィンカーを出したときにこれが行われます。



注:「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、Model X は経路ベースの車線変更を実行して出口車線に入り、必要に応じてオフランプを通過してナビゲーション ルートをたどります。

高速道路のインターチェンジまたはオフランプで有効になっている場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、ドライバーが設定した速度を 5 mph (5 km) 刻みで、最も遅い速度としては 25 mph (40 km) まで減速して、その場所を走行した他の Tesla 車両から報告された速度に一致させるように試みます。これを無効にして設定速度での巡航を継続するには、アクセルペダルをすこしだけ踏み込みます。インターチェンジまたはオフランプを走行する間、(その速度を無効にするか、オートパイロットをキャンセルしない限り) 新しい設定速度が保たれます。インターチェンジまたはオフランプを通過した後、設定速度は元の速度に戻るか、そのロケーションの必要性に応じて変更されます。例えば、他の高速道路に合流する場合、設定した巡航速度はインターチェンジに差し掛かる前の設定速度に戻ります。

警告: 場合によっては (データが不足している場合など)、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。適切な走行速度を決定するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。道路状況に合った速度で、制限速度以内で安全に走行することが推奨されます。

進入制限のある道路 (高速道路や自動車専用道路など) に進入するとき、オートパイロットは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。「ナビゲート オン オートパイロット」が作動している場合、アクセス管理された高速道路を出ると解除されます (オートパイロットのキャンセル ページ 111 を参照)。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

追い越し加速

ウィンカーを一時的に作動させ、前方車両に向かって Model X を加速します。以下の場合、一瞬だけウィンカー に保持すると、アクセルペダルを踏まなくても、設定速度まですばやく加速することができます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X が、設定速度を下回り、かつ 72 km/h を上回る速度で走行している場合。

注: オートステアリングが作動しているときに、ウィンカーを完全に作動させると、Model X は自動的に車線を変更します (自動車線変更 ページ 109 を参照)。

Model X は、車線変更に時間がかかりすぎている場合、または Model X が先行車両に近すぎる場合、設定巡航速度に達したときに、加速を停止します。Model X は、ウィンカーを解除すると、加速も停止します。

赤信号と一時停止標識の警告

オートステアリングの使用中に、赤信号や一時停止標識を通過しそうな事象を検出した場合、Model X はインストゥルメントクラスター上に警告を表示し、チャイム音を鳴らします。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。

2、3 秒後、またはドライバーがブレーキペダルを踏んだ時のいずれか早い時点で、視覚および音声警告はキャンセルされます。

赤信号および一時停止標識の警告これにより、赤信号、一時停止標識、路面標示などで Model X は減速や停止することはありません。信号機/一時停止標識コントロール装備車の場合は、この機能を有効にすることで信号機や一時停止標識で Model X が自動的に停止します (信号機と一時停止のコントロール ページ 128 を参照)。

緊急車両

お客様の市場地域で利用可能な場合、高速道路で夜間オートパイロットを使用しているときに緊急車両からのライトが検出されると、Model X は自動的に車速を下げます。この際、インストゥルメントクラスターには減速を知らせるメッセージが表示されます。また、チャイムが鳴り、ハンドルに手に置くようにリマインダーが表示されます。検出したライトが通過するか、見えなくなると、オートパイロットは巡航速度を再開します。または、アクセルを踏んで巡航速度を再開することもできます。

緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。Model X 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるように準備をしてください。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパイロットが Model X のステアリング操作を制御できない場合は、警告のチャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターに次のようなメッセージが表示されます。



今すぐ運転を引き継いでください

このメッセージが表示されたら、直ちにステアリング操作を引き継いでください。

ドライバーの注意力

オートステアリングは、Model X の最適な操縦方法を決定します。オートステアリングが有効になっている時は、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルの上に手が置かれていることを一定期間検知しなかった場合、インストゥルメントクラスターの車両の状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。

オートパイロット機能



ハンドルを少し回してください

手が検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能は通常動作に戻ります。オートステアリングは、ハンドルを回したときにわずかな抵抗を認識すること、またはドライバーがハンドルを（操舵をとって代わるために十分なほどの力を掛けることなく）手で回したことを認識することで、ドライバーの手を検知します。ウィンカーレバーの操作や、ハンドルのボタンやスクロールホイールの使用を検知した場合も、オートステアリングはドライバーの手を認証します。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代われるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドル上に置かれている手を検出しない場合、インストゥルメントクラスターの車両ステータスセクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

ハンドルにわずかな力をかけるように促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、以下に示すように自分で運転することを求めるメッセージが表示されます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます（停車し Model X をパーキングに切り替えた後）。

手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が3回に達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）の使用は1週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7日後に免除されます。

注: オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にトラフィックアウェアクルーズコントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。車両にトラフィックアウェアクルーズコントロール機能がない場合、車両のタッチスクリーンでオーナーズ マニュアルを表示してクルーズコントロールの使用方法を確認してください。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールはベータ版の機能です。

トラフィックアウェア クルーズコントロールは同じ車線上の前方に車両があるかを判断します。Model X の前方を車両が走行していない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定されている走行速度を維持します。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、前方車両との間に時間に基づいて設定された車間距離が保たれるように、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を減速させるように設計されています。トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用している場合、ドライバーは道路の進行方向に常に注意を払い、状況に応じて自らブレーキを踏む必要があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路など、乾燥した直線道路の走行を想定して設計されています。

- 注意:** 運転の前に、カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかけた車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。
- 警告:** トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- 警告:** トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model X の速度を減速するのに決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- 警告:** 急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには

前方に車両が検出されていない状態でトラフィックアウェアクルーズコントロールを起動するには、18 mph (30 km/h) 以上の速度で走行している必要があります。ただし、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、それより遅い速度でトラフィックアウェア クルーズコントロールを起動できます。前方に車両が検出されている場合、自分の車両がたとえ静止していても、Model X 当該車両から少なくとも、5 フィート (1.5 m) 離れていて、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、トラフィックアウェア クルーズコントロールを任意の速度で使用することができます。

注: 最大巡航速度は、時速 90 マイル (時速 150km) です。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。

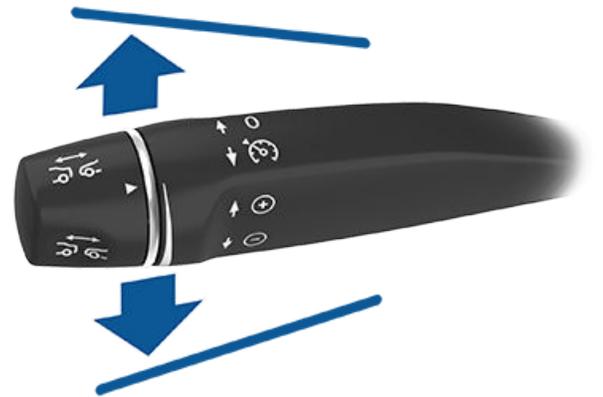


トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、インストゥルメントパネルに灰色のクルーズ速度アイコンが表示されます。灰色で表示された数値は、トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にしたときに設定される巡航速度を表しています。



トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効で、設定された巡航速度で巡航している場合、アイコンは青色になり巡航速度を表示します。

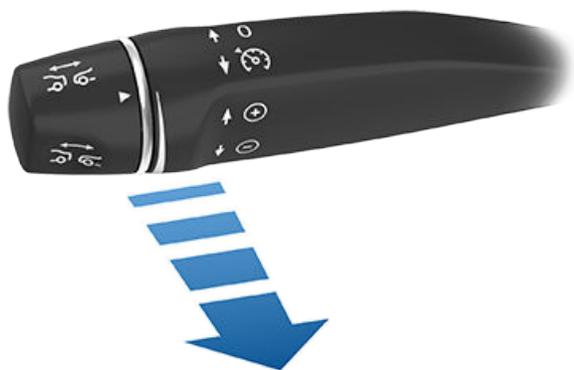
1. 利用できるときは、トラフィックアウェア クルーズコントロールを起動して、制限速度や現在の走行速度に合わせるすることができます。次の選択肢があります。
 - **現在の走行速度**でトラフィックアウェア クルーズコントロールを起動するには、オートパイロットレバーを1回引き上げるか押し下げて、アクセルペダルから足を離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールで巡航速度が維持されます。



- **現在検出されている制限速度**でトラフィックアウェアクルーズコントロールを起動するには、オートパイロットレバーを手前に1回引いて、アクセルペダルから足を離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールでクルージング速度が保たれます。



トラフィックアウェアクルーズコントロール



注: オートパイロット起動が「一回引く」に設定されている場合、オートパイロットレバーを1回手前に動かすと、オートステアリングが作動します（[オートステアリング ページ 120](#) を参照）。「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット作動」にタッチして「二回引く」を選択すると、オートステアリングレバーを手前に引いたときに、オートステアリングから独立してトラフィックアウェアクルーズコントロールを使用することができます。

注: 現在検出されている走行速度でトラフィックアウェアクルーズコントロールの起動を選択すると、オフセットを指定できます。「コントロール」>「オートパイロット」>「設定速度のオフセット」にタッチします。すべての道路で巡航速度が指定した数値の mph (km/h) に調整される「固定」オフセットと、現在走行している道路で検出した速度制限のパーセンテージとして調整される「パーセント」オフセットのいずれかを指定できます。オートパイロットレバーを手前に引くと、速度制限を超えて運転している場合、設定速度は、速度制限ではなく現在の走行速度に調整されます。速度制限で巡航中にオートパイロットレバーを上げ下げすると、設定速度が現在の走行速度に変更されます。

トラフィックアウェアクルーズコントロールが有効になったことを示すチャイムが鳴ります。

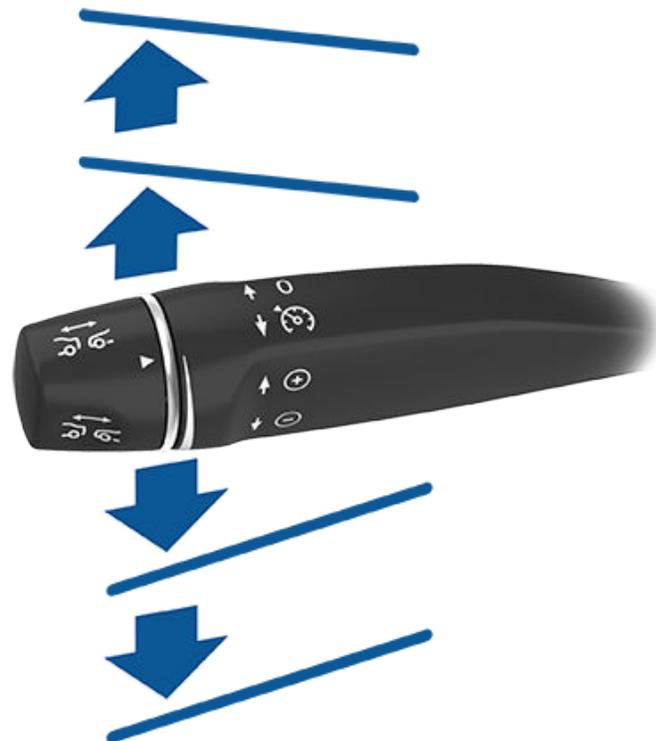
警告: 速度制限をもとに巡航速度を調節する場合、速度制限を変更しても設定した巡航速度は変更されない場合があります。

警告: 正確または適切な巡航速度を決定するために、トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはスピードアシストに依存しないでください。常に道路状況や該当の速度制限に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。

2. トラフィックアウェアクルーズコントロールの使用時に速度を変更するには、右スクロールホイールまたはオートパイロットレバーを使用します。詳細は[巡航速度の変更 ページ 116](#)を参照してください。
3. トラフィックアウェアクルーズコントロールをキャンセルするには、レバーを前方に1回押すか、ブレーキペダルを踏みます。詳細情報については、[キャンセルおよび再開 ページ 118](#)を参照してください。

巡航速度の変更

トラフィックアウェアクルーズコントロールの使用中に設定巡航速度を変更するには、インストゥルメントパネルに希望の巡航速度が表示されるまで、オートパイロットレバーを上（加速）または下（減速）に動かします。



時速1マイル（1km）刻みで加減速するには、レバーを第1ポジションまで上げるか、下げて離します。現在の速度に最も近い時速5マイル（5km）の倍数まで加減速するには、レバーを第2ポジションまで上げるか、下げて離します。たとえば、時速57マイルで走行時にレバーを第2ポジションまで上げて離すと、速度は時速60マイルになります。レバーを一番上か一番下で抑えて、インストゥルメントパネルのアイコンに希望の巡航速度が表示されたときにレバーを離しても、加減速ができません。

オートパイロットレバーを手前に約0.5秒間引き続けても、検出された制限速度で巡航します。

注: Model X は、設定速度より遅い速度で走行する車両の後方で Model X が巡航していない場合、新しい巡航速度を決定するために数秒かかることがあります。

設定速度で巡航

Model X の前方に他の車両が検出されていない場合、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定巡航速度を維持します。検出した車両の後ろを走行すると、選択した車間距離（[車間距離の調整 ページ 118](#) 参照）を維持するために必要に応じて、トラフィックアウェアクルーズコントロールが設定速度まで Model X を加減速します。

トラフィックアウェアクルーズコントロールは、カーブに侵入または退出する際も走行速度を調整します。



設定速度で巡航するとき、いつでも手動で加速することができますが、アクセルを離せばトラフィックアウェアクルーズコントロールが再開します。

注: トラフィックアウェアクルーズコントロールが前方車両との車間距離を選択されている距離に保つために Model X を減速させているときは、ブレーキランプが点灯し、他のドライバーに自車が減速していることを知らせます。ブレーキペダルがわずかに動きます。ただし、トラフィックアウェアクルーズコントロールが Model X を加速しているときは、アクセルペダルは動きません。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model X にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。

警告: 車載 GPS（グローバルポジショニングシステム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かって提示ルートに従わない時など、Model X によって車両が減速することがあります。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、物体を検知できない場合があります。静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 50 mph (80 km/h) 以上で走行しているときに追尾していた車両がいなくなり、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。常に前方の道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。衝突回避をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。さらに、トラフィックアウェアクルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を不必要または不適切に減速させる場合もあります。

警告: 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェアクルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェアクルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model X の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。衝突回避のための Model X の減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存しないようにしてください。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。衝突回避のための走行速度の減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存すると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ホールド状態

前方に他の車両がある場合は、Model X が完全停車したとしても、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効となったままとなります。前方の車両が再び動き始めると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。ただし、以下のような状況では、トラフィックアウェアクルーズコントロールが「ホールド」状態に入るため、巡航を再開するには、アクセルペダルを軽く踏むか、オートパイロットレバーを手前に引く（キャンセルおよび再開 ページ 118 を

参照）必要があります。「ホールド」状態が有効な場合、インストゥルメントパネルには「ホールド」アイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があることを示します。トラフィックアウェアクルーズコントロールがホールド状態に入るのは次の状況です。

- Model X が、5 分間停車している場合。
- Model X が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model X の前方にいた車両が突然視界からなくなった場合。
- Model X の前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航し、出口方向に向かって方向指示器を入れると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは Model X が出口から退出するものとみなし減速を開始します。出口に向かって走行しない場合は、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。右側通行の地域の場合は、最右車線を走行している時に出口の 164 フィート（50 メートル）手前で右に方向指示器を出したときのみに行われます。同様に、左側通行の地域の場合は、最左車線を走行している時に出口の 164 フィート（50 メートル）手前で左に方向指示器を出します。

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）に進入するとき、トラフィックアウェアクルーズコントロールは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。

注: 車載グローバルポジショニングシステム（GPS）を使用して、走行している地域が右側通行か左側通行かを判断します。GPS データが利用できない状況（例えば、電波が弱い場合など）では、出口手前で方向指示器を出してもトラフィックアウェアクルーズコントロールは Model X を減速しません。

における高速道路のインターチェンジや出口でトラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にすると、設定した速度は時速 5 マイル (5 km) 刻みで 時速 25 マイル (40 km) まで減速し、その場所を走行した他の Tesla 車両から報告された速度に合わせるよう試みます。これを無効にして設定速度での巡航を継続するにはアクセルペダルをタップするかオートパイロットレバーを動かします。インターチェンジまたはオフランプを走行するときは、新しい設定速度が保たれます（別な設定にするかトラフィックアウェアクルーズコントロールをキャンセルしない限り）。インターチェンジまたはオフランプを通過した後、設定速度は元の速度に戻るか、そのロケーションの必要性に応じて変更されます。例えば、他の高速道路に合流する場合、設定した巡航速度はインターチェンジに差し掛かる前の設定速度に戻ります。

警告: 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェアクルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。適切な走行速度を決定するために、トラフィックアウェアクルーズコントロールのみに頼らないでください。道路状況に合った速度で、制限速度以内で安全に走行することが推奨されます。



トラフィックアウェアクルーズコントロール

車間距離の調整

Model X と先行車両の間で維持したい車間距離を調節するには、オートパイロットレバーを回します。各設定は、Model X が現在の位置から前方車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。設定は、手動で変更するまで保持されます。

最も短い追従距離は 2 です。



オートパイロットレバーの回転に応じて、インストゥルメントパネルに現在の設定値が表示されます。目的の設定値が表示されたら、レバーを離します。



警告: 十分な車間距離を取って安全に運転することはドライバーの責任となります。適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェアクルーズコントロールのみに頼らないでください。

警告: 衝突を避けるために、Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。

追い越し加速

トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動している状態で前方車両を追尾している場合、方向指示器をオンにすると（追い越し車線へ移動することを示すと）、Model X は前方車両がいる方向へ短時間加速します。方向指示器レバーを一瞬上げたままにするか、下げたままにしておくと、アクセルペダルを踏まなくても、設定速度まで素速く加速できます。方向指示器の操作による加速は、以下の条件がすべて満たされている場合に限られます。

- トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X が、設定速度未満であるが時速 72 km (45 マイル) を超える速度で走行している。

追い越し加速は前方車両を追い越す際の補助を目的としています。方向指示器が出されると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き前方車両との車間距離を保ちますが、設定距離よりも若干短い車間距離で運転することができるようになります。

以下のうち 1 つの条件が満たされたときに加速がキャンセルされます。

- 設定した巡航速度に到達した場合。
- 車線変更に時間がかかる場合。
- Model X と前方車両との距離が近すぎる。

または

- 方向指示器を取り消した場合。

注: ウィンカーを完全に作動させる場合、追い越し加速が発生します。方向指示器から手を放すと、Model X は（アクセルペダルを放した場合と同様に）加速を中止し、設定速度での走行を再開します。

警告: 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。

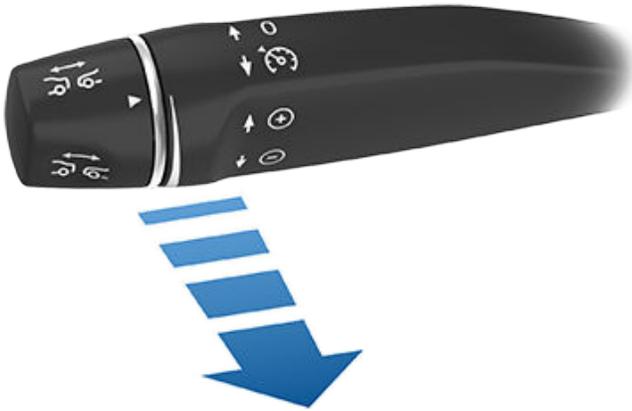
警告: 追い越し加速では、該当するウィンカーを出す車速が増し、Model X は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェアクルーズコントロールは前方車両との車間距離を保ち続けますが、特に前方車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

キャンセルおよび再開

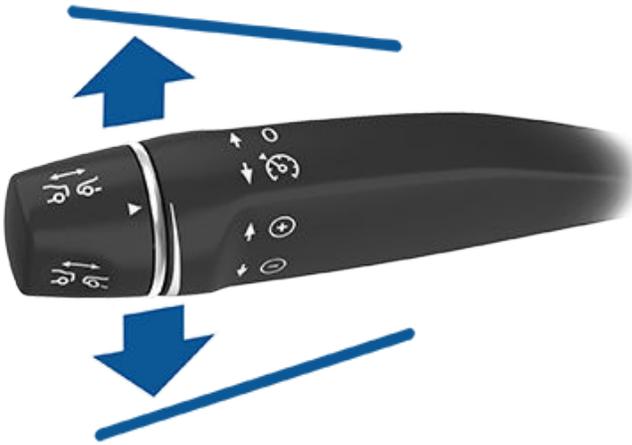
トラフィックアウェアクルーズコントロールを手動でキャンセルするには、ブレーキペダルを踏むか、オートパイロットレバーを短い間押し込みます。インストゥルメントパネル上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェアクルーズコントロールが無効になっていることが示されます。



前回の設定速度で巡航を再開する場合は、オートパイロットレバーを少しだけ手前に引きます。



現在の走行速度で巡航を再開するには、オートパイロットレバーを上または下に動かして放します。



注: トラフィックアウェアクルーズコントロールをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェアクルーズコントロールが動作していないときにアクセルペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します (回生ブレーキ ページ 78 を参照)。

⚠ 警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは次のような場合にキャンセルされるか、利用できない場合があります。

- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- 走行速度が最大巡航速度である 90 mph (時速 150 km) を超えた場合。
- Model X をシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- カメラまたはセンサー (装備されていれば) に障害物に覆われている場合。これは汚れ、泥、氷、雪、霧などが原因により発生する場合があります。
- トラクションコントロールの設定が手動で無効にされた、またはスリップを防ぐため何度も作動している場合。
- ホイールが回転しているにも関わらずその場から動かない場合。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールシステムが故障し、修理を必要としている場合。

トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用できない場合またはキャンセルされた場合、Model X は一定の設定速度で走行なくなり、前方車両との間に指定された車間距離を保たなくなります。

⚠ 警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

クルーズインジケータのまとめ



トラフィックアウェアクルーズコントロールは利用できますが、この機能を有効にするまでは車両の速度をコントロールすることはできません。灰色で表示された数値は、トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にしたときに設定される巡航速度です。



トラフィックアウェアクルーズコントロールが能動的に巡航を実行し、設定速度を維持している (前方に車両がない) かまたは前方の車両と設定した車間距離を保ちます (設定速度まで)。



Model X が完全に停止したが、**ホールド**状態にある。安全に行える場合、設定速度で巡航を再開するにはアクセルペダルを踏みます。

制限事項

トラフィックアウェアクルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合 (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサー (装備されていれば) が障害物に覆われている (霧の発生、汚れ、ステッカーで覆われているなど)。

⚠ 警告: 前記のリストはトラフィックアウェアクルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。

T オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にオートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

オートステアリングでは、トラフィックアウェアクルーズコントロールに基づき（トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 115 を参照）、Model X が設定速度で走行中に走行車線を維持します。オートステアリングでは、Model X を隣の車線に移動するために方向指示器を使用することも可能です（自動車線変更 ページ 122 を参照）。オートステアリングが車線区分線ならびに車両および物体の存在を検出して、Model X を操縦します。

注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせしている場合などと同様にパフォーマンスに影響が出ます。

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。使用中も常にハンドルを握っておいてください。

警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを使用する時は、ハンドルを握り、道路条件や周囲の車両に十分に注意を払ってください。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある地域では使用しないでください。適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

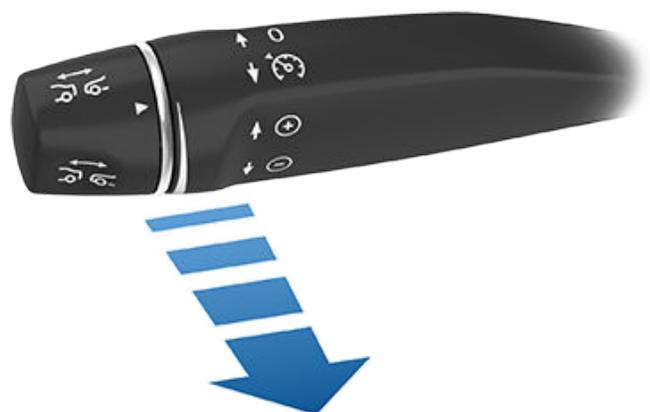
オートステアリングの操作

オートステアリングを操作する場合、事前にタッチスクリーンで「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット機能」>「オートステアリング（ベータ版）」を選択し、この機能を有効にしておく必要があります。



オートステアリングが利用可能状態（ただし、Model X を能動的に作動していない状態）であることを示すため、インストゥルメントパネルに灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。

オートステアリングを起動するには、オートパイロットレバーを2度続けて手前に引きます。



注: オートパイロット起動の設定を「一回引く」（「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット作動」にタッチ）にしている場合、オートパイロットレバーを手前に1回引くとオートステアリングが作動します。「二回引く」に設定している場合、オートステアリングを作動させるにはオートパイロットレバーをすばやく続けて手前に2回引く必要があります。



オートステアリングが作動して操舵を開始 Model X すると、インストゥルメントパネルのオートステアリングのアイコンの表示が青に変わります。オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、車線も青で表示されます。

オートステアリングでは、道路に注意を払い、いつでも運転を引き継ぐ準備をしておくことを注意喚起するために、インストゥルメントパネルに短いメッセージが表示されます。

オートステアリングを開始できる速度は、さまざまな条件や前方に車両を検出されているかどうかによって異なります。前方に車両を検出されていない状態では、18 mph (30 km/h) 以上の速度で走行していないと起動できません。ただし、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、それより遅い速度でも起動できます。前方に車両を検出されている場合、自分の車両がたとえ静止していても、Model X から少なくとも、5 フィート (150cm) 離れていれば、オートステアリングを任意の速度で起動できます。

注: オートステアリングが有効な場合、オートハイビームが自動的に有効になって、最高巡航速度が 85 mph (140 km/h) になります。

警告: 緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。Model X 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるよう準備をしてください。

オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリングアイコンが消えます。たとえば、運転速度がオートステアリングの動作に必要な速度内にない場合などです。オートステアリングがカメラから適切なデータを受信していない場合も、オートステアリングが利用できないことがあります。

注: 低照明の状態（薄暮または暗がり）においてヘッドライトを「オフ」に設定すると、オートステアリングは中断されるか使用できなくなります。最善の結果を得るためにはヘッドライトを「オート」に設定します。

オートステアリングが車線マーカーを検知できない場合、追従する車両を元に車線区分を決定します。

オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線を中心からオフセットされた走行経路で Model X をハンドル操作する場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りを Model X で回避するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

速度制限

進入制御された高速道路では、巡航速度はスピードアシストで設定したオフセットを考慮して、制限速度を反映します。住宅地や中央分離帯のない道路、または侵入が制限されていない道路でオートステアリングの使用を選択すると、オートステアリングにより許容される最高巡航速度に制限が入り、インストゥルメントパネルに速度が制限されていることを伝えるメッセージが表示される場合があります。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h (5 マイル) プラスした値です。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって時速 45 マイル (70 km) に制限されます。制限速度を超えて加速することはできませんが、Model X は検出した障害物に合わせてブレーキをかけることができなくなる場合があります。アクセルペダルから足を離すと、オートステアリングはこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを動かしてオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度設定速度を上げることができます。

ハンドルを握る ハンドル

オートステアリングは Model X のハンドル操作を決定します。オートステアリングがオンになっているあいだは、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルに手が置かれていることが一定時間検知されなかった場合、インストゥルメントパネルの状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。



ハンドルを少し回してください

オートステアリングは、ハンドルを回したときのわずかな抵抗を感知することや、ドライバーが（制御を取り戻すことにはならないように）非常に軽く手でハンドルを回すことで、手の存在を検知します。またウィンカーを出す、オートパイロットレバーを使用する、またはハンドルのボタンやスクロールホイールを使用する場合にも手を感知します。

注: ハンドルに手が置かれたのが検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能が通常動作に戻ります。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わられるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドルに置かれている手を検出しない場合は、インストゥルメントパネルの車両ステータスセクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

ハンドルに手を置くよう促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、自分で運転するようメッセージ表示します。手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます（停車し Model X をパーキングに切り替えた後）。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が 3 回に達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）の使用は 1 週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7 日後に免除されます。

注: オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

今すぐ運転を引き継いでください

オートステアリングが Model X を操作できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルにメッセージを表示します。



オートステアリング

今すぐ運転を引き継いでください



このメッセージに気づいたら、今すぐ運転を引き継いでください。

オートステアリングのキャンセル

オートステアリングは次の時に動作をキャンセルします。

- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- 手でステアリングを動かしたとき。

注: オートパイロット起動が「二回引く」に設定されているときにドライバーが自ら操舵を開始すると、オートステアリングはキャンセルされますが、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効なままになります。オートパイロット起動が「一回引く」に設定されているときにドライバーが自ら操舵を開始すると、オートステアリングはキャンセルされ、トラフィックアウェアクルーズコントロールもキャンセルされます。

- オートパイロットレバーを前に倒した場合。
- オートステアリングが動作できる最大速度の時速 90 マイル (150 km) を超えています。
- ギアシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき (衝突回避アシスト ページ 155 参照)。

オートステアリングをキャンセルすると、オートステアリングはチャイム音を鳴らし、アイコンをグレーにしてオートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンを完全に消してオートステアリングが現在利用できないことを示します。

注: オートステアリングは、ドライバーが操舵を開始するとキャンセルされますが、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効状態を保ちます。通常どおりに、ブレーキペダルを踏む、またはオートパイロットレバーを前方に短く押して、トラフィックアウェアクルーズコントロールをオフにします。

オートステアリングを無効にして利用できない状態にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット機能」>「オートステアリング (ベータ版)」の順にタッチします。

自動車線変更

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングが有効なときは、方向指示器を使用すると Model X を隣の車線に移動することができます (ハンドルを動かすとオートステアリングはキャンセルされます)。

警告: 車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカ、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、インストゥルメントパネルの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。

警告: 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告: 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカを認識するカメラの性能に左右されます。

警告: 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー (装備されていれば) の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告: すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

自動車線変更機能の操作

自動車線変更は、オートステアリングが有効になっていればいつでも利用できます。

自動車線変更機能を使用した車線変更:

1. 目標車線への移動が安全で適切であることを確認するために目視チェックを行います。
2. ハンドルに手を置いたまま、方向指示器を作動させます。
3. 必要に応じて、目的の車線に入ったら、方向指示器を解除します。

注: 自動車線変更の最低走行速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも運転が代わられるよう準備し、必要なら車線変更を行います。

自動車線変更機能は、次の条件が満たされた場合、方向指示器が示す隣接した車線に Model X を移動します。

- 方向指示器を作動している。
- Model X 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- 車線変更の途中で、Model X は目標車線の外側車線マーカを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model X は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。

自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します (追い越し加速 ページ 118 を参照)。

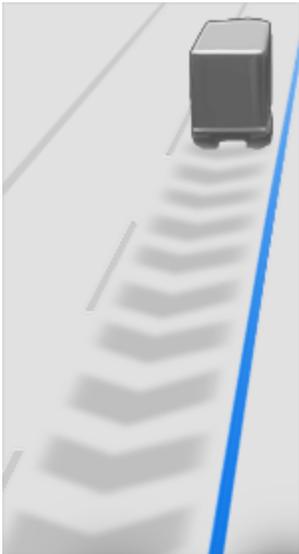
注: 自動車線変更機能は一度に1車線ずつ Model X を移動させます。さらに車線を変更する場合は、最初の車線変更が完了した後、方向指示器を再度作動させる必要があります。

自動車線変更機能を使用している場合は、前方の運転経路と周囲の状況を注視し、自動車線変更機能の動作を見守ることが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、インストゥルメントパネルに、Model X が入った車線の場所が表示されます。

自動車線変更機能が最適な性能を発揮できない場合、またはデータが不十分なために機能しない場合、インストゥルメントパネルが連続した警告を表示します。自動車線変更機能の使用中は、常にインストゥルメントパネルに注意を払い、必要に応じて常時 Model X のハンドルを手動で制御できるようにしておく必要があります。

隣接する車線の走行速度

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りに作動しない場合があります。



隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model X は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとっても効果的です。Model X が他の車両が非常に低速であることを検知すると、インストゥルメントパネルに隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示され、Model X は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセルペダルを踏み込みます。

警告: オートパイロット機能に安全な走行速度の判断を頼らず、ドライバーが責任を持って安全に運転し、交通規則を順守してください。

赤信号と一時停止標識の警告

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に赤信号と一時停止標識の警告が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングの使用中に、赤信号や一時停止標識を通過しそうなことを検出した場合、Model X は、インストゥルメントパネル上に警告を表示し、チャイム音を鳴らします。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。

2、3秒後、またはブレーキペダルを踏む時のいずれか早い方で、視覚および音声警告はキャンセルされます。

赤信号および一時停止標識の警告これにより、赤信号、一時停止標識、路面標示などで Model X は減速や停止することはありません。信号機/一時停止標識コントロール装備車の場合は、この機能を有効にすることで信号機や一時停止標識で Model X が自動的に停止します（信号機と一時停止のコントロールページ 128 を参照）。

注意: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、車両が赤信号や一時停止標識があることを地図で認識している必要があります。場合によっては、地図データが不正確であるか古くなっているために、すべての赤信号や一時停止標識が含まれていないことがあります。したがって、赤信号および一時停止標識の警告機能では、一部の赤信号や一時停止標識を検出できない可能性があります。

警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能においては、Model X にブレーキングや減速を適用せず、すべての信号機および一時停止標識を検出できるとは限りません。赤信号および一時停止標識の警告機能は、ガイダンス目的で設計されており、注意深い運転や適切な判断をしないでよいわけではありません。走行中は、赤信号および一時停止標識を警告する赤信号および一時停止標識の警告機能に任せきりにせず、常に道路に注意を払ってください。

警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、目に見える赤信号が点灯または黄色の信号機の後半部分に近づいたときのみ警告するように設計されています。信号が点滅している交差点については警告しない場合があります。また、「道譲れ」標識や工事現場などの一時的な停止標識についても警告しません。さらに赤信号および一時停止標識の警告機能は、赤信号や一時停止標識に接近しているときに、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいる場合は警告を出しません（オートステアリングが無効になります）。

制限事項

オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカがひどくかすれている、以前のマーカが見えている、道路工事のために車線マーカを変更している、車線マーカが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカに物体や景観物が影を落としたり、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。

オートステアリング

- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model X が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

 **警告:** 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートステアリングでは Model X を適切に操縦できない場合があることを常に頭に入れておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にオートパイロットナビ走行が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: オートパイロットナビ走行はBETA機能です。

進入制限のある高速道路（ドライバーがオンランプとオフランプを使用して出入りする主要高速道路）でオートステアを使用する場合。オートパイロットナビ走行がModel Xを、提示ルートに基づいてオフランプとインターチェンジに誘導します。ナビゲーションルートの高速道路の部分において、オートパイロットナビ走行は高速道路の出口に備えた車線変更（経路を優先にした車線変更）や、目的地までの運転時間を最短にするための車線変更（速度を優先した車線変更）も提案します。

-  **警告:** オートパイロットナビ走行は、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーションルートを認識し続けている必要があります。
-  **警告:** 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。
-  **警告:** ナビゲートオンオートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカーブールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットナビ走行の有効化とカスタマイズ

オートパイロットナビ走行を有効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット機能」>「オートステアリング」>「オートパイロットナビ走行（ベータ）」の順にタッチします。次に、オートパイロットナビ走行の操作をカスタマイズするため、「ナビゲートオンオートパイロットのカスタマイズ」にタッチします。

- **毎回運転開始時に有効にする:** ナビを実行する時にオートパイロットナビ走行を自動的に有効にするかどうか選択します。有効にすると、運転を開始するたびにオートパイロットナビ走行ボタンが経路案内リストに表示されます。
- **速度に応じた車線変更:** オートパイロットナビ走行は、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。経路に応じた車線変更は、ナビゲーションルート上を継続して走行するように設計されています（たとえば、近づいてくるオフランプに備えて隣の車線に移動したりします）が、速度に応じた車線変更は、（前の車を追い越すために隣の車線に移動するなどして）目的地に到着するまでの時間が最短になる運転速度（巡航速度以内）を維持する設計になっています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、オートパイロットナビ走行で設定した巡航速度を順守するためにどの程度車線変更を行うかを指定したりすることができます。「マイルド」設定では、車線変更の頻度が下がるため、運転時間が長めになることが

あります。一方、「マッドマックス」は、可能な最短時間で目的地に到達できるようにする設定ですが、車線変更の実行は安全な場合に限られます。

- **追い越し車線から離脱:** 目的地へのナビゲーション時に、ナビゲートオンオートパイロットで追い越し車線からの離脱を誘導するかどうかを選択します。
注: ルートに基づいた車線変更や速度に基づいた車線変更に加えて、オートパイロットナビ走行では、他の車両を追い越していない時、低速の車線に留まるように追い越し車線からの車線変更を求めるリマインダーが流れます。これを無効にするには「いいえ」を選択し、Model Xの追い越し車線での走行を維持します（ナビゲーションルートに従う必要がある場合を除く）。
- **車線変更の確認を要求**（装備されている場合）：デフォルトでは、ナビゲートオンオートパイロットで車線変更を進める前に、オートパイロットレバーを手前に引くか該当する方向のウィンカーを作動させ確定する必要があります。ただし、オートパイロットナビ走行でこの確認をせずに車線を変更したい場合、この設定をオフにしてください。設定をオフにしたときは、車線変更通知の有無またはどのように通知を受けたいかなどを設定することができます（「チャイムオフ」、「バイブレート」、または「両方」）。

-  **警告:** 「車線変更の確認をする」をオフにした場合、ナビゲートオンオートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせますが、常に周囲環境を監視してModel Xの制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。

注: タッチスクリーンには、マップの経路案内リストの上部に経路に応じた車線変更を表示して、ナビゲーションルートに沿うともうすぐ車線変更が必要となることを知らせます。

オートパイロットナビ走行の操作

有効になると、ナビゲーションルートが有効になっていて、ルートに少なくとも1つの進入制限されている道路が含まれる場合、「オートパイロットナビ走行」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。オンになっていると、オートパイロットナビ走行ボタンは青色で表示され、経路案内（高速の出口など）の横にオートステアリングアイコンを表示してオートパイロットナビ走行がその操作を行うことを示します。



目的地に移動中に、「ナビゲートオンオートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲートオンオートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。



「ナビゲートオンオートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「運転開始時に有効にする」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲートオンオートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンにタッチすると、「ナビゲートオンオートパイロット」がキャンセルされ、「オートステアリング」に戻ります。毎回運転開始時に有効にするがオ

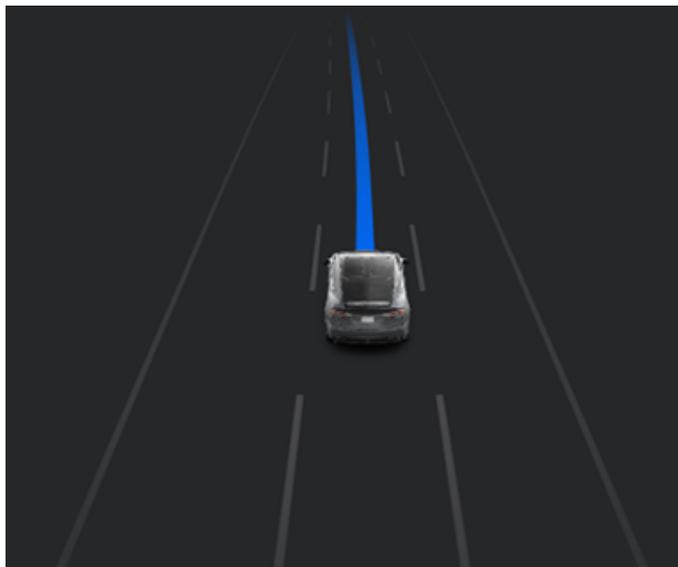


オートパイロット ナビ走行

フになっている場合、ナビを使って走行するたびに**オートパイロット ナビ走行**ボタンをタッチする必要があります。

オートパイロット ナビ走行は、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。例: オートステアリングがオンの状態でオートパイロット ナビ走行が有効となっている場合、ナビゲーションルートにある進入制限されている高速道路に差し掛かると、オートパイロット ナビ走行が自動的に起動されます。

オートパイロット ナビ走行が有効になっているときは常に、インストゥルメントパネルで、Model X の前方の走行車線が青色の単線で表示されます。



オートパイロット ナビ走行が有効で、経路案内に従ってオフランプまたは高速道路のインターチェンジに近づくと、適切な方向指示器が作動して、オートステアリングにより Model X がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

警告: オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲートオンオートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を実際に選ぶように心がけてください。

進入制限のある道路を離れる場合（たとえばその道路を出るときや、サポート対象外となっているナビゲーションルート部分に入るときなど）、ナビゲートオンオートパイロットはオートステアリングに戻り、チャイムが鳴り、インストゥルメントパネルに、(Model X の前方の青色の一本線に代わって) 青色で走行車線が表示されます。

注: 経路案内および高速道路のインターチェンジでの進行方向を決定する場合、ナビゲートオンオートパイロットでは高乗車率 (HOV) 車線を使用するかしないかを検討します。このため、現在の環境に「**HOV 車線の使用**」設定が適していることを確認します (マップとナビゲーション ページ 177 を参照)。この設定がオフの場合、時間帯がいつでもであっても、ナビゲートオンオートパイロットは HOV 車線を利用しません。この設定がオンの場合、ナビゲートオンオートパイロットは、該当する場合に、HOV 車線を利用します。

警告: オートパイロット ナビ走行が無効になった時でも、オートステアリングはオンのままです。常に適切に対応できるように準備してください。

警告: ナビゲートオンオートパイロットでは、ナビゲーションルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

マップ上のターンバイターン経路リストで**ナビゲートオンオートパイロット**をタッチする (Model X はオートステアリングに戻ります) か、オートステアリングを完全にキャンセルすることで (オートステアリングのキャンセル ページ 122 を参照) ナビゲートオンオートパイロットをいつでもキャンセルすることができます。

車線変更

オートパイロット ナビ走行では、近づく高速道路の出口へ向かうために Model X が準備するために、(設定した走行速度を超えずに) 運転速度を上げるために、または他の道路使用者を追い越していない時に、追い越し車線から Model X を出すために、車線変更を行います。マップの進路変更ごとの方向一覧上部に、ナビ走行のルートで進むためにもうすぐに車線変更が必要であることを知らせるメッセージが表示されます。インストゥルメントパネルにこれからの走行経路が表示されます。



「**車線変更の確認が必要です**」が「OFF」の場合、オートパイロット ナビ走行では適した方向指示器を出し、車両および物体を確認し、場合によっては隣接車線へと Model X を操作します。

車線変更の確認を要求がオンになっている場合は、該当するウインカーを作動させるか、オートパイロットレバーを手前に引いて、オートパイロット ナビ走行に車線変更を続行するよう確認します。3 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、オートパイロット ナビ走行で車線変更の確定が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。

注: ルートベースの車線変更推奨を無視する (高速道路の右側の出口車線に向かっているが左車線を運転している場合など) と、オートパイロット ナビ走行では出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。



⚠ 警告: ナビゲート オン オートパイロットでは、ナビゲーションルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

引継ぎの準備

車線変更や Model X の運転をしようとする時、または建設工事ゾーンが近づく時、ナビゲート オン オートパイロットでは適した走行車線を判断することができない場合があります (例: 複雑なクローバー型の合流車線や複数レーンの出口ランプなど)。また、インストゥルメントパネルには、ナビゲート オン オートパイロットが運転を試みており、アシスタンスが必要となる可能性があることを示す警告が表示されます。メッセージが表示された場合は、車線変更や誘導を安全で適切に完了できるように、すぐに対応できるようにしておいてください。



信号機と一時停止のコントロール

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に信号機/一時停止標識コントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: 信号機と一時停止のコントロールはベータ版で、Teslaの車両が頻繁に走行している道路でもっともうまく機能します。信号機と一時停止のコントロールは、青信号を含むすべての信号で停止を試み、青信号でも停止することがあります。

信号機と一時停止のコントロールは、信号機と一時停止標識を認識して反応するように設計されており、トラフィックアウェアクルーズコントロールやオートステアリングの使用時にはModel Xを減速し、停止させます。この機能では、GPSデータだけでなく車両の前方カメラを利用して、一時停止標識と一部の路面標示の他、緑色、点滅黄色、消灯など検出されたすべての信号機で車両を減速します。Model Xが交差点に近付くと、インストゥルメントクラスターに、減速を指示する通知が表示されます。続けるか確認する必要があります。そうしなかった場合インストゥルメントクラスターのドライビングディスプレイに表示された赤色の線でModel Xは停止します。

警告: 交差点や路面表示で信号機と一時停止のコントロールがどのタイミングで、またどの位置で停止するか、あるいは動作を続けるかは**決して**思い込みで予測しないでください。ドライバーの目線から、信号機と一時停止のコントロールがいつも同じように動作するわけではありません。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、あるいはそのまま通過することが安全で適切であるとの判断を、信号機と一時停止のコントロールに委ねないでください。

ご利用の前に

信号機と一時停止のコントロールを利用する前には、次の事項が必要です。

- 前方カメラの視界が遮られておらず（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）、キャリブレーション済（[走行中のカメラキャリブレーション ページ 19](#) を参照）であることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールが信号機や一時停止標識、路面標示を検出できるかどうかは、カメラの能力に依存します。
- 地図の最新バージョンがModel Xにダウンロードされていることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールは基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。現在ダウンロードされている地図のバージョンを確認するには、「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。更新された地図を受け取るにはWi-Fi ネットワークに接続している必要があります（[地図のアップデート ページ 182](#) 参照）。
- 機能の有効化。車両がパーキングに入っている状態で、コントロール>オートパイロット>信号機と一時停止のコントロールをタッチします。これを有効にしておく、トラフィックアウェアクルーズコントロールかオートステアリングが有効な場合に、信号機と一時停止のコントロールが動作します。

動作の仕組み

信号機と一時停止のコントロールが有効で、オートステアリング、トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはフルセルフドライビング（監視付き）を利用している場合、インストゥルメントクラスターにポップアップメッセージが表示され、前方に信号機、一時停止標識、または路面標示が検出されたことを伝えます。停止位置に近づくと、**青信号の交差点であっても**、Model Xは減速して、Model Xの停止予定位置が赤い線に表示されます。交差点を通過するにはたとえ信号が青の場合でもオートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏んで車両に進む許可を与える必要があります。そのまま進むことを確定すると、赤い停止線がグレーに変わり、Model Xは交差点に進入し、設定した巡航速度に戻ります。

注: 前方の信号機が青のときに前の車両が交差点を通過中であることをModel Xが検出すると、現在の走行車線が右左折専用車線でもドライバーの手がハンドルにかけていることを車両が検知した場合、Model Xはドライバーの確定操作がなくてもそのまま交差点を通過します。

注: オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏んで通過を承認した後でも、交差点進入直前に信号機が変わった場合（青から黄色、または黄色から赤）は、Model Xがそのまま交差点に進入するのが不適切であると判断することがあります。その場合、Model Xは停止動作に入るため、それを無視して前進させる場合は、アクセルを踏む必要があります。車両が適切かつ安全に停止あるいは加速するようにさせることは、常に運転者の責任です。

警告: 信号機と一時停止のコントロールにより、フルセルフドライビング（監視付き）が作動していない限り、Model Xは交差点を曲がって通過しません。Model Xは、右左折専用車線上では、赤色停止線で停止します。進むには、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏みます—Model Xは交差点を直進するため（たとえ右左折専用車線であっても）、交差点では手動でModel Xを操舵する必要があります（オートステアリングはキャンセルされます）。

信号機と一時停止のコントロールは、以下の条件を満たす場合にのみ、説明したような動作をします。

- オートステアリング、フルセルフドライビング（監視付き）、またはトラフィックアウェアクルーズコントロールが有効になっている。
- 前方の信号機、一時停止標識、路面標示をカメラが検出できる（カメラの視界が遮られておらず、信号機、一時停止標識、路面標示が見通せる位置にある等）。
- Model Xのインストゥルメントクラスター先方の信号機を「強調」フォーマットで表示している。Model Xはインストゥルメントクラスターに色落ち表示されている信号機を認識していません。信号機がカメラの真正面にない場合（カメラの斜め前や隣の車線等）、インストゥルメントクラスターはそれを色落ち表示し、Model Xはそのための減速や停止を行いません。

警告: インストゥルメントクラスターが前方の交差点を赤い停止線に表示していない場合、Model Xは減速や停止を行いません。前方の交差点に注意し、交通状況を監視して車両がいつ停止すべきかを判断し、必要に応じて適切な行動をとるのは、運転者の責任です。



-  **警告:** 交差点で停止するかあるいはそのまま進むかの判断を、信号機と一時停止のコントロールに頼らないようにしてください。道路、前方の交差点、交通状況、横断歩道、歩行者に気を配って、慎重に運転してください。交差点で停止するか、そのまま進むかの判断は、常に運転者の責任です。すぐに対応できるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。
-  **警告:** 状況によっては、信号機と一時停止のコントロールが、信号機や一時停止標識を誤って認識して Model X が想定外の減速をすることがあります。いつでもすぐに操作できるように準備しておいてください。
-  **警告:** 信号の状態に関係なく、交差点を通過したい場合は、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏んで確定する必要があります。確認を行わない場合、Model X は停止が適切ではない場合であっても、インストゥルメントクラスターに表示されている赤い停止線で停止します。青信号で停止すると周りの運転者を混乱させるだけでなく、衝突や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。そのため、前方の交差点に気を配り、周囲の状況に応じて手動でブレーキやアクセル操作ができるように備えてください。
-  **警告:** 信号機や路面標識（特に複雑な交差点や、信号機や標識の一部が隠れているような交差点等）の自分の認識能力を過信しないでください。すなわち、Model X もそれを認識して適切な対応をするだろうと思いつまなないでください。
-  **警告:** 最新のマップデータでさえ、すべての信号機や一時停止標識が含まれているわけではありません。したがって、この信号機と一時停止のコントロールでは、信号機、一時停止標識、路面標識などを検出するためにカメラの能力が重要な役割を果たします。そのため、カメラの視野が塞がれた（樹木や大型車両、あるいは急勾配の坂や、急カーブにある大きな物体などで）交差点では Model X が見落とすことがあります。

st

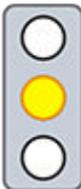
-  **警告:** 信号機と一時停止のコントロールは、注意深い運転や適切な判断に取って代わるものではありません。



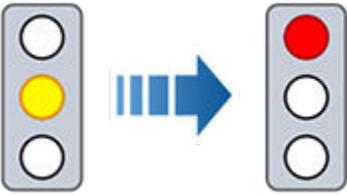
信号機と一時停止のコントロール

信号

オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして運転する際は、Model X が信号機で制御された交差点に近づくとき、以下のような反応をするよう設計されています：

信号機の種類	車両の意図した応答
 	<p>青色信号機、または現在消灯している信号機（点灯していない）で、Model X は減速します。</p> <p>交差点を通過しつつある車両に続いて走行している場合、インストゥルメントクラスターには緑色の停止線が表示され、ハンドルに手をかけていれば、この場合も Model X はそのまま走行を続けます。</p> <p>前方に車両がない場合、インストゥルメントクラスターに赤色の停止線が表示されます。オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏んで、交差点を通過しすることを確定する必要があります。この確定操作をしないと、Model X はインストゥルメントクラスターに表示されている赤色の停止線で停止します。</p> <p>注: Model X 交差点を抜けるときは、前方車両の走行速度を考慮しながら、すみやかに設定巡航速度に復帰します。</p>
 	<p>Model X 減速し、インストゥルメントクラスターに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合（例えば、信号が再び青になった場合、または Model X が完全に停止した場合など）、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。</p>
  	<p>Model X 減速し、インストゥルメントクラスターに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合（例えば、信号が再び青になった場合）、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。</p> <p>注: 交差点を通過する指示を与えた後に信号機が変わった場合（青信号が黄色に変わる等）、Model X が交差点に入る前に安全に停止できると判断した場合は、Model X は通過せずに停止する場合があります。</p> <p>注: Model X は、信号機が赤色の場合や黄色に変わった場合、交差点に入る前に安全に停止できる適切な距離があれば停止するように設計されています。</p> <p>注: ブレーキを踏むことで、オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロールをキャンセルし、いつでも運転を引き継ぐことができます。</p>



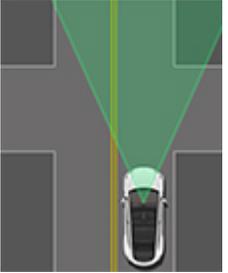
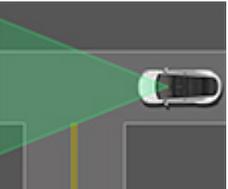
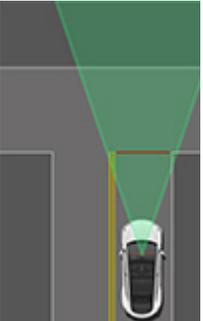
信号機の種類	車両の意図した応答
	
	<p>Model Xは減速します。進むには、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。この操作をしないと、Model Xはインストゥルメントクラスターに表示されている赤色の停止線で停止します。</p> <p>注: Model Xを停止させないためには、および接近時の減速を最小限に抑えるためには、インストゥルメントクラスターに赤い停止線が表示された後、いつでもオートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏むことで進むことを確認できます。Model Xは、運転者による確認後、(前方車両の走行速度を考慮して) すみややかに設定した巡航速度に復帰します。</p> <p>⚠ 警告: 注意深く近づき、減速あるいは停止できるようにブレーキペダルを踏む準備をします。</p>
	<p>Model X減速し、インストゥルメントクラスターに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合(例えば、交通法規や状況から、進むことが安全で合法であると判断できる場合)は、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。</p>



信号機と一時停止のコントロール

一時停止標識や路面標示

オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして運転する際、Model X が信号機、停止線、路面表示で制御された交差点に近付くと、以下のような反応をするよう設計されています:

交差点の種類	車両の意図した応答
 <p data-bbox="162 745 308 777">交通整理なし</p>  <p data-bbox="138 1024 332 1056">T 字路の直進方向</p>	<p data-bbox="386 445 1209 476">Model X は、優先通行権があると考え、減速や停止をすることなく進みます。</p>
 <p data-bbox="116 1455 357 1486">T 字路の突き当り道路</p>	<p data-bbox="386 1102 1463 1186">Model X が T 字路をマップデータで検出した場合、Model X は減速し、インストゥルメントクラスターに表示されている赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、ハンドルとアクセルを引き継ぐ必要があります。</p> <p data-bbox="386 1201 1463 1285">⚠ 警告: Model X は、一時停止標識や停止線がない場合や、マップデータに T 字路が含まれていない場合、T 字路で停止できません。注意して走行し、すぐに停止できるように備えてください (必要な場合や適切な場合)。</p>
 <p data-bbox="162 1885 308 1917">一時停止標識</p>	<p data-bbox="386 1528 1463 1612">Model X 減速し、インストゥルメントクラスターに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、オートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。</p> <p data-bbox="386 1627 1463 1711">注: 一時停止標識のある交差点で、Model X が停止する前にオートパイロットレバーを手前に引くか、またはアクセルペダルを短く踏んで進行することを確定した場合、その確定は無視されます。Model X は一時停止標識を停止せずに通過できるようには設計されていません。</p> <p data-bbox="386 1726 1463 1789">注: 交差点を曲がるには、オートステアリングを使用している場合であっても、方向指示器を出している場合、ご自分でハンドルを回す必要があります (それでオートステアリングはキャンセルされます)。</p>



交差点の種類	車両の意図した応答
	
<p>一時停止標識や路面標示</p>	
 <p>路面標示</p>	

- ⚠ 警告:** Model X 環状交差点でも減速して停止します。ハンドル操作を引き継ぎ (オートステアリングはキャンセルされます)、オートパイロット レバーを手前に引くか、またはアクセル ペダルを短く踏み、ラウンドアバウトを通過することを確定する必要があります。
- ⚠ 警告:** 横断歩道では、横断歩道が信号機で制御されているかどうか、また、カメラが横断歩道に歩行者や自転車を認識したかどうかによって、Model X は減速し、停止します。横断歩道では特に注意を払い、いつでも操作を引き継げるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。

制限事項

信号機と一時停止のコントロールは以下の場所では、さまざまな状況と環境条件次第で *停止することもあれば停止しないこともあります*：

- 踏切
- 立ち入り禁止区域
- 料金所
- 横断歩道
- 譲れ標識や、一時的な信号機および一時停止標識（工事区間等）
- その他の交通 U ターン信号や歩行者横断用信号、走行車線指示信号等

さらに、次の条件が 1 つまたは複数ある場合には、信号機と一時停止のコントロールは想定通りの動作をしないか、切り離される、あるいは動作しないことが考えられます。

- それぞれの間隔が非常に短い連続した信号機のある交差点。
- 見通しが悪い（豪雨、雪、霧等）あるいは悪天候がカメラやセンサーの動作を妨げている。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている場合。
- カメラが妨げられている、覆われている、損傷している、適切にキャリブレーションされていない。



信号機と一時停止のコントロール

- 急な上り坂や急カーブでカメラが前方の信号機や一時停止標識を認識できない。
- 信号機、一時停止標識、路面標示が妨害されている（木や大型車などにより）。
- Model X が前方車両に非常に近くまで接近し、カメラの視界を妨げている。

警告: 上記の制限は、Model X が期待通りに動作しない原因の一部です。多くの予期せぬ状況が、信号機と一時停止のコントロールの正確な動作に悪影響を与えます。この機能を利用することで、注意深く、責任をもって運転する必要性が減るあるいはなくなるわけではありません。いかなる時でも適切かつとっさの行動がとれるよう備えておく必要があります。



NOTE: Depending on market region, vehicle configuration, options purchased, and software version, your vehicle may not be equipped with フルセルフドライビング（監視付き） (also referred to as Autosteer on City Streets), or the feature may not operate exactly as described.

When フルセルフドライビング（監視付き） (also referred to as Autosteer on City Streets) is engaged, Model X attempts to drive to your destination by following curves in the road, stopping at and negotiating intersections, making left and right turns, navigating roundabouts, and entering/exiting highways.

Unlike Traffic-Aware Cruise Control, Autosteer, and Navigate on Autopilot, which are intended for use on multi-lane roadways with clear lane markings, フルセルフドライビング（監視付き） is meant to work in a variety of driving scenarios. You can use フルセルフドライビング（監視付き） on any type of roadway, including residential and city streets.

WARNING: Driver intervention may be required in certain situations, such as on narrow roads with oncoming cars, in construction zones, or while going through complex intersections. For more examples of scenarios in which driver intervention might be required, see [Limitations and Warnings ページ 147](#).

フルセルフドライビング（監視付き） uses inputs from cameras mounted at the front, rear, left, and right of Model X to build a model of the area surrounding Model X (see [カメラ ページ 19](#)). The Full Self-Driving computer installed in Model X is designed to use this input, rapidly process neural networks, and make decisions to safely guide you to your destination.

NOTE: As Tesla's フルセルフドライビング（監視付き） capabilities evolve, Model X is upgraded through over-the-air software updates. Download updates as soon as they become available.

NOTE: フルセルフドライビング（監視付き） uses Tesla's vision-based system and therefore radar (if equipped) is disabled.

Like other Autopilot features, フルセルフドライビング（監視付き） requires a fully attentive driver and will display a series of escalating warnings requiring driver response. **You must keep your hands on the ハンドル while フルセルフドライビング（監視付き） is engaged.**

WARNING: フルセルフドライビング（監視付き） is a hands-on feature that requires you to pay attention to the road at all times. Keep your hands on the ハンドル at all times, be mindful of road conditions and surrounding traffic, pay attention to pedestrians and cyclists, and always be prepared to take immediate action (especially around blind corners, crossing intersections, and in narrow driving situations). Failure to follow these instructions could cause damage, serious injury or death. It is your responsibility to familiarize yourself with the limitations of フルセルフドライビング（監視付き） and the situations in which it may not work as expected. For more information, see [制限と警告 ページ 147](#).

CAUTION: Use of フルセルフドライビング（監視付き） will be suspended if improper usage is detected. For more information, see [Autopilot Suspension ページ 138](#).

CAUTION: As フルセルフドライビング（監視付き） deployment expands, Tesla will gradually make it available to eligible customers in select countries outside of the United States and Canada. Because every country contains unique infrastructure, driving behaviors, and traffic patterns that フルセルフドライビング（監視付き） must adapt to over time, it is essential for drivers using フルセルフドライビング（監視付き） in newly eligible countries to be extra attentive and overly cautious. You must be ready to take over safely at any time.

Before Using フルセルフドライビング（監視付き）

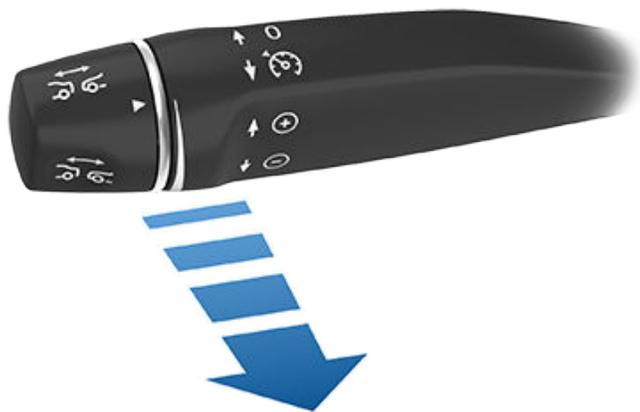
1. Enable フルセルフドライビング（監視付き）. Touch 「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「フルセルフドライビング（監視付き）」 and then, after carefully reading and understanding the popup window, touch **Yes**.
2. Customize フルセルフドライビング（監視付き） settings by touching **Controls > Autopilot**.
 - **フルセルフドライビング（監視付き） Profile:** If desired, change the default setting of **Standard** to **Chill** or **Assertive**. **Chill** provides a more relaxed driving style and **Assertive** drives with more urgency.
 - **Minimal Lane Changes for the Current Drive:** When selected, フルセルフドライビング（監視付き） makes fewer lane changes on the current drive. Model X will still make lane changes as necessary to follow the navigation route.
 - **Lane Change Notification:** Choose **Chime**, **Vibration**, or **Both** to be notified of an upcoming lane changes (in addition to the notification on the [インストゥルメント クラスター](#)).
 - **Automatic Set Speed Offset:** When enabled, Model X drives at the speed that Autopilot determines to be the most natural. This considers factors like road type, traffic flow, environmental conditions, the selected フルセルフドライビング（監視付き） profile setting, and the detected speed limit.
3. Ensure that the cameras on Model X are unobstructed and calibrated (see [カメラ ページ 19](#)). フルセルフドライビング（監視付き） depends on the ability of the cameras to detect traffic lights, stop signs, and road markings.
4. Ensure that the latest version of maps has been downloaded to Model X (see [地図のアップデート ページ 182](#)). Although フルセルフドライビング（監視付き） primarily uses visual data received from the vehicle's cameras, greater accuracy is achieved when using the most recent map data.

WARNING: You are responsible for the speed of the vehicle at all times, whether Autopilot is engaged or not.

フルセルフドライビング（監視付き）

To Use フルセルフドライビング（監視付き）

As long as フルセルフドライビング（監視付き） is enabled and available, you can activate it at any speed less than 85 mph (150 km/h) (including when Model X is at a standstill) by pulling the Autopilot stalk toward you.



If you do not choose a destination, Model X chooses the most probable driving path or suggests a destination based on your driving.



To indicate that フルセルフドライビング（監視付き） is available but not engaged, the top corner of the touchscreen displays a gray ハンドル icon next to the driving gear.



When フルセルフドライビング（監視付き） is engaged, the ハンドル icon is blue and a blue line represents your driving path.

The インストゥルメントクラスター displays the maximum speed in blue. When you engage フルセルフドライビング（監視付き）, the set cruising speed defaults to the speed limit, plus any offset you've specified. If Autopilot is unable to determine the speed limit, the cruising speed is your current speed, in addition to any specified offset.

When フルセルフドライビング（監視付き） is engaged, the インストゥルメントクラスター displays a visualization of the environment surrounding Model X, including the roadway and detected objects such as vehicles, pedestrians, curbs, bicyclists, and more. Objects that are highlighted on the visualization represent priorities that フルセルフドライビング（監視付き） is actively controlling for at a given time.

NOTE: The フルセルフドライビング（監視付き） visualization may not be a holistic representation of the objects, road markings, road signals, and other variables that フルセルフドライビング（監視付き） takes into account as it attempts to drive to your destination. While フルセルフドライビング（監視付き） is engaged, it uses data from the cameras on Model X that may not be represented in the visualization (see [カメラ ページ 19](#)).



The visualization will also inform you of the system's intended action by displaying a message on the インストゥルメントクラスター, such as when the vehicle is slowly creeping for visibility to take a turn at an intersection.

NOTE: You can override フルセルフドライビング（監視付き） at any time if you are uncomfortable or uncertain about the system's intended course of action. You are driving Model X at all times.

Canceling フルセルフドライビング（監視付き）

To disengage フルセルフドライビング（監視付き）, do any of the following:

- Press the brake pedal.
- Push the Autopilot stalk away from you once.
- Take over and steer manually.

When you disengage フルセルフドライビング（監視付き） by steering manually, Traffic-Aware Cruise Control remains active.

In addition, フルセルフドライビング（監視付き） will disengage if any of the following occurs:

- You shift out of Drive.
- A door or trunk is opened.
- There is an Automatic Emergency Braking event (see [衝突回避アシスト ページ 155](#)).
- The driver's seatbelt is released, and/or the driver gets out of their seat.
- You do not respond to repeated reminders to keep your hands on the wheel and subsequent messages on the インストゥルメントクラスター.
- フルセルフドライビング（監視付き） becomes unavailable. This can happen for a number of reasons (for example, if a camera becomes obscured). If フルセルフドライビング（監視付き） disengages, an alert will appear on the インストゥルメントクラスター to notify you and a chime will sound. If this happens, **take control of steering immediately**.



When driver intervention is required, it is best to safely disengage as soon as possible. It is recommended to practice disengaging from フルセルフドライビング（監視付き） in safe environment without other road users so you may become familiar with the process.

While Using フルセルフドライビング（監視付き）

フルセルフドライビング（監視付き） changes lanes, makes left and right turns, follows on- and off-ramps, and takes forks in the road as necessary to reach the destination.

⚠ WARNING: NEVER make assumptions and predict when and where フルセルフドライビング（監視付き） will stop or continue through an intersection or road marking. From a driver's perspective, the behavior of フルセルフドライビング（監視付き） may appear inconsistent. Always pay attention to the roadway and be prepared to take immediate action. It is the driver's responsibility to determine whether to stop or continue through an intersection. Never depend on フルセルフドライビング（監視付き） to determine when it is safe and/or appropriate to stop or continue through an intersection.

Like Autosteer and Traffic-Aware Cruise Control, フルセルフドライビング（監視付き） maintains your speed and following distance from the vehicle ahead of Model X, if there is one. フルセルフドライビング（監視付き） also slows down and stops at traffic lights and stop signs as necessary, and reacts to pedestrians, cyclists, and other vehicles on the road.

For example, if you are driving on a residential street and another vehicle backs out of a driveway ahead of Model X, フルセルフドライビング（監視付き） slows down or stops as appropriate. If the other vehicle stops backing out while partially blocking the driving lane, フルセルフドライビング（監視付き） slows down and maneuvers around the other vehicle if the width of the lane allows it.

When the traffic in front of you is slowing down, フルセルフドライビング（監視付き） shows blue arrows in the driving lane and slows down to maintain an appropriate following distance from the vehicle ahead of you. When you are driving on the highway, フルセルフドライビング（監視付き） displays a message on the インストゥルメントクラスター to inform you when an action (such as a lane change) is being taken.

⚠ WARNING: In rare cases, フルセルフドライビング（監視付き） may not appropriately slow down, come to a stop, or resume control for a stop sign or traffic light. You may assist the system by lightly applying the accelerator, or can override フルセルフドライビング（監視付き） at any time.

Changing Lanes

To tell フルセルフドライビング（監視付き） to change lanes while on a multi-lane roadway, engage the right or left turn signal. On city or residential streets, engaging the right or left turn signal tells フルセルフドライビング（監視付き） to make a right or left turn, respectively.

Unlike Navigate on Autopilot, フルセルフドライビング（監視付き） does not require confirmation before a lane change. To cancel a lane change or turn, cancel the turn signal or intervene with the ハンドル or other vehicle controls.

Changing the Set Speed

While フルセルフドライビング（監視付き） is active, move the Autopilot stalk up to increase, or down to decrease, the set speed until the instrument panel displays your desired cruising speed.

NOTE: In some cases, your speed is limited by the speed limit, the type of roadway, or the flow of traffic. If this is the case, フルセルフドライビング（監視付き） displays a message at the top of the visualization.

Arriving at Your Destination

Once you reach your destination, フルセルフドライビング（監視付き） stops Model X and displays a message indicating that navigation is complete.

Driver Attentiveness

Like other Autopilot features, フルセルフドライビング（監視付き） requires driver attentiveness. **Your hands must be on the steering wheel at all times while フルセルフドライビング（監視付き） is engaged, and you must monitor your surroundings, the road, and other road users.**

⚠ WARNING: The use of devices designed to circumvent driver attentiveness is a violation of the terms of use for フルセルフドライビング（監視付き） and may result in the feature being permanently disabled on your vehicle and a ban on future use of the feature.

フルセルフドライビング（監視付き） periodically displays a message reminding the driver to apply slight force to the steering wheel:



Apply slight turning force to steering wheel

If Model X does not detect slight turning force on the steering wheel, the インストゥルメントクラスター flashes and eventually chimes repeatedly. Do not use handheld devices while using フルセルフドライビング（監視付き）.

フルセルフドライビング（監視付き）

If you repeatedly ignore prompts to apply slight force to the steering wheel or to pay attention, フルセルフドライビング（監視付き） disables for the rest of the drive and displays the following message requesting you to drive manually. If you don't resume manual steering, フルセルフドライビング（監視付き） sounds a continuous chime, turns on the warning flashers, and slows the vehicle to a complete stop.



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が3回に達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）の使用は1週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7日後に免除されます。

NOTE: オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパイロットが Model X のステアリング操作を制御できない場合は、警告のチャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターに次のようなメッセージが表示されます。



今すぐ運転を引き継いでください

このメッセージが表示されたら、直ちにステアリング操作を引き継いでください。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートパーキングが装備されていない場合があります。

オートパーキングではデータを使用して Model X を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効な場合、オートパーキングは使用できません。オートパーキングを使用するには、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして、オートステアリングまたはフルセルフドライビング（監視付き）を有効にします。

オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。詳細な情報については、「[オートパイロットの一時停止](#)」ページ 114 を参照してください。

警告: オートパーキングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 147](#) を参照してください。

注意: ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、カメラが他の車両、物体、縁石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

パラメーター

オートパーキングでは、以下のパラメーターに基づいて駐車できる可能性のあるスペースを検知します。

直角駐車

- 走行速度が 8 mph (13 km/h) 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車スペースの幅は車両の幅以上である必要があります。
- 駐車スペースに車両を駐車させるためには、その駐車スペースに、駐車ライン、道路のマーキング、またははっきりした縁石といった、視認可能な 3 本以上のラインがある必要があります。例えば、3 本の視認可能な駐車ラインのない車庫では、オートパーキングが作動しない可能性があります。
- 玉石やレンガといった凹凸のある路面では、オートパーキングが作動しない可能性があります。

縦列駐車

- 走行速度が 8 mph (13 km/h) 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車しようとするスペースの前または後には車両がある必要があります。

注: オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

オートパーキングを使うには

運転中、オートパーキングで、Model X を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

1. ゆっくり運転しながら、インストゥルメントクラスターを観察して（安全に実行できることを認めた上で）オートパイロットが検出した駐車スペースの候補を確認します。

注: 検出された駐車スペースは、車両の位置および/または車両の周囲でオートパーキングが適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を決定できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探るか、手動で駐車してください。



2. 右スクロールホイールを上下に動かして駐車スペースを選択します。駐車する準備ができたなら、右スクロールボタンを押し、ハンドルを離します。
3. 駐車が完了するとオートパーキングによってメッセージが表示されます。

オートパーキングが Model X を駐車しているときにブレーキペダルを踏むと、駐車プロセスがキャンセルされます。

注意: Model X は、オートパーキングの作動中にドライバーがアクセルペダルを踏んで現在の速度を上回る入力を加えた場合、ブレーキをかけません。この場合、速度が 6 mph (10 km/h) を超えると、オートパーキングはキャンセルされます。

オートパーキング

警告: 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告: オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 Model X

- ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。

パーキングをキャンセルする

オートパーキングは次の場合に駐車シーケンスをキャンセルします。

- ドライバーがハンドルを手動で動かした場合。
- ギアシフトした場合。
- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- ハンドルの右スクロールボタンを押した場合。
- 駐車するための動作が7回以上ある場合。

今すぐ運転を引き継いでください

オートパーキングが Model X を操縦できない状況では、オートパーキングは警告チャイムを鳴らし、「**今すぐ運転を引き継いでください**」のメッセージを表示します。

これは次の場合に発生します。

- Model X が、ドアが開けられたこと、またはドライバーが車両から降りたことを検知したとき。
- 1 台または複数のカメラが損傷したり、汚れたり、障害物（泥、氷、雪、ラップ、ステッカーなどの粘着製品など）によって遮られたり、視界不良な状況（大雨、雪、あられなど、または照明が不十分）のとき。
- ドライバーの入力により速度が 6 mph (10 km/h) を超えたとき。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト ページ 155](#) 参照）。

このメッセージが表示されたら、**今すぐ運転を引き継いでください**。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にサモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

サモンでは、車両の外側に立って、Model X を自動的に駐車させたり、呼び寄せることができます。サモンでは、Model X を前後に最大 39 フィート (12 m) 駐車スペースとの間で移動させます。

スマート サモン (装備されている場合) と携帯電話を利用して、障害物を避けながら Model X をより長い距離移動させることができます。スマート サモンを使用すれば、車両がお客様のいる位置を検知することができます (または、選択した場所まで車両を移動させることができます)。スマート サモン ページ 144 を参照してください。

サモンを使用するには、Model X の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

警告: サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告: サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、サモンを責任をもって安全に、意図どおりに使用する責任があります。

警告: サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー (装備されていれば) の性能によって決まります。

サモンを使用する前に

サモンを作動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにして好みの動作方法にカスタマイズしてください。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「サモンのカスタマイズ」の順にタッチし、お好みに合わせて以下の設定を調節します。

- **バンパークリアランス:** サモン使用時の検知物体から離れて停止する距離設定 (例: ガレージの壁から数インチ内に停止を希望)。この距離は、前進時サモンが Model X の前面に検知する、または後進時サモンが Model X の後ろに感知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
 - **サモン距離:** 駐車スペースへの出入り時に、Model X が移動する最長距離の設定。
 - **サイドクリアランス:** サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「タイト」では、Model X が非常に狭い駐車スペースに出入りできるようになります。
- 警告:** 狭いスペースに駐車することは、カメラおよびセンサー (装備されていれば) が障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model X または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

- **「連続押ししてください」:** サモンのデフォルト設定では、駐車動作中、モバイルアプリのボタンを長押しして、Model X を動かすことが必要です。「連続押しが必要」を「いいえ」に設定した場合、ボタンを押して指を離すことができ、車両を動かし続けるために長押しする必要はありません。また、「連続押しが必要」を「いいえ」に設定している場合、モバイルアプリの代わりにキーフォブを使用してサモンを操作したり (キーフォブでサモンを操作する ページ 142 を参照)、車内からパーキング動作を開始したりできます (降車前にサモンを開始させる ページ 142 を参照)。

注: 上記設定は、サモン装備車のみにも適用されスマート サモン (装備されている場合) には適用されません (スマート サモンを使用する前に ページ 144 を参照)。スマート サモンでバンパーとの間隔、距離、側面の間隔はカスタマイズできません。スマート サモン使用時には、必ずモバイルアプリ上のボタンを長押しして Model X を動かしてください。また、スマートサモンはモバイルアプリでのみ作動し、キーでは作動しません。

注: 設定はすべて手動で変更するまで保たれます。

サモンを使用した車両の駐車・呼び出し

サモンを使用し Model X を駐車するには、次の手順を行います。

- Model X を 39 フィート (12 m) の駐車スペース内に駐車させますので、前進でも後進でも Model X はスペースの内外へ一直線の経路を辿ります。
 - モバイルアプリ上で「サモン」をタッチすることで、車外から駐車動作を開始し、「前進」または「後進」ボタンを長押しします。
- 注:** 「連続押しが必要」設定を「いいえ」に設定している場合、ボタンを長押しする必要はありませんので、ボタンを押してから指を離してください。

注: 駐車操作を車両内部から開始することもできます (降車前にサモンを開始させる ページ 142 参照)。

サモンは Model X を前進または後進 (指定方向に基づく) へと切り替え、駐車スペース内外へ運転します。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは Model X をパーキングへと切り替えます。サモンが Model X をパーキングへと切り替える時:

- Model X その進行経路 (指定した「バンパークリアランス」設定範囲内) にある障害物を検知します。
- サモンが Model X を最大移動距離 39 フィート (12 m) 移動させた場合。
- 「前進」または「後進」ボタンから指を離します (「連続押しが必要」がオンの場合)。
- 手動でサモンを停止させるには、いずれかのボタンを押してください。

Model X の駐車にサモンを使用した場合、Model X を元の位置 (Model X が駐車したままの状態) および指定した最大の「サモン距離」まで戻すのにも (どちらが先でも)、サモンを使用できます。障害物がない場合は、モバイルアプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って Model X を移動させ

ます。障害物を検知した場合、Model Xはその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物を避けようとしてます（サモンは障害物周辺で車両を移動させません）。

注: サモンを使用して Model X を複数回同じ方向へ動かす（最大移動距離が 39 フィート（12 m）以内）には、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再開してください。

注: 障害物を避けるために Model X をサモンが少しだけ外側に移動させますが、元の運転経路に戻す際に Model X を障害物周辺で動かすことはありません。スマート サモン（装備されている場合）の場合のみ、Model X が障害物周辺を操舵して動くことができます。

注: サモンを使用するには、Model X の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

警告: Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。

キーフォブでサモンを操作する

注: キーフォブのバッテリー電力が少なくなると、サモンが作動しないことがあります。

キーフォブを使って車外から Model X をパーキングするには以下の手順に従ってください。

1. タッチスクリーン上で、必ず「**連続押しが必要**」をオフにします（「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**サモンのカスタマイズ**」 > 「**連続押しが必要**」の順にタッチします）。
2. Model X のギアをパーキングに入れ、10 ft（3 m）の範囲内から、キーフォブの最上部中央のボタン（すべてのボタンのロック/ロック解除）をハザードライトが継続的に点滅するまで長押しします。

注: Model X がロックされるとハザードライトが一回点滅します。そして、5 秒以内に Model X の電源が入りハザードライトが連続して点滅します。ハザードランプが連続して点滅するまで、次のステップに進まないでください。5 秒後にハザードライトが点滅しない場合は、キーフォブ アクセサリーのボタンから指を離し、Model X の近くに移動し再度試してください。サモンは 10 秒以内に何の操作もされなければ、キャンセルされます。

3. キーフォブのフロントトランク ボタンを押して Model X を駐車スペースに前進させます。または、リアトランク ボタンを押して Model X を駐車スペースに後進させます。

降車前にサモンを開始させる

降車前にサモンの駐車動作を開始するには Model X:

1. タッチスクリーン上で、必ず「**連続押しが必要**」をオフにします（「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**サモンのカスタマイズ**」 > 「**連続押しが必要**」の順にタッチします）。
2. すべてのドアおよびトランクを閉めます。
3. Model X の電源を入れて、パーキングにシフトした状態で、ドライブレバーの「**駐車**」ボタンを二度押しします。タッチスクリーンにポップアップ画面が表示されます。
4. タッチスクリーンで、進行方向を選択してください。
5. Model X から出て、運転席のドアを閉めます。

これで、サモンがタッチスクリーンで指定した方向へと Model X を移動させます。

注: 車両から降りる前にオートパーキングをキャンセルするためには、ポップアップ画面にある「**キャンセル**」をタッチしてください。

注: タッチスクリーン上で進行方向を選択していない場合、降車してもサモンは駐車操作を開始しません。

サモンの停止またはキャンセル

サモンがオンになっている間は、モバイル アプリを使用するか、またはキーフォブのボタンを押すいつでも Model X を停止することができます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model X が障害物を検知した場合。
- サモンが、Model X を最大移動距離約 39 フィート（12 m）動かした場合。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model X への接続が途切れた場合。

制限事項

サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモンは、端部の高さが Model X よりも約 1 in.（2.5 cm）以上であると始動しません。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

- Model Xは、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。

注: Model Xがバレーモードにある場合、サモンは無効になります（[バレーモード ページ 90](#)を参照）。

 **警告:** サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧に限りません。Model Xを常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。サモンがModel Xを動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

T スマート サモン

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にスマート サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

スマート サモンは、Model X がドライバーのいる場所（携帯電話の GPS を設定目的地として）まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。スマート サモンは、携帯電話が Model X から約 213 フィート（65 m）以内にあるときに、Tesla モバイルアプリを使って操作します。

スマートサモンは、駐車スペースからの車両の出し入れを行い、自分がいる近くの場所まで Model X を運転します。狭い駐車場の外へ Model X を移動させるとき、水溜りを通るとき、荷物を運んでいる最中に車を呼び寄せるのに役立ちます。お客様と Model X の間に障害物のない見通しの良い場所を選び、車両やその周囲を常にしっかりと監視するようにしてください。

注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線区分線などの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

警告: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの性能は、センサー（装備されている場合）、カメラの視認性、携帯電話の電波や GPS データの有効性に左右されます。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model X 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

スマート サモンを使用する前に

- 最新版の Tesla モバイルアプリを携帯電話にダウンロードして、必ず携帯電話のサービス圏内にあるようにし、GPS を有効にしてください。
- 携帯電話を Model X に接続し、車両から約 213 フィート（65 m）以内で携帯電話を使用してください。
- 車両のカメラを正しくキャリブレーションしてください（[走行中のカメラキャリブレーション ページ 19](#) を参照）。
- Model X まで障害物なく見渡せるように視界を保ってください。

- Model X を充電中の状態ではなく駐車状態にしてください。そして、すべてのドアとトランクを開けてください。

スマート サモンを使用する

1. Tesla モバイルアプリを開き、「サモン」にタッチします。
2. Model X の画像中央にあるスマート サモンアイコンをタッチします。スマート サモンが起動するまで数秒かかります。

注: スタンバイモードを使用して、スマート サモンの起動時に発生する遅れを解消することができます（[スタンバイモード ページ 145](#) 参照）。

モバイルアプリの地図に 213 フィート（65 m）という使用可能範囲を示す青い円が表示されます。Model X から携帯電話までの距離がこの範囲内となるような場所で使用してください。地図上の青い点がお客様の現在地を表し、赤い矢印が車両を表しています。

3. 障害物がなく Model X をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。
4. 以下のモードのどちらを使用してもスマート サモンを操作することができます。
 - 「**ここに来る**」モード: 「**ここに来る**」ボタンを長押しします。Model X GPS が検知されている場所まで車両が移動します。お客様が動くと、Model X も後を着いて行きます。お客様の場所に Model X がたどり着くと停車し、ギアをパーキングに切り替えます。
 - 「**指定地に進む**」モード: 十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。「**指定地に進む**」ボタンを長押しします。Model X は目的地へ移動します。場所に到着したら、Model X は停止し、パーキングにギアを切り替えます。また、モバイルアプリにサモンが終了した旨のメッセージが表示されます。

注: 続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、「**指定地に進む**」をもう一度長押しします。

「**ここに来る**」または「**指定地に進む**」ボタンから指を話せばいつでも Model X を停車させることができます。



地図の十字アイコンが「**指定地に進む**」と「**ここに来る**」モード間で切り替わります。「**ここに来る**」モードが選択されているときには、アイコンが青色になります。

注: 地図には、衛星画像を表示/非表示できるアイコンもあります。

いずれのモードでもスマート サモンを開始するとすぐに、ハザードランプが点滅し、ミラーが格納され、Model X はドライブまたはリバースにシフトします。Model X はその後、「**ここに来る**」モードでは自分のいる位置の 3 フィート（1 m）範囲内まで、「**指定地に進む**」モードでは）選択した場所まで、必要に応じて障害物を避けながらゆっくりと移動します。Model X が移動すると、地図上で対応している赤い矢印も動き車両の位置を示します。お客様が動くと、対応している青い点も動き、お客様の位置を示します。

いずれのモードでも、以下の状況では Model X が移動を停止しパーキングに切り替わります。

- モバイルアプリのボタンから指を離したとき。
- 携帯電話と Model X 間の最大範囲を超えた場合(車両をドライバーの位置から離れていくように目的地に移動させる場合、ドライバーはこの利用範囲内を維持するために車両の後についていく必要があります)。
- 走行経路が遮られているとき。
- Model X がスマート サモンを開始してから、475 フィート (145 m) の最大距離を移動、または、最後に車両の手動運転を終了した場所から、492 フィート (150 m) を移動した場合。

注: スマート サモンが Model X を 3 フィート前方に動かしから 2 フィート後方へ動かす場合、5 フィートの移動距離となります。

注: モバイルアプリを見る必要はありませんので、常に Model X やその走行経路を注視しながらボタンを押し続けてください。また、必要に応じて車両を停車させられるようにボタンから指を放すことができるようにしておいてください。

サモン向けの自動 HomeLink が備わっていて有効になっている場合(「コントロール」>「オートパイロット」>「サモンのカスタマイズ」>「自動 HomeLink を使用する」の順にタッチします)、Model X がガレージ内にあるときスマート サモンの操作を開始すると、スマート サモンは自動的に HomeLink デバイスを開きます。モバイルアプリでドアの開閉をお知らせします。

警告: ボタンから指を離して Model X を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例:人、子供、または動物がいる場所。

警告: スマート サモンはすべての物体(特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体)を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model X を停止できるように注意を払ってください。

スタンバイ モード

Model X でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイモードをオンにします。「コントロール」>「オートパイロット」>「スタンバイモード」の順にタッチします。スタンバイモードがオンのとき、以下の場所でスタンバイモードを無効にしてバッテリーを省エネモードにすることができます。

- **自宅を除く**- お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **勤務先を除く**- お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。

- **お気に入りを除く**- お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。

注: 省エネのため、スマート サモンは深夜から午前 6 時まで自動的にスタンバイモードでなくなります。この時間帯は、スマート サモンの起動には少し時間がかかります。

注: スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が追加で消費されます。

注: 目的地を自宅、勤務先、またはお気に入りとして設定する方法の詳細は、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179](#) を参照してください。

スマート サモンを停止またはキャンセルする

モバイルアプリ上のボタンを放すと、スマート サモンは Model X を停止させます。スマート サモンは、「ここに来る」または「指定地に進む」をもう一度押すだけで再開できます。

警告: 常に Model X を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と Model X 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまでに多少の遅れが生じる場合があります。

次の場合は、スマート サモンをキャンセルをして再開が必要です。

- キー フォブ上のいずれかのボタンを押した場合。
- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model X が障害物で遮られている場合。
- スマート サモンが Model X を最大距離まで移動させました。この距離よりも遠くに移動させるには、Model X をドライブまたはリバースに切り替えてから、スマート サモンの操作をはじめから再開します。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model X への接続が途切れた場合。

制限事項

以下の状況では、スマート サモンが意図どおりに動作し難くなります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路(最大傾斜 10%)でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model X がその上を超えられない場合があります。



スマート サモン

- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X は、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。

注: Model X がバレーモード（[バレーモード ページ 90](#) 参照）の場合、スマート サモンは無効になります。



警告: スマート サモンの適した動作を妨げる恐れのある状況は、上記一覧に限りません。Model X を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンをオンにして Model X を移動させている時は常に細心の注意を払い、すぐに対応できるようにしておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。



このトピックでは、以下のオートパイロット機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- [トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 115](#)
- [オートステアリング ページ 120](#)
- [オートパイロット ナビ走行 ページ 125](#)
- [フルセルフドライビング（監視付き）（市街地でのオートステアリング） ページ 149](#)
- [オートパーキング ページ 150](#)
- [サモン ページ 141](#)
- [スマート サモン ページ 144](#)

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、前述の機能がすべては装備されていない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限が変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

- 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model X の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model X にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。
- 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっていて時に提示ルートに従わない時など、Model X によって車両が減速することがあります。
- 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 80 km/h 以上で走行しているときに追いついた車両が視界から消え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

警告: 前記のリストはトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。



制限と警告

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは歩行者や自転車認識することが可能ですが、Model X の速度を減速するのに決してトラフィックアウェアクルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートステアリング

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐに行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

注意: オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model X が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model X を適切に操車できないことがあることを常に頭に入れておいてください。常に注意深く運転し、直ちに行動できるよう備えてください。

警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りで Model X を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

自動車線変更

注意: 自動車線変更を使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

注意: 自動車線変更を使用する場合は、次の制限に注意してください。

- 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されていれば）の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model X は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェアクルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。



赤信号と一時停止標識の警告

-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能は、車両が赤信号や一時停止標識があることを地図で認識する必要があります。場合によっては、地図データが不正確であるか古くなっているために、すべての赤信号や一時停止標識が含まれていないことがあります。したがって、赤信号および一時停止標識の警告機能では、一部の赤信号や一時停止標識を検出できない可能性があります。
-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能においては、Model X にブレーキングや減速を適用せず、すべての信号機および一時停止標識を検出できるとは限りません。赤信号および一時停止標識の警告機能は、ガイダンス目的で設計されており、注意深い運転や適切な判断をなくともよいわけではありません。走行中は、赤信号および一時停止標識を警告する赤信号および一時停止標識の警告機能に任せきりにせず、常に道路に注意を払ってください。
-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能は、目に見える赤信号が点灯または黄色の信号機の後半部分に近づいたときのみ警告するように設計されています。信号が点滅している交差点については警告しない場合があります。また、「道譲れ」標識や工事現場などの一時的な停止標識についても警告しません。さらに赤信号および一時停止標識の警告機能は、赤信号や一時停止標識に接近しているときに、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいる場合は警告を出しません（オートステアリングが無効になります）。

ナビゲート オン オートパイロット

-  **警告:** オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を実際に選ぶように心がけてください。
-  **警告:** 「車線変更の確認をする」をオフにした場合、ナビゲート オン オートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせませんが、常に周囲環境を監視して Model X の制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。
-  **警告:** 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカープールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

フルセルフドライビング（監視付き） （市街地でのオートステアリング）

-  **警告:** フルセルフドライビング（監視付き）（「市街地でのオートステアリング」とも呼ばれる）は Model X に自律性を持たせるものではないこと、およびドライバーは十分な注意力を持ち、常に即座に行動を起こす準備ができている必要があることを忘れないでください。
-  **警告:** フルセルフドライビング（監視付き）はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。フルセルフドライビング（監視付き）の制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。
-  **警告:** すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。
-  **注意:** フルセルフドライビング（監視付き）およびその関連機能は意図された通りに動作しない場合があり、ドライバーによる介入が必要となるいくつかの状況があります。例を挙げます（ただし、これらに限定されるものではありません）：

- 歩行者、自転車、およびその他の道路使用者との遭遇。
- 車両が高速に行き交う交差点での安全保護されていない右左折。
- 複数車線での右左折。
- 同時の車線変更。
- 細い道路で対向車が向かってくる場合や、車両が二重駐車している場合。
- トレーラー、ランプ、荷物、開いたドアなど通常車内に収められている物が車両から突き出ている場合。
- 交通量が多く、高速で移動する車両が行き交う道路への合流。
- 路上の障害物。
- 工事中のゾーン。
- 急カーブのある道路（特に走行速度が高い場合）。

フルセルフドライビング（監視付き）の利用には視界の確保が重要です。照明が暗い場合や気象条件が悪い（雨、雪、直射日光、霧など）場合、性能が著しく低下する可能性があります。



制限と警告

警告: Model X ドライバーの即座の介入を必要とする予期せぬ挙動や誤りが突然発生する場合があります。

上述のリストは、フルセルフドライビング（監視付き）の予期せぬ挙動につながるシナリオのごく一部を取り上げたにすぎません。実際、Model X が障害物のないまっすぐ続く道路を進んでいるときに、突然道路からそれてしまうといったこともありえます。できるだけ早めに対応動作が必要であるか判断できるよう、警戒を怠らず常に道路に注意を払ってください。これは先行リリースの機能であって、特に注意して使用する必要があります。

注意: フルセルフドライビング（監視付き）の装備が拡張されるのに伴い、Tesla は米国以外の国のお客様を対象にした利用を段階的に可能にしていく予定です。それぞれの国においては、フルセルフドライビング（監視付き）を時間をかけて適応させる必要のある独自のインフラ、運転動作、および交通パターンがあるので、新たに対象となった国でフルセルフドライビング（監視付き）を使用するドライバーは特に注意を払う必要があります。いつでも安全に運転を代わられる準備ができていない必要があります。

オートパーキング

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。

- ボールヒッチ、バイク ラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。
- 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
- Model X のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きません。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

注意:

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するように設計されています。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）の動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model X を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model X を適切に駐車できない場合があります。Model X のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモン

注意: サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されていれば）の性能によって決まります。サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモンでは、約 2.5 cm の差がある端部を越えて Model X を動かしません。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X は、けん引モードになっているか、アクセラレーターが取り付けられています。



警告: サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧に限りません。Model X を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model X を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予めせぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。そのために適切に Model X を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるように準備して待機する必要があります。

スマート サモン

注意: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。

注意: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使わないでください。

注: Model X がバレーモード（バレーモード ページ 90 参照）の場合、スマート サモンは無効になります。

注意:

以下の状況では、スマート サモンが意図どおりに動作し難くなります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model X がその上を超えられない場合があります。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。

警告: スマート サモンの適した動作を妨げる恐れのある状況は、上記一覧に限りません。Model X を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンをオンにして Model X を移動させている時は常に細心の注意を払い、すぐに対応できるようにしておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model X 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

警告: ボタンから指を離して Model X を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検出できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例: 人、子供、または動物がいる場所。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model X を停止できるように注意を払ってください。

Model X 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。



⚠ 警告: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します (カメラのクリーニング ページ 211 を参照)。カメラやセンサー (装備されていれば) の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

⚠ 警告: レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更前には、必ずサイドミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

⚠ 警告: レーンアシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーンアシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります (制限事項および不正確性 ページ 153 を参照)。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、Model X が隣の車線に入り込み (近づいて) 車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、Model X は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線区分線がよく見える主要道路を Model X が 30~85 mph (48~140 km/h) で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、Model X が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 40~90 マイル (64~145 km) で走行中にのみ作動します。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「車線逸脱防止」をタッチし、以下のオプションのどちらかを選択すると車線逸脱警告の動作を選択できます。

- **オフ:** 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- **警告:** 前輪が車線区分線を越えると、ハンドルが振動します。(フルセルフドライビング (監視付き) を装備している車両の場合: 前輪が車線区分線を越えると、ハンドルが振動します。)
- **アシスト:** Model X が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、Model X を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェアクルーズコントロールが機能している場合、該当するウィンカーがオフの場合に Model X が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がハンドルの上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、インストゥルメントパネルには、オートステアリングで運転するときを使用したものと同等の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、Model X は速度制限または設定クルージング速度から 15 マイル (25 km/h) 遅い速度まで徐々に減速し、ハザードライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。

⚠ 警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

⚠ 警告: 常に手はハンドルに置いて、慎重に運転してください。

⚠ 警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、Model X を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます:

- Model X が車線を離れて (方向指示器のステータスとは無関係に)、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなとき。
- Model X が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。

- Model X が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき（道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など）。

この機能をオン、オフするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「緊急車線逸脱防止」をタッチします。

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、インストゥルメントパネルには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、Model X が車線区分線や縁石などで区分がはっきりしている道路を 30~90mph (48~145km/h) で走行中にのみ作動します。

警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつかあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポット インジケータ

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両があり衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、「コントロール」>「安全」>「ブラインドスポット衝突警告チャイム」の順にタッチします。

警告: ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩越しから後方確認を必ず行ってください。

警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときには、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

レーンアシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下の場合、不必要な警告または不正警告が発生することがあります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model X の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります。

- 1 つ以上のセンサー（装備されている場合）またはカメラが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりしている場合。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model X を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model X が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model X レーンアシスト機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

注意: トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。



レーンアシスト

⚠ 警告: 上記のリストは、レーン アシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーン アシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。



以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- **正面衝突警告**は、Model X が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、による警告を発します (**正面衝突警告 ページ 155** を参照)。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます (**自動緊急ブレーキ ページ 155** を参照)。
- **障害物検知走行モード** - Model X がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます (**障害物検知走行モード ページ 156** を参照)。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します (**カメラのクリーニング ページ 211** を参照)。カメラやセンサー (装備されていれば) の汚れは、周囲状況や消えかけた車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model X のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限にいくとめることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model X 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがすばやい是正行動をとらない限り、衝突すると思われる場合、正面衝突警告によってチャイムが鳴り、インストゥルメントパネルに前方の車両が赤色で強調表示されます。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。



視覚および聴覚による警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します (例えば Model X を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など)。

Model X が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ (有効になっている場合) がかかる場合があります (**自動緊急ブレーキ ページ 155** を参照)。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。オフにする、または感度を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサー (装備されていれば) は、走行ルート上およそ 525 フィート (160 m) の範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model X を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model X の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、3 mph (5 km/h) ~124 mph (200 km/h) で運転している場合にのみ作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。

自動緊急ブレーキ

Model X 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるように設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

T 衝突回避アシスト

自動緊急ブレーキがかかると、インストゥルメントパネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。



緊急ブレーキが作動中です

自動緊急ブレーキは、時速 5 km (3 mph) と時速 200 km (124 mph) の間で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ハンドルを急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両の前方または後方に、車両、オートバイ、自転車、および歩行者が検出されなくなった場合。

自動緊急ブレーキは、Model X を始動すると常に有効になります。現在の運転でこれを一時的に無効にするときは、「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model X は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。

警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

リアクロストラフィックアラート

Model X がリバースにシフトしていて、タッチスクリーンにはリアビューカメラの送信画像が表示されている場合、ある物体（他の車両または歩行者）が Model X の後方を横切ろうとしていることを Model X が検知すると、赤色の縦棒が表示されます。

例えば、駐車スペースから後進で出ようとしているときに、他の車両がドライバーの左側から接近している場合、カメラ表示の左側に赤色の棒が表示されます。Model X の両側から複数の物体が接近している場合、カメラ画像の両側に赤色の棒が表示されます。

Model X が後進しているときに、これを横切る交通が検出されると、衝突を回避しようとして、自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードによってブレーキが作動することがあります。自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードに頼って、衝突を回避しようとししないでください。詳細については、[自動緊急ブレーキ ページ 155](#) と [障害物検知走行モード ページ 156](#) を参照してください。

警告: 車両の周囲に物体や人間が存在しないことを、リアクロストラフィックアラートの通知に頼って確認しないでください。このカメラは、損害や障害の原因となるおそれのある物体や障壁を、特にそれらが地上から極めて低い場合に、検出できない可能性があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。リアクロストラフィックアラートは目視確認の代わりとなるものではなく、また安全運転を不要にするものでもありません。

障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、Model X が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、インストゥルメントパネルに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、Model X がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。Model X は加速してガレージドアに衝突してしまいがちですが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します:

- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model X 停止しているか、または 10 mph (16 km/h) 未満で走行している。
- Model X 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

警告: 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。



-  **警告:** 障害物検知走行モードはあらゆる状況でトルクを制限するものではありません（例: 駐車スペースへの小回り旋回を実施している場合）。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。
-  **警告:** 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** いくつかの要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、あるいは意図しないブレーキ効果が生じたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と Model X のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサーがさえぎられている（汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている）。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

 **注意:** 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、Model X に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

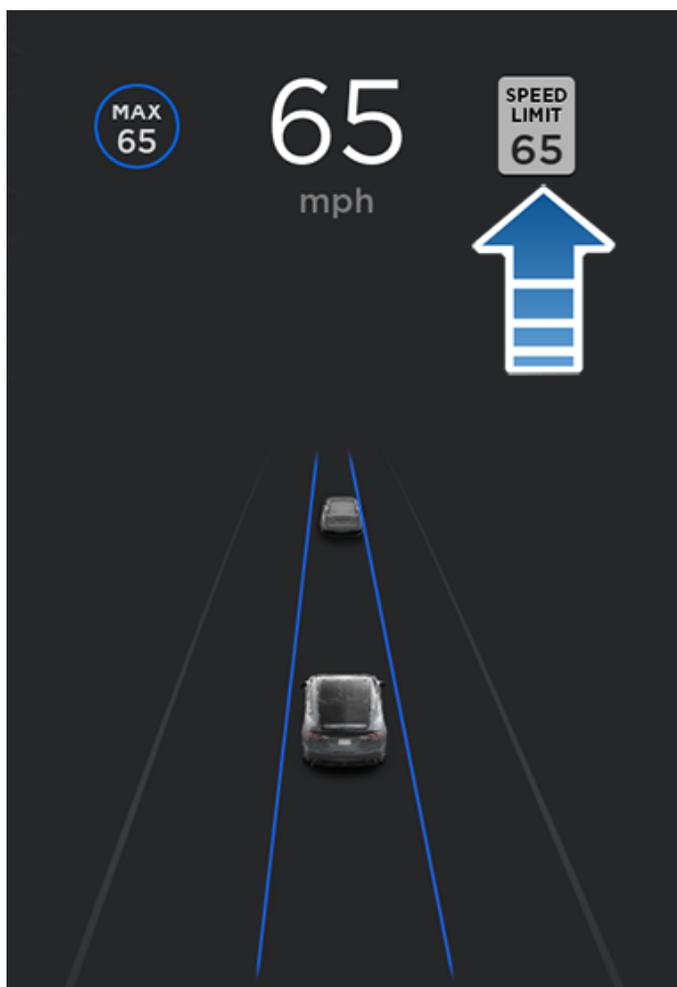
 **注意:** トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

 **警告:** 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

スピードアシストの動作原理

Model X インストゥルメントパネル上に制限速度が表示され、走行速度が制限速度を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、速度制限を超えていることを知らせています。

検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すこともできます。



Model X が速度制限を判断できない状況、またはスピードアシストが不確実で取得された速度制限が正確であった場合、インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示されず、警告がないことがあります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model X が速度制限未満に減速すると解除されます。

警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「制限速度警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 速度制限を超えたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値 (+または-) を設定することができます。たとえば、速度制限を時速 10 km (10 マイル) 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km (10 マイル) 上げます。
注: 制限速度からのオフセットは、インストゥルメントパネルの灰色の速度アイコンに表示される数値にも影響を及ぼします。
- **絶対** - 20 mph から 140 mph (時速 30 km から 240 km) の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピードアシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、Model X が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近くの一般道路を走っていることや、その逆となる場合があります。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない (豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- Model X 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさげられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- Model X が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。



 **警告:** 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。

セキュリティ システムについて

Model X が近くにキーがあることを検出していない状態でドアやトランクのロックが解除されると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、キー フォブのボタンを押します。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model X から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなってから 1 分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに Model X が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、「チルト/侵入」を有効にします（チルト/侵入（装備されている場合） ページ 160 を参照）。

注: Model X がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 164 を参照）、「セキュリティアラーム」設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、「傾き/侵入検知」をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、Model X がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを ON にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、チルト/侵入アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護 ページ 172 を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、チルト/侵入は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、Model X 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: Model X がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 164 を参照）、「チルト/侵入」設定は使用できません。

改良型盗難防止機能にアップグレード（装備されている場合）

お客様の車両に改良型盗難防止アップグレードが装備されている場合は、Model X 近くにキーが検知されていない状態で、ロックされているドアやトランクが開かれるとホーンが鳴動します。「チルト/侵入」がオンになっていると、Model X が車内の動きを検出したり、（けん引やジャッキアップにより）車両が動かされたり傾けられたりした場合にもホーンが鳴ります。チルト/検知システムを ON/OFF するには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、4 桁の PIN（個人識別番号）を入力するまでは Model X を運転することができません。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効にすると、運転する前だけではなく、初めてバレーモードをオンにするときにも、4 桁のドライブ用 PIN が必要となるため、バレーモードを開始、終了するための 4 桁の暗証番号を作成します。バレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー係の人が Model X を運転できるようになります。バレーモードがオンになっているときは常にドライブ用 PIN 設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、タッチスクリーンの指示に従います。

注: まず発生しませんが、万一タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動 ページ 8 を参照）。タッチスクリーンが反応しない場合でも、ドライブ用 PIN をバイパスして Tesla モバイル アプリからキーレスドライブを有効にすることができます。

グローブボックス PIN

4 桁の PIN（ドライブ用 PIN と無関係）を使用してグローブボックス内の物を保護します。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」の順にタッチして、タッチスクリーンの指示に従います。有効にすると、グローブボックスを開くための PIN の入力を求めるプロンプトが表示されます。このセキュリティ保護を削除するには、トグルを選択して無効にしてから、PIN を入力します。

グローブボックス PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスの PIN をいったんリセットし、タッチスクリーンの指示に従います。

注: グローブボックス PIN を使用すると、Model X がバレーモードのときでもグローブボックスを開けることができます。



速度制限モード

速度制限モードでは、加速や最大走行速度を 50~120 mph (80~193 km/h) の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する 4 桁の PIN を設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 3 mph (5 km/h) 以内に近づくと、チャイムが鳴り、インストゥルメント クラスターにメッセージが表示され、Model X がモバイル アプリに通知を送信します。また「**セキュリティ**」 > 「**速度制限モード**」の順にタッチして Tesla モバイル アプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:

1. Model X がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**速度制限モード**」の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。
4. スライダーを**オン**の位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4 桁の PIN を入力します。

注: PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、加速設定は自動的に「**チル**」になります。

 **警告:** 下り坂では走行速度が上昇し、Model X の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

 **警告:** 速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかわるものではありません。どの速度でも事故は発生します。安全に運転することはドライバーの責任です。

ブラウザのデータをクリア

「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**ブラウザのデータのクリア**」の順に進むと、(コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で) 車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。

T ダッシュカム

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。**カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

走行中、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様に、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカムアイコンはアプリランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカムアプリを下部バーに追加することができます(マイアプリをカスタマイズページ7を参照)。Model X がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカムアイコンをタッチするとビューアが立ち上がります(録画映像を見るページ166を参照)。



プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた USB フラッシュドライブの車載メモリーにローカルに保存されます。記録が Tesla に送信されることはありません。Model X ダッシュカムが「オフ」のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

1. USB フラッシュドライブをフォーマットします。ダッシュカムで映像を保存し検索するには、正しくフォーマットされた USB ドライブを車両の USB ポートに挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。必要な場合にフラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - Model X を使用してフラッシュドライブをフォーマットします。フラッシュドライブを USB ポートに挿入し、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブをフォーマット」の順に移動します。
 - コンピューター上でフラッシュドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件](#) ページ 166 を参照してください。
2. USB フラッシュドライブを車両の USB ポート (できればグローブボックスの USB ポート (装備されていれば)) に挿入します。
3. 「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。
 - **オート:** Model X が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは USB ドライブに録画を自動保存します。「オート」を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリプおよびオートパイロットの状態に影響されます。

注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります (力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど)。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより自動録画されることを期待しないでください。

- **マニュアル:** 最新 10 分間の映像を USB フラッシュドライブに保存するにはダッシュカムアイコンをタッチする必要があります。
 - **クラクション:** ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 10 分間の映像を保存します。この機能は「オート」または「マニュアル」と同時に有効化することができます。
4. 有効にしている場合、ダッシュカムアイコンは映像が保存されていることを示します。



アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。



録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。



利用可能: ダッシュカムは利用可能ですが、アクティブな録画中ではありません。ダッシュカムアイコンにタッチすると映像の録画を開始します。



一時停止: ダッシュカムは一時停止しています。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去してしまわないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュドライブを取り出すようにしてください。



ビジー: ダッシュカムは映像の読み込み、保存または上書きをしています。ダッシュカムがビジー状態の場合、映像はキャプチャしたり録画されたりしていません。



保存済み: 映像が保存されました。

5. 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。
- **タッチスクリーン:** Model X がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリランチャーのダッシュカムアイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る](#) ページ 166 を参照してください。
 - **コンピューター:** USB フラッシュドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダーに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る](#) ページ 166 を参照してください。

6. ダッシュカムをオフにするには「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」>「オフ」の順に移動します。「オート」「マニュアル」または「ホーン使用時」に設定している場合、運転する度にダッシュカムは自動的に有効になります（ただし設定によってはアクティブに画像を保存しない場合があります）。

T セントリーモード

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合がありますまたは機能が説明通りに作動しない可能性があります。カメラの使用に関しては、**ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

有効な場合、Model X をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティ システムであるとお考えください。

脅威が検知された場合、またはけん引されたり揺さぶられたりしたときのような、ぎくしゃくした動きが多いと車両のセンサーが判断した場合、セントリーモードは次の動作を行います。

- ヘッドライトを点滅させます。
- アラームを鳴らします。
- カメラが録画中であることを示すメッセージをタッチスクリーンに表示して、車外にいる人に知らせます。
- モバイル アプリでお客様にアラームの作動を知らせます。
- イベントの映像を USB ドライブ（取り付けられている場合）に保存します。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています音声コマンドや Tesla モバイル アプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「Tesla を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

セントリーモードを使用するには、少なくともバッテリー残量が 20% 以上必要です。バッテリー残量が 20% よりも低くなった場合、セントリーモードは無効となりモバイルアプリより通知されます。セントリーモードを有効にすると、バッテリー消費が増加します。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**セキュリティアラーム**」）は使用できません。

! **注意:** セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model X を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティ アラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではない可能性があります。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

注: セントリーモードは、アラームがトリガーされたとき、誰かがドアやトランクを開けようとしたとき、または車両が突然のぎくしゃくした動きを検知したときに限って、モバイルアプリに通知を送信します。セントリーモードがそのイベントを明確な脅威とみなさない場合、車両は映像を記録しますが、アラームはトリガーされません。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり）

1. セントリーモードでは車両の USB ポートに正しくフォーマットされた USB ドライブを挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。フラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - USB ドライブを USB ポートに挿入し「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**USB ドライブのフォーマット**」の順に移動します。車両は自動的に USB ドライブをフォーマットします。
 - コンピューターで USB ドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 166](#) を参照してください。
2. USB ドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート（装備されていれば））に挿入します。
3. 車両をパーキングにシフトした状態で、「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**ダッシュカム**」の順に移動してダッシュカムを有効にします（セントリーモードが機能するには、ダッシュカムを有効にする必要があります）。
4. 「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**セントリーモード**」 > 「**オン**」の順にタッチします。有効になるとステータスバーにあるセントリーモードアイコンが赤色に変わります。



注: リアカメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両のみ使用可能です。

有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティ イベントを録画することができます。映像の表示については、[録画映像を見る ページ 166](#) を参照してください。

5. 次の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、セントリーモードアイコンにタッチします。このアイコンが赤くなっていない場合、セントリーモードはオフです。



「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**セントリーモード**」でセントリーモードを「**オフ**」にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方 (USB フラッシュドライブなし)

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティ イベントが検知されたものの、USB ドライブは USB ポートに挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

・ 指定場所を除外する

「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」では、指定された場所でセントリーモードを有効にしないことを設定することができます (詳細情報については [自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179](#) を参照)。

- **自宅を除く:** お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **勤務先を除く:** お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **お気に入りを除く:** お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオンになりません。

注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、Model X を保存した場所の約 1,640 フィート (500 m) 以内に駐車する必要があります。

自宅または勤務先を設定するには、「ナビ」 > 「自宅を設定/勤務先を設定」の順にタッチします。「お気に入り」を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオンまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りの無効になります。

・ カメラベース検出を設定する

「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を USB ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「カメラベース検出」の順にタッチします。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、[録画映像を見る ページ 166](#) を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、新たな録画によって古い録画が上書きされます。



ビデオ録画のための USB ドライブの要件

注: 製造日および車両の構成によっては、USB ドライブでフォーマットを行う機能やビデオクリップを保存する機能が、車両で使用できない可能性があります。

一部の機能（ダッシュカム、セントリーモード）では、以下の要件に適合する USB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 64 GB。できるだけ保存領域が多い USB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することがあります。
- 4 MB/s 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0 互換であること。USB 3.0 のドライブを使用する場合、USB 2.0 もサポートしている必要があります。
- 適切にフォーマットされていること（自動または**手動でページ 166**）。

注: 一部の販売地域では、<http://www.tesla.com> の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブを、ビデオクリップのフォーマット、保存、視聴が可能なフロント USB ポートに挿入します（**車内の電子装備品 ページ 10** を参照）。次に、「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**USB ドライブをフォーマット**」の順にタッチします。これによって USB ドライブが exFAT として自動的にフォーマットされ、TeslaCam フォルダが作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「**USB ドライブをフォーマット**」は、USB ドライブ（1 つ以下のパーティションを持つもの）をフロント USB ポートに差し込んでいる場合に限って利用可能です。「**USB ドライブをフォーマット**」を選択すると、USB ドライブ上の既存のデータがすべて消去されます。この機能を使用する前に、保持したいデータを別のデバイスに移動してください。

USB ドライブの手動フォーマット

Model X で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

1. USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします（NTFS は現在サポートされていません）。
2. **TeslaCam** という名前のベース レベル フォルダを作成します。1 つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、exFAT USB ドライブ上に個別のパーティションまたはフォルダを作成する必要があります。
3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの USB ポート（装備されていれば）に挿入するか、センター コンソール内のフロント USB ポートを使用してください。後部にある USB ポートはデバイスの充電専用ですので、使用しないでください。Model X が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。

4. 認識されたら、タッチスクリーンの上部にダッシュカムおよびセントリーモードのアイコンが表示され、Model X はこれで動画を記録をすることができます。

注: 最初にセントリーモード（装備されている場合）を有効にする必要がある場合があります。「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**セントリーモード**」の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターに表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

有効な場合、ダッシュカムとセントリーモードが映像を周期的に記録します。保存しない場合、映像は継続的に上書きされます。表示するためには希望する映像を保存する必要があります。そうしないとその映像は消去されて上書きされます。映像の保存については、**セントリーモード ページ 164** および**ダッシュカム ページ 162** を参照してください。保存された各クリップには、各カメラ（フロント、リア、左および右）から 4 本の動画が録画されています。

注: リアカメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両でのみ使用可能です。

タッチスクリーンでの表示

Model X がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリランチャーにあるダッシュカムアイコンにタッチします。タブには、すべてのビデオクリップのリストが、場所やタイムスタンプで整理されて、表示されます。必要に応じて、クリップを一時停止、巻き戻し、早送り、および削除します。特定のクリップを素早く削除するには、右にスワイプするか、長押しします。

「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**ダッシュカムのクリップを消去**」の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。

注: ビューアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダに移動します。

TeslaCam フォルダには、以下のサブフォルダがあります。

- **RecentClips** : 最大 60 分の録画されたコンテンツが含まれています。
- **SavedClips** : RecentClips フォルダから移動し、名前を変更して保存したすべての録画が含まれます。



- **SentryClips:** すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリー クリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。



空調を操作する

温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を「オート」で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

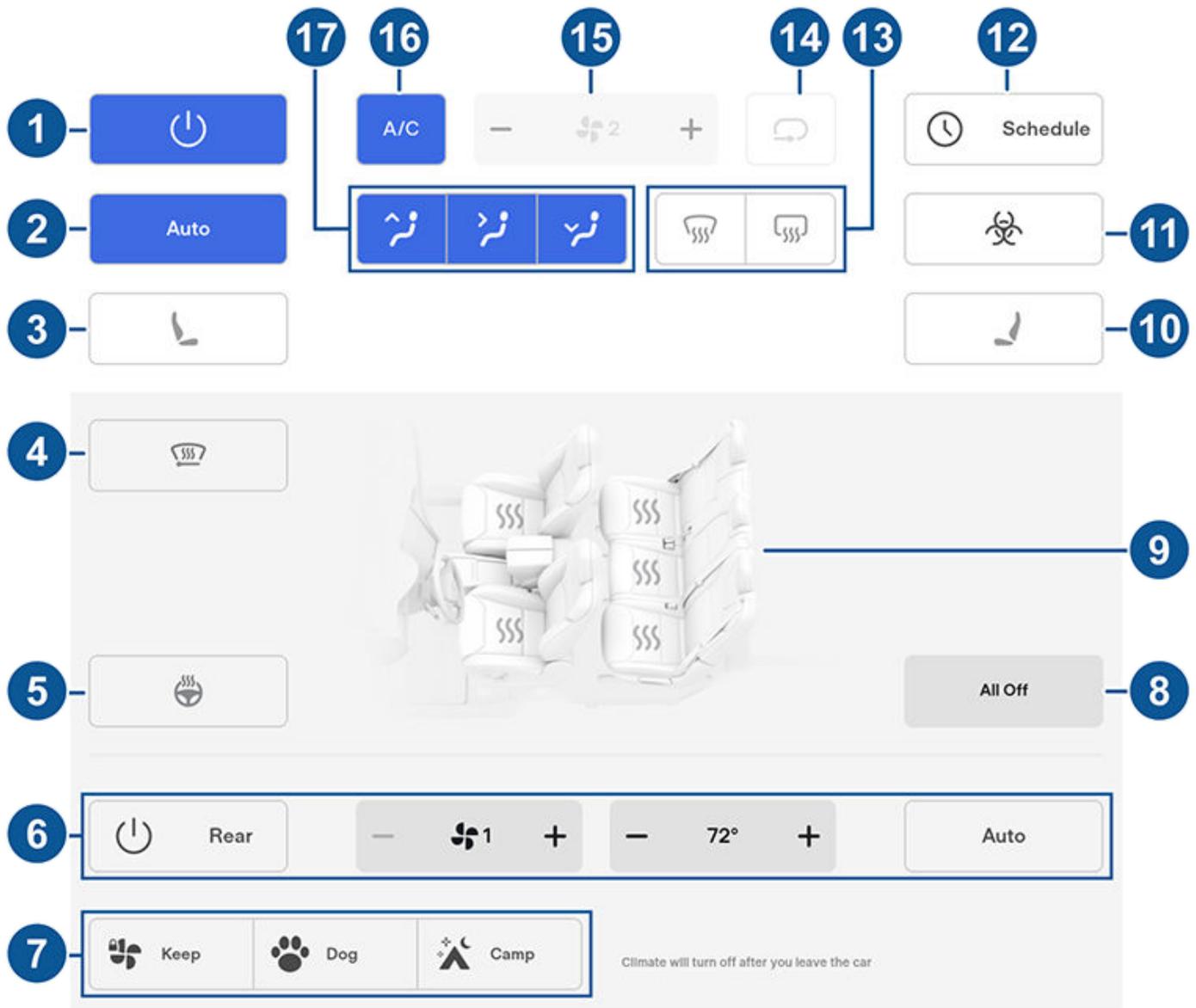
空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。「自動」にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、<または>にタッチして空調ポップアップを表示します。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます ([音声コマンド ページ 17](#) を参照)。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイアプリに追加することができます。マイアプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。

1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. 「オート」をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。
3. 運転席側のシートアイコンにタッチすると、運転席のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイアプリをカスタマイズ ページ 7 参照）。
4. タッチするとワイパー デフロスターがオンになります（装備されている場合）。ワイパーは 15 分間霜取りしてから、自動でオフになります。
5. タッチすると、ハンドルヒーターのオンオフを切り替えることができます（装備されている場合）。
6. タッチすると、リアキャビンの空調設定を調節することができます。「オート」に設定されている場合、フロント空調システムがオンで乗客を検知しているとリア通気口が自動でオンになります。
7. 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、Model X から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 171 を参照）。
8. タッチして、全てのシートヒーターをオフにします。
9. タッチして、フロントおよびリアシートのヒーターの温度を調整します。



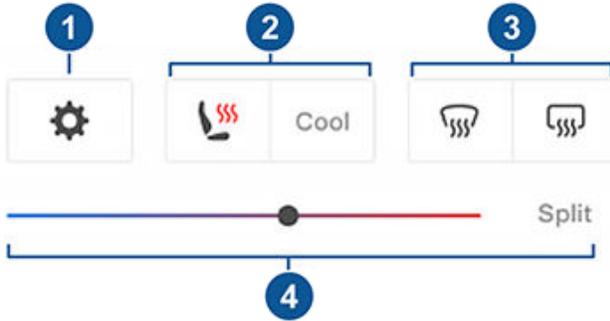
空調を操作する

10. 助手席側のシートアイコンにタッチすると、前席乗客のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 7](#) 参照）。
11. Model X に、医療グレードの HEPA（High Efficiency Particulate Air）フィルターが備わっている場合、空調システムを起動して、外気を車内に導入する状態にしておく（再循環はオフ）車内の空気は最良な状態に維持されます。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウイルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のおいやガスを除去します。Bioweapon Defense Mode（対生物兵器モード）を起動すると、車内が正圧に保たれ、車内に侵入する外気量を最小限に抑えることができます。
注: 一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することできません。
12. Model X をパーキングに入れた状態で、「**スケジュール**」にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に Model X の出発準備が整うように設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照）。
13. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。1 回タッチすると、フロント ガラスの霜取りができます（アイコンが青色に変わります）。2 回タッチするとフロント ガラスの霜取りを行ないます。3 回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
14. タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から Model X への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
15. スライダーを使用してファン速度を調節します。
注: ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model X 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。
16. これをタッチしてエアコン システムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。
注: これは、Model X はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアーコンディショナー コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。
17. フロント キャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1 つ以上の通気口を選択できます。



空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. シートヒーターまたはシートクーラー（装備されている場合）を有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。
4. スライダーをドラックしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度「スプリット」をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」および「キャンプ」設定を使うと、Model X から離れた後でも、車内にとどまることを選んでも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例:暑い日に Model X 内に食品を入れたままにすると、「エアコンをオンに保つ」を使用して食品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するように設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるため、ドライバーは近くにいる必要があります。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、USB ポートと低電圧コンセントから電子機器の電源を取ることができます。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動していません。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. バッテリーの充電レベルが 20%以上であることを確認します。
2. シフトをパーキングにします。「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、および「キャンプ」設定は Model X のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」をタッチします。

注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから「ドッグ」および「キャンプ」を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとしてします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。

「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」がオンの場合、Tesla モバイル アプリはバッテリーの充電レベルが 20%未満に低下した場合に、Model X に入れたままにしているものを確認するよう繰り返し通知を送信しようとしてします。

注: 「エアコンを ON のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェアアップデートは行えません。

注: 侵入センサー（装備されている場合）は、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されると自動的に無効になります。しかし、これを強制的に侵入センサーを有効にしたままにすることもできます。これを行うには、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を有効にしてから、「コントロール」 > 「安全」 > 「チルト/侵入」の順にタッチします。ただし、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されているときに侵入センサーを有効にすると、室内の空気の流れを検知してアラームが作動することがあるので注意が必要です。

- ⚠ 警告:** 子供を車の中に放置しないでください。
- ⚠ 警告:** 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。
- ⚠ 警告:** ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを Model X の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。



空調を操作する

警告: 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。

警告: 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。

キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model X から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車したときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で 15 分かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、「コントロール」>「安全」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン:** エアコンは、キャビンの温度が 105°F (40°C) を超えるか、温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

また、「空調」にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして「キャビン過熱保護」から設定を選択します ([モバイルアプリ ページ 56](#) を参照)。

キャビン過熱保護は、Model X を降りてから 12 時間経過またはバッテリー残量が 20% を下回った時点のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

注: キャビン過熱保護を有効にするには、**チルト/侵入**をオフにする必要があります。

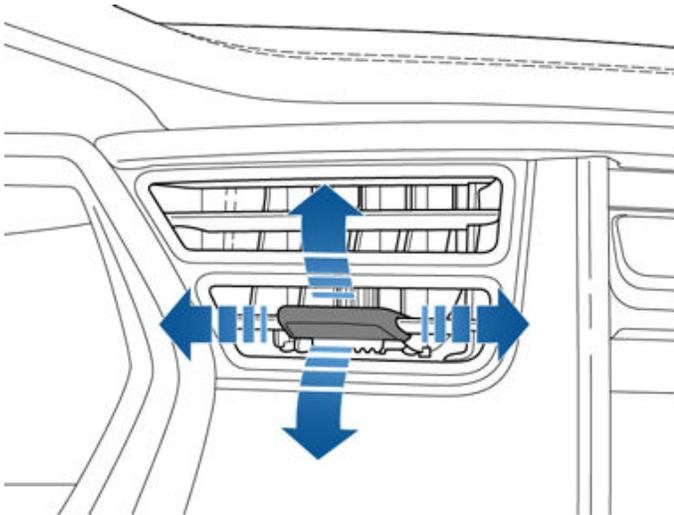
警告: 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。

警告: 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムをオンにした場合、充電レベルが 20% まで低下するか、2 時間が経過すると、空調システムは自動的にオフになります。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。
- 電力を節約するには、レンジモード (装備されている場合) を有効にして空調システムの使用電力を制限します (「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」の順にタッチします)。車内の冷暖房はあまり効果的ではない場合もありますが、寒冷時には暖を取るためにシートヒーターを利用できます。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げてください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 使用していないときでも、Model X からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model X の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたため、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは充電量が 20% 以上ある時のみ作動します。

Model X 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。



注: 顔の高さにある外側の通気口をサイドウィンドウに向けると、サイドウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビンエアフィルター

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを1つ以上備えています。

注: キャビンエアフィルターは定期交換が必要です。定期サービス [ページ 203](#) を参照してください。



寒冷環境におけるベストプラクティス

寒冷環境において Model X でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、走行前にキャビンやバッテリーを暖めておくとういでしょう。方法としてはいくつかあります：

- ・「コントロール」 > 「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照）。
- ・モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- ・モバイルアプリで、「空調」 > 「霜取り」を選択すると、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 168](#) を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

充電ポートのラッチが凍結して、充電ケーブルが外れなくなってしまう場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「充電ポートヒーター」の順にタッチします。この方法で数分経って外れない場合は、手動で充電ケーブルの解除を試みてください。[手動で充電ケーブルを外す ページ 196](#) を参照してください。

極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパージャーが機能しない場合、モバイルアプリで「車の霜取り」設定を使用します。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照）。

注: 充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかかっているなくても充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電

トリッププランナー（使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、Model X が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（[トリッププランナー ページ 181](#) を参照）してください。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 174](#) を参照）。

ウィンドウ

モバイルアプリで、「空調」に移動し「車を霜取り」を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。

Tesla ではサイドウィンドウおよびリアウィンドウ（フロントガラスは対象外）への疎水性コーティングを低価格で提供しておりますので、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、「自動格納式ミラー」をオフにしておきます。「コントロール」 > 「車両」 > 「自動格納」の順にタッチします凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リアデフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（[ワイパーとウォッシャー ページ 76](#) を参照）。また、ワイパーデフロスターをオンにすることもできます（装備されていれば）。[空調を操作する ページ 168](#) を参照してください。

タイヤおよびタイヤチェーン

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウィンタータイヤは Tesla ショップで購入することができます。（[季節別タイヤ保管 ページ 209](#) を参照）。

タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、[タイヤチェーンの使用 ページ 210](#) を参照してください。



周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 10°F (6°C) 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します (タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205 を参照)。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シートヒーターで暖めます。シートヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なく済みます。キャビン温度を下げ、シートヒーターを使用すると、電力消費を削減することができます (空調を操作する ページ 168 を参照)。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。
- レンジモード (装備されている場合) をオンにすると、車内とバッテリーの温度を維持するために必要な空調システムの消費電力を自動的に制限します。レンジモードはシグネチャーライト (装備されている場合) を消灯し、フロントおよびリアのモータートルクを調整して航続距離を最大限引き伸ばします (航続距離を最大限に伸ばす ページ 199 を参照)。

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がり、回生電力が増加します (回生ブレーキ ページ 78 を参照)。

注: 回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、「スケジュール」を使用して出発時刻まで Model X をプレコンディショニングすれば回避できます (プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198 参照)。

バッテリー低温



バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがインストゥルメントパネルに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

運転後

使用していないときは、Model X に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます (高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190 を参照)。

プレコンディショニングの予約

駐車したら、充電画面と空調画面の両方にある「コントロール」>「予約」設定で Model X のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します (プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198 を参照)。「予約」を使用して、所定の場所での充電ポートラッチの凍結を防止することもできます。車両は、出発予定時刻までに車内とバッテリーが温まっているようプレコンディショニングを開始する時間を決定します。

Tesla では、車両に十分なエネルギーがあることを確認するため、プレコンディショニングに予約充電を設定することをお勧めしています。Model X のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20% を超えている場合に限りプレコンディショニングが作動します。

車両の保管

Model X を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model X は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



暑熱環境におけるベストプラクティス

暑熱環境において Model X でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 通気口からの気流の向きを動かしてキャビン进行をプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内冷房温度を調整できます。
- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照）。
- 暑い時にキャビンが熱くなりすぎないようにするための**キャビン過熱保護**を有効にします。
- モバイルアプリで「コントロール」に移動して、ウィンドウを換気します。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 168](#) を参照）。プレコンディショニング開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャビン過熱保護を使用している場合は、Model X にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190](#) を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャビン温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる（ちょっと用足しするなどの）前に、ドッグモードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャビンを涼しく保ちます。詳細情報については、[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 171](#) を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできるだけ抑えるため、空調を 30 秒間オフにしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャビン温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サンシェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model X にプラグを挿入し、充電を**スケジュール**します。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャビンおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照してください。

充電

トリッププランナーを使用している場合またはスーパーチャージャーステーションに移動している場合、最も効率的な充電をするために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されることがありますが、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 174](#) を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャビン過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model X を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model X は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます (Model X がリバースにシフトされたときを除く)。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2本の指を置いて回転させます。
- ズームイン、ズームアウトするには、それぞれ2本の指でピンチイン、ピンチアウトします。

注: 地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注: ナビゲーションルートがオンになっていると、地図は自動でズームイン、ズームアウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。



ノースアップ: 北が常に画面の上になります。



ヘディングアップ: 進行方向が常に画面の上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: 目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。



目的地に向かって移動しているときはルート概要が利用可能であり、(下にスワイプして)道順リストを開くと表示されます。上にスワイプして道順リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

地図表示

Model X がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします (数秒するとアイコンは消えます)。



衛星の画像 (プレミアムコネクティビティが装備されている場合)。



交通状況 (プレミアムコネクティビティが装備されている場合)。



マップの詳細情報 (人気スポットなど)

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、その場所がマップの中央になり、その場所に関する情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、そのロケーションへのナビゲーションやお気に入りの目的地のリストへの追加やそこからの削除ができます (自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179 を参照)。



充電ポイントです。マップ上の都市および対応するステーションの近辺を含むポップアップリストを表示します。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーションチャージングサイト、サードパーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。充電ポイント ページ 180 を参照してください。ポップアップリストの雷アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注: 一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして地図に含まれています。

ナビ設定

注: 使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わる可能性があります。



目的地への移動を開始してから...をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注: このナビ設定は、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーションシステムが自分の好みに合うようにします (利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります)。

- **ナビ ガイダンス:** 「音声」にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。
- ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカーアイコンにタッチすると、指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカーアイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディアプレーヤーや電話の音量は変わりません。

T マップとナビゲーション

注: 車速および空調設定に基づいて音量が自動的に調整されるようにすることができます。

注: ペアリングしている電話が通話中のときは、ナビゲーションの指示はミュートされます。

- 車両に乗ったときに Model X がナビが目的地へ向かうよう自動的に開始するには、**オートナビゲーション**を有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（**オートナビゲーション ページ 179** を参照）。
- **トリッププランナー**（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーチャージャーストップを追加します。スーパーチャージャーストップを経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（**トリッププランナー ページ 181** を参照）。
- 「**オンラインルート案内**」を有効にすると渋滞（**オンラインルート案内 ページ 181** を参照）。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**フェリーを使用しない**」をタッチします。
- 可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、「**有料道路を使用しない**」をタッチします。
- 「**HOV 車線の使用**」をタッチして、高乗車率（HOV）車線をナビのルートに含めます。これは、オートパイロットナビ走行を使用するときに特に便利です（**オートパイロットナビ走行 ページ 125** を参照）。

目的地へのナビゲーション

場所にナビゲートするには、地図の角にある検索バーをタッチして目的地を入力し、携帯電話から目的地を送信するか、音声コマンド（**音声コマンド ページ 17** を参照）を使用して住所、ランドマーク、会社名などを指定します。選択した目的地に他の目的地（空港のターミナルなど）が含まれている場合は、サブ目的地も選択できます。

検索バーをタッチすると、さまざまなオプションが表示されます：

- マップの別のエリアにズームインまたはドラッグしたときに検索を更新するには、「**このエリアを検索**」が表示されたらタップします（販売地域で利用可能な場合）。
- 保存された「**自宅**」または「**勤務先**」の場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179** 参照）を選択します。
- 「**充電**」の場所（**充電ポイント ページ 180** 参照）を選択します。
- 「**最近の履歴**」の場所（最も直近の目的地がトップに表示）から選択します。
- 「**お気に入り**」に設定した場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179** 参照）から選択します。
- お腹がすいて人気レストランに行きたければ、「**食事**」。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、「**名所**」（「**名所**」および「**食事**」 **ページ 179** を参照）。

注: iOS®または Android™デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから「共有」機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。予定到着時刻、運転時間、および走行距離が道順リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご確認ください。

- ターン リストにあるバッテリー アイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。**エネルギー消費量の推測 ページ 181** を参照してください。
- 「**到着%を設定**」を選択し（利用可能な場合）、スライダーを使用して、到着時のエネルギー量を設定します。
- 目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ「**トリッププランナー**」がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーチャージャーストップが自動的に含まれます（**トリッププランナー ページ 181** 参照）。
- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上ドラッグしてください。
- リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

目的地を設定すると検索バーには経由地を追加するための「**Search Along Route**」オプションが与えられます（**経路に経由地を追加する ページ 179** を参照）。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの方向リストを展開するか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます。

ターンバイターンリストの下には、目的地や次の停車地点までの距離を示す進捗バーが表示されます。オンラインルート案内が有効になっていると、進捗バーにはルート上の実際の交通状況も表示されます（**オンラインルート案内 ページ 181** を参照）。

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある「**キャンセル**」にタッチします。候補の場所を右にスワイプするか、場所を長押しすると、特定の最近のナビゲーション検索結果を素早く削除できます。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能ですが、その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。



ナビゲートオンオートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストの**ナビゲートオンオートパイロット**をタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。**ナビゲートオンオートパイロット**は、高速道路などのアクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や Model X の操舵を行いません。詳細は**オートパイロットナビ走行 ページ 125** を参照してください。



代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている必要があります。

1つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で3つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートでの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または順序付けすることで経路を編集することができます。道順の下にある3つのドットをタッチして、ルートを編集するためのオプションを表示します。



経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。検索すると、ルートに近い場所が、そこまでの寄り道にかかる時間と共に表示されます。マップ上のピンをタップして、情報ポップアップから追加を選択することで、経由地を追加することもできます。



経由地の編集では、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグアンドドロップすると順番を並べ替えることができます。

また Tesla モバイル アプリを使用してルートを編集することもできます（販売地域で利用可能な場合）Tesla モバイル アプリで、「場所」>「ナビゲート」の順に移動し、「走行ルート編集」>「経路地を追加」の順にタッチしてルートを編集したら、「車に送信」にタッチしてその走行ルートを車両と共有します。

注: Tesla モバイル アプリのバージョン 4.27.5 以降が必要です。

オートナビゲーション

注: すべての販売地域およびすべての車両構成においてオートナビゲーションが使用可能であるわけではない可能性があります。

オートナビゲーションは、乗車したときに目的地を予測することができます。Model X に携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから2時間以内に実施されるイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を推奨します（イベントの実施される有効な住所があることを前提とします）。

さらに、平日（月曜日～金曜日）の午前5時～午前11時の間に自宅で車両に乗車すると、オートナビゲーションによって自動的に指定されている「勤務先」までの経路が表示されます（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179](#) 参照）。平日の午後3時から午後11時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「オートナビゲーション」の順にタッチします。電話機のカレンダーを Model X に同期させる必要があります。イベントに重複のなく指定された有効な住所を含める必要があります（[電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 62](#) を参照）。

注: 手入力した、または Model X に送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: 販売地域や車両構成によっては、機能が使用できない場合があります。

選択した目的地までのナビに加え、Model X はお客様の気分に合わせて近所にある**食事**または**名所**を提案することもできます。ナビ検索バーで「食事」または「名所」をタッチします。「食事」では、人気のレストランの一覧を提案し、「名所」では人気の目的地（美術館やアミューズメントパークなど）の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、「ナビゲート」をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、Model X を Wi-Fi に接続してから、「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします（[地図のアップデート ページ 182](#) 参照）。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

頻繁に利用する目的地がある場合、その都度目的地の名称や住所を入力することを避けるため、お気に入りの追加をお勧めします。目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてから**お気に入り**をタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。



目的地をお気に入りリストに追加するには、地図上で行き先のピンをタッチして、表示されるポップアップウィンドウにあるスターアイコンをタッチします。名前（またはデフォルト名のまま）を入力し、**お気に入りの追加**をタッチします。星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたこととなります。

最近の目的地またはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストで「X」が表示されるまで長押しします。続いて、X をタッチしてリストから削除します。

「自宅」および「勤務先」の場所も、ナビ検索バーの下に表示されます。タッチすると、これらの場所の住所を設定できます。住所を入力したら、「**自宅として保存**」または「**勤務先として保存**」をタッチします。これにより、これらのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

該当する住所を変更または削除するには「**自宅**」または「**勤務先**」を長押しします。ポップアップが表示され、新しい住所を入力して、「**自宅として保存**」または「**勤務先として保存**」を実行します。自宅や勤務先が保存されると、Model X は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションするかの指示を求めようになり、現在の交通状況に基づいて到着までの推定時間が表示されます。[オートナビゲーション ページ 179](#) を参照してください。

T マップとナビゲーション

い。「自宅を削除」または「勤務先を削除」にタッチして関連する住所を完全に削除します。使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように Model X から求められることがあります。

セキュリティ上の理由から、Model X を売却する、所有権譲渡する、または他の人に運転させる場合は、自宅と勤務先の場所情報を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（「コントロール」 > 「サービス」 > 「工場リセット」にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、「充電ポイント」にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報を表示、ナビゲーション、またはお気に入りとしてマークできます。

稲妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。



タッチして 25 kW までの低電力ステーション（ディスティネーションチャージングサイトなど）を含めます。



タッチして 25 kW～75 kW の中レベルの電力チャージャーを含めます。



タッチして 75 kW 以上の高電力チャージャーを含めます。

注: 一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして表示されます。

充電ポイントにピンが表示されると、その場所の状態予測情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。



そのスーパーチャージャーのある場所は稼働しており、ピンに付けられている数字は到着時に使用可能であると予測されるスーパーチャージャー区画の数です。

注: 現在のナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。



このスーパーチャージャーの場所は利用者で混雑することが予測されています。充電までお待ちいただく必要がある場合があります。



この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。



スーパーチャージャーステーションは閉場している可能性があります。



この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。



この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サードパーティの急速充電器、または過去に使用したことのある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注: 地図がズームアウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- スーパーチャージャー設置場所がトレーラーフレンドリーであるかどうかを確認します。トレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所には、トレーラーをけん引したまま車両を乗り入れて充電することができるスーパーチャージャー区画があります。

注: Model X がけん引モード（装備されている場合）のとき、地図にはトレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所がリストの一番上に表示されます。

- 充電ポイントで利用できるアメニティ（トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fi の使用可否など）を表示できます。スーパーチャージャーポップアップでアメニティアイコンにタッチすると、周辺エリアのアメニティ施設を検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。



注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、Model X は充電に備えてバッテリーのプレコンディショニングを実行します。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがありますが、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（[充電ページ 174](#) を参照）。

- スーパーチャージャーの時間帯別の一般的な混雑状態と該当する充電料金および超過時間料金を表示します（[スーパーチャージャー料金 ページ 195](#) を参照）。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model X は目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリー アイコンの隣にこの計算値が表示されます（[目的地へのナビゲーション ページ 178](#) 参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（風速と風向、周囲温度と予報温度、空気密度、および湿度など）に基づいた推定値です。運転中、Model X は使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。Model X は個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測します。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。エネルギー予測に寄与する要因（予測されている温度や風速など）の一部は、Model X がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

注: 中古の Tesla 車両を購入する場合は工場リセットを実施して（「[コントロール](#)」 > 「[サービス](#)」 > 「[工場リセット](#)」）、予測エネルギーにできるだけ高い精度を確保することをお勧めします。

ルートの全体にわたって、Model X はエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は [航続距離を最大限に伸ばす ページ 199](#) を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

ラウンドトリップするために十分な電力があるかを確認するには、道順の方向リストにあるバッテリー アイコンにタッチして、ラウンドトリップのエネルギー使用量の予測計算値を表示します。あるいは、目的地までのナビをするときに「[到着%を設定](#)」（利用可能な場合）を使用して、到着時の車両のエネルギー量を求めます。

オンラインルート案内

Model X は、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行うことがあります。別のルートを拒否するには、タッチスクリーンのルート変更通知をタップします。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンまたはオフを行うには、「[コントロール](#)」 > 「[ナビゲーション](#)」 > 「[オンラインルート案内](#)」の順にタッチします。

トリッププランナー

トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートの選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン（[ナビ設定 ページ 177](#) 参照）をタッチしてから、[トリッププランナー](#)をタッチします。

トリッププランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。

スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある「[充電ポイントを全て削除](#)」にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、[充電ポイントを追加](#)をタッチします。

スーパーチャージャーで充電している間充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。モバイル アプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: トリッププランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、Model X によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます（[充電 ページ 174](#) 参照）。

トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーはターンバイターンの方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

注: ナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリッププランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それは Wi-Fi 経由で自動的に Model X に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に Model X を Wi-Fi ネットワークに接続してください ([Wi-Fi ページ 59](#) 参照)。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されます。

概要

注: メディア アプリは販売地域、車両設定、購入時オプション、およびソフトウェアバージョンによって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用されることがあります。

メディア プレイヤーはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレイヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上ドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下ドラッグすると最小化できます。ミニプレイヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。

ウェブブラウザから音楽を再生し、それからブラウザを最小化する場合、Model X はバックグラウンドでブラウザの音楽の再生を継続します。メディア Miniplayer を使って、ブラウザの音楽を一時停止または再生することができます。ブラウザオーディオが開始される前に、あるメディアを再生していた場合、ブラウザの音楽が一時停止または終了した後に、そのメディアは再開されます。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアムコネクティビティなど）が利用可能な場合に限り利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。それ以外は、初回使用時にアカウント認証情報の入力を求められることがあります。

注: メディア プレイヤーのドロップダウン リストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。



「ラジオ」: 聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。



「Bluetooth」: Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（デバイスからメディアを再生 ページ 184 参照）。



Caraoke（装備されている場合）：さまざまな曲を歌うことができます（カラオケ ページ 184 を参照）。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。メディアの設定 ページ 183 を参照してください。

Model X は、地域で利用可能な場合、以下のメディア アプリをサポートします。

- Amazon Music
- Apple Music
- Apple Podcasts
- Audible
- LiveOne

- Spotify
- TunesIn
- YouTube Music

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聴く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ハンドル上の左スクロール ボタンでもできます。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

音量調節

音量は次のようにして制御することが可能です。

- ハンドルの左側のスクロール ボタンを上または下に回すとそれぞれ音量が上がるか下がります。これにより、メディア、音声コマンド、および通話の音量を調整します。
- 車速および空調設定に基づいて音量を調整することができます。
- タッチスクリーンのボタン コーナーにあるスピーカーアイコンに関連する「<」「>」の矢印にタッチします。
- 音量をミュートするには、左スクロール ボタンを押してください。もう一回押すとミュートが解除されます。
- 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: 各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。



オーディオ設定にアクセスするには、メディア プレイヤーの検索バーにある設定アイコンを押します。

以下の設定を調整することができます。

- **「トーン」:** スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてイマージブ サウンド スライダーをドラッグすることで、サウンド イマージョンのレベルを調整してミュージック エクスペリエンスをより魅力あるものにすることができます。
- **「バランス」:** 聴きたい Model X の位置に合わせて中央の円をドラッグします。
- **「オプション」:** オプション機能を設定します。たとえば、「DJ コメントリー」、「不適切なコンテンツ」、「モバイル コントロールを許可」のオンオフの切り替えができます。

- ・「ソース」: 利用可能なすべてのメディアソースを表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示にすると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウンリストに表示されなくなり、アプリランチャーにタッチしてもアプリトレイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを再度表示させることができます。

オーディオ コンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレイヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで検索することもできます(音声コマンド ページ 17 を参照)。利用可能な場合、「HD」[®]をタッチして選択した周波数の高品質バージョンを再生します。

SiriusXM サテライト ラジオ (装備されている場合)

SiriusXM に対応している場合、SiriusXM という登録制の衛星通信ラジオサービスを聴くことができます。衛星ラジオチャンネルを受信するには、タッチスクリーンからラジオサービスプロバイダーのラジオ ID を入力する必要があります。

ラジオ ID は次のようにして表示します。

1. ラジオソースのアイコンをタッチし、リストから SiriusXM を選びます。
2. チャンネルセクターをチャンネル 0 に動かします。
3. ラジオ ID が局情報部に表示されます。

SiriusXM チャンネルを選ぶには、チャンネル番号を手動でスクロールするか、チャンネルをカテゴリー別に表示します。

カラオケ

注: 車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。Caraoke にはプレミアムコネクティブティが必要です。

メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン(マイクアイコンの隣)をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。

米国のみ: カラオケスタジオを完成させるために、マイクを <http://www.tesla.com> で購入することができます。

警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないでください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。



現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディアプレイヤー上の「お気に入り」アイコンをタッチします。



ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された「お気に入り」アイコンにタッチします。複数のお気に入りを削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソースコンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そして好きなお気に入りを押し続けます。「X」はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の「X」にタッチします。



最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。

注: (装備されていれば) FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを再生

USB フラッシュドライブ

フロント USB ポートにフラッシュドライブを挿入します(USB ポート ページ 10 参照)。「メディアプレイヤー」>「USB」の順にタッチして、希望するフォルダーの名前にタッチします。USB 接続したメディアを再生する場合、Model X はフラッシュドライブのみを認識します。iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetooth で接続する必要があります(Bluetooth 接続された機器 ページ 184 を参照)。

注: メディアプレイヤーは、exFAT でフォーマットされた USB フラッシュドライブに対応しています(NTFS には現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある USB ポートを使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

Bluetooth 接続された機器

Bluetooth 機能を持つデバイスを Model X にペアリングして(Bluetooth ページ 60 を参照)、保存されたオーディオファイルを再生します。メディアプレイヤーの「電話」ソースを選択して、Bluetooth 接続したデバイスの名前にタッチしてから、「接続」にタッチします。



概要

注: 地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。



「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス (Netflix、YouTube、Hulu など) をお楽しみください。Model X が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが 装備されていて、携帯電話信号が使用できる場合に 限って利用可能です。



「アーケード ゲーム」 プレーしてみませんか。プレーするには、ハンドルのボタンや Bluetooth または USB のコントローラーを使用する必要があることがあります。 [ゲーミング コントローラー ページ 187](#) を参照してください。



「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。



警告: これらの機能は、Model X が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテインメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます ([音声コマンド ページ 17](#) を参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると...	できることは...
007	これであなたはもはや「ドライバー」ではありません、「ダイバー」です! 「コントロール」 > 「車高」の順にタッチして潜水深度を変更します。
ブームボックス	Model X に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細については ブームボックス ページ 186 を参照してください。 注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブーブー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたずら」する準備ができたなら、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブーブークッションを鳴らします。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
Model Xmas	屋外に車を停めて、ボリュームを上げ、ウィンドウを下げて、ショーを楽しんでください。この先にライトショーを予約し、楽曲をカスタマイズして愛する人を驚かせましょう。
Ludicrous スピード (P100D 車両のみ)	Ludicrous 設定を約 5 秒間押したままにします (「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「加速」 > 「Ludicrous」の順にタッチします)。飛ばしたい場合は、 もちろん! をタッチします。インストゥルメントパネルに出力と加速度の測定値を表示するには、いずれかのスクロール ボタンを使用可能なオプションが表示されるまで押します。その後、スクロール ホイールを回して測定値をハイライト表示したら、スクロール ボタンをもう一度押します。
火星	マップには Model X が火星の大地を走る流浪者として表示され、 お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
レインボー 充電ポート	Model X がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?



シアター、アーケード、おもちゃ箱

レインボーロード	カウベルがもっと必要? オートステアリングを有効にした状態ですばやく4回続けてオートパイロットレバーを手前に引くと、レインボーロードが起動します。
ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンチックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出!
スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょう。あなたの才能を見せるチャンス! 出版 をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎるなんて決してありません。を使えば TRAX、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「P (パーキング)」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせて新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	お車の名前を「42」に変更します(「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチしてから、車両の名前にタッチします)。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー (装備されている場合)	タッチスクリーンで Model X の色を変更します。車両名の隣にある色見本にタッチすると、エクステリアのカラー、トーン、などをカスタマイズできます。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム (PWS) の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、Model X が駐車時に、歩行者警告システム (PWS) スピーカーから外部に音を出すことができます。例:

- **現在のメディアを再生。**
- **メガホン**を使用して、声を変調できます。
- ホーンを押すと互換性のある USB デバイスから任意のサウンドの最初の 5 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 Tesla アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の USB ドライブの準備

これらのステップに従って最大で 5 つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

1. コンピューターで、USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします (NTFS は現在サポートされていません)。
2. USB ドライブに「**Boombox**」というフォルダーを作成します。
注: USB ドライブには、1 つのフォルダーのみを含めることができます。例えば、ダッシュカムと共有することはできません。
3. .wav と .mp3 の音声ファイルをフォルダーに追加します。USB ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の 5 つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット (a-z/A-Z)、0~9 の数字、ピリオド (.), ダッシュ (-)、アンダースコア (_) を使用できます。
4. USB ドライブをフロント USB ポートに差し込みます。
5. 「**ブームボックス**」ドロップダウンメニューで、USB ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、「**アーケード**」に移動し、アンインストールするゲームを選択し、「**アンインストール**」をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

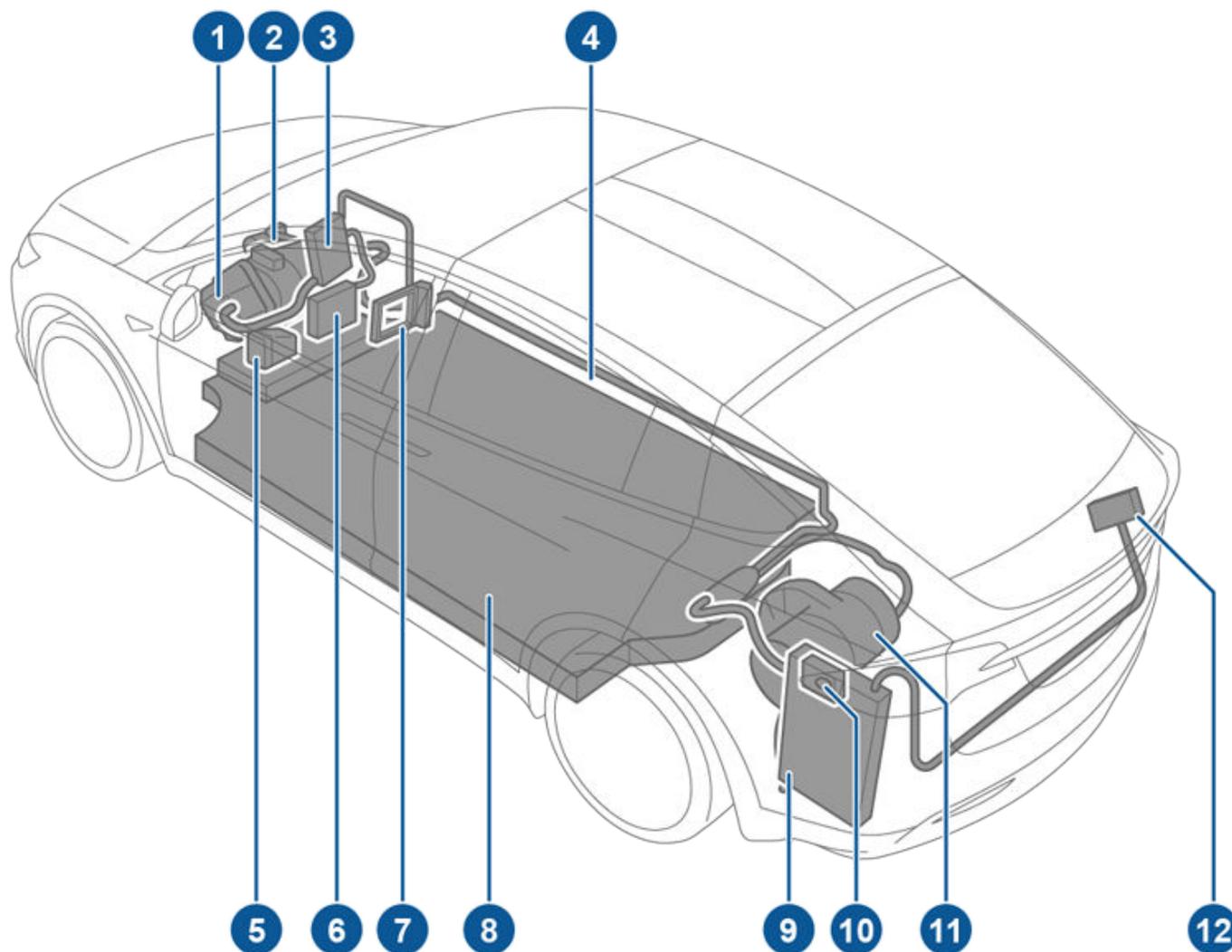


ゲーミング コントローラー

Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で Model X にペアリングできます（[電話](#)、[カレンダー](#)、[ウェブ会議 ページ 62](#) を参照）。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。Model X 一度に 2 台の Bluetooth デバイスのみに対応することが可能です（例えば、コントローラー 2 台、または携帯電話とコントローラー）。

およそ 2021 年 11 月 1 日より前に製造された車両の場合、USB 互換のゲームコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント USB ポートに接続することができます。およそ 2021 年 11 月 1 日より後に製造された車両の場合、グローブボックスの USB ポートを使用する必要があります。

高電圧コンポーネント



1. フロント モーター
2. エアコン用コンプレッサー
3. 前方ジャンクション ボックス
4. 高電圧ケーブル配線
5. バッテリークーラントヒーター
6. DC-DC コンバーター
7. キャビンヒーター
8. 高電圧バッテリー
9. 車載充電器
10. 充電ポート
11. リア モーター
12. HV ケーブルからリア HVAC アセンブリ

⚠ 警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。



警告: Model X に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

充電機器

Model X の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、<http://shop.tesla.com> をご覧ください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。
- モバイル コネクターを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタ (必要な場合) をモバイル コネクターに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで使用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクターに取り付けてから、車両に接続してください。



高電圧バッテリーに関する情報

Model X は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model X を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを 0% まで放電させると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります (例: 低電圧バッテリー)。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリッププランナー (販売地域で使用可能な場合) を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、[トリッププランナー ページ 181](#) を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。

Model X を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因 (寒い天候など)、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1 日におおよそ 1% の割合でバッテリーが放電します。Model X が充電されない状態が長期間続くような場合もあります (たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model X は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに Model X を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、Model X が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧バッテリーのジャンプスタートをお試しください ([ジャンプスタート ページ 241](#) を参照)。依然として車両が無反応である場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model X を 140° F (60° C) 超または -22° F (-30° C) 未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model X には省エネ機能があり、Model X を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「**コントロール**」 > 「**ディスプレイ**」 > 「**省エネモード**」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法については、[航続距離を最大限に伸ばす ページ 199](#) をご参照ください。

水没した車両について

他の自動車と同様に、お客様の Tesla が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水 (特に塩水) に浸かったりした場合は、事故に遭ったものとして扱ってください。詳細情報については、[水没車両に関するガイドンス ページ 243](#) を参照してください。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項

⚠ 警告: 高電圧システムの保守は訓練された技術者だけが実施するようする必要があります。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

⚠ 注意: バッテリーの充電レベルが 0% に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、Model X を充電または使用できない場合があります。Model X を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプスタートさせても Model X を充電できない場合は、サービス予約をしてください。



-  **注意:** バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。インストゥルメントパネルに液レベルが低いという警告が表示された場合、モバイル アプリを使用してサービスを予約してください。
-  **注意:** このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

充電ポートは Model X の左側に位置し、ドアの後ろ、リア テールランプ アセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model X を駐車します。

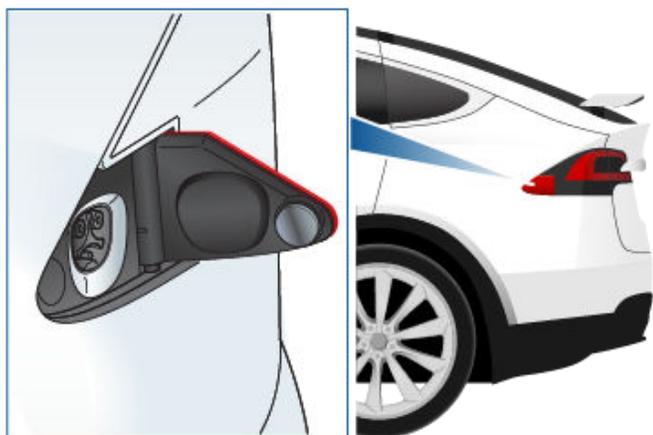
Model X がパーキングにシフトしている状態で、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、充電ポートアイコン（稲妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model X がアンロックされ、認識されたキーが近くにある状態で、充電ポート ドアを押します。
- キーフォブのリアトランク ボタンを 1~2 秒間長押しします。
- 充電ケーブルのボタンを押して、充電ポート ドアを開きます。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: 次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干の違いがある場合があります。



注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。充電ケーブルの抜き差しができない場合、または留め金が凍結しているため車両の高速充電が行えない場合、Tesla モバイル アプリを使用し、約 30~45 分間、事前に車両の温度設定を「HI」にしてください（車両の事前調整のためにはモバイル アプリの使用が必要です。タッチスクリーンからは温度を「HI」に設定できません）。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

⚠ 注意: 充電ポートを無理に開けようとししないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（[充電設定 ページ 195](#) を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクタをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクタを使用する場合は、先に電源に挿してから Model X につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく差し込まれている場合に Model X が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model X に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model X の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model X が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、Model X が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、Model X を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることがあります。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなる場合があります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、Model X は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから Model X を差し込みます。

! **注意:** 充電ケーブルのコネクタ側を Model X の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

充電ケーブルを Model X に挿入したら、数秒間待ち、充電ポートのライトが緑色で点滅を開始し、車両が充電されていることを確認します。このライトが黄色または赤色である場合は、車を離れる前に、充電が確実に行われるよう問題を解決してください。

充電ステータス

充電ポートが開いている場合、インストゥルメントパネルに充電ステータスが表示されます。





充電方法

- 走行距離:** 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示（表示設定により異なる）で表示されます。
注: 表示されるエネルギー単位を変更するには、「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「エネルギー表示」の順にタッチします。
- 充電ステータス:** 充電ステータス メッセージ（「スーパーチャージング」、「充電中」など）はここに表示されます（[プレコンデションングと充電の予約 ページ 198](#) 参照）。
- 残り時間:** 設定限度まで充電するための推定残り時間（[充電設定 ページ 195](#) 参照）
注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されていても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点はありません。
- 充電速度:** 充電している車両の現在の充電速度
- 取得航続距離:** 充電で増加した推定航続距離。
- 充電** 充電器の現在の電力。

充電

充電中は、充電ポート ライトが緑色に点滅し、インストゥルメント パネルに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: Model X がロックされていると、充電ポート ライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。インストゥルメント パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（例えば、気温が高い日に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たかない場合があります。これはインストゥルメントパネルにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢よく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブル ラッチはロックされたままの状態となり、Model X のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す:

- コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。
注: ラッチは、タッチスクリーンもしくはモバイル アプリを使用して、またはキー フォブのリアトランクボタンを長押ししても解除することができます。お客様の車両が電動充電ポート搭載車の場合は、充電ポートの左にあるボタンを押してもラッチを取り外せません。

- コネクターを充電ポートから引き抜きます。

気温が氷点下のため、充電ケーブルが差し込まれた状態で凍結してしまった場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「充電ポートヒーター」の順にタッチします。これにより、充電ポートが最大 2 時間、加熱され、充電ケーブルの凍結を溶かすことができます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポート アイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

公共の充電ステーションでアダプターを使用して充電ケーブルを取り外す方法:

- Model X をロック解除します。
- 一方の手で公共充電ステーションの充電ハンドルを、もう一方の手でアダプターを押さえながら、充電ハンドルのボタンを長押しして外側に引くと、ハンドルとアダプターが同時に外れます。
注: 充電ステーションのハンドルがアダプターから離れ、アダプターを Model X に挿入したままにしておく場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポートのロックを解除します。
- 充電ハンドル ボタンをもう一度長押しして、公共用充電ハンドルからアダプターを外します。



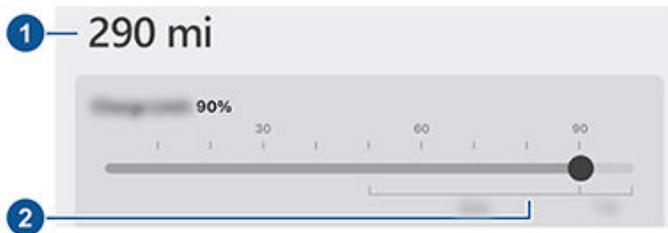
注: 充電ポートドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポートドアを閉じます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

! **注意:** Tesla では、Model X を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電設定

Model X がパーキングにシフトされているときに、「コントロール」 > 「充電」の順にタッチして、充電設定にアクセスします。タッチスクリーンの充電アイコンにタッチして充電設定にアクセスすることもできます。



1. **走行距離:** 推定総航続距離を表示します。
2. **制限を設定する:** 充電スライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

注: Tesla では通常使用に対してはバッテリーのフル充電レベルを 90%未滿に制限し、長距離が必要な場合に限り 100%まで充電することを推奨しています。

注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

充電限度をスライドさせ、通常の推奨充電限度を超えるまで動かすと、ポップアップオプションが表示され、一時的に一度に限り通常の推奨充電限度を超えて充電することができます。これは長距離の移動に便利です。また選択した場合、元の充電制限にリセットされます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。

- **この場所での充電電流:** あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要場合は、- または + にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります）。接続されてい

る充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model X はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

国内用コンセントを持つモバイルコネクタを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。この場所での充電電流をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

注: Model X が充電中のとき、入力電力に予想せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25%減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流低減は、問題が外的に存在する場合（例えば、家庭用配線システム、レセプタクル、アダプタまたはコードが定格電流容量を満たすことができない場合）の堅牢性および安全性を向上させます。しかし、Model X が、ある場所の入力電力が自動的に減少すると、その充電場所の入力電力が減少したまま保存されるのでご注意ください。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla は、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

- **充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。** 充電していないときは、「充電ポートを開く」または「充電ポートのロックを解除」をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。「充電を停止」を使用して充電を終了します。
- **スケジュール:** プレコンディショニングと予約充電を表示します。保存した自宅と勤務先、または現在地のプレコンディショニングや予約充電を作成できます（プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198 を参照）。
- **スーパーチャージャー充電:** スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用を表示します（スーパーチャージャー料金 ページ 195 を参照）。

注: 利用率の高いスーパーチャージャーサイトの混雑緩和のために、トリッププランナー（販売地域で入手可能な場合）を利用していないときは、最大充電レベルが 80%に自動的に制限される場合があります。（トリッププランナー ページ 181 を参照してください）。

スーパーチャージャー料金

Tesla スーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。無料充電が適用される場合、推定費用はゼロと表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

充電が完了した後、または使用頻度の高いスーパーチャージャーの場所において車両が混雑時限度に達した後は、追加料金がかかります。スーパーチャージャーは急速充電用に設計されており、これらの料金は充電完了後にドライバーが車両を移動するように促すものです。それぞれのサイトの料金体系は、超過



充電方法

時間料金や混雑時料金がかかるかどうかを含めて、タッチスクリーン上のサイトのポップアップ（[充電ポイント ページ 180](#) を参照）または Tesla のモバイル アプリで確認できます。

- その場所の半分以上のスーパーチャージャーに車両が駐車している場合、**超過時間料金**が適用され、車両が充電限度に達すると追加課金が始まります。Tesla モバイル アプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。
- 米国のみ: 頻繁に混雑するスーパーチャージャー設置場所を選択した場合、**混雑時料金**が適用されます。そのステーションに空きがなく車両のバッテリー充電レベルが混雑時の充電限度を上回っている場合、混雑時料金が追加課金されます。最初の 5 分間は料金がかかりませんが、その後は車両を移動するまで課金されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や無料クレジットの残高の確認や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

サードパーティー充電器

販売地域や車両構成に応じて、すべての Tesla 車には、Tesla が開発した**北米充電規格 (NACS)** 充電ポートが装備されており、この充電ポートは、サードパーティーの充電ステーションにおいて急速に普及しています。こういったステーションには NACS コネクタが装備されているので、個別のアダプターを必要としません。

すべての Tesla 車は Tesla ステーション（スーパーチャージャー、ウォール コネクタ、モバイル コネクタなど）で充電することができますが、お持ちの車両には、一部の NACS 規格のサードパーティー DC 急速充電器を使用するために必要となるハードウェアが装備されていない可能性があります。すなわち、コネクタは互換性を持っているように見えるかもしれませんが、そのコネクタを Model X に挿入しても、車両は充電されません。これは、NACS コネクタを使用してサードパーティー DC 急速充電器で充電するためには、Model X が CCS 通信プロトコル（一部のサードパーティー充電器の充電システムで一般的に使用されています）もサポートする必要があるためです。

注: CCS コネクタを装備したサードパーティー ステーションで充電するためにはアダプターが必要であり、車両のハードウェアを改造して CCS 通信プロトコルをサポートする可能性があります。

車両が既に CCS と通信できるようになっているかを確認するには、「[コントロール](#)」 > 「[ソフトウェア](#)」 > 「[車両の追加情報](#)」 > 「[CCS およびサードパーティー NACS DC 急速充電器のサポート](#)」の順に移動します。

CCS 充電器:



NACS 充電器:



- **有効:** Model X CCS 通信プロトコルをサポートしており、あらゆる CCS ステーション（アダプターは必要）およびサードパーティー NACS ステーションで充電可能です。
- **有効ではない:** 車両は現在、NACS および CCS 充電ステーションの CCS 通信プロトコルをサポートしていません。ハードウェアの改造によって有効にするためのサービス予約の対象であるかどうかは、モバイル アプリを使用して確認してください。この改造ができるかどうかは場合によって異なる可能性があります。
- **互換性なし:** Model X CCS 通信プロトコルをサポートできないため、サードパーティーの NACS および CCS 充電ステーションで充電できません。

手動で充電ケーブルを外す

充電ポートから充電ケーブルを外す通常の方法（充電ハンドルリリースボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリを使用）が機能しない場合は、キーフォブのリアトランクボタンを 1~2 秒間押し続けます。それでもリリースされない場合は、次の手順に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model X が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、**充電を停止**をタッチします。
2. リアトランクを開く
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。



警告: 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く前に引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。



注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

注意: リリース ケーブルは、通常の方法で充電ケーブルを引き抜くことができない場合に**のみ**使用してください。リリース ケーブルを頻繁に使用すると、リリース ケーブルや充電機器が損傷する恐れがあります。

警告: 車両の充電中や、橙色の高電圧電線が露出している場合は、この操作を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。

充電におけるベストプラクティス

- バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が20%以下になるとバッテリー アイコンが黄色になります）。
- 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」>「充電」に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。
- 車両にプラグを接続したら、車両から離れる前に、充電ポートのライトが緑色で点滅し始めることを確認します（Model X が充電中であることを示します）。数秒経っても Model X が充電を開始しない場合、コネクタが充電ポートにしっかり挿入されていないか、充電を妨げる問題がある可能性があります。警告とその詳細についてはタッチスクリーンを確認してください。

注: 充電ポートのライトが黄色で点滅を開始した場合、Model X は電流量を減らした状態で充電をしています。充電ポートのライトが青色で点灯している場合、充電ポイントは接続されていますが、車両は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。詳細な情報は、[充電ポート ライト ページ 193](#) を参照してください。

急速充電に関するアドバイス:

- ナビゲーション検索バーに表示される3本の雷マークで区別することで急速充電器を検索します。
- 高電圧バッテリーのプレコンディショニングを考慮して、急速充電器にむかってナビゲートします。バッテリーが理想的な温度になっていると、迅速な充電を行うことができます。
- 通常、充電済みの電力が少ないほど、充電速度は速くなります。

注: 常に車両の充電を監視することは、ドライバーの責任です。車両が放電し尽くす前に接続してください。安全に充電ポイントに到着するために十分な充電量があることを必ず確認してください。

- スーパーチャージャーでは、隣の区画と電力をシェアすることがあるので、他の車両と間隔を空けて駐車してください。

T プレコンディショニングと充電の予約

Model X のプレコンディショニングと充電の予約について説明します。車両がより効率的に充電するため、または Model X の出発前の準備のために、プレコンディショニングを予約することができます。

注: また、空調画面、充電ウィンドウ、Tesla モバイルアプリ (v4.34.5 以上が必要) から「予約」にアクセスできます。

Model X は予約を作成した場所ごとに自動的に予約を保存します。「**現在地**」を選択すると、設定した予約はほぼ同じの物理的な場所に戻ったときのみ使用できます。

注: 予約充電は、Tesla のスーパーチャージャーを含む急速充電器では使用できません。作成した予約充電は、急速充電器で充電する際には無視されます。

予約の作成

プレコンディショニングと充電の予約を作成し、Model X にプレコンディショニングまたは充電をさせたい時間と曜日を指定します。予約を作成する方法:

1. 「コントロール」 > 「予約」の順にタッチします。
2. 予約を設定したい場所を選択してください。
 - 現在地 GPS 座標に基づく車両の現在地。

注: 現在地の予約を作成するにはパーキング状態である必要があります。
 - 自宅/職場: 自宅および職場の保存された場所。自宅や職場がない場合は、これらのオプションを選択することはできません (自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 179 を参照)。
3. 「プレコンディショニング」をタッチして、車両にプレコンディショニングを適用する時間と頻度を設定します。
4. 「充電」をタッチして、開始時間、終了時間、および充電の頻度を設定します。
5. 「作成」を選択して予約を作成します。

注: 「毎週繰り返す」がトグルされていない場合、Model X は一度だけ予約を実行します。その後、手動で予約を再度有効にするまで、車両は予約を無効にします。

予約充電の使用

予約充電を作成または有効にすると、充電のために車両にプラグを差し込むことができます。当日の遅い時間にプレコンディショニングや充電を予約した場合、Model X はその時間までプレコンディショニングや充電を待機します。

予約が重なる場合、必要に応じて車両は充電に最も長い時間帯を使用します。例: 午前 2 時と午前 3 時に充電を開始し、午前 2 時 30 分と午前 5 時に充電を停止するように Model X を予約すると、車両は午前 2 時から午前 5 時までの 2 つの予約充電を 1 つの時間帯にまとめます。

指定された「**終了時刻**」はあるが、**開始時刻**は指定されていない場合、車両は予約された充電の際にプラグを差し込むときに一時的に電力を引き、必要な開始時刻を計算します (クリック音が聞こえる場合があります)。例: 「**終了時刻**」を午前 2 時に設定し、車両が充電制限を満たすには 2 時間の充電が必要です。

午後 9 時に車のプラグを差し込むと、Model X は開始時間を計算するために短時間電力を消費し、午前 12 時に充電を開始します。

「**開始時刻**」を指定し、「**終了時刻**」を指定しない場合、車両は指定された時刻に充電を開始し、充電の上限に達するまで続きます。

「**予約充電**」がすぐに開始される場合もあります。これらのシナリオは、Model X がプラグインされているときに発生する可能性があります。

- 予約充電の最中。
- 「**終了時刻**」が指定されていない場合は、予定充電開始後最大 6 時間まで。
- 次の予約充電が 18 時間以上先であり、当日でない場合。
- 「**開始時刻**」を設定しておらず、「**終了時刻**」までに充電制限に達する時間が足りない場合。

注: Model X 予約充電の**終了時刻**から 6 時間以内に車両にプラグを差し込んだ場合、次の予定充電がない限り、充電は自動的に開始されません。

オフピーク料金が適用されない市場地域でも、出発予定時刻に充電が完了するように予約を組むことで、エネルギーコストを削減することができます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。したがって、オフピーク料金が適用されない場合でも、Tesla では、出発予定時刻を予約する「**終了時刻**」として指定することにより、エネルギー消費量を削減するため、予定の出発時刻まで充電することを推奨しています。

プレコンディショニング

「**プレコンディショニング**」を使用して、Model X を運転可能にする時間を予約します。Model X はプレコンディショニングをいつ開始する必要があるかを自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実にキャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

設定した出発時刻には、「**プレコンディショニング**」でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。「**プレコンディショニング**」を予約しない場合、Model X はバッテリーが冷えすぎて充電できない場合に充電前にバッテリーを暖めるだけで、車内環境を整えることはありません。

注: Model X のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20%を超えている場合に限りプレコンディショニングが作動します。

プレコンディショニングは、次回運転するときの航続距離を延ばすのにも役立ちます。プレコンディショニングされたキャビンとバッテリーは、運転開始時に消費するエネルギーが少なくなります。プレコンディショニングにより、ヒートポンプを備えた車両では、運転中にバッテリーの熱を利用してキャビンを暖めることができるため、エネルギー消費を削減できます。



電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わり下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたままですると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティーのアクセサリ（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンをプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla またはサードパーティーのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で行うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速とスピードの制御を支援するために、「コンフォート」モード（「[コントロール](#)」 > 「[ペダル&ハンドル](#)」 > 「[加速](#)」にタッチ）およびスピードアシスト（[スピードアシスト ページ 158](#) 参照）の使用を検討してください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model X を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を抑えます。車内を空調で暖房するより、シートヒーターおよびハンドルヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。

- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態、モバイルアプリから「[空調](#)」 > 「[空調をオン](#)」の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（[モバイルアプリ ページ 56](#) を参照）。
- 「[予約](#)」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 198](#) を参照）。
- ストップモードを「[ホールド](#)」に設定して、低速走行時の回生ブレーキの効果を上げます。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205](#) 参照）で充填したうえで必要に応じて、タイヤ位置を交換するようにします（[メンテナンスサービスの間隔 ページ 203](#) 参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべての窓を完全に上げます。
- 装備されている場合はレンジモードをオンにします（[レンジモード ページ 200](#) を参照）。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベル オフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、Model X がドライバーにそのことを知らせます。

インストゥルメント パネルのパワー メーターでは、エネルギー使用量のフィードバックを確認できます。

レンジプランナー

Model X に表示される航続距離は、残存バッテリー エネルギーの推定量であり、EPA 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。インストゥルメント パネルに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなることがあります。お客様の直近の電力消費量を基に予想航続距離を確認するには、電力アプリを開きグラフを表示します。

注: 定格航続距離は、米国では EPA 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。



ナビゲーション検索バーの「[充電ポイント](#)」にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーションチャージングサイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えできます。



航続距離を最大限に伸ばす

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model X がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーチャージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「トリッププランナー」の順にタッチします。

エネルギー アプリ

エネルギーアプリでは、車両の推定エネルギー使用量をリアルタイムに視覚的に表示します。エネルギーアプリを使用するには、タッチスクリーンで「アプリケーションランチャー」>「エネルギー量」へと進みます。2種類のグラフから選択します。

- 消費量: Model X が過去 10、25、50 km (5、15、30 マイル) に消費したエネルギー量を表示します。

瞬間値または平均値をタッチして予想航続距離を調整します。瞬間値は直近のデータポイントのみを使用して予想航続距離を推定するのに対し、平均値は 5、15 または 30 マイル (10、25 または 50 km) におけるエネルギー消費からより正確な予想航続距離を推定します。

- 走行データ: 目的地へ移動中の電力消費量をモニターできます。初期の予測に対する実際の使用量を追跡できます。緑色の線は実際の使用量を、灰色の線は予測使用量を表します。ズームレベルを変更するには、チャートの右上隅にあるズームアイコンにタッチします。

注: トリップチャートは目的地へのナビゲーションを行っている場合のみエネルギー使用量を表示します。

レンジモード

レンジモード（装備されている場合）ではエアコンシステムの電力を制限して省エネにし、シグネチャーライトをオフにします。「コントロール」>「走行」>「レンジモード」の順にタッチしてレンジモードをオンにします。全輪駆動車両でオンにすると、レンジモードではモーター間のトルク配分を最適にし、航続距離を最大にします。

エネルギーの節約

Model X Model X には省エネ機能があり、使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」>「ディスプレイ」>「省エネモード」の順にタッチし、以下のオプションを選択します。

- オフ - 夜間のみ（午後 10 時から朝 5 時まで）Model X が省エネモードに移行します。アイドル時のエネルギー消費量が多くなる場合があります。

- オン - Model X を使用していないときのエネルギー消費は大幅に少なくなります。インストゥルメントパネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- 常に接続 - 省エネモードが機能しているときも携帯電話データ接続を維持します。このオプションにより、モバイルアプリと Model X の接続が速くなり、車に乗ってからすぐにインターネット接続が可能です。電力消費量は若干多くなります。



新しいソフトウェアの読み込み

Tesla は車両のソフトウェアをオーバー ジェア (OTA) 方式でアップデートし、定期的に新機能を提供しています。Tesla では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアのアップデートを一番速く確実にを行うため、常に Wi-Fi をオンにし、できる限り Wi-Fi に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合で、ソフトウェアのアップデートをダウンロードするために車両を Wi-Fi に接続する必要があります (Wi-Fi ページ 59 参照)。

新しいソフトウェアのダウンロードとインストール

新しいアップデートを受けるには、ソフトウェアをダウンロードする (Wi-Fi が必要) かインストールするという 2 つの方法があります。ダウンロードやインストールは、Tesla モバイルアプリを使用して簡単に開始できます。

ダウンロード

ソフトウェアのアップデートをダウンロードすることが可能になると、ダウンロードが自動的に開始され、タッチスクリーンの上部に緑色の矢印が表示されます。車両が Wi-Fi に接続していない場合、ダウンロードアイコンが黄色で表示されます。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている時も運転はできますが、Wi-Fi 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に時計アイコンが表示されます。

注: ソフトウェアのアップデートを最も速くそして確実にダウンロードするには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしてください (Wi-Fi ページ 59 を参照)。

インストール

ソフトウェアをインストールしている間は、運転することができません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストールを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンにタッチします。すぐにインストールを開始する場合は「**今すぐインストール**」を、インストール開始時間を選択する場合は「**この時間に設定**」にタッチします。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。予約したアップデート時刻に Model X を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」の順に移動しても、ソフトウェアのアップデートを表示、ダウンロード、インストールすることができます。可能であれば、Wi-Fi に接続してアップデートをダウンロードしてください。

エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモード、スマート コンディショニングなど、特定の機能が有効な場合、ソフトウェアのアップデートは実行されません。

注: エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません (エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 171 を参照)。

注: 必要に応じて、Tesla ではセルラー接続を用いてソフトウェアアップデートを送信します。

注: 一部のソフトウェアのアップデートでは完了するまで約 30 分かかります (さらに時間のかかるものもあります)。Model X ソフトウェアのアップデート中は、ギアをパーキングにシフトしておく必要があります。

⚠ 警告: ソフトウェアのインストール中は、車両を使用しないでください。インストールの進行中は、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となったりする場合があります。運転することで車両に損傷が生じる場合があります。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」で、車両のために用意されたアップデートを受け取る時期を選択することができます。早く受け取るには「**Advanced**」を選択してください (追加リリースがあります)。他の人がインストールするまで待つ場合 (結果的にリリース数が少なく済む) は、「**標準**」を選択してください。「**Advanced**」を選択しても、早期取得プログラムに車両が登録されるわけではありません。

Tesla は、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行っているわけではありません。「**Advanced**」を選択し、常に Wi-Fi に接続 (Wi-Fi ページ 59 参照) しておくことで、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。

ソフトウェアのアップデートが正しく完了しなかったことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示された場合、次のソフトウェアのアップデートまで待ってから、車両へ展開してください。

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェアアップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートをできるだけ早くインストールしてください。ソフトウェアアップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタル メディア デバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、Tesla サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

充電中

ソフトウェアアップデートの開始時に Model X が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェアアップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。

リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「リリース ノート」にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model X に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。



定期サービス

Tesla では、Model X の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

車両の警告に関する追加情報については、[トラブルシューティングのアラート ページ 244](#) を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：4年毎（必要に応じて交換）*。
- A/C 乾燥剤袋の交換は4年ごとです。
- キャビンエアフィルター交換：2年ごと
- HEPA フィルターおよびカーボンフィルターの交換3年ごと。
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル (20,000km) ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- 6,250 マイル (10,000 km) ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ (1.5 mm) 以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

*けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注: 上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で実施することが必要になる可能性があります。また、上記一覧は包括的なものではなく、フロントガラスワイパー、ブレーキパッド、低電圧バッテリーなどの消耗部品は含まれていません。

注: Tesla で認定されていない整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

自主メンテナンス手順および情報については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

整備の予約

モバイルアプリから、簡単にサービスを予約することができます。「サービス」にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイルアプリの指示に従ってください。以下に示す詳細情報をできるだけ多く提供していただくと、サービスチームが懸念事項の原因を特定するのに役立ちます。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度(該当する場合)。
- 環境条件(雨、雪、低温など)。
- 道路の名称と種類(該当する場合)。
- レーン標識の質(該当する場合)。

- 適用された車両設定。
- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は <https://www.tesla.com/support/service-visits> をご覧ください。

毎日のチェック

- インストゥルメント パネル、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします (タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205 を参照)。
- エクステリアライト、ホーン、ウインカー、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネル上の予期せぬインジケータライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

注: Model X は回生ブレーキ (回生ブレーキ ページ 78 を参照) を使用しているので、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします (シートベルト ページ 40 を参照)。
- Model X の車体の下に通常はない液体の漏れなどがどうかチェックします。少量の水がたまっていても (空調システムの除湿プロセスによる)、異常ではありません。
- Model X の外周を目視して、直ちに腐食性物質 (鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など) を取り除き、塗装へのダメージを防いでください (洗車 ページ 211 を参照)。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します (フロントガラス ウォッシャー液を補充 ページ 215 を参照)。
- 空調システムが正しく動作していることを確認します (空調を操作する ページ 168 を参照)。

注: 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、Model X がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態です。内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。

定期的なチェック

必要に応じて以下のチェックを行います：

- ・ほこりの多い場所や汚染された場所を走行すると、時間の経過とともにラジエーターが詰まることがあります。これは空気の流れや暖房/エアコンの性能に影響を与えることがあります。モバイルアプリでサービスを予約してください。
- ・視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、カメラ筐体内（カメラ ページ 19 を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイルアプリでサービスを予約してください。

メンテナンスの概要

「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順に移動することで、メンテナンス項目の現在の状態を表示できます。

「メンテナンスの概要」では、フロントガラスワイパーブレードやフィルター類などの定期的メンテナンス項目の最終実施日を追跡して、次の実施時期を提案します。あなたは自分で実施することもできますし、Tesla や独立した修理会社に支援を依頼することもできます。メンテナンスが完了したら、車両のタッチスクリーンでそのメンテナンス項目をリセットすることができます。Model X はタイムスタンプおよび該当する情報（現在の通算走行距離など）をキャプチャし、次回の通知のためにメンテナンス項目をリセットします。これまでに実施した整備の記録をご自身および将来のオーナーが確認できるように、車両の整備記録は常に車両と一緒に保管してください。整備記録は工場リセットの影響を受けません。

注: サービス訪問の際、Tesla はメンテナンスの概要を必要に応じて更新しますが、情報に関して、とりわけ個人の修理会社やDIY 手段で実施されたサービスおよびメンテナンスに関する情報の正確性を確保することは、車両オーナー様の責任です。

液の定期交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は Tesla または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービス マニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- ・ **バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。
注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。
- ・ **ブレーキ液** ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常作動させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。ソフトウェア アップデート ページ 201 を参照してください。

Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

高電圧安全性

お客様の Model X は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- ・ Model X に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- ・ 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- ・ 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- ・ 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

警告: Model X の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがらないでください。冷却ファンの中には、Model X がパワーオフの状態でも動作するものがあります。

警告: 自動車で使用される液体（バッテリーの酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラスウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあります。これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。



タイヤ空気圧の表示

右または左のハンドルボタンを使用して「車両の状態」を表示することで、インストゥルメントパネルにタイヤ空気圧を表示できます（ハンドルの左ボタンを使用する ページ 68 またはハンドルの右ボタンを使用する ページ 68 を参照）。各タイヤの圧力は、タイヤの圧力が最後に測定された時間と合わせて車両のビジュアライゼーションに表示されます。また、タイヤ空気圧を bar と PSI のどちらを使用して表示するかを、「コントロール」>「表示」>「タイヤ空気圧」の順にタッチして選択することができます。

Tesla モバイルアプリでタイヤ空気圧を表示することもできます。

注: ビジュアライゼーションにタイヤ空気圧を表示するには、車両を短時間走行させる必要がある場合があります。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤの荷重ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

トレーラーをけん引している時は、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を使用しないでください。代わりに、オーナーズマニュアルの（牽引とアクセサリ ページ 96 参照）。



1つ以上のタイヤの空気圧が適正でない場合、インストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧の調整後もしばらくは消えませんが、タイヤを推奨空気圧にした後は、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させた状態で、15 mph (25 km/h) を超える速度で 10 分以上運転すると、タイヤ空気圧表示灯が消灯します。

Model X の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、TPMS の故障が検出されています (TPMS の不具合 ページ 209 を参照)。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 10°F (6°C) 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。

警告: タイヤ空気圧低下表示灯は、通常の運転条件で、タイヤの空気圧が推奨基準値（「タイヤと積載荷重情報ラベル」に記載）を下回った場合にのみ、運転者に警告します。これは、積載荷重に基づいて、タイヤの空気圧が低い状態を警告するものではありません。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1 マイル (1.6 km) ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model X が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。

4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。

注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。

5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないかを定期的に点検してください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: タイヤが損傷している、過度に摩耗している、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model X を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。さらに、タイヤの内側のショルダー部分の摩耗にも注意してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 4/32" (3 mm) 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 5/32" (4 mm) 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model X 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケータが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 3/32" (2 mm) まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェアインジケータが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケータが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

Tesla では、6,250 マイル (10,000 km) ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ (1.5 mm) 以上になったときに、タイヤのローテーションを実施することを推奨しています。

タイヤローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロードノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。

前後でサイズが異なり、回転方向に指定のないタイヤを装着している車両の場合、左右でローテーションできますが、前輪と後輪のサイズが違うため、前後でローテーションすることはできません。左右でローテーションして、各タイヤの回転方向を変更すると、ショルダーの摩耗のバランスが取られることで、トレッドの寿命を延ばすことができます。

ホイールバランスが悪い（ハンドルからの振動によって気付くことがあります）と、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合（タイヤの片側のみ摩耗）または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model X を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (1/4" (6 mm) 未満) を応急修理することもできます。これにより、Model X を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model X を長期間動かさないと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model X を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれて元の形状に戻り、しだいにこの振動は消えます。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- 穴や障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、6年ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。

タイヤセットが摩耗した場合、4本のタイヤすべてを同時に交換してください。お客様の車両専用に設計された Tesla 認定タイヤを選んでください。ほとんどの Tesla 認定タイヤは、タイヤのサイドウォールにある「Tマーク」仕様 (T0、T1、T2 など) で識別できます。Tesla 認定タイヤは電動ドライブトレインと共に使用することでパフォーマンス、安全性、信頼性および



耐久性が最適化されるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、[サービスマニュアル](#)を参照してください。

注: T マークは Tesla の規格に対応した特定のタイヤの発展を定めたものです。例えば T1 ミシュラン Primacy は T0 ミシュラン Primacy よりも新しいものですが、必ずしも T0 タイヤの他のモデルよりも多らしいものではありません。

タイヤがパンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの 2/32 インチ (1.5 mm) 以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 4 本のタイヤがすべて同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、[タイヤ販売専門業者](#)や取付業者にお尋ねください。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤがリムに完全に吸着するまで最大で 24 時間かかることがあります。この期間は、タイヤがリムで滑らないように急加速は避けてください。

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセットを使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 ([タイヤのマーキングについて ページ 230](#) を参照) が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model X に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、[ホイールとタイヤ ページ 229](#) を参照してください。

ホイール交換時には、TPMS (タイヤ空気圧監視システム) センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎる、または高すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります ([タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット ページ 209](#) 参照)。

警告: 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています ([タイヤのマーキングについて ページ 230](#) を参照)。

非対称タイヤ

Model X のタイヤの一部は非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

エアロカバーの取り外しと取り付け

Model X にエアロカバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにエアロカバーを取り外す必要があります。

エアロカバーを取り外す:

1. 両手でエアロカバーを掴みます。
2. エアロカバーを手前に引いて支持クリップを外します。

エアロカバーを取り付ける:

1. エアロカバーをバルブステムに合わせます。
2. カバーの中央部をしっかりと押し固定した後、次に各スポークの外周をしっかりと押し込みます。全てのスポークが固定されるまで、カバーの反対側を持つ必要があるかもしれません。
3. カバーを手で叩かず中央部をしっかりと押し付けて固定します。
4. 最終チェックとして、各スポークを素早く引っ張り、所定の位置に固定されていることを確認します。

ジェミニホイールの場合、ホイール面の位置が合うまでカバー周辺を押します。キャップがカチッと合はまるまで、中央にある Tesla の「T」を押します。詳細情報については、[部品とアクセスサリページ 218](#) を参照してください。

注意: エアロカバーの脱落を防止するため、完全に固定されていることを確認してから、運転するようにしてください。

ラグナットカバーの取り外しと取り付け

Model X にラグナットカバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにラグナットカバーを取り外す必要があります。

ラグナットカバーの取り外し方:

1. Tesla の「T」のベース部分にある穴に、装備されていればラグナットカバーツール (一部の車両ではグローブボックス内に装備、またはベットの小型六角棒スパナを使用) の湾曲部分を挿入します。

注: ラグナットカバーツールは、自動車部品店やオンラインショップで購入することもできます。



タイヤのお手入れとメンテナンス



2. ラグナットカバーツールがラグナットカバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
3. 湾曲した部分がラグナットカバー中央に触れるように、ラグナットカバーツールをひねります。
4. ホイールからラグナットカバーが外れるまで、ラグナットツールをしっかりと引っ張ります。



ラグナットカバーの取り付け方:

1. ラグナットカバーの位置を合わせます。
 2. ラグナットカバーを強く押して元の位置に取り付けます。
- !** **注意:** 落下を防止するため、運転する前にラグナットカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、「コントロール」>「サービス」>「ホイール&タイヤ」>「ホイール」の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、Model X が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、Model X に取り付ける予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバターに表示されるホイールも変更されます。

前後異径のホイールを取り付けている車両の場合には、フロントとリアでホイールのサイズが異なりますので留意してください。タイヤの側面に記載されているフロントのタイヤサイズとリアのタイヤサイズを見て、サイズが合致しているか異なるかを確認します。ホイールのサイズが前後で異なる場合、以前のホイールと同様に取り付ける新しいホイールが前後で異なるよう十分に注意を払ってください。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。

! **警告:** ホイールを取り付けたり交換するときには、Tesla 認可のホイールのみを使用してください。Tesla で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。Tesla は、Tesla が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。

タイヤ空気圧監視



Model X にはタイヤ空気圧監視システムが装備されており、タイヤの空気圧が著しく不足している、または過剰である場合に、タイヤ空気圧インジケータライトを表示してドライバーに警告します。詳細については、運転席ドアピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルを参照するか、[タイヤ空気圧の保守 ページ 205](#) を参照してください。

各タイヤは、スペアタイヤ（装着されている場合）を含め、毎月冷間時に点検し、車両プラカードまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されている、車両メーカー推奨の空気圧まで空気を入れてください。（車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。）

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されており、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯します。したがって、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯したら、できるだけ早く停車してタイヤを点検し、適正空気圧まで空気を入れてください。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

次のことにご注意ください。TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに代わるものではありません。空気圧不足が TPMS タイヤ空気圧低下警告灯の点灯レベルに達していなくても、タイヤの空気圧を適正に保つことはドライバーの責任です。



TPMS の不具合

お客様の車両には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障指示燈も搭載されています。TPMS 故障指示燈は、タイヤ空気圧低下警告燈に組み込まれています。システムが故障を検出すると、指示燈が約 1 分間点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。

故障指示燈が点灯した場合、システムがタイヤ空気圧の低下を意図したとおりに検知したり、信号を伝えたりできない可能性があります。タイヤまたはホイールの交換などさまざまな要因によって TPMS の故障が発生し、TPMS が正しく作動しない場合があります。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障指示燈をチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。



TPMS 故障インジケータは、タイヤ空気圧インジケータ ライトに組み込まれています。Model X が TPMS に不具合を検出する場合、Model X の電源を入れるたびにこのインジケータが 1 分間点滅します。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換やローテーションは含まれません）、タイヤ空気圧警告を正確にするために TPMS センサーをリセットします。時速 15 マイル (25 km) 以上で 10 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされません。

注: ホイールを交換した後時速 15 マイル (25 km) で 10 分より長く走行するまでは、誤ったタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケータが頻繁に表示される場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約をし、タイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているのかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイドウォールにある情報を確認してください（[タイヤのマーキングについて ページ 230](#) を参照）。

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するようには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オールシーズン タイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」 (mud and snow) と表記されています。

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Tesla はウィンター タイヤの使用を推奨します。



警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、サマー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全と Model X の十分な性能を発揮するためには、適切な冬用タイヤを選択し、装着することが必要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず 4 輪ひと組で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。



警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています（[タイヤのマーキングについて ページ 230](#) を参照）。

タイヤのお手入れとメンテナンス

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ（夏用）は外気温が 40°F (5°C) 以下になるとトラクションが低減するので、氷雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 mi (km) は回転ノイズが聞こえます。

 **注意:** チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

 **注意:** チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキ ラインに触れないようにしてください。チェーンから Model X との接触を示す異常なノイズが聞こえたら、ただちに停車して、確認してください。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪道でのトラクションを高めるための次のタイヤチェーン（スノーチェーン）を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リア タイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤ サイズ	推奨チェーン
20"/22"	König K-Summit K67

 **注意:** サマータイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- エアサスペンションを「Standard」に設定し（[エアサスペンション ページ 81](#) を参照）。
- Model X に重量物を積載しないでください（重量物の積載はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります）。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 時速 48 km (30 マイル) を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

 **注意:** エアサスペンションは、損傷を避けるために「中」設定の状態に維持する必要があります。

 **注意:** 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキ ラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

 **注意:** 前輪にはスノーチェーンを使用しないでください。

外装のクリーニング

塗装への損傷を防ぐため、腐食性物質（油脂、鳥のフン、樹液、虫の死骸、タール汚れ、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、ただちに除去してください。Model X の次回の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールトールや頑固な油污れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照）。

Model X の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイール ウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイール ウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。
2. きれいでやわらかい布、冷水、またはぬるま湯、およびを使用して Model X を手洗します。中性の高品質自動車用洗剤。

 **注意:** 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリム ピース、エクステリアライト、カメラ レンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカークリーニング フォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物またはその他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. セーム革で徹底的に拭いて乾かします。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

イソプロピルアルコール ワイブ（ガラスや画面の汚れ落としに使用する物）で小さな汚れを落とします。

窓のクリーニングと手入れ

自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリア ガラスのクリーニングに関するベスト プラクティスについては、[外装のクリーニング ページ 211](#) の指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロント ガラスには実施しないでください。さもないとオートパイロット カメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。

注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。

カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。

土や破片の堆積を取り除くには、スプレー ボトルを使用してカメラ レンズに水を噴射します。レンズを露出させ、手や布で擦って土や破片を拭き取ろうとしないでください。破片を擦ると、レンズ表面に擦り傷がつくことがあります。

注: 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、フロントカメラ 筐体内（[カメラ ページ 19](#) を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」 > 「サービス」 > 「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。

 **注意:** 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、レンズの表面が損傷するおそれがあります。

 **注意:** 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

 **注意:** 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。

 **注意:** フロントガラスには水処理液を使用しないでください。水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

 **注意:** 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品（特に水酸化物を含むもの）を使用しないでください。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象になりません。

 **注意:** 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model X の表面から 12" (30 cm) 以上離してください。パーキング センサー（装備されている場合）に直接水流を向けないでください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。

 **注意:** ホースの水をウィンドウシール、ドアシール、フードシールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。

 **注意:** 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

 **注意:** 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。



洗車

注意: 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model X の表面にブラシなどが一切触れないで洗車します。

注意: 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。

注意: ワイパーの損傷を避けるために、Model X を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。

注意: 化学物質系のホイールクリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。

警告: Model X を充電している間、充電ポートに高速で液体を絶対にかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。一般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

室内灯

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

室内照明には石けんや化学洗浄剤を使用しないでください。一般用の洗浄剤や物質は、照明のレンズや部品を劣化させ、時間の経過とともにひび割れや損傷を引き起こす可能性があります。Tesla では、室内照明のクリーニングには、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布を使用し、汚れた部分やシミを優しく拭き取ることを推奨しています。室内照明には以下の照明が含まれますが、これらに限定されません（装備されている場合）：

- 足元スペース
- パドル
- 予測
- ドームライト
- アンビエント

石けんやマイルドな非界面活性剤クリーナーでインテリアをクリーニングする場合、まずすべての照明を以下のような何らかの手段で保護することを Tesla では推奨しています：

- 布。
- マスキングテープ。
- プラスチックフィルム。
- 車両インテリア用保護カバー。

シート

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

お客様の車両のシートは、レザーよりも柔らかく、耐久性に優れ、汚れに強い、特別な持続可能なヴィーガンレザーで作られています。Tesla では、性能と新車同様の外観を維持するために、車内の定期的な清掃と掃除機がけを推奨しています。万能クリーニングキットを [Tesla ショップ](#) で販売しています。

一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れることのないようにしてください。このような物質は、時間の経過とともに損傷、劣化、変色を引き起こす可能性があります。

一般的な汚れやシミは、内装の表面からできるだけ早くこぼした液体や化学物質の残留物を拭き取ってください。柔らかい布（できればマイクロファイバー）をぬるま湯と中性石鹼で湿らせ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります。その後、糸くずの出ない柔らかい布で水分を拭き取ります。ドライヤーで乾かさないうでください。石鹼以上のものは、刺激が強すぎる場合があります。他のクリーニング溶液、消毒剤、コンディショナー、保護剤の使用は推奨されません。

白色のシートの場合：最後の手段として、柔らかい布（マイクロファイバーなど）にぬるま湯とイソプロピルアルコールを含ませ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります（黒色のシートにはこの方法を使用しないでください）。イソプロピルアルコールが残っている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。イソプロピルアルコールを過度に使用したり、長時間使用したりすると、素材の上塗りや傷め、汚れやすくなり、また保証を受けることができなくなります。

注意: アルコール、漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）、柑橘類、ナフサ、シリコン系の添加物を含む製品は使用しないでください。シートに直接スプレーをかけないでください。シートベルト機構に水が入らないようにしてください。

さまざまな衣服、アクセサリー、化粧品には染料や油分が含まれている場合があります。時間が経つとシートに移染することがあります。このようなシミを防ぐのは難しく、損傷を与えることなくシミを取り除くことが不可能な場合もあります。

注意: Tesla 純正品ではない市販のシートカバーは使用しないでください。シートカバーはシートの汚れや損傷の原因となり、シートの乗員センサーの感度に影響を及ぼしたり、エアバッグの展開を制限したりするおそれがあります。

レザーシートの場合、革製品は色落ちしやすい傾向があるので、特に明るい色の革では、変色する可能性があることにご注意ください。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。洗剤や市販のレザークリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかに関わらず、洗剤や化学洗剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドアシール

湿らせた布でドアシールを拭いて汚れを取り除いてください。ドアシールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドアシールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。

タッチスクリーンおよびインストゥルメントパネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用し、タッチスクリーンおよびインストゥルメントパネルを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。フロントタッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを作動させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「画面クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、「長押しして終了」を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

注意: 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。

注意: 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルを損傷する恐れがあります。

警告: エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

警告: 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的な外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチアップペンを使用します。

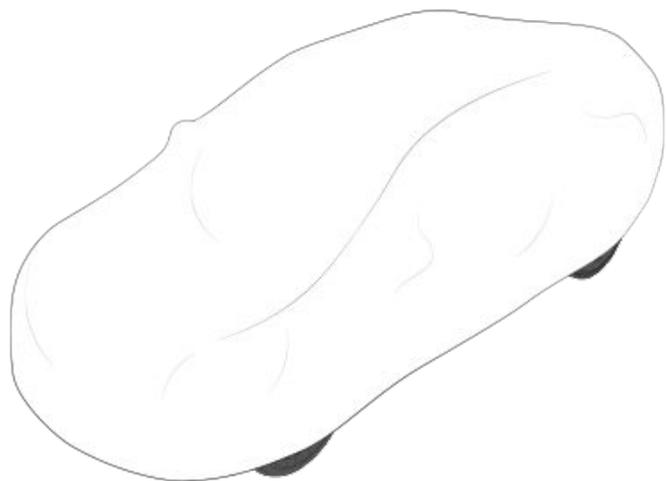
石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、<https://www.tesla.com/support/body-shop-support> をご参照ください。

注意: カッティングペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model X を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla ショップから購入できます。



⚠ 注意: Model X に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、簡単に洗えるようにするためには、<http://www.tesla.com> でオンライン購入可能な Tesla 純正フロアマットを使用してください。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

⚠ 警告: マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上に重ねないでください。



フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバのみです。レベルが低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルター キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。
4. 液体がフィルターネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。



5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラー キャップを再び取り付けます。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model X がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: 自動車用のエタノールベースのフロントガラスウォッシャー液だけを使用してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象とならない損傷が発生する可能性があります。

注意: はっ水剤や虫洗剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が 40° F (4° C) 以下の場合には、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロントガラスの視界が妨げられることがあります。

警告: フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパーブレードの確認と清掃

定期的にワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果が下がる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果が無い場合は、ワイパーブレードを交換してください。

注: ワイパーが有効に機能していないと、フロントガラスのカメラの視認性が低下し、オートパイロット機能の性能低下や利用不可につながる可能性があります。詳細については、[カメラ ページ 19](#)を確認して、[オートパイロット制限と警告 ページ 147](#)を参照してください。

ワイパーブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパーブレードを少なくとも1年に1回交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ 26 インチ (650 mm)、助手席側は長さ 21 インチ (530 mm) である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパーアームに接続することができない可能性があります。

Tesla ショップから交換用のワイパーブレードを購入することができます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパーシステムおよびフロントガラスが損傷するおそれがあります。



フロントガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液

注: ワイパーの洗浄システムは、Model X のワイパー ブレードと一体になっています。

ワイパー ブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。
2. 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。

3. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。

! **注意:** ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

4. 2つのタブをつまみ、ワイパーブレードをワイパーアームから外します。

! **注意:** ワイパーブレードにはまだウォッシャーのホースが繋がっており、取り外すことはできません。



5. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパーアームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
6. ウォッシャー液が漏れないように注意しながら、ウォッシャーのホースをワイパーブレードから外します。



7. アームにブレードをスライドさせるときは、ワイパーアームを持ち、ロックングタブを押します。
8. ウォッシャーのホースを新しいワイパーブレードのニップルにしっかり差し込みます。

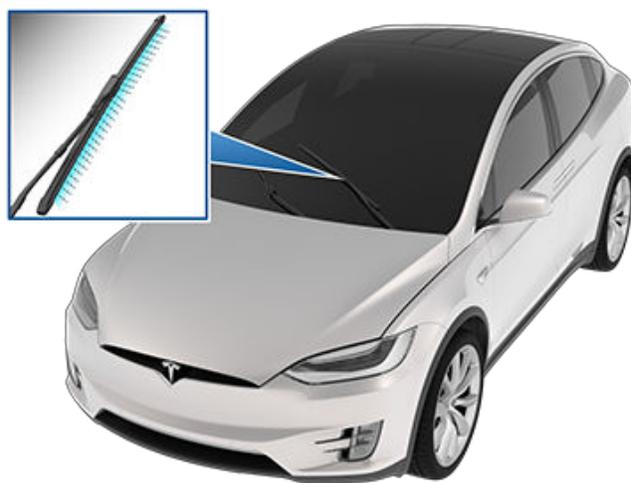
9. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。

! **注意:** 新しいブレードが所定の位置にロックされ、動かないことを確認します。押したり引いたりして確認します。ロックされていないと（ロックされると「カチッ」と音がして感触があります）、使用中にワイパーブレードが外れて重大な損傷につながるおそれがあります。

10. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常の位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャー液が噴射されない場合は、細いワイパーでノズル内のつまりを取り除いてください。



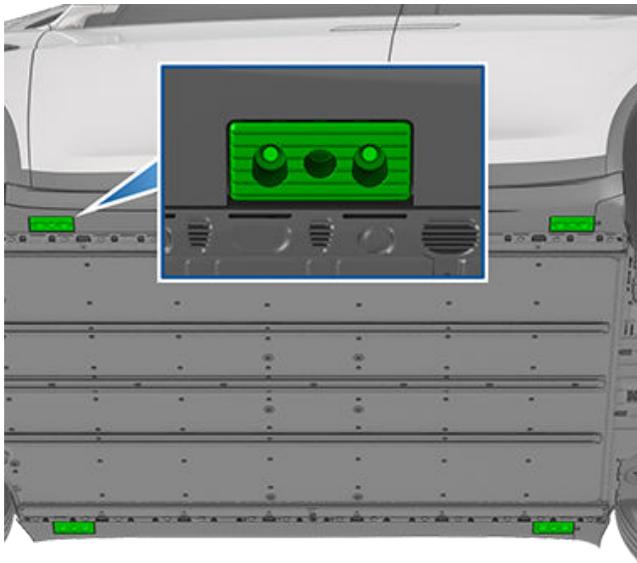
! **警告:** Model X の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液が眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。



以下の手順に従って Model X をジャッキアップします。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、リフトポイントおよび警告を含め、これらの指示が理解されていることを確認してください。

1. Model X をリフトポストの間に置きます。
2. Model X にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングをします (ジャッキモード ページ 217 を参照)。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「サスペンション」の順にタッチします。
 - ブレーキペダルを踏んでから「極高」をタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ジャッキモード」をタッチして、セルフレベルリングを無効にします。
3. フアルコンウィングドアを閉じてください。
4. リフトのアームパッドを図に示す指定されたボディリフトポイントの下側に当ててください。

警告: リフトアームパッドをバッテリーの下側やサイドレールの下に配置しないでください。



5. リフトのアームパッドの高さと位置を適切に調整します。
6. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフトアームパッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
7. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。
8. 車高を下げた後、「コントロール」 > 「サービス」の順にタッチしてジャッキモードを解除します。

警告: エアサスペンションシステムは、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングしようとしています。引き上げやジャッキアップを行うときは、車両をジャッキモードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。エアサスペンションを無効にしておかないと、Model X がセルフレベルリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中であっても絶対に Model X を持ち上げないでください。

警告: 正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: 車両およびその周囲を監視することは作業者の責任です。Model X を上げるまたは下げるときは、エリア内に何もいないこと、ならびにドア、フロントトランク、およびリフトゲートが必要に応じて損傷を防止するために閉じられていることを確認します。

注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフトアームパッドは専用ボディリフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model X で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model X を損傷した場合は保証対象にはなりません。

ジャッキモード

警告: ジャッキモードを有効にできなかった場合、車両がセルフレベルリングを行い、損傷、けが、または死亡につながる可能性があります。

Model X にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、車両は自動的にセルフレベルリングしようとしています。車両のジャッキアップ時やリフトアップ時は、損傷を避けるため、「ジャッキモード」を起動してセルフレベルリングを無効にしてください。ジャッキモードは自動的に実行されるセルフレベルリングを防止します。

注: 車両重量が何かの物体に支えられている (バンパーが縁石に乗り上げているなど) 場合など、ジャッキモードが予期せず有効になる場合があります。

部品、アクセサリー、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリーのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla からは Model X の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリーは、Tesla ストアまたはオンライン (www.tesla.com) でご購入いただけます。

注: 車両にアクセサリーを追加すると、予想航続距離や車両寸法などが影響を受ける場合があります。

注: アクセサリーによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model X に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任を負いません。

⚠ 警告: 無認可の部品/アクセサリーの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、Model X の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

⚠ 警告: 無認可のアクセサリーの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

Model X が衝突した場合は、必ず Tesla の純正部品で修理できるように Tesla または Tesla 認定ボディショップにご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー (多くの自動料金所システムで使用されるもの) を Model X の車内に取り付ける際は、図のようにフロントガラス最上部にトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。専用の配置については RFID の製造会社の指示を参照してください。

注: 防水トランスポンダーをフロント ライセンスナンバープレート。



応急タイヤ修理キットは [Tesla ショップ](#) でお求めになれます。

警告:

- 空気の抜けた状態のタイヤで走行しないでください。
- タイヤに刺さっている異物が見つかったも取り除かないでください。
- コンプレッサーは 20 分以上連続してオンにしないでください。
- 高速での運転や長時間運転はしないでください。応急修理は、車両が早急かつ安全にタイヤ修理ショップにまでたどり着けるようにするためのものです。応急修理したタイヤで長時間走行すると、深刻な損傷や負傷の原因になる可能性があります。

注意: タイヤ空気入れキットに記載されているすべての指示や警告に従ってください。

タイヤの修理

タイヤ空気入れキットは応急処置のみに利用できます。損傷したタイヤはただちに修理または交換する必要があります。1/4 インチ (6 mm) より大きい穴が開いた場合、トレッドがひどく損傷している場合、タイヤが裂けている場合、タイヤがリムから外れている場合は、ロードサイド アシスタンスを呼んでください。タイヤを応急修理方法:

1. 車両を安全で、開けた場所に駐車します。
2. コンプレッサーがオフであることを確認します。
3. 車両に取り付けられているパンクしたタイヤのバルブ キャップを取り外し、透明なシーラント チューブをバルブ穴に接続します。



4. 車両の低電圧ソケットの一方に電気プラグを挿し込みます。

5. セレクター スイッチをタイヤのアイコンまで回してからオンにします。シーラントがタイヤ内に正しく注入されると、ゲージに現在のタイヤ空気圧が表示されます。理想的な圧力は、車両の運転席側ドア ピラーに表示されています。数分経って、ゲージに理想的な圧力が表示されていることを確認したら、次に進みます。

注: 15 分間連続して作動させた後も、ゲージに 22 psi (1.5 bar) 未満の圧力が表示される場合、透明なシーラント チューブを取り外し、タイヤのバルブ キャップを元通りに締めます。数フィート (数メートル) 走行して、タイヤ内にシーラントを行き渡らせます。Model X を駐車し、ステップ 2~5 を再度行います。それでも効果がない場合は、Tesla ロードサイドアシスタンスに電話します。

6. キットをオフにしてチューブをタイヤから外します。タイヤのバルブ キャップを元通りに締めます。
7. 記載されている制限速度 (タイヤ修理キットのステッカーに記載) の範囲内で、急激な加速や減速をしないで運転してください。約 10 分間走行したら、安全で開けた場所に再び駐車します。シーラントがタイヤ内に行き渡ったら次にタイヤに空気を入れます。

警告: このシーラント液剤は -40°F (-40°C) から 122°F (50°C) の間で効力を発揮します。ラベルに記載されている有効期限を過ぎたシーラント液剤は使用しないでください。使用したまたは期限の切れたキャニスターの交換に関する詳細については、[キャニスターの交換 ページ 220](#) を参照してください。

タイヤに空気を入れる

1. タイヤ コンプレッサーがオフであることを確認します。
2. スイッチをポンプのアイコンまで回します。
3. 車両の低電圧ソケットの一方に電気プラグを挿し込みます。
4. タイヤのバルブ キャップを取り外し、黒色のインフレーション チューブをバルブ穴に接続します。



応急タイヤ修理キット

5. コンプレッサーをオンにして、車両の運転席側ドアピラーに表示されている理想的な圧力に達するのを待ちます。
6. 黒色のインフレーションチューブを取り外し、タイヤのバルブキャップを元の位置に取り付けます。
7. コンプレッサーをオフにし、安全で乾燥した場所に保管します。

キャニスターの交換

1. 製造会社から、または <https://shop.tesla.com/> からオンラインで、リフィルを購入します。
2. 透明なシーラントチューブを取り出し、脇に置いておくことで、使用したキャニスターを取り外します。
3. 赤色のリリースボタンを押しながらキャニスターを持ち上げて外します。
4. 新しいキャニスターをケースにしっかりと押し付けて挿入します。透明なシーラントチューブを元通りに取り付けます。新しいキャニスターの使用期限を書き留めます。



5. 空になったキャニスターは地域の規則に従って適切に廃棄します。

ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。<https://www.tesla.cn/support/do-it-yourself-guides> () へ移動する際は、販売地域と/言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリの最新リストを表示してください。



注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で行ってください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

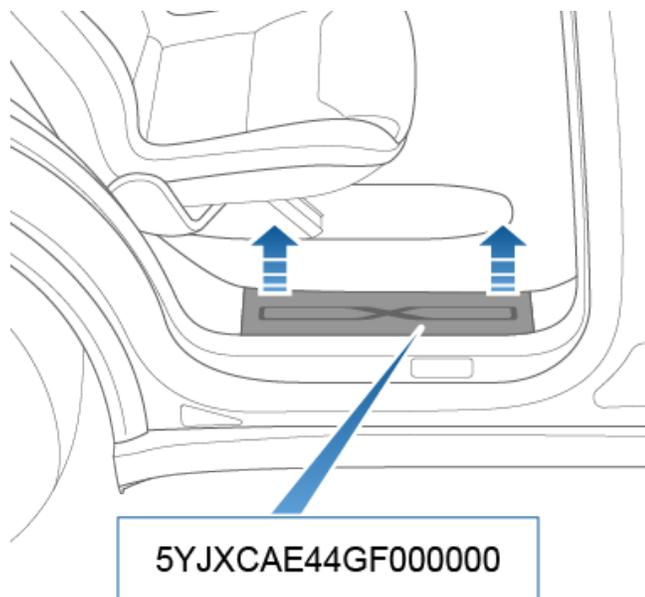
車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

- 「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- 車両の助手席側リアドアのシル パネル下のシャーシに刻印されています。シル パネルを取り外すには、平らで刃のついた工具を使って慎重に上に引き上げます。

注: 2016 年 6 月 2 日頃から 2017 年 2 月 28 日頃の間に製造された車両では、シャーシに VIN は刻印されていません。

! **注意:** 損傷の可能性があるため、VIN を見るためにシル パネルを取り除くことはお勧めしません。このパネルは、壊れやすいクリップで固定されています。シル パネルを取り除くことによって生じた損傷は保証対象にはなりません。



排気コントロール ラベル

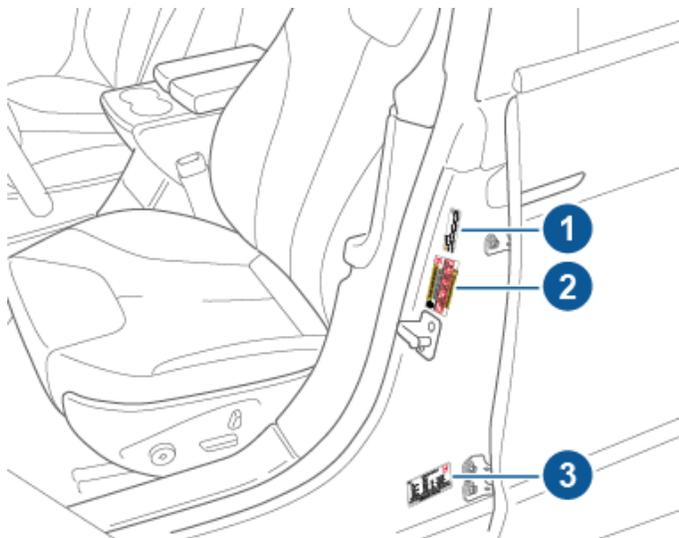
排気コントロールラベルは、リフトゲートの開口面上に貼り付けられています。

注: 2022 年式以降の車両の場合、エミッションコントロールラベルはフロントフードの内側にあり、図示されているラベルと同じではない可能性があります。



車両ラベル

車両の当初のタイヤ サイズおよび圧力、ならびに GVWR（車両総重量）および（定格総軸荷重）を理解することが重要です。これらの情報は Model X に貼付されている 2 枚のラベルで確認することができます。



1. けん引ラベル（装備されている場合）
2. タイヤと荷重情報ラベル
3. 車両識別ラベル

注: Model X では、オプションのけん引パッケージが装備されている場合のみ、けん引を利用できます。

-  **警告:** Model X に過積載すると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model X が損傷する可能性があります。
-  **注意:** Model X に大量の液体を保管することは絶対に避けてください。液体を大量にこぼすと、電気部品が故障する原因となります。

けん引ラベル

注: Model X にけん引ラベルがあるかどうかは、車両の製造日によって異なります。

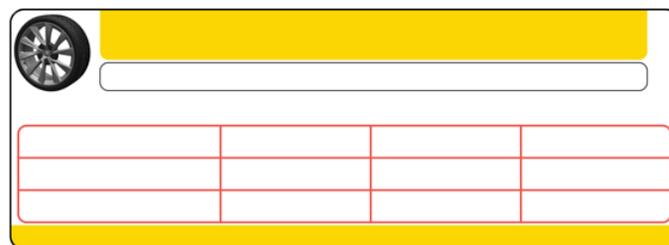
Model X では、オプションのけん引パッケージが装備されている場合のみ、けん引を利用できます。けん引パッケージが装備されている場合、トレーラーをけん引する際に適用すべきタイヤ空気圧についてオーナーズ マニュアルを参照することを求める指示がけん引用ラベルに記載されています。タイヤ情報ラベルに印刷されているタイヤ空気圧を適用しないでください。その代わりに、画面上のオーナーズ マニュアルの「運転」セクションにある「トレーラーの牽引」トピックを参照してください。

 **IMPORTANT!**
For towing and high speed driving, please refer to  owner's manual for tire inflation pressure requirements.

タイヤと荷重情報ラベル

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

ラベルのフォーマット



将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: Model X の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

-  **警告:** タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧は、けん引時には適用しないでください。けん引時は、タイヤ空気圧を高めなければなりません。けん引時に求められるタイヤ空気圧に関する情報は、をご覧ください [牽引とアクセサリ](#) ページ 96。

車両識別ラベル

車両識別ラベルの記載事項。

- GVWR - 定格車両総重量 Model X の最大許容総質量。この値は、工場で選択可能な総重量が最大のオプションを装備した Model X、すべての乗員、液体、貨物の重量として計算されます。
- GAWR FRT および GAWR RR - フロントアクスルとリアアクスルの定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

-  **注意:** 損傷を防止するため、Model X に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

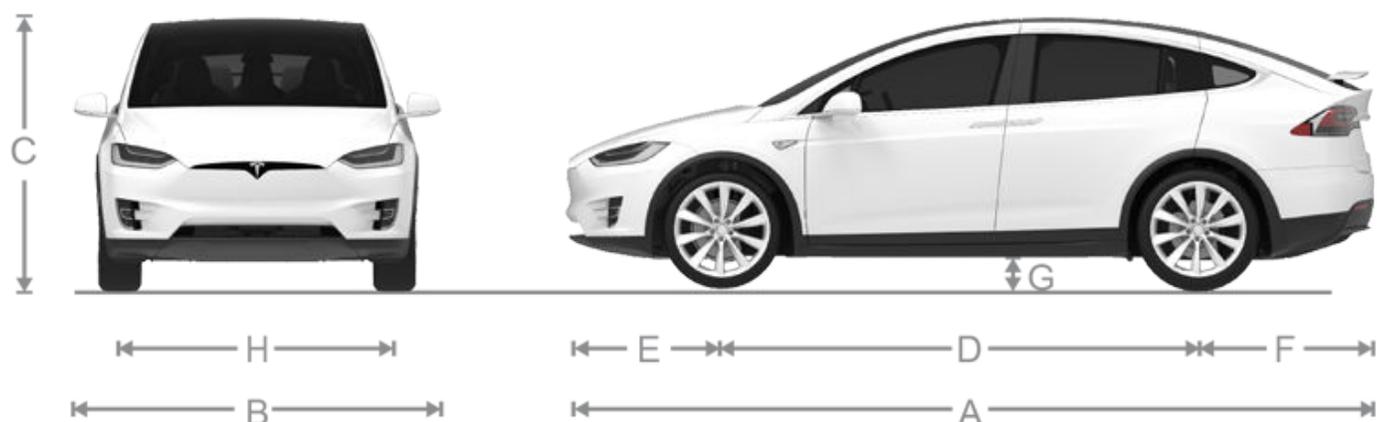


正しい積載制限の決定手順

1. 車両のプラカードで、「乗客と積載物の合計重量は絶対にXXX kg または XXX ポンドを超えないこと」という記載を見つけてください。
2. 車両に乗車する運転者と乗員の総重量を計算します。
3. XXX kg または XXX ポンドから運転者と乗員の総重量を引きます。
4. その結果得られる数字は積載物と荷物の許容可能な積載量に等しくなります。例えば、「XXX」が 1400 ポンドで、運転者と乗員合わせて 5 人が乗車し、各自の体重が 150 ポンドの場合、利用可能な積載物と荷物の積載量は 650 ポンドになります。 $(1400 - 750 (150 \times 5) = 650 \text{ ポンド})$
5. 車両に積載する荷物と積載物の総重量を求めます。この重量が、手順 4 で計算した利用可能な積載物と荷物の積載量を超えると安全性が損なわれるおそれがあります。
6. トレーラーをけん引する場合、トレーラーの荷重は車両にかかります。これにより、車両で利用可能な積載物と荷物の積載量がどのように減少するかについては、このマニュアルを参照してください。

⚠ 警告: 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。衝突事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

外形寸法



A	全長	198.9 in	5,052 mm
B	全幅 (ミラー含む)	89.4 in	2,271 mm
	全幅 (ミラー折りたたみ時)	81.6 in	2,072 mm
	全幅 (ミラー含まない)	78.7 in	1,999 mm
C	全高	66 インチ*	1,684 mm*
D	ホイールベース	116.7 インチ	2,965 mm
E	オーバーハング - フロント	38.9 in	989 mm
F	オーバーハング - リア	43.2 インチ	1,098 mm
G	最低地上高:		
	標準、スキー付き	7 in	171 mm
	標準、スキーなし	7 in	183 mm
	最高、スキー付き	8 in	211 mm
	最高、スキーなし	9 in	223 mm
H	トレッド - フロント	67.1 in	1,705 mm
	トレッド - リア	67.3 in	1,710 mm

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。

**車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。

⚠ 注意: 構成 (車高またはホイール選択) に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 8 フィート (2.5 m) まで開くことができます。リフトゲートを開いたときの高さを調節 [ページ 29](#) を参照してリフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

室内高	フロント	41.7 in	1059 mm
	リア	40.9 in	1039 mm
	サード	37.1 in	942 mm



寸法

足元スペース	フロント	41.2 in	1046 mm
	リア	38.4 in	975 mm
	サード	32.7 in	831 mm
肩周りスペース	フロント	60.7 in	1542 mm
	リア	56.8 in	1442 mm
	サード	40 in	1016 mm
腰周りスペース	フロント	55.6 in	1412 mm
	リア	59 in	1498 mm
	サード	38.5 in	978 mm

貨物量

	フロントトランク	リア*	合計
7シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2166 L (76.5 立方フィート)**	2353 L (83.1 立方フィート)
6シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2002 L (70.7 立方フィート)**	2189 L (77.3 立方フィート)
5シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2299.5 L (81.2 立方フィート)**	2486.5 L (87.8 立方フィート)

* 1列目シート後部の最大貨物容量リアトランクの357 L (12.6 立方フィート) 貨物部分を含む (装備されている場合は、3列目シート後側部分)

** 2列目シートは最前位置に置かれる、および/または折りたたまれています。

モータータイプ

モーター	仕様
フロント モーター	AC 永久磁石同期モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
リア モーター	AC インダクション モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
公称電圧	320 ボルト

トランスミッション

タイプ	仕様
タイプ	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	小型モーター: 9.0:1 大型モーター: 9.7:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

ステアリング	仕様
タイプ	可変ラック アンド ピニオン式電動パワー ステアリング、速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.33
最小回転半径 (最外輪外面)	40.3 フィート/12.3 m

ブレーキ

ブレーキ	仕様
タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスドスタビリティコントロール/電子アクセラレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98"/355 mm リア: 14.37"/365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26"/32 mm サービス限界: 1.18"/30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10"/28 mm サービス限界: 1.02"/26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.346 インチ/8.8 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.354"/9 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー
ブレーキ ディスク摩擦ペア	フロント: .31"/8 mm

ブレーキ	仕様
	リア: .28"/7 mm

サスペンション

サスペンション	仕様
フロント	独立、仮想ピボット ダブルウィッシュボーン
リア	独立、仮想ピボット ダブルウィッシュボーン

バッテリー - 低電圧

バッテリー - 低電圧	仕様
定格	33 アンペア時以上
電圧と極性	低電圧 マイナス (-) アース

バッテリー - 高電圧

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	液冷式リチウムイオン (Li-ion)
温度範囲	Model X を 140° F (60° C) を越える温度環境または -22° F (-30° C) を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	サイズ	オフセット
20 インチ - オールシーズン - フロント	20 x 9.0J	40 mm (1.575 インチ)
20 インチ - オールシーズン - リア	20 x 9.5J	35 mm (1.378 インチ)
20 インチ - サマー - フロント	20 x 9.0J	40 mm (1.575 インチ)
20 インチ - サマー - リア	20 x 10.0J	35 mm (1.378 インチ)
22 インチ - サマー - フロント	22 x 9.0J	40 mm (1.575 インチ)
22 インチ - サマー - リア	22 x 10.0J	35 mm (1.378 インチ)
ラグナットトルク	129lb ft (175Nm)	
ラグナットソケット サイズ	21 mm	

注: Model X をジャッキアップする方法については、[ジャッキ アップと引き上げ ページ 217](#) を参照してください。

タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤの種類	規模	荷重指数 / 速度定格
20 インチ - Continental - フロント	265/45R20	108 / V
20 インチ - Continental - リア	275/45R20	110 / V
22 インチ - Continental、Goodyear、Pirelli - フロント	265/35R22	102 / W
22 インチ - Continental、Goodyear、Pirelli - リア	285/35R22	106 / W

「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは運転席側のドアピラーにあり、運転席側ドアを開けると確認することができます ([タイヤ空気圧の保守 ページ 205](#) 参照)。

冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。

タイヤのマーキングについて

タイヤメーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。また、安全標準の認定やリコールの場合のために、タイヤ識別番号 (TIN) も提供されます。



注: Tesla 認定タイヤはタイヤのサイドウォールにある「T マーク」規格 (T0、T1、T2 など) で識別できます。Tesla 認定タイヤは所有されている車両に使用すると、パフォーマンス、安全性、信頼性、および耐久性が最適になるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、[サービスマニュアル](#)を参照してください。

1. **タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2. **タイヤ幅:** この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3. **アスペクト比:** この 2 桁の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4. **タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5. **ホイール径:** この 2 桁の数字はホイールリム径をインチ単位で示したものです。
6. **荷重指数:** この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。



7. **速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度 (「Y」の定格を上回る)。
8. **タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9. **最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
10. **最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11. **米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN).** 先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12. **トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの磨耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐磨耗性があります。
13. **トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14. **温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。

統一タイヤ品質等級基準

次の情報は、国家道路交通安全局 (NHTSA) によって開発されたタイヤ等級基準に関係するもので、トレッドの摩耗、トラクション、温度性能によってタイヤを等級付けするものです。深いトレッドをもつタイヤやスタッドレス タイヤに関しては、これらの情報の表記は義務づけられていません。

必要に応じて、品質等級基準はタイヤのトレッド ショルダーと最大セクション幅の間のサイドウォール部に表示されています。
例:

- TREADWEAR 180
- TRACTION AA
- TEMPERATURE A

次に品質等級基準について説明します。

注: この表記要求に加えて、乗用車用タイヤは国家安全要件に従う必要があります。

トレッド摩耗

トレッド摩耗等級は、管理された状態で政府指定のテストコースでテストされた時点のタイヤの摩耗率に基づいた比較尺度です。

たとえば、等級 150 のタイヤは、政府テストコースで等級 100 のタイヤよりも 1.5 倍ほど摩耗性が良好だということになります。タイヤの相対的性能は、その実際の使用状況によりますが、運転習慣や整備状況、路面特性、天候などの変動によって基準から大きく離れます。

トラクション

トラクションの等級は高い順に AA、A、B、C となります。この等級は、アスファルトとコンクリートのテスト路面において管理された条件下で測定される、濡れた舗装道路でのタイヤの停止性能です。評価 C のタイヤはトラクション性能が低い可能性があります。

⚠ 警告: 不具合のあるタイヤは危険です。タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、運転しないでください。車両および乗員の安全を損なうことがあります。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。

⚠ 警告: タイヤにつけられるトラクション等級は、直線路でのブレーキテストに基づき、加速やコーナリング、ハイドロプレーニングやピークトラクション特性を含んでいません。

温度

温度等級は、A (最高)、B、C に分かれ、タイヤの発熱に対する耐性と熱の拡散能力を、室内研究所内の特定の試験用ホイールによる管理された環境下で評価したものです。高温が継続すると、タイヤが変性して寿命を短くし、過度な高温は突然のタイヤ損傷につながります。

等級 C は、国家自動車安全標準 No. 109 で乗用車が必ず満たさなければならない最低レベルの性能です。等級 B と A は、研究所内の試験用ホイールでの性能レベルが最低条件を上回っていることを表します。

⚠ 警告: タイヤの温度等級は、空気圧が適切で、過負荷状態でないタイヤに対して定められます。過度な速度、空気圧不足、過大な荷重などのいずれかあるいは複数の組み合わせにより、熱が蓄積されてタイヤ損傷の可能性が高まります。

タイヤと荷重情報に使用される専門用語

一般的にホイールおよびタイヤに使用される用語

アクセサリ重量	工場に取り付けられる機器として用意されているものの合計重量 (交換されたものより多い)。
ビード	タイヤ内部の縁のことで、この部分がリムに密着し、気密性のあるシールを形成する。ビードはプライコードで包まれて補強された鋼線で構成される。



冷間時タイヤ空気圧	3 時間を超える停車かまたは 1.6 km 未満の走行後のタイヤ空気圧。
車両重量	標準の車両重量で、装着されているオプション機器や適正レベルの液体を含む。
車両総重量	運転者、乗員、負荷、荷物、装備を含む車両の最大許容重量。
kPa (キロパスカル)	圧力を測るメートル系単位。1 キロパスカルは約 0.145 psi。
最大空気圧	<p>タイヤに入れられる空気の最大圧力。この圧力は、タイヤのサイドウォールに psi 単位で示されています (lb/in²)。</p> <p>⚠️ 注意: タイヤに刻印されているこの圧力は、タイヤ メーカーが認めている最大値です。Tesla が Model X に推奨している圧力ではない。</p>
最大負荷時車両重量	車両重量、アクセサリ重量、車両の積載容量、製造オプション重量の総和。
製造オプション重量	取り付けられたオプションのうち交換された標準品よりも 1.4 kg (3 ポンド) 重いものと、車両重量やアクセサリ重量に含まれていないものの合計。
PSI (lb/in ²)	Pounds per square inch (平方インチ当たりのポンド、タイヤ空気圧の測定単位)。
推奨タイヤ空気圧	テスラが定めたタイヤ空気圧で、工場で車両に取り付けられたタイヤの種類に基づく。この情報は、ドアピラーの「タイヤと積載荷重情報」ラベルにあります。
リム	タイヤあるいはタイヤとチューブを支持する金属で、これにタイヤのビードが密着する。
車両の積載容量	シート数に 68 kg (150 ポンド) をかけた値に、荷重/荷物の規定量を加えたもの。

荷重積載に関する定義

通常の乗員体重	荷重制限を計算するには、表の 2 列目に規定されている乗員数に 68 キログラム (150 lb) を掛けます (このオーナーズ マニュアルの車両荷重のトピックを参照してください)。
乗員の配置	車内に座る乗員の配置
旅客用車両タイヤ	(P またはハード メトリック) 10000 ポンド (4536 kg) 以下の車両総重量 (GVWR) を有する旅客車両、多目的旅客車両、およびトラックに使用されるタイヤ。
ライトトラック タイヤ	(LT) 積載容量を追加する必要がある場合に使用するタイヤ。
リム直径	ビード シートの呼び径
指定リム サイズ	リムの直径と幅。
指定リム タイプ	スタイルまたはコードで製造者が指定するリム
リム幅	トリム フランジ間の公称距離
タイヤの車両最大積載量	各車軸に最大積載された車両の荷重を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。
タイヤの車両通常荷重	各車軸に整備荷重、アクセサリ重量、および通常乗員重量を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。

空気入りラジアルタイヤの定期

ビードの分割	ビード内のコンポーネント間にあるボンドの内訳。
バイアス タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが 90 度以下の角度で交互にトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
カーカス	トレッド、サイドウォール部分を除いたタイヤの構造部分で膨らまされた時に荷重を支えます。
チャンキング	トレッドまたはサイドウォールの部分的に剥がれ落ちること。



ホイールとタイヤ

コード	タイヤでパイルを形成する編み込み部分。
コード剥離	コードをゴム製コンポーネントから剥離する。
クラック	タイヤのトレッド、サイドウォール、またはライナーでコード材質まで届く部分。
高空気圧対応タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
グループ	トレッド リブ間の隙間。
インナー ライナー	タイヤ内に膨張媒体を含むチューブレスタイヤ内側を形成する層。
インナー ライナー剥離部分	カーカスのコード材料からインナー ライナーが剥離した部分。
定格荷重	ある空気圧で膨らませられたタイヤが支えられる最大荷重。
最大定格荷重	そのタイヤに許容される最大空気圧力におけるタイヤの定格荷重。
リムの測定	取り付けられるタイヤに必要なリムの実寸法
オープン スプライス	コード材料と接合するトレッド、サイドウォール、またはインナー ライナーの張り合わせ部分の剥離
外径	新しいタイヤを膨らましたときの直径。
全幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンド、またはリブを含む。
プライ	平行に並ぶゴム被覆されたコードの層。
プライの剥離	プライ間のゴム コンパウンドの剥離。
空気入りタイヤ	ゴム、化学薬品、繊維、および金属またはその他の素材から作られ、自動車のホイールに取り付けられた時にけん引力を伝達する機械的な装備で、荷重を支えるために気体、または液体が充填される。
ラジアル タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが90度の角度でトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
補強タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
断面幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンドを除く。
サイドウォール	タイヤのトレッドとビード間の部位。
サイドウォールの剥離	サイドウォールのコードからゴム コンパウンドが剥離した部分。
スノータイヤ	ASTM F1805-00 に記載されているような雪上けん引試験を用いる場合（参照により統合、§ 571.5 を参照）、少なくとも1つのサイドウォールに S5.5 (i) で指定された Alpine Symbol でマークされ、ASTM E1136-93（2003年再承認、参照により統合、§ 571.5 を参照）標準タイヤ試験タイヤと比較して110以上のけん引インデックスを達成するタイヤ。
テスト用リム	テストに使用されるタイヤを付けたリムで、そのタイヤでの使用に適切と認めらるすべてのリム。
トレッド	タイヤで路面に接触する部分。
トレッドリブ	タイヤ円周のトレッド部分。
トレッドの剥離	カーカスからトレッドが剥がれる状態。
トレッド摩耗インジケータ (TWI)	主要なグループ内に設けられた表示部分で、トレッドの摩耗具合を目視で確認できる。
ホイール固定具	テスト中、ホイールとタイヤ アセンブリーを固定する。



ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

Model X に搭載されるフロントモーターはホイールが回転すると発電します。Model X を輸送する時は必ず 4 本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行わないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定している以外の方法で Model X の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: Tesla では、Tesla ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

注: 車両を輸送するために平ボディトラックにウィンチを使って積載する際、または駐車位置から車両を移動させる必要がある場合は、低速（時速 3 マイル (5 km) 以下）でごく短距離（30 フィート (10 メートル)）であれば輸送モードを有効にする限り（[輸送モードの有効化 ページ 236](#) 参照）タイヤを回転させることができます。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

Model X の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで Model X を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 35 マイル (55 km) 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リアタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを Tesla は推奨します。

注: フロントホイールをタイヤスケートに載せて Model X を輸送することは推奨されませんが、ホイールロックなどを使用してフロントタイヤを固定しタイヤが回転しないよう細心の注意を払って実施できる場合はこれに限りません。フロントタイヤが回転する恐れがある状況では絶対に車両の輸送を行わないでください。



注意: 平ボディトラックに Model X ウィンチで載せる前に輸送モード（[輸送モードの有効化 ページ 236](#) 参照）を有効にしてください（平ボディトラックに引き上げて積載する - [けん引用アイボルト使用 ページ 236](#) 参照）。輸送モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用した Model X の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

警告: Model X には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています（[高電圧コンポーネント ページ 188](#) 参照）。Model X を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

セルフレベルング エアサスペンションシステムの無効化

Model X にエアサスペンションシステムが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベルングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで「コントロール」 > 「車高」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを踏み、「非常に高い」にタッチして高さを最大にします。
3. 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ジャッキモード」の順にタッチします。

注: 走行速度が時速 4 マイル (7 km) を超えた場合、ジャッキモードはキャンセルされます。



車両輸送者向け注意事項

警告: エアサスペンションシステムが搭載された車両の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

輸送モードの有効化

輸送モードは、Model X を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。輸送モードが有効になっている時は、車両のサイドブレーキが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。輸送モードを有効にするには以下が必要です。

- 低電圧電源が必要です。Model X に電源が供給されていないと、タッチスクリーンが使用できないため輸送モードを有効にすることはできません。
- Model X はキー FOB を検出しなければなりません。輸送モードはキー FOB が検出されている時のみ有効となります。
- 車両が充電器に接続されていないことを確認します。Model X にプラグが挿入されている場合、輸送モードは使用できません。

輸送モードを有効にする:

1. 車両がパーキングになっていることを確認します。
2. タイヤに輪留めをかける、または Model X が固定されていることを確認してください。
3. ブレーキペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model X の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. 「輸送モードに入ります」をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model X が輸送モードであることを示します。Model X はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

輸送モードをキャンセルするには、「輸送モードを終了」をタッチするか、Model X をパーキングにシフトします。電話キーが検出されない場合、輸送モードをキャンセルすると、Model X の電源がオフになります。車両の再始動にはカードキーが必要な場合があります。

注: 輸送モードを有効にした後で Model X の低電圧電源が失われると、輸送モードはキャンセルされます。

注意: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディトラックに引き上げて積載する - けん引用アイボルト使用

1. けん引用アイボルトを見つけます。

2. けん引用アイボルトカバーの上部にあるスロットに小さなマイナスドライバーを差し込み、ゆっくりと引いて上部の留め具からカバーを外します。



注: けん引用アイボルトカバーは牽引が終わって再度取り付けるまで大切に保管してください。

3. けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



4. けん引ボルトにウィンチケーブルを取り付けます。

注意: 引く前に、けん引用アイボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

5. 輸送モードを有効にするは、「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチしてください。
6. Model X をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。



平ボディトラックに引き上げて積載する - けん引用アイボルトがない場合

- ⚠ 注意:** 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。
- ⚠ 警告:** けん引ボルトを使わずに車両を平ボディトラックに引き上げる場合、車両を再び走行させる前に、すべてのサスペンションのファスナーが適正なトルクで締め付けられているか点検し、すべてのコンポーネントに損傷がないか目視点検してください。ファスナーが緩んでいた場合、または損傷が見つかった場合は、影響のあるコンポーネントを交換してください。

前章で説明された通り、ウィンチを車両に接続する際はけん引用アイボルトを使用することが強く推奨されます。しかし、けん引用アイボルトが使用できない場合（損傷、喪失など）、次の説明通りにけん引用ストラップを取り付けてください。

1. 車両前部の下、それぞれのロアー サスペンション アームのけん引用ストラップを取り付けます。



2. アンダーボディを損傷しないよう保護できるもの（木材など）をけん引用ストラップとアンダーボディの間に設置してください。
3. 輸送モードを有効にするは、「コントロール」 > 「サービス」 > 「けん引」の順にタッチしてください。
4. Model X をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

タイヤの固定

8点留めタイダウン法で車両を固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。

- ⚠ 注意:** 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



車両に電力供給がない場合

Model X に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

1. フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については[電源がない状態でフードを開ける ページ 240](#)を参照してください。
2. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます（[ジャンプスタート ページ 241](#)を参照）。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については[電力切れ ページ 239](#)を参照してください。



Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する

Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。Tesla ロードサイドアシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイドプロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。「コントロール」 > 「ソフトウェア」にタッチすると VIN が表示されます。運転席側のフロントガラスからのぞき込むことでも、VIN を確認できます。
- お客様の所在地。
- 故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、Tesla モバイルアプリの「ロードサイドアシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: Tesla のロードサイドアシスタンスポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにあるサポートページを参照してください。

国別電話番号

カナダ: 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)

メキシコ: 800-228-8145

米国: 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)

注: 「コントロール」 > 「サービス」をタッチしても電話番号は確認できます。



! **注意:** 高電圧バッテリーの状態および車両の残りの航続距離を監視することは、ドライバーの責任です。インストゥルメントクラスターに表示される航続距離が0マイル (0 km) (または0%) であるときに、使用できる航続距離があると仮定しないでください。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、[Tesla ロードサイド アシスタンス ページ 238](#) または希望するけん引業者に連絡してください。

Model X が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧 (HV) バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は Model X を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート ページ 241](#) を参照)。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを Model X に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. Model X が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器をバッテリーから取り外します。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。Tesla 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧システムをジャンプスタートさせる必要があります。

! **注意:** ドライブの際や長期間保管する際は、Model X に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイル アプリの航続距離予測をあてにしすぎないでください。外気温、運転動作、風、車両設定 (セントリーモードなど) によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象になりません。



電源がない状態でフードを開ける

電源がない状態でフードを開ける

Model X が電気の切れた状態になった場合、またはタッチスクリーンやキーを使ってフロント トランクを開けられない場合は、次の手順に従ってください。

1. けん引フック カバーを外します (車両輸送者向け注意事項 ページ 235 を参照)。
2. 2つのストラップを見つけます。そのうちの片方には「A」というラベルが、他方は「B」というラベルがついています。
3. ストラップ「A」を引っ張り、プライマリー ラッチを外します。
4. ストラップ「B」を引っ張り、セカンダリー ラッチを外します。
5. これでフードは開きます。セカンダリー ラッチに対して掛かる力を解除するには、フードを少し押し下げる必要がある場合もあります。

注: このストラップは正しい順序で引くことが重要で、間違えるとラッチが解除してくれず、フロント トランクが開きません。

この方法でフロント トランクを開ける際には、ラッチは開位置のままになり、電源がないとそれを閉じることはできなくなります。マニュアル ストラップを引いて開けたフロント トランクを閉めるには次のようにします。

1. 低電圧バッテリーを充電します (その方法についてはテスラにお尋ねください)。
2. タッチスクリーン上の**フロント トランク**ボタンを押し、プライマリー ラッチとセカンダリー ラッチをリセットします。

以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブルジャンプスターターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して Model X をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。

 **注意:** Model X 他の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。

 **注意:** Model X のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを接続したり、リード同士を接触させたりすると、Model X が損傷する可能性があります。

次の手順を実行します:

外部電源を所有していることを確認します。フードを開いた後に次を行ないます。

1. メンテナンス パネルを取り外します。
2. プラス (+) およびマイナス (-) のジャンプ ポストの場所を確認します。
3. 赤色のプラス側ジャンプポストからカバーを外し、低電圧電源の赤色のプラス側ケーブルを赤色のプラス側ジャンプポストに接続します。
4. 低電圧電源の黒色マイナス (-) ケーブルを車両に接続します。
5. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。タッチスクリーンをタッチして起動します。

注: タッチスクリーンに十分な電力を供給するまで数分程度かかる場合があります。

6. 外部低電圧電源を使用する必要がなくなった場合、両方のケーブルを、黒色のマイナス側ケーブルから先に外します。
7. 低電圧バッテリーの上部で、コネクタハウジングを電気コネクタに押し込んで、電気コネクタを低電圧バッテリーに接続します。
8. 低電圧バッテリーの上部で、電気コネクタをコネクタハウジングに接続しているロックタブを押し込みます。
9. メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
10. フードを閉じます。

電力がない状態でドアを開く

電力がない状態でフロント ドアを開く

Model X の電源が切れている場合、フロント ドアは通常どおり内部ドアハンドルで開きます。

電力がない状態でリア ドアを開く

万が一、Model X の電力がないときにファルコンウィングドアを開ける場合、スピーカー グリルをドアから慎重に外し、メカニカル リリース ケーブルを下向きに、車両の前方に向けて引いてください。ラッチが解除されたら、ドアを手動で持ち上げてください。



 **注意:** 手動ドア リリースは、Model X の電力がない場合に限って使用することを想定して設計されています。Model X に電力がある場合は、インテリア ドア ハンドルの上部にあるボタンを使用します。



洪水や悪天候により車両が水没する可能性があります。Tesla では、車両が水没する危険性がある場合や、車両が水没した場合に備えてドライバーが方策を用意しておくことを求めています。

推奨事項を確認することで、万が一車両が水没した場合に備え、水没車両の扱い方を知り、利用可能な方策を見つけることができます。

洪水に備えるためのベスト プラクティス

水没する事態が予測されているときに、あらかじめ車両を安全に移動しておくことのできる場合、Tesla では Model X を危険がない場所やより高い場所に移動することを推奨しています。充電設備に影響が及ぶ可能性を考慮して、Tesla ではあらかじめ車両を 100%まで充電することを推奨しています。

車両を洪水の可能性のない場所まで移動することができない場合は、損害を防止するのに役立つ可能性のある以下のベストプラクティスを検討してください。

- 充電器のプラグを車両から確実に抜く。
- 蓄電状態を下げる。このためには、事前に車両を運転してプラグを抜いたままにするか、空調をオンにするか、または車両のタッチスクリーンまたは Tesla モバイルアプリを使用して「**空調 ON のまま**」を有効にします（[空調を操作する ページ 168](#) を参照）。これは、車両が水没した場合に充電率をできる限り低くするためです。
- エアサスペンション（装備されていれば）を変更し、車両の地上高を「**高**」または「**最高**」まで上げてから、車両を離れます。
- ジャッキスタンド、シリンダーブロック、スロープなどで車両の位置を高くすることで、高電圧バッテリーが洪水時の水面よりも上になるようにします。セルフレベルングによる損傷を防ぐために、エアサスペンション（装備されていれば）を使用した[**ジャッキモード**]を有効にします（[ジャッキアップと引き上げ ページ 217](#) 参照）。
- Model X に自動車用防水カバーまたは洪水からの車両保護に対応した、それと同等の製品を被せておきます。

水没車両の取扱い

お持ちの車両が電気自動車であれ、内燃機関車両であれ、長時間水没していた場合にすべきことを知っておきましょう。

警告: 火災、発煙、キーという音やシャーという音、または車両からの放熱に気付いた場合、その場から離れ、速やかに最寄りのファーストレスポnderに連絡してください。

車両が水没状態から脱し、安全に近づけるようになったら、以下の手順に従ってください。

1. 車両を事故の場合と同様に取扱い、保険会社に連絡します。
2. 認定工場による検査が完了するまでは車両を運転しないでください。あなたが Tesla 車のオーナーである場合、Tesla サービスで点検の予定を組むことができます。

3. 車両を安全にけん引して、他の車両や個人資産などの燃えやすい素材または構造から 50 ft (15 m) 以上離します。

- Tesla オーナーは、当社からのけん引支援を要望することができます。詳細情報については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 238](#) を参照してください。
- 安全にけん引する方法や車両を移動する方法については [車両輸送者向け注意事項 ページ 235](#) を参照してください。



app_w009

自動緊急ブレーキ使用不可 次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、[衝突回避アシスト ページ 155](#) を参照してください。

APP_w048

オートパイロット機能は一時的に使用できません 次回走行時に機能が回復する可能性があります

このアラートの意味:

お客様の車両では現在オートパイロット機能を使用することができません。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、[オートパイロットについて ページ 105](#) を参照してください。

APP_w207

オートステアリングは一時的に使用できません

このアラートの意味:

オートステアリングは一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。



- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバー コーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートステアリング ページ 120](#) を参照してください。

APP_w218

オートステアリングの速度制限を超過 ハンドルは自分で操作してください

このアラートの意味:

車両がこのドライバー アシスト機能の最高速度制限を超えたため、オートステアリングは利用できません。

対応策:

すみやかにハンドルを自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう異動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

注: ドイツで運転中にこのアラートが起動した場合、オートステアリングの速度制限未満で車両が走行すると、オートステアリングは再び有効になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートステアリング ページ 120](#) を参照してください。

APP_w221

クルーズコントロール利用不可 フロントレーダーの視認性が低下

このアラートの意味:

車両のフロント バンパー部分にあるレーダーの視程がまったくないか、ほとんどないため、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは利用できません。

これは、雪、氷、ほこり、泥などの要因で引き起こされる一時的な障害です。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。レーダーの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。



トラブルシューティングのアラート

運転中ずっと警報が解消されない場合、次の運転を予定する前にフロントバンパーを点検して障害を解消してください。車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照してください。

レーダーがあるフロントバンパーに障害物がないのに、その後の運転でもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w222

クルーズコントロール利用不可 フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

車両の1台以上のフロントカメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られていて、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングが無効です。

フロントカメラの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロントガラスの上部中央にあるフロントカメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがなが確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照してください。

フロントカメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高く設定し、A/Cをオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロントカメラで障害物が見えないのに、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224

クルーズコントロール利用不可 カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

車両のカメラのキャリブレーションが不十分なためトラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングを利用できません。

トラフィックアウェアクルーズコントロールやオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で運転する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、1台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。



対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

カメラのキャリブレーションが完了するまで、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。

キャリブレーションが完了したら、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できます。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、20~25 マイル (32~40 km) 走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル (160 km) 以上走行後も、アラートが解消されず、カメラ キャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラ キャリブレーションが成功したのにトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w304

カメラの視界が遮られている カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1つ以上の車載カメラの視認性が制限されているかありません。正確な視覚情報が車載カメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、[カメラ ページ 19](#) を参照してください。

次のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行います。

1. 空調をオンに設定し、温度を「高」に設定し、A/C がオンになっていることを確認して、キャビンをプレコンディショニングします
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 211](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次回のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。その間は車両を運転することに問題はありませぬ。

BMS_u006

車両シャットダウン - 安全にけん引 充電レベルが低すぎます

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが5%以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。

BMS_u018

最大バッテリー充電レベルが低下 運転可能 - サービス予約してください

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。その結果、最大充電レベルと範囲が削減されます。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

このアラートが続く場合は、ただちにサービス予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離が制限されます。

車両を運転および充電しても問題はありませぬ。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190](#) を参照してください。

BMS_u030

充電アダプターにアーク放電の危険あり 別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム (CCS) の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。



このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
 1. 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
 2. 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。
- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト（LED）が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

BMS_u031

バッテリー ヒューズの交換がまもなく必要になります 運転可能 - サービスを予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に近づいているため、交換する必要があります。

対応策:

なるべく早くサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

その間は車両を運転することに問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

BMS_u032

バッテリーヒューズの交換が必要です 運転可能 - サービスを予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に近づいているため、交換する必要があります。

対応策:

なるべく早くサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

その間は車両を運転することに問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

BMS_w176

バッテリーヒューズの交換が必要です 運転可能 - サービスをただちに予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に達しているため、直ちに交換する必要があります。

対応策:

すぐにサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

BMS_w179

車両が再始動しない可能性があります 整備が必要です

このアラートの意味:

車両のバッテリー管理システムが、高圧バッテリーのスマートヒューズの交換が必要であることを検知しました。

運転中にこの警告が表示された場合、車両はバッテリーパックへの潜在的な損傷を防ぐために出力制限モードに入り、この状態が解消されるまで駆動力が低下します。

対応策:

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。スマートヒューズの交換は比較的軽微な作業で、完了すれば車両の性能を完全に回復させることができます。

サービスを受けないと、車両は始動、充電、低電圧システムのサポートができなくなります。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

CC_f001

充電不可 - アース配線不十分 正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事に依頼してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f002

充電不可 - アース配線不十分 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。



対応策:

ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォール コネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f003

充電不可 - ウォール コネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォール コネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f004

充電不可 - ウォールコネクタに問題があります ウォールコネクタは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクタ ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクタで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクタのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクタを点検してください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f005

充電不可 - ウォール コネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクタのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォール コネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f006

充電不可 - ウォールコネクタ 過電流 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f007

充電不可 - 入力電圧が高過ぎます ウォールコネクタには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクタのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f008

充電不可 - 入力電圧不足 ウォールコネクタには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクタのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_f009

充電不可 - 誤った入力配線 ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f010

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f011

充電不可 - ウォールコネクターが過熱 ウォールコネクターが冷えるまでお待ち下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

ウォールコネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（100°Fまたは38°C以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f012

充電不可 - ウォールコネクタ-接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクタ-の点検が必要

ウォールコネクタ-による高温検出アラートは、ウォールコネクタ-への建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタ-を保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタ-の問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタ-への建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォールコネクタ-を壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください：

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォールコネクタ-が固定配線の場合、電気技術者にウォールコネクタ-までの建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクタ-の設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタ-の[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f013

充電不可 - 充電ハンドルが過熱 充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味：

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策：

コネクタ-が車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにならないことを確認してください。通常の周囲温度（100°Fまたは38°C以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタ-の[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f014

充電不可 - ウォールコネクタ-に問題があります ウォールコネクタ-は整備が必要です

このアラートの意味：

ウォールコネクタ-ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタ-が機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策：

ウォールコネクタ-で内部エラーが検出されました。



1. ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタを点検してください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f015

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f016

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f017

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f018

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f019

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。



3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f020

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f021

充電不可 - マスターウォールコネクターなし マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事は以下を確認します:

1. ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは、ペアの位置（F位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f022

充電不可 - マスターが複数あります マスターのウォールコネクタは 1 台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) ネットワーク: ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクタのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します:

1. ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクタは、ペアの位置 (F 位置) に設定されます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f023

充電不可 - ウォールコネクタが多すぎます マスターとペアできるユニットは 3 台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) ネットワーク: 4 個以上のウォールコネクタが同じプライマリーユニットとペアリングされています。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクタを別の回路に移動し、このロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) ネットワークから切断 (ペアを解除する) してもらいます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f024

充電不可 - ウォールコネクタ電流低下 現在のマスターの設定を上げる必要あり

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクタの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクタに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクタの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクタのロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) の設定をし、他のウォールコネクタとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクタが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォールコネクタがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 * 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_f025

充電不可 - ウォールコネクタースに問題があります ウォールコネクタースは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクタース ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタースが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクタースで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクタースを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタースのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタースの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクタース取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタースへの電力を回復したら、ウォールコネクタースを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタースを点検してください。

詳細については、ウォールコネクタースの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f026

充電不可 - ウォールコネクタースに問題があります ウォールコネクタースは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクタース ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタースが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクタースで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクタースを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタースのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタースの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクタース取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタースへの電力を回復したら、ウォールコネクタースを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタースを点検してください。



トラブルシューティングのアラート

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f027

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f028

充電不可 - 誤ったスイッチ設定 ウォールコネクターロータリースwitchの調整が必要

このアラートの意味:

ロータリースwitchの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースwitchを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクターのロードシェアリング(サーキットブレーカーの共有)の設定をし、他のウォールコネクターとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースwitchは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクターが充電電流を6A以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3つのウォールコネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 \times 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_f029

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f030

充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致 現在のウォールコネクタの定格が一致する必要あり

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ペアリングしたウォールコネクタの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォールコネクタのみです。電気工事士は、ウォールコネクタのタイプラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォールコネクタでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f041

充電速度低下 - ウォールコネクタ接続部熱い コンセントまたはウォールコネクタの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CHG_f035

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロールパイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイルコネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#)を参照してください。

CHG_f083

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり 再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイルコネクターやウォールコネクターのステータスライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズマニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォールコネクターのサーキットブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイルコネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイルコネクターに問題があることが考えられます。



- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_f091

充電機器が認識されません

再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されているときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されていないときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#)を参照してください。

CHGS_f083

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり

再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

T トラブルシューティングのアラート

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の (Tesla 以外の) 外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については [マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u001

充電速度低下 - 不測の電圧降下 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事に相談ください。

このアラートは通常、外部充電器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u002

大幅な電圧降下のため充電停止 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u004

充電停止 - 充電中に停電 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。



トラブルシューティングのアラート

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の (Tesla 以外の) 外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u005

充電不可 - 充電ステーションが停止しています 充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたが、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因:

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

モバイル コネクタまたはウォール コネクタを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。



また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

CHG_u006

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電 (Tesla モバイル コネクタールまたはウォール コネクタールでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタールに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 196](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクタールおよびウォールコネクタールのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。

CHG_u007

充電機器がエラーを報告しました 機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケータールなどを確認します。モバイル コネクタールおよびウォールコネクタールのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで



トラブルシューティングのアラート

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

CHG_u010

外部充電器にエラーを検知 他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、AC 充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u012

電力システムまたは車両の問題によって AC 充電が制限される プラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。



- それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しく下さい。
- 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u013

充電機器の通信が失われました 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u014

充電機器がエラーを報告しました 機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。



トラブルシューティングのアラート

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケータなどを確認します。モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

CHG_w032

充電速度低下 - ウォールコネクタ接続部熱いコンセントまたはウォールコネクタの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

ウォールコネクタの設置ガイドは[こちら](#)から入手できます。

CHG_w037

充電不可 - ウォールコネクタ接続部が過熱コンセントまたはウォールコネクタの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CP_w043

充電ポート ドア センサー故障 充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知することができなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかたまになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的しか点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 192](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。

CP_w054

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電 (Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 196](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

DI_f138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリア モーターを使用して走行を継続します。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題はなりません。

DI_u006

移動しないように車両が自動でパーキング シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング (P) にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件が**すべて**真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph (2.25 km/h) よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれません。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む

およびこれらの条件の少なくとも **2 つ**が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 車両が 2015 年以降のソフトを実行している場合、上記の条件 **3 つすべて**が真であると、車両スピードや、ブレーキ ペダル/アクセル ペダルが最後に踏まれたタイミングに関わらず、車両は自動的にパーキングにシフトします。

また、以下の条件が**すべて**真である場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- 車両ホールドが作動している
- 車両がドライブ (D) またはリバース (R) にシフトしている
- ドライバー ドアが、開いているとして検知される

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[ギアシフト ページ 72](#) を参照してください。



DI_u015

クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロールはトラフィックアウェア クルーズ コントロールなどを含めて、現在使用できません

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である 18 mph (30 km/h) よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。

対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズ コントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズ コントロールは使用できます。このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 115](#) を参照してください。

DI_u024

オートパーキングがキャンセルされました 制御してください

このアラートの意味:

オートパーキングがキャンセルされました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[#unique_703 ページ](#) と [#unique_704 ページ](#) を参照してください。

DI_u025

オートパーキングが中断されました

このアラートの意味:

トラブルシューティングのアラート

オートパーキングが停止し、電子パーキング ブレーキがかかりました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだか、ブレーキペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[#unique_703 ページ](#) と [#unique_704 ページ](#) を参照してください。

DI_u032

アダプティブ ライド コントロール無効

注意して運転

このアラートの意味:

アダプティブ サスペンション ダンピング システムに問題があるために、車両スピードは 90 mph (144 km/h) に制限されています。

システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 [ページ 81](#) を参照してください。

DI_w039

回生ブレーキ使用不可

必要に応じてブレーキペダルを使用

このアラートの意味:

回生ブレーキの性能が一時的に低下しており、走行中にアクセルペダルから足を上げたときに自動減速が小さくなっています。

次の場合アラートが発生する可能性があります。

- 高電圧バッテリーがフル充電された状態に近い場合。バッテリーが 95%以上充電されている場合、回生ブレーキが制限されます。
- 高電圧バッテリーが十分に温まっていない場合。これは運転の初期段階で発生する可能性があります。寒冷気象時に頻発する可能性があります。

対応策:



車両を運転しても問題はありません。

電動自動車ではないガソリン車の場合と同様に、必要に応じて車両の速度を落としてください。

車両を走行させると、バッテリー充電量が 95%未満になり、バッテリーが十分に温まるので、通常このアラートはクリアされません。

注: より寒冷な気候では、車両を運転しても回生ブレーキの性能が完全に回復するほどバッテリーが暖まらず、このアラートがいつまでも消えず、自動減速が制限されたままになる可能性があります。Tesla モバイル アプリの「車の霜取り」を使用すると、走行前に高電圧バッテリーを温め、通常のリサイクルブレーキを復旧させることができます。詳細については、「[寒冷気象時のベストプラクティス](#)」 ページ 174 を参照してください。

このアラート自体は通常、サービスが必要な状態を示すものではありません。他の走行においてもこのアラートが継続する場合、車両のリサイクルブレーキ機能に影響が生じていることを示している可能性があるため、できるだけ早くサービスを予約するようにしてください。

詳細な情報については、「[回生ブレーキ](#)」 ページ 78 を参照してください。

DI_w138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリア モーターを使用して走行を継続します。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題はありません。

DI_w168

車両ホールド機能利用不可 停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細については、「[オートブレーキ ホールド](#)」 ページ 85 を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

DI_w172

パワートレインの整備が必要です 急加速しないでください

このアラートの意味:

パワートレイン システムで問題が検出されました。

車両がドライブ ユニットとホイールの間で過剰なバックラッシュ（ラッシュ）を検出しました。大きな、または過剰なラッシュは、機械的な摩耗があることを示しています。

考えられる原因は数多くあるため、パワートレインの点検が必要です。

対応策:

パワートレインの点検のためにできるだけ早期にサービス予約することを推奨します。

その間は車両を運転することに問題はありません。現在向かっている目的地およびサービスセンターまでなら運転することができます。より多くの負荷がパワートレインにかかるため、急加速は行わないでください。

できるだけ早くサービスを予約してください。この問題を放置したまま運転すると、走行中に車両が突然停止する恐れがあります。

GTW_w017

電力システムの電力減少 非必須機能が利用不可

このアラートの意味:

シートヒーターやキャビンの冷暖房といった必須ではない機能は利用できなくなるか制限されたレベルで作動する可能性があります。これは車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援するための予定された挙動です。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報および追加の推奨処置については、車両の電気系に影響を与える状況に特有のその他のアラートを確認してください。

GTW_w018

電力システムの電力減少 非必須機能が利用不可

このアラートの意味:

シートヒーターやキャビンの冷暖房といった必須ではない機能は利用できなくなるか制限されたレベルで作動する可能性があります。これは車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援するための予定された挙動です。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報および追加の推奨処置については、車両の電気系に影響を与える状況に特有のその他のアラートを確認してください。

GTW_w174

12V バッテリー交換必要 - サービスを予約 バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。



対応策:

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は Tesla モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。独立系サービス プロバイダーの選択は、車両の構成やお住いの場所に基づいて異なる可能性があります。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はなりません。ただし低電圧バッテリーの交換が遅れた場合、最後にドライブした後に車両の起動や、走行ができなくなる恐れがあります。

低電圧バッテリーの著しい低下により、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、[バッテリーの保護 ページ 190](#) の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190](#) をご参照ください。

GTW_w360

ブレーキ性能低下アシストを起動 停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押し離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、Tesla サービスに連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、[油圧フェード補正 ページ 78](#) を参照してください。

GTW_w405

電力システムの電力減少 車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。こうすることで、保証することはできませんが、最寄りの目的地に到達する前に、車両がシャットダウンしてしまうことを防止することにもなります。



トラブルシューティングのアラート

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

MCU_u005

フロントトランクが開いています 慎重に進んでください

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している2つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも1つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、[フロントトランク ページ 31](#) を閉める方法を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、[フロントトランク ページ 31](#) をご参照ください。

MCU_u019

サービスが車両に接続しています サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテインメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテインメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。詳細の情報は、車両の「[DIY ガイド](#)」にある「[タッチスクリーンの再起動](#)」を参照してください。

このアラートが24時間経過してもクリアされない場合は、Tesla モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

MCU_w008

タイヤの空気圧が低すぎます 安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の1つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。



対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、Tesla ロードサイドアシスタンス オプション（出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引）をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 238](#) をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 ページ 205 を参照してください。

TPMS がタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が寒冷時推奨値の誤差 3 psi 以内であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後は解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205](#) を参照してください。

MCU_w010

タイヤの空気圧が推奨値以下 空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20% 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（RCP）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 ページ 205 を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後は解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph（25 km/h）を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205](#) を参照してください。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 205](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

MCU_w029

整備が必要です 今すぐ/サービスを予約してください

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。

この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアすることができません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

TAS_a313

アダプティブ ライド コントロールの機能低下 乗り心地が低下する可能性があります

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピング システムに関する問題です。結果的に、サスペンション システムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化することができなくなります。

その代わりに、すべてのダンパーは一定の電流を受けます。乗り心地は通常よりもソフトになるかしっかりとします。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はなりません。

このアラートではインストゥルメントパネルに黄色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 81 を参照してください。

TAS_a314

アダプティブ ライド コントロールの機能低下

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピング システムに関する問題です。結果的に、システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はなりません。

このアラートではインストゥルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 81 を参照してください。

THC_u0005

エアコンが一時的に低下しています 車両システムを冷却中

このアラートの意味:



キャビンの空調能力が一時的に低下しました。これは、車両の冷却能力を高電圧バッテリー（バッテリー）とパワートレインの両方またはいずれかの冷却に割く必要があるためです。この状況に問題はまったくなく、車両や空調（A/C）システムの異常を表すものではありません。

車内の冷房だけでなく、A/C コンプレッサーはバッテリーの冷却にも対応しています。A/C システムでは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能をサポートするために必要な最適な温度範囲にバッテリーを保つのが最優先順位になっています。

高温環境では、バッテリーの冷却に車両の冷却能力が短時間集中的に割り当てられるのは正常です。この状態になる場合のほとんどは、気温が高い時に車両をスーパーチャージャー充電している際に発生します。

対応策:

特に対応は必要ありません。車両を運転しても問題はありません。

アラートはすぐに解消され、キャビンの空調能力も正常に戻ります。ときには、スーパーチャージャー充電が終わるまでアラートや車両の冷却不足が続くことがあります。

複数運転してもアラートが解消されず、A/C システムの潜在的な問題を示す他のアラートが出ている場合は、お客様の都合のよいスケジュールで Tesla サービスに A/C システムの検査をご用命ください。

THC_w0100

バッテリーヒーターを使用できません - 充電速度低下 低温では充電できなくなる可能性があります

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリー ヒーターの性能に影響する状況が検出されました。

高電圧バッテリーを適切に加温していない場合、充電速度が減少することがあります。高電圧バッテリー ヒーターが使用できないままの場合、低気温（寒冷気象条件）において車両が充電できなくなることもあります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。お客様の車両も、充電および充電ステーションへの接続をすることができます。ただし、低気温においては、車両が充電できない可能性や、予想以上に充電速度が遅い可能性があります。

可能であれば、ガレージのような閉鎖環境において車両の充電を試みてください。周辺温度が高い場合、高電圧バッテリーの加温が不要になる可能性があります。

低温時に走行する場合、高電圧バッテリーが低温になりすぎて、充電できなくなる可能性があるため、目的地に到達するまでのルートにある充電ステーションを頼りにしないことをお勧めします。

- 充電する必要がある場合は、走行直後に車両を充電するようにしてください。前回の走行により、高電圧バッテリーはまだ温かい状態である可能性があります。
- 走行後、低気温で車両を駐車したままにすると高電圧バッテリーが冷えて、充電ができなくなる可能性があります。

前と同じように、低温時に走行する場合、回生ブレーキによる高電圧バッテリーの充電に頼らないようにすることをお勧めします。これは、バッテリー温度が低すぎる場合、回生ブレーキが使用できなくなる可能性があるためです。詳細な情報は、[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照してください。

このアラートは多くの状況によって発生する可能性があります。解決のための対処が必要ない一時的な状況によって発生する可能性もあります。

ただし、このアラートが複数の走行にわたって解消されない場合や、車両の暖房および/または空調システムに潜在的問題があることを示す他のアラートが付随している場合、できるだけ早い時機にサービス予約をすることをお勧めします。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#) を参照してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 190](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

UMC_w001

モバイル コネクタを使用した充電不可 不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキット ブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクタを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電を試みてください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w002

充電不可 - モバイルコネクタ 漏電を検知 充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:

モバイル コネクタの漏電遮断器 (GFCI) が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの GFCI 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、**使用しないでください**。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクタを使用して充電を再度お試しください。

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。



モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w004

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、または
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試してください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w005

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、または
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試してください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試してください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

UMC_w007

モバイル コネクタ制御 ボックスの温度が高い モバイル コネクタの温度を下げてから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにならないことを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w008

充電不可 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクタのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_w009

充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクタが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクタの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクタ ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクタの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにならないことを確認してください。



正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクタまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w010

モバイル コネクタからアダプターまでの接続部が加熱 冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクタにしっかり差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクタの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにあることを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクタの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクタに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクタ制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w011

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクタは、充電ハンドルが車両にしっかり接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクタによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクタの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクタ ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



トラブルシューティングのアラート

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#)を参照してください。

UMC_w012

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは有効な制御パイロット信号を生成または維持できないことを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください (必要に応じてフラッシュライトを使用)。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 192](#)を参照してください。

UMC_w013

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。



- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w014

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w015

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:



トラブルシューティングのアラート

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w016

モバイル コネクター制御ボックス高温 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。

対応策:

モバイル コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w017

充電速度が低下 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクターの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。



対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_w018

充電電流減少 - ハンドルの温度が高い

充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w019

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱

最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電電流が削減されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。

ごみ/異物をすべて取り除くことをお勧めします。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 177](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「オーナーズマニュアル」の順にタッチしてオーナーズ マニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものであります。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

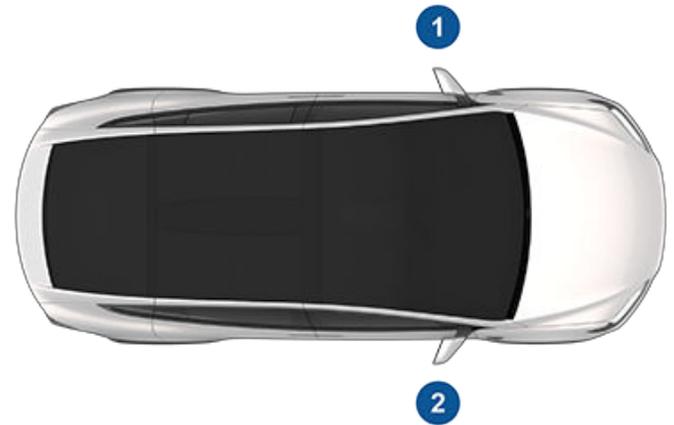
ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、[機能の使用可否に関する声明 ページ 293](#) を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.com までメールにてお願いいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2024 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープン ソース ソフトウェアについてはウェブサイト参照してください <http://www.tesla.com/opensource>。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

TESLA

TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER

MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

CYBERTRUCK

T E S L A





オーナー情報について

本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「ソフトウェアの優先設定」>「詳細設定」でも設定できます。詳細情報については、[ソフトウェアアップデート ページ 201](#) を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。

イベント データ レコーダー (EDR)

Model X には、イベント データ レコーダー (EDR) が装備されています。EDR の主な目的は、エアバッグが展開したときや道路にある障害物との衝突したときなど、事故が起こった状況や事故が起こりそうな状況で、車両システムがどのように働いたのかをより理解するのに役立つデータを記録することです。

EDR は、車両ダイナミクスおよび安全システムに関連するデータを短時間 (通常は 30 秒以下) 記録するように設計されています。Model X の EDR は以下のようなデータを記録するように設計されています。

- 車両の諸システムがどのように機能したか
- 運転席および助手席のシートベルトがバックルに挿入され、着用されていたかどうか
- ドライバーがアクセルペダルやブレーキペダルをどれだけ押していたか
- 車両の移動速度

このデータは、事故や怪我がどのように発生するのかを理解するのに役立ちます。

注: EDR データが記録されるのは重大事故の発生時のみです。普通の運転時に、EDR でデータは記録されず、個人情報データ (名前、性別、年齢、事故発生場所など) も記録されません。しかし、法執行機関などの他の当事者は、EDR データと事故調査中に定期的に取得した個人識別可能データを組み合わせることができます。

EDR で記録されたデータを読み取るには特別な装置が必要であり、車両または EDR にアクセスする必要があります。自動車製造業者に加えて、この特殊な機器を持つ法執行機関など他の当事者は、車両または EDR にアクセス権があればその情報を読み取ることができます。衝突事故の状況によっては、Tesla が EDR に遠隔でアクセスすることがあります。

車両テレマティクス

Model X は、モーター、オートパイロット コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用しますがこれらに限定されません。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。Tesla の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model X の追加機能により、車両のテレマティクスシステムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- Tesla の弁護目的で使用された場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の Model X から、分析データ、道路セグメントデータ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために Tesla に送信されることがあります。Tesla 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を Tesla による製品とサービスの改善に役立てることができます。Tesla は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共有しますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることはなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることはなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは Tesla に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「データ共有」にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

注: ただし、本文書に記載されているように、Model X は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません (例えば特定日時に Model X が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません)。

品質管理

オドメーターの表示は Model X の納車時に若干の数値 (数マイル/km) を示していることがあります。これは、Model X の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。



テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

サウンド ライブラリ

「無料サウンド ライブラリ」(装備されている場合)

無料のサウンド エフェクト サイトです。

ライセンス: Attribution 4.0 International (CC BY 4.0)。あなたは、商用または非商用目的のマルチメディア プロジェクトに、サウンド エフェクトを使用することを無料かつロイヤリティフリーで許可されています。

<http://www.freesoundslibrary.com>

カリフォルニア州プロポジション 65

-  **警告:** 乗用車またはオフハイウェイ指定車両の運転、サービスおよびメンテナンスに際しては、カリフォルニア州で発がんおよび先天性欠損症またはその他の生殖器機能不全の原因として知られているフタル酸エステルおよび鉛に曝されるおそれがあります。曝される危険性を最小限にするには、作業中に手袋を着用したり、まめに手を洗うなどしてください。詳細な情報については、次のリンク先をご参照ください。 www.P65Warnings.ca.gov/passenger-vehicle。
-  **警告:** エアバッグ モジュールやシートベルト プリテンションナーなど、この車両の特定のコンポーネントには、過塩素酸塩物質が含まれることがあります。整備および、耐用期間終了後の廃棄には特別な取り扱いが求められます。詳細は、 www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください。
-  **警告:** バッテリー ポスト、端子、関連アクセサリーには鉛および鉛化合物が含まれます。取り扱い後には手を洗ってください。

Tesla に連絡する

お客様の Model X に関する詳細を見るには、<http://www.tesla.com> に進んでお客様の Tesla s アカウントにログインするか、アカウントをお持ちでない場合は新規でサインアップしてください。

Model X についてご質問や懸念がある場合は、米国、カナダ、またはプエルトリコでは 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)、メキシコでは 1-800-228-8145 までご連絡ください。

注: また、音声コマンドを使用して Tesla にフィードバックを与えることもできます。「レポート」、「フィードバック」または「バグレポート」と発話し、簡単なコメントを言ってください。Model X 現在のロケーション、車両の診断データ、およびタッチスクリーン、およびインストルメンタルパネルのスクリーンショットを含むシステムのスナップショットを取得。Tesla は定期的にこれらの情報を確認し、Model X の継続的な改良に利用します。

安全上の不具合を報告する - 米国

お客様の Model X に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、国家道路交通安全局 (NHTSA) にも連絡してください。

NHTSA が同様の苦情を複数受けた場合は、調査を開始することがあります。一定の車両に安全上の不具合があることが判明した場合、リコールや修理キャンペーンを指示することがあります。ただし、NHTSA はお客様、ディーラーまたは Tesla との間の個別の問題には関与できません。

NHTSA に問い合わせるには、フリーダイヤル 1-888-327-4236、Vehicle Safety Hotline (TTY: 1-800-424-9153) に電話で問い合わせるか、www.safercar.gov にアクセス、または以下の所在地までお手紙でご連絡ください。Administrator, National Highway Traffic Safety, 1200 New Jersey Avenue SE., Washington, DC 20590. その他、自動車の安全に関する情報は、www.safercar.gov から得ることもできます。

安全上の不具合を報告する - カナダ

お客様の Model X に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、カナダ運輸省にも連絡してください。To contact Transport Canada, call their toll-free number: 1-800-333-0510.

キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	周波数	テスト済み
キーフォブ 1048598	Tesla	2.4 GHz	米国 カナダ メキシコ 台湾
WC1	Tesla	127.7KHz	グローバル

上記の装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

La Operación de Este Equipo no está Sujeta a las dos following conditions:

1. Es Posible Que Este Equipo o Dispositivo no causar interferencia perjudicial.
2. Este Equipo o Dispositivo debe Aceptar Cualquier interferencia. Incluyendo La Que Pueda causar do Operación no Deseada.

放射線被ばくに関する声明

本製品は、低電力消費のワイヤレス電力伝送に関する、FCC/IC 無線周波数暴露規則に準拠しています。無線周波数暴露制限は制御されていない環境のために定められており、本マニュアルに記載されている目的の操作を安全に行うためのものです。適合の確認は、人体と機器を 20 cm 以上離して実証されています。機能が使える場合には、機器の出力を下げます。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- キーフォブ モデル番号: 1048598 (2.4 GHz)
- キーフォブ メーカー: Tesla

IC 20098-1048598 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence.L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. l'Appareilne doit pas produire de brouillage, et
2. l'Utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre lefonctionnement.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour unenvironnement non contrôlé.

Déclaration d'exposition aux radiations:

Le produit est conforme à l'exposition RF IC pour le transfert de puissance sans fil de consommateurs de faible puissance. La limite d'exposition RF fixée pour un environnement non contrôlé est sans danger pour le fonctionnement prévu tel que décrit dans ce manuel. L'exposition RF supplémentaire que la conformité a été démontrée à 20cm et plus de séparation du corps de l'utilisateur ou de mettre l'appareil à la puissance de sortie inférieure si une telle fonction est disponible.

IC 認証

La Operación de Este Equipo no está Sujeta a las dos condiciones siguientes:

1. Es Posible Que Este Equipo o Dispositivo no causar interferenciaperjudicial.
2. Este Equipo o Dispositivo debe Aceptar Cualquier interferencia. Incluyendo La Que Pueda causar do Operación no Deseada.

中央ボディ コントローラー

FCC 認証

モデル番号	製造者	MHz / GHz	テスト済み
中央ボディ コントローラ 1031503	Tesla	315 / 2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1031503 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

IC 認証

以下の装置がカナダ国内で使用される車両内で使用されます。

- 中央ボディ コントローラー モデル番号: 1031503 (315 MHz / 2.4 GHz)
- 中央ボディ コントローラー 製造者: Tesla

IC 20098-1031503 により、本装置はカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

一体化コンポーネント

中央ボディコントローラーは、その他のインテリアトリム コンポーネントの周囲に固定された車両に主要な部分の一つです。中央ボディコントローラーは、一体化コンポーネントとして使用するよう設計されており、個別の販売や取引はできません。

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID: TZSTPMS201、Z9F-201FS43X



IC ID: 11852A-201FS4X

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ イノベーション・科学・経済開発省の RSS-210 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

HomeLink

この装置は、FCC 規則のパート 15、RSS-210 Industry Canada および EU Directive 2014/53/EU に準拠しています。

操作には以下の条件が適用されます。

- 本装置が有害な干渉を引き起こさないこと。
- 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

製造者あるいは Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。



索引

記号

温度:,,,

車内、調整:

タイヤ:

暖房装備:

バッテリー (高電圧)、限界:

エクステリア:,,,

概要:

クリーニング:

自動車用カバー:

つや出し、補修塗り、修理:

ゲーミングコントローラー:

安全情報:,,

エアバッグ:

シートベルト:

チャイルドシート:

引き上げ:

運転中:,

座位置:

始動:

過給:

アイドル手数料:

混雑時料金:

従量制プラン:

説明:

機能の使用可否:

緊急ブレーキ操作:

緊急車線逸脱防止:

高さ調整 (サスペンション):

無効化 (ジャッキモード):

高電圧:,,

安全性:

コンポーネント:

バッテリーの仕様:

仕様:,,,,,,,

高電圧バッテリー:

サスペンション:

サブシステム:

ステアリング:

タイヤ:

低電圧バッテリー:

トランスミッション:

ブレーキ:

ホイール:

モーター:

自動緊急ブレーキ:

自動車線変更:,

車線逸脱防止:

車線変更、自動:

充電:,

充電ステータス:

充電設定:

スケジュールリング:

手順:

充電中:,

公共充電ステーション:

コンポーネントおよび機器:

出発予定時刻:

使用:

商標:

衝突回避アシスト:

障害物検知走行モード:

常時接続、設定:

制限速度警報:

正面衝突警告:

絶対速度制限:

相対速度制限:

側面衝突警告:

速度制限との差:

著作権:

電源管理:

電話:,,,,,,,

アプリ:

受話:

接続中:

通話中オプション:

通話の履歴:

発話:

ハンドルのボタン:

ペアリング:

連絡先のインポート:

動かしている:

航続距離を最大限に伸ばすヒント:

認証、CE:

認証、FCC:

認証、IC:

認証、NCC:

範囲:,

回生ブレーキ:

最大限に伸ばす運転のヒント:

保守:,,,,,,,

ウォッシャー液、補充:

ウォッシャー液噴出口、清掃:

クリーニング:

タイヤ:

定期サービス:

定期的なチェック:

フルード交換間隔:

毎月のチェック:



毎日のチェック:
ワイパー ブレードの交換:
隣接する車線の走行速度:,
連絡先:,
テスラ:
ロードサイドアシスタンス:

数字

3 列目シート、の、乗り方:,

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) :

B

Bluetooth: [60](#), [62](#), [185](#)
一般情報:,
デバイス、オーディオ ファイルの再生:
電話、ペアリングと利用:

C

CCS (コンボ):
CHAdemo: [189](#)

E

EDR (イベントデータ記録) :

F

FCC および IC の認証:
full self-driving: [135](#)

G

GAWR: [223](#)
GVWR: [223](#)

I

ISOFIX/LATCH 対応チャイルドシート、取り付け:

J

J1772: [189](#)

K

kautosteer on city streets: [135](#)

L

LATCH/ISOFIX 対応チャイルドシート、取り付け:

N

NHTSA、への連絡:

P

PIN: [90](#)

R

RFID トランスポンダー:

T

Teslacam: [162](#), [164](#)

Tesla プロフィール:

TPMS: [208](#)

概要:

TPMS、FCC 認証:

U

USB ポート:

USB 機器:

接続中:

USB フラッシュドライブ:,,

W

Wi-Fi への接続:

Wi-Fi への接続:

あ

アーケード:

アクセサリ:

電源ソケットへの差し込み:

アクセサリ キャリア:

アプリ:

アラーム:,,

安全上の不具合、報告:

アンチロック ブレーキ (ABS) :

い

イージーエントリー:,,

イージーエントリー、ドライバーのプロフィール:

インストゥルメントパネル:

クリーニング:

インストゥルメントパネル、概要:

インテリア:,,

温度コントロール:

概要:

クリーニング:

インテリア (寸法) :

インテリア仕様:

イベントデータ記録:,,

う

ウィンカー、ライト:

ウィンドウォッシャー液、補充:
ウォールコネクター:
ウォッシャー、使用:、
ウォッシャー液、補充:
ウォッシャー液噴出口、清掃:

え

エアコンを ON のままにする:
エアバッグ (位置):
エアフィルター:
エアロカバー:
衛星ラジオ:
エクステリア (寸法):
エネルギー:
 回生ブレーキの効果:
エネルギー、航続距離情報:
エネルギー アプリ:
エネルギー使用予測 (ナビゲーション):
エネルギー節約モード:

お

追い越し加速:、
往復にかかるエネルギー (ナビゲーション):
往復にかかる予想エネルギーの常時表示:
オーディオ:,,,、
 音量調節:
 設定:
 ハンドルのボタン:
 ファイルの再生:、
オートステアリング:、
オートナビゲーション:
 ナビゲーション:
オートパーキング:
オートパーキングを使用した駐車:
オートパイロット:,,,,,,、
 オートステアリング:、
 オートパーキング:
 サモン:
 スピードアシスト:
 トラフィックアウェアクルーズコントロール:、
概要:
 自動緊急ブレーキ:
 自動車線変更:
 衝突回避アシスト:
 制限速度警報:
 正面衝突警告:
 側面衝突警告:
 速度制限内で走行:
 追い越し加速:、
オートパイロットコンポーネント:

オートパイロットナビ走行:、
オートブレーキホールド:
オーナー情報について:
オールシーズンタイヤ:
お気に入り (ナビゲーション):
お気に入り (メディアプレイヤー):
お楽しみ:
オドメーター:
オフピーク充電:
おもちゃ箱:、
音声コマンド:
温度、外:
オンラインルート案内:
音量調節 (メディア):
音量調節:

か

カーゴエリア:
カーペット、クリーニング:
外形寸法:
回生ブレーキ:
改造:
荷重限度:
カップホルダー:
カナダ運輸省、連絡する:
加熱:
カメラ、後ろ向き:
貨物量 (仕様):
カラーライザー:
カラオケ):
カリフォルニア州プロポジション 65:
ガレージドア、開く:
カレンダー:
換気:
寒冷環境におけるベストプラクティス:
寒冷地設定:

き

キー:,,、
 使用法:
 追加の注文:
 バッテリーの交換:
キーフォブ:
 キーフォブが車内にない:
キーフォブが動作しないときのアンロック:
キーレスエントリー:
機能、新しいものをダウンロード:
キャビンエアフィルター:
キャンプ:
緊急灯:



緊急時に内部からドアを開く:
勤務先位置:

く

空調:
空調コントロール:
クリーニング:
クリープ:
クルーズコントロール:、
車に何がついてるって?:
グローブボックス:
グローブボックス PIN:

け

警告用フラッシャー:
携帯電話アプリ:
ゲート、開く:
けん引:、
けん引ガイドライン:
けん引能力:
けん引ヒッチ、接続:
けん引ヒッチ、切断:
けん引ボルト、位置:
けん引モード:
けん引用トレーラーブレーキ:
けん引ラベル:

こ

公共充電ステーション:
降車後オートロック機能:
工場出荷デフォルト、復元:
工場出荷時リセット:
航続距離、インストゥルメントパネルに表示:
後方カメラ:
個人情報、消去:
コンソール:、
 USB ポート:
 カップホルダー:
 低電圧電源ソケット:
コンディショニング:

さ

サービスの予約:
最近の使用履歴 (ナビゲーション):
最近の履歴 (メディアプレーヤー):
最低地上高:、
サイドカメラ:
サイドクリアランス (サモン):
坂道、で停止する:
サスペンション:

サスペンション、エア:
サスペンション、減衰:
サスペンション、車高自動上昇:
サスペンションの仕様:
サマータイヤ:
サモン:
サモン距離:
サモンを使用した駐車:
サンバイザー:
3列目シート、折りたたみと引き上げ:

し

シート:、
 調整:
 ヒーター:
シート、2列目:
シートカバー:
シートヒーター:
シートベルト:、
 概要:
 クリーニング:
 衝突した場合:
 妊娠中の女性が着用するとき:
 プリテンショナー:
指示、けん引:
自宅位置:
自転車キャリア:
始動:
自動車用カバー:
車高、エア サスペンション:
車高調整、エア サスペンション:
車体の修理:
ジャッキアップ:
ジャッキモード:
車内温度コントロール:
車両識別番号 (VIN) ラベル:
車両識別ラベル:、
車両積載量:
車両総重量:
車両に名前を付ける:
車両の状態、表示:、
車両の名前を変更する:
車両の輸送:
車両のライト:
車輪止め:
ジャンプスタート:、
充電ステーション、地図に表示:
充電ポイント、検索:
充電ポート:
充電ポート手動リリース:

充電ポート ライト:
充電ポート リリース ケーブル:
充電予約:
瞬間値:
仕様 (エクステリア) :
仕様 (寸法) :
乗員の識別:
消去とリセット:
乗車後カレンダーを表示:
消費量チャート:
情報、電波規制:
ショートカット:,
 タッチスクリーンの再起動:
 マイ アプリに追加:
暑熱環境におけるベストプラクティス:
所有権の変更:
SiriusXM: [185](#)
信号機と一時停止のコントロール:
侵入検出:

す

水没車両:
スーパーチャージャー、地図に表示:
スケジューリング:
スタッドレス タイヤ:
スタビリティ コントロール:
スタンバイ:
ステアリング、自動:,
ステアリングの仕様:
ストップモード:
スピードアシスト:
スポイラー:
スマート サモン:
寸法、オーバーハンド:

せ

整備データ記録:,
セキュリティ設定:
設定、消去:
セルフレベリング:
洗車:
セントリーモード:

そ

走行後オートロック:
ソフトウェア アップデート:
ソフトウェアのアップデート優先設定:
ソフトウェアの再インストール:
ソフトウェア リセット:

た

タイ ダウン ストラップ:
タイヤ:,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 圧力、表示:
 オール シーズン:
 温度等級:
 空気圧、チェック方法:
 交換:
 サマー:
 仕様:
 スタッドレス:
 タイヤ センサーの交換:
 タイヤのマーキング:
 チェーン:
 点検と保守:
 トラクション等級:
 トレッド磨耗:
 バランス調整:
 品質等級基準:
 ホイール設定:
 ローテーション:
タイヤ空気圧、けん引時:
タイヤ空気圧、チェック:
タイヤ空気圧、表示:
タイヤ空気圧監視システム、FCC 認証:
タイヤと荷重情報ラベル:
タイヤのノイズ:
タイヤのローテーション:
タイヤ空気圧監視システム:
 概要:
ダッシュカム:
ダッシュボードの概要:
タッチスクリーン:,,,,,
 概要:
 クリーニング:
 再起動:
 ショートカットを追加:
 ソフトウェア アップデート:
 停止:
 マイ アプリをカスタマイズ:
 無反応:
 メイン:
 リア:
 表示設定:
タッチスクリーンの再起動:

ち

チェーン:
地図の更新:



地図の向き:
チャイルドロック:
リアウィンドウスイッチをロックする:
チャイルドシート - 取付および使用:
チャイルドロック:
リフトゲートとリアドアハンドルの無効化:
駐車、けん引時:

つ

追跡無効:
通気口、調整:

て

定員:
定格総軸荷重:
定期サービス:
データ共有:
データ記録、
適切な座位置:
デバイス、
Bluetooth、オーディオファイルの再生:
接続中:
テレマティクス、
電気式パーキングブレーキ:
電源ソケット:
電源のオン/オフ:
電動リフトゲート:
電力切れ、

と

ドア、
内側から開ける:
電力がない状態で開く:
ドアシール:
クリーニング:
ドア、開く:
ドアアンロックモード:
ドアのキャリブレーション:
ドアのロックとロック解除:
ドアラベル:
統一タイヤ品質等級基準:
ドッグ:
ドライバー、
シートの調整:
プロフィール:
ドライバーアシスト:
ドライブモード、切り替え:
ドライブモード、ドライブ:
ドライブモード、ニュートラル:
ドライブモード、パーキング:

ドライブモード、リバース:
ドライブモードの切り替え:
ドライブ用PIN:
トラクションコントロール:
トラフィックアウェアクルーズコントロール、
トランク、フロント:
トランク、リア、
チャイルドロック:
内部ハンドルの無効化:
トランスポンダー、取り付け:
トランスミッションの仕様:
トリップメーター:
トリップチャート:
トリッププランナー:
トルクの仕様:
トレーラーのけん引、

の

納車走行距離:
納車後の走行距離:

は

パーキングアシスト:
パーキング時のロック解除:
パーキングブレーキ:
排気コントロールラベル:
ハイビームヘッドライト:
ハザード:
ハザードライト:
バッテリー(キー)、交換:
バッテリー(高電圧)、
温度限界:
仕様:
バッテリー(低電圧)、
完全放電:
仕様:
ハブキャップ:
パレーモード:
パワー:
回生ブレーキの効果:
パワーウィンドウ、
パワーサイクリング:

ひ

ビデオクリップ:
表示設定:

ふ

ファームウェア(ソフトウェア)アップデート:
ブームボックス、

部品の交換:

ブラインドスポットカメラ:

ブラインドスポット衝突警告:

ブラインドスポット衝突警告チャイム:

フラッシャー、ハザード:

フラッシュドライブ:,

フルード:

交換間隔:

ブレーキをかける:,,

概要:

緊急時自動作動:

仕様:

フロア マット:

プロポジション 65:

フロントおよびリアシート:

フロントトランク:,

電力がない状態で開く:

へ

平均値:

ヘッドライト、オートハイビーム:

ヘッドライト、ハイビーム:

便利な検索機能:

ほ

ホイール:,,,,

アライメント:

エアロカバー、取り外しと取り付け:

交換:

仕様:

トルク:

ラグナットカバー、取り外しと取り付け:

ホーム:

画面:

ボタン:

HomeLink: [64](#), [141](#), [299](#)

FCC の認証:

サモン使用時:

プログラミングと利用:

ホールド:

ホーン:

歩行者警告:

ボディ補修塗り:

ボディの補修塗り:

ボンネット:,

電力がない状態で開く:

ま

マイアプリ:

マット:

み

ミラー:

め

メディア:,,

設定:

ソース、表示および非表示:

も

モーターの仕様:

モバイルアプリ:

モバイルアプリアクセス:

モバイルコネクタ:,

使用:

説明:

ゆ

輸送:

輸送モード:

よ

腰部調節:

ら

ライト、インテリア:

ライト、エクステリア:

ライト、ハザード:

ライト、フォグ:

ライト、ルーム (マップ):

ライブカメラの表示:

ラグナットカバー:

ラジオ:,

ラベル:,

車両識別:

タイヤと荷重情報:

り

リアビューカメラ:

リアウィンドウスイッチ、ロックする:

リアシート、アクセス:,

リフトゲート:,

開放時の高さ調整:

開く:

料金徴収システムトランスポンダー、取り付け:

リリースノート:

る

ルート変更:

れ

レーンアシスト:
レンジプランナー:
レンジモード:

ろ

ロードサイドアシスタンス:
ロール:
録画:,
ロケーション追跡:

わ

ワイパー デフロスター:
ワイパー、霜取り:
ワイパー、使用:
ワイパー ブレード、交換:

TESLA

掲載日: 2024/12/13